

(案)

第6次泉南市総合計画
前期実施計画
(令和5年度～令和8年度)

令和7年度版
泉南市

目 次

1. 実施計画の概要

| | |
|---------------|---|
| (1) 計画の目的と内容 | 3 |
| (2) 計画の期間 | 3 |
| (3) 実施計画事業の選定 | 3 |
| (4) 行財政運営との関係 | 3 |
| (5) SDGs との関係 | 3 |

2. 事業計画

(1) 分野別事業一覧

| | |
|-----------------------------|-----|
| 基本計画体系 | 5 |
| 施策の概要 実施計画 記入例 | 6 |
| 分野別政策1 『ひと』を育てる・輝かせる | 8 |
| 分野別政策2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | 65 |
| 分野別政策3 『くらし』を守る・快適にする | 80 |
| 分野別政策4 『健幸』を築く・つながりをひろげる | 110 |
| 総合的政策 『しくみ』をつくる・運営する | 133 |

| | |
|------------|-----|
| (2) 分野別事業数 | 154 |
|------------|-----|

実施計画の概要

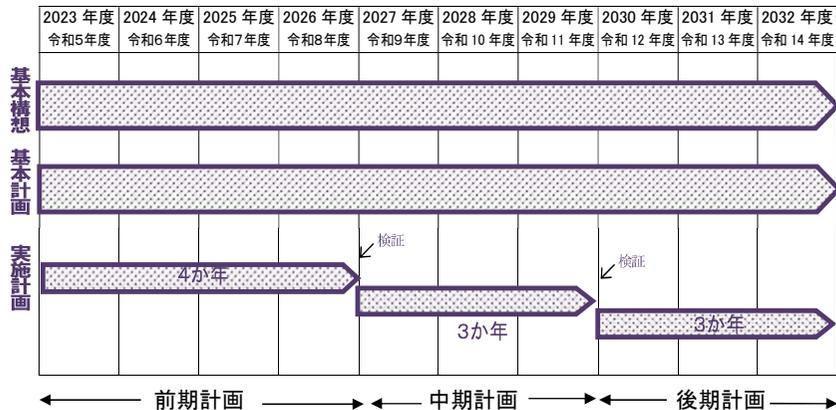
(1) 計画の目的と内容

実施計画は、泉南市（以下「本市」といいます。）が策定した第6次泉南市総合計画（以下「総合計画」といいます。）が目指すまちの将来像「ちょっとええやん なかなかええやん ～かんじる つながる ひろがる 住人十色のまち せんなん～」を実現するため、まちづくりの基本的方向に掲げた施策をどのように進めていくかを示すものです。

総合計画の分野別に、まちづくりの具体的な取組である主要な事務事業について、その概要や事業費（予算ベース）とともに今後の事業の動向を記載します。なお、実際に実施される事業の内容等は、各年度の予算編成及び市議会での審議を経て決定されます。

(2) 計画の期間

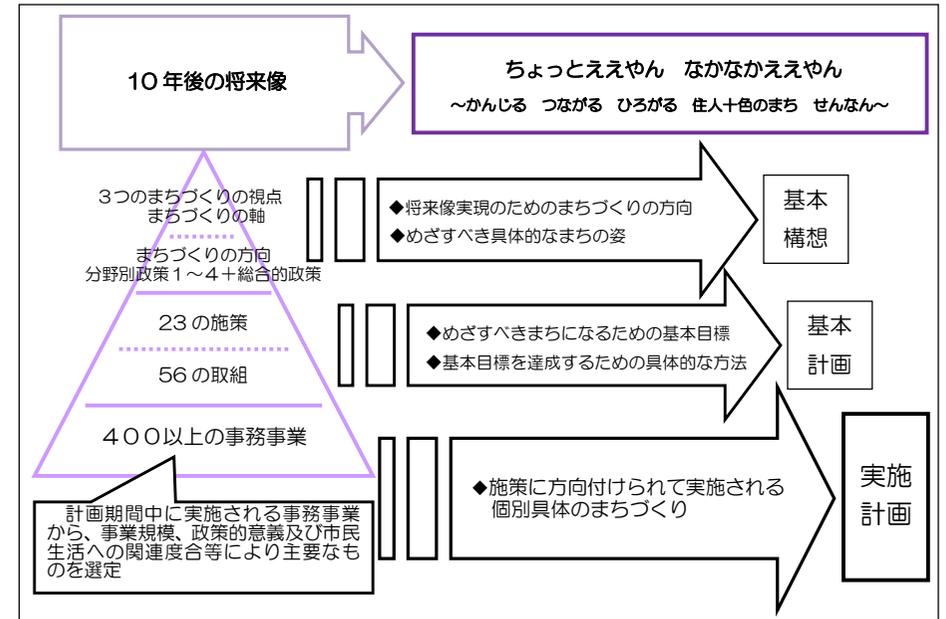
本市では、総合計画の計画期間（10年間）を前期（4か年）、中期（3か年）、後期（3か年）に区切り、実施計画を策定します。これは、一定の期間をもって計画の達成状況の検証を加えることで、的確で効果的な総合計画の推進を図ることを目的としています。また、各期間中においても、行政評価の結果の反映やあらたな行政需要への対応ができるよう、毎年見直し（ローリング）を行います。



(3) 実施計画事業の選定

実施計画事業は、本市が行う事務事業の中から次の基準をもとに選定します。

- 1 第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の具体的な施策に資する事業
- 2 単年度事業費が1,000万円以上の投資的事業（普通建設事業や建設負担金・補助金等）
- 3 政策的意義の高い、あるいは市民生活に特に関連する主要な事務事業
- 4 計画期間中に着手する新規事業



(4) 行財政運営との関係

実施計画は、基本計画に示された施策を具体的な事業として定めるものであり、財政的な裏付けや社会経済情勢を判断しながら、4年間の計画をローリング方式により毎年度更新することによって、実効性の高い計画とします。

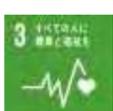
また、行政評価を行うことでPlan（計画策定）→Do（実施）→Check（確認）→Action（見直し）のサイクルの考え方において、市民満足度などの経営の視点からの継続した見直しを図り、効率的・効果的な行政運営に努めます。

本様式は実施計画（令和7年度版）及び当該年度における主要な施策の成果を説明する資料（成果説明書）、施策や事務事業を客観的に点検・見直しを行い、以後の行財政運営に反映させる行政評価の資料として作成します。

(5) SDGs との関係

SDGs（持続可能な開発目標）は、すべての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、17のゴール及び細分化された169のターゲットから構成されています。すべての市民が快適を実感できるまちを目指す本市において、SDGsの理念「誰一人として取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」は、市政推進においても大変意義深いものであることから、17のゴールに照らして総合計画の各施策を推進することとします。

■総合計画の施策とSDGsの関係性

| ゴール | ゴールの内容と自治体行政の役割 | ゴール | ゴールの内容と自治体行政の役割 |
|---|---|---|--|
|  | <p>【ゴール1】あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる 自治体行政は貧困で生活に苦しむ人々を支援する上で最も適したポジションにいます。各自治体において、すべての市民が必要最低限の暮らしを確保することができるよう、きめ細やかな支援策が求められています。</p> |  | <p>【ゴール10】各国内及び各国間の不平等を是正する 差別や偏見の解消を推進する上でも自治体は主導的な役割を担うことができます。少数意見を吸い上げつつ、不公平・不平等のないまちづくりを行うことが求められています。</p> |
|  | <p>【ゴール2】飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する 自治体は土地や水資源を含む自然資産を活用して農業や畜産などの食料生産の支援を行うことが可能です。そのためにも適切な土地利用計画が不可欠です。公的・私的な土地で都市農業を含む食料生産活動を推進し、安全な食料確保に貢献することもできます。</p> |  | <p>【ゴール11】包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する 包摂的で、安全、レジリエントで持続可能なまちづくりを進めることは首長や自治体行政職員にとって究極的な目標であり、存在理由そのものです。都市化が進む世界の中で自治体行政の果たし得る役割は益々大きくなっています。</p> |
|  | <p>【ゴール3】あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する 住民の健康維持は自治体の保健福祉行政の根幹です。国民皆保険制度の運営も住民の健康維持に貢献しています。都市環境を良好に保つことが住民の健康状態の維持・改善に必要なものであるという研究も報告されています。</p> |  | <p>【ゴール12】持続可能な生産消費形態を確保する 環境負荷削減を進める上で持続可能な生産と消費は非常に重要なテーマです。これを推進するためには市民一人ひとりの意識や行動を見直す必要があります。省エネや3Rの徹底など、市民対象の環境教育などを行うことで自治体はこの流れを加速させることが可能です。</p> |
|  | <p>【ゴール4】すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する 教育の中でも特に義務教育等の初等教育においては自治体が果たすべき役割は非常に大きいといえます。地域住民の知的レベルを引き上げるためにも、学校教育と社会教育の両面における自治体行政の取組は重要です。</p> |  | <p>【ゴール13】気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる 気候変動問題は年々深刻化し、既に多くの形でその影響は顕在化しています。従来の温室効果ガス削減といった緩和策だけでなく、気候変動に備えた適応策の検討と策定を各自治体で行うことが求められています。</p> |
|  | <p>【ゴール5】ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化(エンパワーメント)を行う 自治体による女性や子ども等の弱者の人権を守る取組は大変重要です。また、自治体行政や社会システムにジェンダー平等を反映させるために、行政職員や審議会委員等における女性の割合を増やすのも重要な取組といえます。</p> |  | <p>【ゴール14】持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する 海洋汚染の原因の8割は陸上の活動に起因していると言われています。まちの中で発生した汚染が河川等を通して海洋に流れ出ることがないように、臨海都市だけでなくすべての自治体で汚染対策を講じることが重要です。</p> |
|  | <p>【ゴール6】すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する 安全で清潔な水へのアクセスは住民の日常生活を支える基盤です。水道事業は自治体の行政サービスとして提供されることが多く、水源地の環境保全を通して水質を良好に保つことも自治体の大事な責務です。</p> |  | <p>【ゴール15】陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する 自然生態系の保護と土地利用計画は密接な関係があり、自治体が大きな役割を有するといえます。自然資産を広域に保護するためには、自治体単独で対策を講じるのではなく、国や周辺自治体、その他関係者との連携が不可欠です。</p> |
|  | <p>【ゴール7】すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する 公共建築物に対して率先して省エネや再エネ利用を推進したり、住民が省/再エネ対策を推進するのを支援する等、安価かつ効率的で信頼性の高い持続可能なエネルギー源利用のアクセスを増やすことも自治体の大きな役割といえます。</p> |  | <p>【ゴール16】持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する 平和で公正な社会を作る上でも自治体は大きな責務を負っています。地域内の多くの市民の参画を促して参加型の行政を推進して、暴力や犯罪を減らすのも自治体の役割といえます。</p> |
|  | <p>【ゴール8】包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する 自治体は経済成長戦略の策定を通して地域経済の活性化や雇用の創出に直接的に関与することができます。また、勤務環境の改善や社会サービスの制度整備を通して労働者の待遇を改善することも可能な立場にあります。</p> |  | <p>【ゴール17】持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる 自治体は公的/民間セクター、市民、NGO/NPOなどの多くの関係者を結び付け、パートナーシップの推進を担う中核的な存在になり得ます。持続可能な世界を構築していく上で多様な主体の協力関係を築くことは極めて重要です。</p> |
|  | <p>【ゴール9】強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る 自治体は地域のインフラ整備に対して極めて大きな役割を有しています。地域経済の活性化戦略の中に、地元企業の支援などを盛り込むことで新たな産業やイノベーションを創出することも貢献することができます。</p> | | |

第6次泉南市総合計画 基本計画体系

| 政策 | | 施策の目指すまちの姿 | 実施する主な取組 |
|------------------------|------------------------|--|---|
| 分野別政策1 『こども・子育て・教育』 | 施策1 人権尊重・平和・多文化共生 | 誰もがかけがえのない存在として、一人ひとりの人権を尊重し合うことができるまち | ① 人権尊重の推進 ② 恒久平和の理念の継承 ③ 多文化共生の推進 |
| | 施策2 男女平等参画・女性活躍 | 誰もが性別等に関わらず、あらゆる分野に参画し、活躍することができるまち | ① 男女平等参画社会実現に向けた環境づくり ② ワーク・ライフ・バランスの実現 ③ あらゆる暴力の根絶 |
| | 施策3 子育て支援 | 子どもや保護者が社会や地域に見守られ、子育て環境が充実し、安心して子育てができるまち | ① 保育環境の充実 ② 子育てしやすい環境の整備 ③ 子どもと保護者の健康づくりの推進 |
| | 施策4 就学前教育・学校教育 | 安全・安心な環境の中で、学力向上に取り組むことができ、子どもたちの笑顔と健康が守られるまち | ① 就学前教育の充実 ② 義務教育の充実 ③ 安全・安心な教育環境づくり |
| | 施策5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | 誰もが生涯学習と健康なからだづくりを楽しめる、心豊かな生活と学びを支えるまち | ① 生涯学習の推進 ② スポーツ活動の推進 ③ 青少年の健全育成 |
| | 施策6 歴史・文化 | 歴史的・文化的な地域資源に親しみをもち、郷土愛が育まれるまち | ① 歴史的資産の活用 ② 市民文化活動の充実 |
| 分野別政策2 『産業・経済』 | 施策7 農業・漁業 | 自然の恵みがいかされ、農業・漁業が活気にあふれるまち | ① 農漁業の振興 ② 農漁業の担い手確保・育成 |
| | 施策8 商工業 | 商工業の活性化が地域に活力を生み、笑顔とにぎわいにあふれるまち | ① 商工業の振興 ② 起業・創業の支援 |
| | 施策9 観光 | 地域資源がいかされ、人びとが行き交う観光・交流のまち | ① 観光の振興 ② 観光魅力のPR |
| | 施策10 雇用 | 新たな雇用の創出による就業機会の拡充と雇用環境の改善により、地元で安心して働くことができるまち | ① 雇用・就業支援の推進 ② 労働環境の充実 |
| 分野別政策3 『安全・防災・環境』 | 施策11 防災 | 災害による被害を地域の支え合いや民間企業等との連携で最小化し、誰もが安全・安心に暮らし続けられるまち | ① 防災体制の充実 ② 災害に強い地域づくり |
| | 施策12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策 | 犯罪と交通事故が少なく、子どもから高齢者まで安心して生活を送れるまち | ① 防犯対策の充実 ② 交通安全対策の推進 ③ 消費者トラブル対策の推進 |
| | 施策13 環境保全・脱炭素・エネルギー | ごみの排出が抑制され、河川や森林に配慮した環境にやさしいまち | ① 環境保全の推進 ② 脱炭素社会の実現 |
| | 施策14 道路・交通 | 主要拠点にアクセスしやすい交通網が整備され、誰もが快適・安全に移動しやすいまち | ① 道路環境の整備 ② 多様な交通手段の利用・導入促進 ③ 広域ネットワークの構築 |
| | 施策15 下水道・生活環境・住まい | 地域特性をいかした土地利用が促進され、自然環境とも調和した魅力的なまちなみを有し、多様なニーズに対応した快適で住みやすいまち | ① 下水道の整備 ② 都市再生の推進 ③ 住まいの提供 |
| 分野別政策4 『高齢者・障害者・福祉』 | 施策16 医療・健康 | 誰もがいきいきと健康に暮らせるまち | ① 安心できる医療環境づくり ② 健康づくりの推進 |
| | 施策17 地域福祉・困窮者対策 | 誰もが取り残されることない、やさしさあふれる支えあいのまち | ① 地域共生社会の実現 ② 生活困窮者福祉の充実 |
| | 施策18 高齢者福祉 | 健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく暮らし続けられるまち | ① 地域包括ケアシステムの推進 ② 介護予防の推進 ③ 持続可能な介護サービスの充実・強化 |
| | 施策19 障害福祉 | 障害のある人への社会的な障壁を取り除く必要なサービスや支援により、住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるまち | ① 共生に向けた啓発の充実 ② 身近な地域で暮らすための支援 ③ 自立と社会参加の支援 |
| 総合的政策 『まちづくり』 | 施策20 協働・コミュニティ | 地域住民がコミュニティで気軽に集い、交流と助け合いがあるまち | ① 市民参画・協働の推進 ② 地域コミュニティづくりの推進 |
| | 施策21 シティプロモーション | 市民がまちへの愛着や誇りをもち、魅力にあふれ、持続的に発展していくまち | ① インナープロモーションの推進 ② アウタープロモーションの推進 |
| | 施策22 情報政策（DX） | 誰一人取り残さない、デジタルでつながる便利で安全・安心なまち | ① 情報政策の推進 ② デジタルリテラシーの向上 |
| | 施策23 行財政運営 | 持続可能で安定した行政サービスを受けられるまち | ① 組織の適正化と人材の育成 ② 健全な財政運営 |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------------|--|------|----------|------|-------------------------------|------|------|------|--|
| 分野別政策 | 1 | 『ひと』を育てる・輝かせる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | ①人権尊重の推進 ◇市民や企業に対する人権に関する啓発活動の実施や、指導者の養成、情報収集・提供の充実を推進します。 ◇人権に関わる相談窓口や人権救済・保護に係る仕組の充実や、関係機関との連携強化を図ります。 ◇児童生徒が人権の意義や内容、重要性を理解できるよう、教職員への研修等を通じた人権教育・人権保育の向上を図ります。 ◇「泉南市子どもの権利に関する条例」に基づき、関係機関の連携による子どもの権利擁護をはじめとした施策や虐待防止等の取組を推進します。 ②恒久平和の理念の継承 ◇非核平和の集い・8月の非核平和月間等、市民に対する恒久平和の理念の啓発を行います。 ◇戦争の惨禍や悲慘さを伝えることにより、戦争を知らない世代へ生命の大切さや平和の尊さを学ぶ機会を提供します。 ③多文化共生の推進 ◇市役所や公共施設における外国人相談窓口の充実や、外国人住民の地域活動参加促進のための多言語による情報提供を行います。 ◇国際交流組織の育成・支援や外国人留学生のホームステイ促進等、国際交流に関わる取組の充実を図ります。 ◇国際化への意識啓発や国際理解教育を推進します。 |
| 施策 | 1 | 人権尊重・平和・多文化共生 |  | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 誰もがかけがえない存在として、一人ひとりの人権を尊重し合うことができるまち | | | | | | | | | | |
| | 性別や年齢、国籍等を問わず、市民一人ひとりがそれぞれ個性と能力を発揮しながら、お互いを認め合い、共に暮らすことができ、活躍することができる人権尊重・平和・多文化共生のまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値(R3) | | 目標値(R14) | | 備考 | | | | |
| | 人権問題に関して理解が深まった人の割合 | | 83.0% | | 88.0% | | 人権に関する講座・講演会等の参加者のアンケート結果の平均値 | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | |
| | 備考 | | | | | | | | | | |
| | 毎年の実績値を記入 | | | | | | | | | | |
| 目標 | 85.5 | 86.0 | 86.5 | 87.0 | 87.5 | 88.0 | 特記事項があれば記入 | | | | |
| 実績 | 87.0 | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 104.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所管部局】 | | | | | | | | | | | |
| 当該年の実績値に関する説明または特記事項等を記入 | | | | | | | | | | | |
| 1-1-① 人権啓発事業【行政経営部】 1-1-① 総合相談事業【行政経営部】 1-1-① 地域共生のまちづくり推進事業【行政経営部】 1-1-① 教職員人権教育事業【教育部】 1-1-① 人権教育推進事業【教育部】 1-1-① 子どもの権利に関する条例推進事業【教育部】 1-1-② 平和事業【行政経営部】 1-1-③ 国際化推進事業【行政経営部】 1-1-③ JETプログラム事業【教育部】 | | | | | | | | | | | |
| 当該年の掲載事業をを記入 | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 事業の概要を簡潔に記入 ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 ○ 主な取組 ① 人権尊重の推進 | | 新規・継続、ソフト・ハード・市単独の区分を | | 事業区分 新規 ○ 継続 ○ ソフト ○ ハード ○ 市単独 ○ | | 事務事業に関する活動指標 指標名 人権問題に関して理解が深まった人の割合 各年の目標値を記入 目標値 目標 84.5 85.0 85.5 86.0 86.5 87.0 87.5 88.0 単位 % 実績 達成率 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 達成度 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 人権啓発事業 <事業概要> 市民との協働のもと、様々な人権課題について啓発活動を推進することにより、市民の人権意識の高揚をはかり、もってすべての人の人権が尊重される社会の実現をめざす。 | | 事業に関連するSDGs | | 予算上の会計区分、事業コード等を記載 款項目 2 1 12 細目 04-人権啓発事業 (関係法令・市条例・計画等) 泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン | | 関連する法令・市条例・計画等を記載 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の概要を簡潔に記入 | | 関連するSDGsのアイコンを貼付 | | 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---------|--|--|--|--------------|--|---|--|---------|--|
| 主な事業内容 ・憲法週間「市民の集い」の実施(●回、延べ●人参加) ・人権週間「市民の集い」の実施(●回、延べ●人参加) ・人権啓発リーダー養成講座の実施(●回、延べ●人参加) ・ヒューマンライツセミナーの実施(●回、延べ●人参加) ・各校区の集い(●地区、延べ●人参加) | | 令和6年度(令和6年3月) ・憲法週間「市民の集い」の実施 ・人権週間「市民の集い」の実施 ・人権啓発リーダー養成講座の実施 ・ヒューマンライツセミナーの実施 ・各校区の集い 令和6年度版の実施計画の事業計画を転記 | | | | 令和7年度 ・憲法週間「市民の集い」の実施 ・人権週間「市民の集い」の実施 ・人権啓発リーダー養成講座の実施 ・ヒューマンライツセミナーの実施 ・各校区の集い 事業計画について、事業項目と具体的取組を記載。(下段の「方向性」の内容を踏まえた取組とする) | | | | 令和8年度以降 令和8年度 ・各種セミナーの精査・統合 ・各校区の集い(○校区・○校区にて実施) 令和9年度 ・人権啓発リーダー養成講座の実施、リーダー報告会の実施 ・各校区の集い(全校区にて実施) | | | |
| 事業の財源 右欄の内訳を記載 決算額は自動計算 | | 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 100千円 市債 0千円 その他 50千円 | | 3,150千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 100千円 市債 0千円 その他 50千円 | | 3,150千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 100千円 市債 0千円 その他 50千円 | | 3,150千円 | |
| 決算書の該当ページを記載 決算書ページ 10ページ | | 一般財源 3,000千円 | | 3,000千円 | | 予算書ページ 10ページ | | 一般財源 3,000千円 | | 3,000千円 | | 10ページ | |
| 職員数/人件費 正職員 3.50人 正職員以外の その他職員 0.55人 20,006千円 | | 事業に携わる職員数を記載 | | 人件費を記載 | | 方向性 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|---|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 <成果・課題> 各種研修、講座等の機会を通じ、市民の人権意識高揚のための取組を推進しているが、参加者の減少、固定化が進んでおり、開催方法、参加方法(リモート等)の工夫を含めた検討が必要。 実施状況を踏まえた成果・課題を記載 Check 3 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 人権研修のテーマをインターネット上の人権に特化するなど、現状やニーズに即した内容とすることで、新たな参加者の掘り起こしを図る。また、オンライン形式での参加も可能とする。 市民ニーズや地域の人権課題を的確に把握するため、市民意識調査を実施し、次年度の人権行政推進プランの策定につなげる。 成果・課題を踏まえた具体的な改善内容を記載 | | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 縮小 改善内容を踏まえた事業の方向性を選択 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 策定する人権行政推進プランに基づき、充実を図る事業、新規事業等により、事業費の増を見込む 次々年度以降の方向性について財源や人員内容等を含め具体的に記載 | | 備考 | |
|--|--|---|--|---|--|---|--|----|--|

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------------|--|------|---------|------|------|------|----------|------|------|----|--|-------------------------------|--|--|--|
| 分野別政策 | 1 | 『ひと』を育てる・輝かせる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①人権尊重の推進 ◇市民や企業に対する人権に関する啓発活動の実施や、指導者の養成、情報収集・提供の充実を推進します。 ◇人権に関わる相談窓口や人権救済・保護に係る仕組の充実や、関係機関との連携強化を図ります。 ◇児童生徒が人権の意義や内容、重要性を理解できるよう、教職員への研修等を通じた人権教育・人権保育の向上を図ります。 ◇「泉南市子どもの権利に関する条例」に基づき、関係機関の連携による子どもの権利擁護をはじめとした施策や虐待防止等の取組を推進します。 ②恒久平和の理念の継承 ◇非核平和の集い・8月の非核平和月間等、市民に対する恒久平和の理念の啓発を行います。 ◇戦争の惨禍や悲惨さを伝えることにより、戦争を知らない世代へ生命の大切さや平和の尊さを学ぶ機会を提供します。 ③多文化共生の推進 ◇市役所や公共施設における外国人相談窓口の充実や、外国人住民の地域活動参加促進のための多言語による情報提供を行います。 ◇国際交流組織の育成・支援や外国人留学生のホームステイ促進等、国際交流に関わる取組の充実を図ります。 ◇国際化への意識啓発や国際理解教育を推進します。 | | | | |
| 施策 | 1 | 人権尊重・平和・多文化共生 |  | | | | | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 誰もがかけがえない存在として、一人ひとりの人権を尊重し合うことができるまち | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 性別や年齢、国籍等を問わず、市民一人ひとりがそれぞれ個性と能力を発揮しながら、お互いを認め合い、共に暮らすことができ、活躍することができる人権尊重・平和・多文化共生のまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | | | | 備考 | | | |
| | 人権問題に関して理解が深まった人の割合 | | | | 83.0% | | | | 88.0% | | | | | 人権に関する講座・講演会等の参加者のアンケート結果の平均値 | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | | | | | |
| | 目標 | 83.5 | 84.0 | 84.5 | 85.0 | 85.5 | 86.0 | 86.5 | 87.0 | 87.5 | 88.0 | | | | | | |
| 実績 | 87.0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 104.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所管部局】 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-1-① 人権啓発事業【行政経営部】 1-1-① 総合相談事業【行政経営部】 1-1-① 子ども政策事業【健康子ども部】 1-1-① 子どもの権利擁護事業【健康子ども部】 1-1-① 教職員人権教育事業【教育部】 1-1-① 人権教育推進事業【教育部】 1-1-② 平和事業【行政経営部】 1-1-③ 国際化推進事業【行政経営部】 1-1-③ JETプログラム事業【教育部】 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|----------------|--------------|---|-------------------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 | | 新規 | | 担当課名 | 人権推進課 | | 指標名 人権問題に関して理解が深まった人の割合 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ① 人権尊重の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | |
| 事務事業名 人権啓発事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 12 | 目標 | 83.5 | 84.0 | 84.5 | 85.0 | 85.5 | 86.0 | 86.5 | 87.0 | 87.5 | 88.0 | % | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 04-人権啓発事業 | | | 実績 | 87.0 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 市民との協働のもと、様々な人権課題について啓発活動を推進することにより、市民の人権意識の高揚をはかり、もってすべての人の人権が尊重される社会の実現をめざす。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 104.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---|---------|--|-----|--|-------|--|-----|-----|-----|--------|--------|------|---------|---------|-----|-------|-----------------|-------|----------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1. 人権啓発事業 ①「市民の集い」における街頭啓発実施(4駅2回)、ティッシュ配布2000個×2回=4000個 ②憲法週間「市民の集い」の実施(参加者130人)、アンケート回収率71%(92人) ③人権週間「市民の集い」の実施(参加者363人、アンケート回収率71%(257人)) ④人権啓発リーダー養成講座の実施(2回、延べ36人参加) ⑤ヒューマンライツセミナーの実施(2回、延べ40人参加) ⑥各校区の集い(参加者合計3,879人) ・信達校区(610人)、雄信校区(179人)、樽井校区(632人)、東校区(147人)、西信達校区(344人)、砂川校区(547人)、一丘校区(232人)、新家校区(488人)、鳴滝校区(中止)、泉南中校区(486人)、信達中校区(214人) | | 令和6年度(令和6年3月) ・憲法週間「市民の集い」の実施 ・人権週間「市民の集い」の実施 ・人権啓発リーダー養成講座の実施 ・ヒューマンライツセミナーの実施 ・各校区の集い | | 令和7年度 ・憲法週間「市民の集い」の実施 ・人権週間「市民の集い」の実施 ・人権啓発リーダー養成講座の実施 ・ヒューマンライツセミナーの実施 ・各校区の集い | | 令和8年度以降 ・憲法週間「市民の集い」の実施 ・人権週間「市民の集い」の実施 ・人権啓発リーダー養成講座の実施 ・ヒューマンライツセミナーの実施 ・各校区の集い | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 2,920千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 86千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 決算書ページ | 173ページ | 一般財源 | 2,834千円 | 職員数/人件費 | 正職員 | 1.82人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 14,154千円 |
| | | 予算額 | 3,303千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 412千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 予算書ページ | 161ページ | 一般財源 | 2,891千円 | 方向性 | | | | | |
| | | 予算額 | 3,053千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 280千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 予算書ページ | 161ページ | 一般財源 | 2,773千円 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|---|--|----------|--|-------------------|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> ここ数年コロナ禍により、これまでと同様の啓発活動ができていなかったが、令和5年度についてはほぼ予定通り活動を実施することができた。(鳴滝校区についてはインフルエンザのため急遽中止。)ただ、市民の集いについては大会場での実施となるため、まだ参加控えの傾向が見られたが、会場運営については、客席の距離を保つ等配慮は継続して行った。街頭啓発はコロナ禍以降初めて実施したが、予想以上に啓発物品(ティッシュ)を手にとってもらえ、その結果集いに参加してくれたという人もあった。(参加者アンケートより)校区人権協については、長年鳴滝校区の組織がなかったが、令和5年度ようやく設立することができたのは、大きな成果である。また、校区の集いについては、小学校だけでなく中学校区での取組も追加し、今後小中学校再編に向けた地域間同士の交流が持てる機会をつくった。ただ、地域住民・PTAの参加が少ない校区もあり、まず参加してもらえるような工夫を検討する必要がある。 | | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 市民の集いについては、昨年映画上映を行ったが、令和6年度については、できるだけ若い世代にも参加してもらえるよう、様々な手法による企画内容を検討するとともに、広報についてもSNSを活用するなど、これまで以上に積極的に行う。 また、校区の集いについては、地域住民・PTAの参加を増やすため、学校にも協力していただき、例えば参観日に集いの日程を合わせるなど、市民が参加しやすい時期を調整するとともに、テーマについても学校・PTAと協力しながら検討していく。 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 |
| Check 3 | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | | | | | |
| | | 1 現状維持 | | 小学校区の集いについては、子育て世代のPTAが参加しやすい機会となるよう、引き続き参観日に集いの日程を合わせる等、市民が参加しやすい日程・テーマについて検討していく。また、中学校区の集いについては全中学校で実施できるよう、校区人権協・学校・PTAと相談しながら、限られた予算・人員の中において、啓発事業が実施できるよう検討する。 | | | | | | | | | |
| | | 2 見直して継続 | | 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 | | | | | | | | | |
| | | 3 休止・廃止 | | | | | | | | | | | |
| | | 4 完了 | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|----------------|--------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 | | 新規 | | 担当課名 | 人権推進課 | | 指標名 積極的な働きかけによる相談件数 | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 人権尊重の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 総合相談事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 2 | 1 | 12 | 目標 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 回 | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 09-総合相談事業 | | 実績 61.0 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 人権相談、地域就労支援、進路選択支援、生活相談など市民が一人で悩まず相談できる体制を整備するとともに、相談を通じて人権課題の現状を把握する。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 87.1% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | | | | | | |
| | | 泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン | | | 達成度 A | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|--|--|---|--|--|
| 主な事業内容 | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| 1. 人権相談所の開設日数: 244日 2. 相談件数: 人権相談12件、地域就労支援217件、進路選択支援8件、生活相談240件 3. 積極的な働きかけによる相談 ①アウトリーチ: 1件<地域において、相談できずにいる対象者を発見し、相談員から積極的に働きかけ、その課題を確認し対応すること> ②ケース検討会議: 29件<対象者の抱える課題への対応策に関し、関係機関を集めて当該ケースへの対応方針を検討するための会議> ③フォローアップ: 0件<一旦「既相談者」に相談員からの働きかけで電話や訪問などによりその後、課題の改善がみられなかったため、改めて当該課題の解決に向けた相談対応を行うこと> ④寄り添い: 26件<解決し難い事案について、相談員等と一緒に、関係機関へ出向き相談対応すること> ⑤出張相談: 5件<相談者の状況により、来所が困難である場合に、相談員等が相談者の自宅等に出向いて相談対応すること> | | ・人権相談所の開設 ・事業に応じた適切な関係機関とのケース検討会議、紹介、取り次ぎ等の実施 | | | ・人権相談所の開設 ・積極的な働きかけによる相談 ①アウトリーチ<地域において、相談できずにいる対象者を発見し、相談員から積極的に働きかけ、その課題を確認し対応すること> ②ケース検討会議<対象者の抱える課題への対応策に関し、関係機関を集めて当該ケースへの対応方針を検討するための会議> ③フォローアップ<一旦「既相談者」に相談員からの働きかけで電話や訪問などによりその後、課題の改善がみられなかったため、改めて当該課題の解決に向けた相談対応を行うこと> ④寄り添い<解決し難い事案について、相談員等と一緒に、関係機関へ出向き相談対応すること> ⑤出張相談<相談者の状況により、来所が困難である場合に、相談員等が相談者の自宅等に出向いて相談対応すること> | | | ・人権相談所の開設 ・積極的な働きかけによる相談 ①アウトリーチ<地域において、相談できずにいる対象者を発見し、相談員から積極的に働きかけ、その課題を確認し対応すること> ②ケース検討会議<対象者の抱える課題への対応策に関し、関係機関を集めて当該ケースへの対応方針を検討するための会議> ③フォローアップ<一旦「既相談者」に相談員からの働きかけで電話や訪問などによりその後、課題の改善がみられなかったため、改めて当該課題の解決に向けた相談対応を行うこと> ④寄り添い<解決し難い事案について、相談員等と一緒に、関係機関へ出向き相談対応すること> ⑤出張相談<相談者の状況により、来所が困難である場合に、相談員等が相談者の自宅等に出向いて相談対応すること> | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | | 予算額 | | | 予算額 | | |
| 10,230千円 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 6,363千円 市債 0千円 その他 0千円 | | | 10,230千円 国庫支出金 0千円 府支出金 6,600千円 市債 0千円 その他 0千円 | | | 11,388千円 国庫支出金 0千円 府支出金 7,475千円 市債 0千円 その他 0千円 | | |
| 決算書ページ 174ページ | | 一般財源 3,867千円 | | | 予算書ページ 163ページ | | | 一般財源 3,913千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.24人 正職員以外のその他職員 0.00人 1,866千円 | | | 職員数/人件費 | | | 正職員 0.24人 正職員以外のその他職員 0.00人 1,866千円 | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | |
|---|--|---|--|----------|---|--|----|
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| <成果・課題> 相談件数については、令和4年度と比較して若干減少しているが、「積極的な働きかけによる相談」については、大幅に増加した。相談の周知についても、連絡先を記載したチラシや啓発物品をポスティングしているが、さらなる工夫が必要と考える。 Check 3 | | <改善内容> 行政・地域NPOと連携し、相談ニーズが高いと予想される対象者への働きかけを積極的にするとともに、受け身の相談機関にならないよう、様々な機関と連携を図るよう努める。 | | 1 現状維持 | 事業の方向性 ○ 事業の方向性と取組の内容 相談件数が減少すると、大阪府からの交付金の減額が予想される。丁寧な相談窓口の広報活動による相談件数の増加を見込むとともに、「積極的な働きかけによる相談」にも取り組むことで、安定した事業の継続を図る。その結果、地域住民の困りごとを総合的に対応できる事業とする。 | | |
| | | | | 2 見直して継続 | | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | | |
| | | | | 4 完了 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----------------------------------|---|----------------|------------|-----|-----|------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 子ども政策課 | | | 指標名 | 研修受講者数 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 人権尊重の推進 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 子ども政策事業 | | ソフト | ○ | | 予算 | 款項目 | 3 | | 2 | 5 | 目標 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | | 20 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 03-子ども政策事業 | | | 目標値 | 実績 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 子どもの権利条約及び泉南市子どもの権利に関する条例の認識と理解を深め、子どもの最善の利益の実現に努めるもの。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | | 子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)、泉南市子どもの権利条例 | | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-------|-----------------|---|---------|-----|---|---------|------|---------|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | | |
| | 泉南市子どもの権利に関する条例についての理解と認識を深めるため、職員を対象とした研修を実施する。また、子どもにやさしいまちを推進するために、子どもの権利条例委員会にて市の事業を検証する。子ども権利条例を基盤とした、泉南市第3期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、次世代育成支援対策地域行動計画策定委員会で計画策定にかかる事項を検討する。 | | | 泉南市子どもの権利に関する条例についての理解と認識を深めるため、職員と市民を対象とした研修を実施する。また、子どもの権利条例委員会からの市の事業検証を受け、いただいた提言を基に子どもにやさしいまちを推進する。子どもの権利条例を基盤とした、泉南市こども計画の進捗管理について検証する。 | | | 泉南市子どもの権利に関する条例についての理解と認識を深めるため、職員と市民を対象とした研修を実施する。また、子どもの権利条例委員会からの市の事業検証を受け、いただいた提言を基に子どもにやさしいまちを推進する。子どもの権利条例を基盤とした、泉南市こども計画の進捗管理について検証する。 | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 0千円 | 予算額 | 11,959千円 | 1,833千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |
| | 国庫支出金 | | 国庫支出金 | 0千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 |
| | 府支出金 | | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | 市債 | | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | その他 | | その他 | 9,878千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 1,833千円 | 一般財源 | 1,833千円 |
| | 決算書ページ | | 予算書ページ | 220ページ | 222ページ | | | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.00人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 0千円 | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|---------|-------------|----------|-------------------|--------------|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | | <改善内容> | | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | |
| | | | | 1 現状維持 | | |
| | | | | 2 見直して継続 | | |
| | | | | 重点化 | | |
| | | | | 手段改善 | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | |
| | | | | 規模縮小 | | |
| | | | | 事業統合 | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | |
| | | | | 4 完了 | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|--------------|-----------------------------------|---------------|---|---|----|---------------------------------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 子ども政策課 | | | | | 指標名 相談救済機関の認知度(小学生・中学生) | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 人権尊重の推進 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | | | | R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 子どもの権利擁護事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 3 | 2 | 5 | 目標 | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs (枠外からアイコンを選択する) | | ハード | | | 細目 | 04-子どもの権利擁護事業 | | | | | 実績 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 子どもの声を直接聴き、子ども自身が必要としている相談や救済の申立てを受けること。また必要に応じて調査を行い、その結果、必要と認めるときに関係機関に対して、是正措置を講じるよう、勧告や制度の改善等を行い、子どもの権利擁護を図る。 | | 市単独 | | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)、泉南市子どもの権利条例 | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|-----------|--|--|--|--------|--|---|--|-----|--|---------|--|--------|--|-----|--|---------|--|---------|--|-----|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 救済制度の仕組みについて、学校等に訪問し広報・啓発を行い、どのような制度かをわかりやすく伝え、相談がしやすくなる環境を整え、相談救済事業を開始する。 | | | | 救済制度の仕組みについて、学校等に訪問し広報・啓発を行い、どのような制度かをわかりやすく伝え、相談がしやすくなる環境を整え、相談救済事業の充実を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | | | | | | | | | 0千円 | | 予算額 | | 0千円 | | 5,361千円 | | 1,767千円 | | 0千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.00人 | | 正職員以外の その他職員 0.00人 | | 決算書ページ | | 0千円 | | 0千円 | | 222ページ | | 222ページ | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | |
|--------------|--|---------|--|-------------|--|-------------------|--|--------------|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> | | 令和6年度の改善の取組 | | 備考 | | | |
| | | Check 3 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | |
| <改善内容> | | | | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | |
| | | 1 現状維持 | | 2 見直して継続 | | 3 休止・廃止 | | 4 完了 | |
| 重点化 | | | | | | | | | |
| 3 休止・廃止 | | 4 完了 | | 効率化(コストダウン) | | 規模縮小 | | 事業統合 | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|------|----------------|--------------|------|------|------|------|------|------|----|--|----|----|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 | | 新規 | | 担当課名 | 人権国際教育課 | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 人権尊重の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 教職員人権教育事業 | | ソフト | ○ | 算 | 科目 | 9 | 1 | 5 | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 02-教職員人権教育事業 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 教職員等が人権課題について正しく認識し、人権感覚を高められるよう、教職員を対象として研修を実施する。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | |
|  | | 泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権保育基本方針、教育振興基本計画 | | | | | | | | | | | | | | |
| 指標名 人権教育指導者育成講座・人権保育教育講座参加者の満足度(5段階評価) | | 目標値 実績 | | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | | |
| 目標 | | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | | | | | |
| 達成率 | | 112.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | |
| 達成度 | | A | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|---|--|
| 主な事業内容 教職員等が人権課題について正しく認識し、人権感覚を高められるよう、教職員を対象として研修を実施する。 ・人権教育指導者育成講座の実施(7/26実施 145人参加) ・人権保育教育講座(1/5実施 26人参加) ・初任者人権研修(6/15実施 55人参加) ・人権保育担当者会(年間2回) ・人権教育担当者会(年間2回) ・人権教育に関するヒアリング(年間2回・16校園) | | 令和6年度(令和6年3月) 1 教職員人権教育事業 ・人権教育指導者育成講座の実施 ・人権保育教育講座 ・初任者人権研修 ・人権保育担当者会(年間2回) ・人権教育担当者会(年間2回) ・人権教育に関するヒアリング(年間2回・16校園) | | 令和7年度 1 教職員人権教育事業 ・人権教育指導者育成講座の実施 ・人権保育教育講座 ・初任者人権研修 ・人権保育担当者会(年間2回) ・人権教育担当者会(年間2回) ・人権教育に関するヒアリング(年間2回・16校園) | | 令和8年度以降 1 教職員人権教育事業 ・人権教育指導者育成講座の実施 ・人権保育教育講座 ・初任者人権研修 ・人権保育担当者会(年間2回) ・人権教育担当者会(年間2回) ・人権教育に関するヒアリング(年間2回・16校園) | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 1,245千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 1,391千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 1,361千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 1,361千円 | |
| 決算書ページ 288ページ 一般財源 1,245千円 | | 予算書ページ 329ページ 一般財源 1,391千円 | | 予算書ページ 336ページ 一般財源 1,361千円 | | | |
| 職員数/人件費 正職員 0.66人 正職員以外のその他職員 0.00人 5,133千円 | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---|--|---|--|-------------------------------|--|----|--|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 主催した研修については、概ね高評価を受けており、個人人権課題に係る人権意識の涵養(かんよう)につながった。 今後もすべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するため、一人ひとりの人権尊重の精神の涵養(かんよう)を図ることが不可欠であり、人権教育・啓発を継続して実施する必要がある。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ](平成20年3月文部科学省)」で求められている三側面※や、個人人権課題に関する学習をバランスよく配置することが求められている。毎年度各校園で総括をしていく中で、三側面のバランスを考えた取組の実施が進んでいくが、引き続き指導助言を行うことで各校園に意識してもらい取組の充実につなげていく。 ※「三側面」とは知識的側面(人権の歴史、意義・重要性を知識として知ること)、価値態度的側面(知識を意欲や行動に結びつけるための価値や態度の育成を図ること)、技能的側面(人権問題を感じ取り、合理的・分析的に考えて他者へ伝える技能の育成を図ること)で、これらを全面的・調和的に発達させるように働きかけ、促進することが、人権教育の具体的な課題となる。 | | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| | | 1 現状維持 ○ | | 令和5年度に改訂した人権保育・教育推進プランに基づき、人権教育指導者育成講座、人権保育教育講座を実施するとともに、各校園での教職員研修での指導助言を行う。 | | | | | |
| | | 2 見直して継続 | | | | | | | |
| | | 重点化 | | | | | | | |
| | | 手段改善 | | | | | | | |
| | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | |
| | | 規模縮小 | | | | | | | |
| | | 事業統合 | | | | | | | |
| | | 3 休止・廃止 | | | | | | | |
| | | 4 完了 | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|----------------|------------------------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 | | 新規 | | 担当課名 | 子どもの権利について知っている児童生徒の割合 | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 人権尊重の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 人権教育推進事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 | 1 | 5 | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 03-人権教育推進事業 | | | | | | | | | | |
| 各学校園において、児童生徒・保護者・保育士教職員・市民に対して人権教育・人権教育・キャリア教育推進のための学習活動や研修会を行う支援を行う。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | |
|  | | <small>泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権教育基本方針、泉南市子どもの権利に関する条例、教育振興基本計画</small> | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|-----------------------|-------------------------------|--|---|--|--------|--|---|--|---------------|--|------------|--|-----|--|-----------|--|----------|--|--------|--|---------|--|---------------|--|--------------|--|
| 主な事業内容 | ○人権教育・人権教育に関する学習活動(研修会)の実施回数 13回 | | ○キャリア教育に関する学習活動(研修会)の実施回数 18回 | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ※令和5年度実施「子どもの権利に関する条例推進事業」を統合 ○各学校園における人権教育・人権教育・キャリア教育を推進するための学習活動(研修会)の実施支援 ○泉南市子どもの権利に関する条例第5条「せんなん子ども会議」の運営支援 ○泉南市子どもの権利に関する条例第5条「子どもの権利に関する学習と教育」の充実 | | | | ○各学校園における人権教育・人権教育・キャリア教育を推進するための学習活動(研修会)の実施支援 ○泉南市子どもの権利に関する条例第5条「せんなん子ども会議」の運営支援 ○泉南市子どもの権利に関する条例第8条「子どもの権利に関する学習と教育」の充実 | | | | ○各学校園における人権教育・人権教育・キャリア教育を推進するための学習活動(研修会)の実施支援 ○泉南市子どもの権利に関する条例第5条「せんなん子ども会議」の運営支援 ○泉南市子どもの権利に関する条例第8条「子どもの権利に関する学習と教育」の充実 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | | 国庫支出金 0千円 | | 府支出金 0千円 | | 市債 0千円 | | その他 0千円 | | 決算書ページ 288ページ | | 一般財源 837千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 0千円 | | 府支出金 0千円 | | 市債 0千円 | | その他 0千円 | | 予算書ページ 336ページ | | 一般財源 2,498千円 | |
| | 837千円 | | 1,506千円 | | 2,498千円 | | 329ページ | | 1,506千円 | | 336ページ | | 2,498千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 0.92人 | 正職員以外の その他職員 0.00人 | 7,155千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|---|---|---|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | 令和4年度まではコロナ禍の状況が続いていたため、なかなか各学校園での出会い学習や校内研修を大人数で実施しにくい状況だったが、少しずつコロナ前に行われていた形式の学習会や研修会を実施できるようになった。引き続き、様々な学校園で子どもたちの人権教育・人権教育・キャリア教育に関する学習活動や研修会を実施できるように、さまざまな講師を探していく必要がある。 | <改善内容> 学校園のニーズに合わせた講師に来てもらうことができるよう、必要な情報の共有に努める。 子どもがより主体的に参加し、自らの意見を表明できる場の設定を行う。また、行政各課とも協力し、子どもの声をまちづくりにいかす仕組みとしてさらに取組を進展させていく。 また、子どもの権利についての認知度の向上を目指し、各校園所への指導助言を積極的に行うと共に、教職員研修・保護者研修の充実を図る。 | 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 ○ 3 休止・廃止 4 完了 | 学校園のニーズに合わせた講師に来てもらうことができるよう、必要な情報の共有と予算の確保に努める。 「せんなん子ども会議」において、子どもが発案し市長に報告した施策の実現支援を行政各課と連携して行う。 また、「せんなん子ども会議」の活動内容を、子どもの権利に係る教職員研修や保護者研修において広く周知する。 | | |
| Check 3 | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|------------------|---------|---|----|--------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 | | 新規 | | 担当課名 | 人権推進課 | | | | 指標名 非核平和の集い参加者数 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 恒久平和の理念の継承 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 平和事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 12 | 目標値 実績 | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 06-平和事業 | | | | 達成率 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 非核平和都市宣言都市として、世界の恒久平和の実現をめざし、市民一人ひとりが「平和の尊さ」についての意識向上をめざす。 | | 市単独 | | ○ (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|-----------------------|-----------|---------------|---|------------|-----------|---------------|---|------------|-----------|--|
| 主な事業内容 | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| | ・「非核平和の集い」の実施映画「この世界の片隅に」上映(参加者177人、アンケート回収率87%(154人) ・本庁ロビーにて非核平和のビデオ上映(8/1~8/15) ・市役所の壁面に懸垂幕、のぼりの掲示(8/1~8/31) | | | | ・8月に「非核平和の集い」の開催、非核平和のビデオ上映・市役所の壁面に懸垂幕の掲示 | | | | ・8月に「非核平和の集い」の開催、非核平和のビデオ上映・市役所の壁面に懸垂幕の掲示 | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | | 国庫支出金 0千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 0千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 0千円 | |
| | 270千円 | | 府支出金 0千円 | | 373千円 | | 府支出金 0千円 | | 373千円 | | 府支出金 0千円 | |
| 決算書ページ 173ページ | | 一般財源 270千円 | | 予算書ページ 162ページ | | 一般財源 373千円 | | 予算書ページ 161ページ | | 一般財源 373千円 | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 0.12人 | 正職員以外の その他職員 0.16人 | 1,454千円 | | 方向性 | | | | | | | |

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|---|---|---|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | 戦争は、今まさに世界で起きている現状において、過去の話ではないということを、若い世代にも分かっていただくため、若い世代にも参加していただけるような内容を検討した。結果、アニメ作品を上映することで、子どもと一緒に参加する保護者も多く、例年より若い世代の参加者増加につながった。 戦争を実際に経験した人が少なくなり、戦争体験を生の声で伝えることが困難となる中、平和の尊さや命の大切さについて、若い世代へどのように語り継いでいくかのさらなる検討が必要である。 | <改善内容> 非核平和の集いについては、まだまだ多くの参加者に来ていただけたよう、内容の検討や周知も早くから行うような工夫をする。今年度の集いについては、戦争時代の保育園疎開をテーマとした映画を上映し、周知についても若い世代の参加につながるような広報を行う。 また集いだけでなく、市民が平和を考える新たな取組の検討も行う。 | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 市内2か所(市役所・図書館)に設置している非核平和都市宣言のモニュメントが劣化している。 平和のシンボルでもあり、市民からの意見もあつて、劣化部分の塗り替えなど修理を行い、さらなる平和事業の強化を行う。 | | |
| Check 3 | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------------|------|----------------|------------|-----|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------------------|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 | | 新規 | 担当課名 | 政策推進課 | | 指標名 | 国際交流実績数 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ③ 多文化共生の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | 目標 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 交流実績(両市双方の関わりがあるもの) | |
| 事務事業名 国際化推進事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 9 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 回 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 17-国際化推進事業 | | 実績 | 2 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 関西国際空港を有する自治体として、外国人市民やインバウンドの増加に対応すべく、姉妹都市との連携による国際交流の機会を創出することで国際化および多文化共生のまちづくりを行う。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 200.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
|  | | 泉南市自治基本条例、泉南市国際化ビジョン | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--------|-----------------|---|---------|-------|---|--------|---------|------------------------------|-------|---------|
| 主な事業内容 | 令和5年度(令和5年3月) | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| | 令和5年4月25日フィリピン・ダバオ市使節団の受入れ、調印式及びビジネスツーリズムフォーラムを開催した。調印式にはダバオ使節団28名/ダバオ市行政13名/フィリピン領事館6名/泉南市側来賓国会議員等8名にご出席いただき、ビジネスツーリズムフォーラムについては、ダバオ市6社/泉南市17社の民間企業が参加した。 ①市内各小中学校でのオンライン交流の実施※ 小学校6校、中学校2校 計8校 (延べ参加人数365人) ②フィリピン料理風学校給食の提供 ③万博と関連したイベントの実施※(在大阪フィリピン領事館連携) ④姉妹都市ダバオへの渡航(令和5年8月16日-20日)(令和6年2月13日-17日)※ ⑤庁内英会話研修のトライアル実施(計4回) ⑥情報発信として市勢要覧の英語版の作成 ※印は万博推進事業で実施した内容 | | | ①姉妹都市との連携による市内でのイベントや学校園での交流等、国際交流の機会の創出 万博に通じた姉妹都市関連のイベント実施 姉妹都市受入 等 ②国際化ビジョン(平成5年9月策定)の改定 ③庁内英会話研修の実施 | | | ○姉妹都市ダバオ市との連携 ・国際交流機会の創出 ・姉妹都市関連のイベント実施 ○ダバオ市訪問 ・経済分野・教育分野における相互交流の強化 ○国際化ビジョン改訂 | | | 令和8年度以降 ○国際化ビジョンに沿った施策の展開 | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 |
| | 5,664千円 | 府支出金 | 0千円 | 639千円 | 府支出金 | 0千円 | 1,904千円 | 府支出金 | 0千円 | 1,904千円 | 府支出金 | 0千円 |
| | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 |
| | | その他 | 5,664千円 | | その他 | 639千円 | | その他 | 1,904千円 | | その他 | 1,904千円 |
| | 決算書ページ | 166ページ | 一般財源 | 0千円 | 155ページ | 一般財源 | 0千円 | 149ページ | 一般財源 | 0千円 | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.35人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 2,722千円 | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|---|---|---|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | 令和5年度において、本市では初めての海外姉妹都市協定の締結に至った。また、フィリピン・ダバオ市との姉妹都市協定をきっかけにあらゆる関係機関(フィリピン大使館及び領事館、現地学校、関連企業など)と連絡や情報共有を行うようになり、国際化事業を進めるうえでのネットワークの構築につながった。 姉妹都市協定締結以降は、大阪・関西万博の開催2年前ということもあり、万博に向けての機運醸成として本市独自の取組を実施したことにより、フィリピン・ダバオ市と姉妹都市協定締結の認知度向上につながった。 今後は、姉妹都市交流についての本市での位置づけや取組内容を検討していく必要がある。市内各小中学校でのオンライン授業の実施やダバオ市関連のイベントを実施することで市内の国際化に努める。 | <改善内容> 市内各小中学校でのオンライン授業を継続実施していくための制度設計の検討が必要である。また、大阪・関西万博まで1年となることから、関係課と連携し、万博の機運醸成に努めるとともに、万博後のレガシーの継承や本事業の展開についても検討する必要がある。 | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 国際化ビジョンの改定を行うことで、庁内全体の国際化に関する事業を推進する。また、庁内における国際化に資する人材の育成として、庁内英会話研修の継続やフィリピン・ダバオ市との姉妹都市について周知活動を行っていく。 | | |

Check 3

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|----------------|----------------------------|--|----|----|----|--|-----|-----|-----|-----|----|--|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 1 人権尊重・平和・多文化共生 | | 新規 | | 担当課名 | 児童生徒の国際交流内容の満足度評価(%)/90%以上 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ③ 多文化共生の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 備考 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 JETプログラム事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 9 | 1 | 4 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> JETプログラムを活用して全小中学校にALT(外国語指導助手)を1名以上配置することで英語教育の充実を図る。また、幼稚園・保育園所・認定こども園にCIR(国際交流員)を派遣することで幼児期からの国際交流を推進する。CIR/ALT/SEAを市民との交流のために派遣し・市内での国際交流を推進する。 | | 市単独 | ○ | 02-JETプログラム事業 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | |
| | | <small>泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権教育基本方針、泉南市子どもの権利に関する条例、教育振興基本計画</small> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 【翻訳・通訳(CIR)】(延べ184回) ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】(延べ374回) ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施 | | 令和6年度(令和6年3月) 【翻訳・通訳(CIR)】 ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】 ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施 | | | | 令和7年度 【翻訳・通訳(CIR)】 ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】 ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施 | | | | 令和8年度以降 【翻訳・通訳(CIR)】 ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】 ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施 | | | | | | | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 10,365千円 決算書ページ 287ページ 一般財源 7,612千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 12,384千円 予算書ページ 327ページ 一般財源 14,139千円 | | | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 12,096千円 予算書ページ 334ページ 一般財源 14,508千円 | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 正職員 0.98人 正職員以外の その他職員 1.00人 10,296千円 | | 方向性 | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 事務事業の改善内容 | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| <成果・課題> 翻訳した書類は増加しているが、令和4年度と同程度の翻訳を行い、市民サービスの向上を図ることができた。また、国際交流に関しては、令和4年度以上の回数を行い、児童生徒はもちろん、就学前施設に通う子どもや市民等にも国際交流活動や多文化共生に関する講義等も行った。翻訳を通して、外国にルーツのある市民へのサービス向上は一定の基盤が整いつつあるが、実際に悩みを抱えたときなどの相談窓口としての役割も果たせるように、支援の方策を考えていく必要がある。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 国際交流員が行う相談窓口の周知のため、学校園と連携し、保護者へ働きかける。国際交流活動は引き続き行うと同時に、令和6年度より開始したCIRによる多文化理解講座についてもよりよい周知の方法を考え、市民への更なる普及に努める。 | | | | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | | | | | | |
| Check 3 | | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | | | 事業の方向性と取組の内容 姉妹都市であるフィリピン・ダバオ市との連携もあり、国際交流の必要性は増すことが予想される。そのような中で、JETプログラムの特性上、CIRの任期が終了し、新しいCIRの雇用の時期となる。そのため、業務の引継ぎはもちろんのこと、本市のさらなる多文化共生の推進のためにより密な学校園や地域との連携強化が必要となる。市民向けや学校園での国際交流活動に引き続き重点を置き取り組む。 | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|-------------------------------------|---------------|---|------|------|------|------|-----------|------|------|------|--|--|
| 分野別政策 | 1 | 『ひと』を育てる・輝かせる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①男女平等参画社会実現に向けた環境づくり ◇すべての人が性別に関わらず活躍できる社会を目指すため、男女平等参画に関する啓発活動や教育を推進します。 ◇あらゆる人が自分らしく暮らすことができる地域社会づくりに向け、性の多様性を尊重する環境づくりを推進します。 ◇行政委員や審議会委員、市職員における管理職の女性登用を拡大します。 |
| 施策 | 2 | 男女平等参画・女性活躍 |  | | | | | | | | | | |
| 目指すまちな姿 | 誰もが性別等に関わらず、あらゆる分野で参画し、活躍することができるまち | | | | | | | | | | | | ③あらゆる暴力の根絶 ◇家庭、地域、企業、学校等あらゆる場面における暴力や虐待防止のための啓発を行います。 ◇暴力や虐待の発生の未然防止や被害者を支援するため、関係機関との連携による相談窓口機能の充実を図ります。 |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値 (R3) | | | | | 目標値 (R14) | | | | | |
| | 行政委員・審議会委員等における女性登用率 | | 34.9% | | | | | 40.0% | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | | |
| | 目標 | 34.9 | 35.0 | 35.5 | 36.0 | 36.5 | 37.0 | 37.5 | 38.0 | 39.0 | 40.0 | | |
| 実績 | 34.1 | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 97.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-2-①、② 男女平等参画啓発事業【行政経営部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-2-③ 女性相談事業【行政経営部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------------------------------|------|----------------|---------------|-----|-----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|-------|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 2 男女平等参画・女性活躍 | | 新規 | 担当課名 | 人権推進課 | | 指標名 | 男女平等参画に関して理解が深まった人の割合 | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ① 男女平等参画社会実現に向けた環境づくり ② ワークライフバランスの実現 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | |
| 事務事業名 男女平等参画啓発事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 12 | 目標 | 91.0 | 92.0 | 93.0 | 94.0 | 95.0 | 96.0 | 97.0 | 98.0 | 99.0 | | 100.0 | % |
| <事業概要> すべての人が性別に関わらず活躍できる社会を目指すため、男女平等参画に関する啓発や教育を行う。 | | ハード | | 細目 | 10-男女平等参画啓発事業 | | 実績 | 90.8 | | | | | | | | | | | | |
| | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 99.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | |
| | | 泉南市男女平等参画推進条例、第4次せんなん男女平等参画プラン | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|-------|-----------------|-------|---------|--|--------|------|-------|--------|--|------|-------|--|-------|------|-----|-------|-----|--|-----|----|-----|-----|-----|--|-----|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 男女平等参画都市宣言啓発講演会の実施(参加者21人) 講演名:「性の多様性」について理解を深める ~ALLY(支援者)としてできること~ 男女平等参画社会づくり講座の実施(2回、参加者延べ30人) 講座名:「心をリラックスして生きるヒント」アロマキャンドルづくり 講座名「言葉の使い方のコツを知って人間関係をスムーズに」ハーバリウムボールペンづくり 男女平等参画情報誌「Step」の作成(2500部) テーマ:市民意識調査「女性の権利」の項目から見えてくる課題について | | <ul style="list-style-type: none"> 男女平等参画都市宣言啓発講演会の実施 男女平等参画社会づくり講座の実施 男女平等参画情報誌「Step」の作成 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 男女平等参画都市宣言啓発講演会の実施 男女平等参画社会づくり講座では、男女共同参画の視点からの防災をテーマとした講座や、社会的関心のある内容、集客につながる内容を企画し、幅広い年代の参加者増加に努める。 男女平等参画情報誌「Step」の作成 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 男女平等参画都市宣言啓発講演会の実施 男女平等参画社会づくり講座の実施 男女平等参画情報誌「Step」の作成 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | | 547千円 | 府支出金 | | 682千円 | 市債 | | 0千円 | 市債 | | 0千円 | その他 | | 0千円 |
| | | 801千円 | | 0千円 | | 1,072千円 | | 718千円 | | 986千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.39人 | 正職員以外の その他職員 | 0.16人 | 3,553千円 | 予算書ページ | 163ページ | 一般財源 | 354千円 | 予算書ページ | 162ページ | 一般財源 | 304千円 | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|----|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度 事務事業改善の取組 | | | | | | | | | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | Action 4 | | | | | 事業の方向性 | | | | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | 備考 | | | | |
| <p><成果・課題></p> <p>性の多様性についての講演会では、当事者からのお話を通して様々な生き方があることを知り、ほとんどの参加者から、人権問題についての認識が深まったといった感想があった。またグループワークを通して、参加者自身が性的マイノリティの方から相談を受けた場面を想定し、ALLYとして、自分に何ができるのか考えることにつながった。研修手法として聞くだけでなく、参加型学習を取り入れることで、自分事として考える研修内容になった。づくり講座では、できるだけ多くの方に男女平等参画社会への理解を得られるよう、講座へ参加するきっかけとなる「ものづくり」を企画した。女性のエンパワメントを引き出す内容で参加者からは好評を得たが、参加者の確保が課題であった。情報誌Stepについては、人権週間「市民の集い」等人権啓発イベントや会議で配布することで、広く市民への啓発を行った。テーマ設定については、本市の課題や社会的関心のある内容を選定していくことで、さらに多くの方へ周知啓発を行い、意識向上に努めていきたい。</p> <p>Check 3</p> | | <p><改善内容></p> <p>女性の生きづらさや悩みは年代によっても様々で、女性がどのようなことで悩み、課題を抱えているか、様々な視点からニーズ調査をする必要がある。その上で、テーマを検討し、市民自らの意思で、自主的に参加してもらえる内容を企画することが大切と考える。</p> <p>また、令和5年度のように講義形式、参加型学習、冊子による啓発等、様々な手法を取り入れ啓発していくことも検討しながら、幅広い年代で参加が増えるよう、啓発事業を進めていく。</p> <p>令和6年度の情報誌Stepは、令和6年1月1日に起きた能登地震を受け、「防災と女性参画」をテーマに作成する予定である。直近での危機意識がある中で、災害時での女性の立場に立った意識啓発を行っていきたい。</p> | | | | | <p>1 現状維持</p> <p>2 見直して継続</p> <p>重点化</p> <p>手段改善 ○</p> <p>効率化(コストダウン)</p> <p>規模縮小</p> <p>事業統合</p> <p>3 休止・廃止</p> <p>4 完了</p> | | | | | <p>行政委員・審議会委員等における女性登用率の向上は、すぐに成果が出るものではないため、最終年での目標達成に向け、まずは多くの市民への参加の呼びかけ、限られた予算・人員の中で、工夫しながら意識啓発につながる取組を進めていく。</p> | | | | | 備考 | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|--------------------------------|----------------|-----------|--------------------------|-----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 2 男女平等参画・女性活躍 | | 新規 | | 担当課名 | 人権推進課 | | 指標名 女性相談を利用した件数(電話相談を含む) | | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ③ あらゆる暴力の根絶 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | | |
| 事務事業名 女性相談事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 2 | 1 | 12 | 目標 | 108 | 112 | 116 | 120 | 124 | 128 | 132 | 136 | 140 | 144 | 件 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 08-女性相談事業 | | 実績 | 106 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 女性の人権が擁護・尊重される社会の形成のため、DVやセクシャルハラスメントに対する啓発を進めるとともに、相談窓口の一元の充実を図る。 | | 市単独 | ○ | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 98.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
|  | | | | 泉南市男女平等参画推進条例、第4次せんなん男女平等参画プラン | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 ・女性相談の実施(年間144回) 相談件数79件(稼働率55%) ・電話相談の実施(年間48回) 相談件数27件(稼働率56%) ・相談員・支援員のためのスキルアップ講座の実施(参加者31名) 講座名:「DV被害者への法的支援 ～被害者の立場に立って～」 | | | | 令和6年度(令和6年3月) ・女性相談の実施(年間144回) ・電話相談の実施(年間48回) ・相談員・支援員のためのスキルアップ講座の実施 | | | | 令和7年度 ・女性相談の実施(年間144回) ・電話相談の実施(年間48回) ・相談員・支援員のためのスキルアップ講座の実施 ・令和6年4月に施行された、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律に基づき、女性相談支援員を採用(予定)し、今まで以上に困難な問題を抱える女性への対応にあたり、女性相談の充実を図る | | | | 令和8年度以降 ・女性相談の実施(年間144回) ・電話相談の実施(年間48回) ・相談員・支援員のためのスキルアップ講座の実施 | | | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 1,164千円 決算書ページ 174ページ 一般財源 1,164千円 | | | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 1,223千円 予算書ページ 162ページ 一般財源 1,223千円 | | | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 30千円 市債 0千円 その他 0千円 1,223千円 予算書ページ 162ページ 一般財源 1,193千円 | | | |  方向性 | | | |
| 職員数/人件費 正職員 0.25人 正職員以外の その他職員 0.12人 2,334千円 | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

| | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|---|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 女性相談については令和4年度より実施回数を増やしているが、相談件数としては、電話相談ともに減少している。実際のところ職員が対応するDV相談件数はかなり増えていて、DVに限らず悩んでいる女性はまだまだ多くいることが予想されるため、女性相談・電話相談ともに、広報活動を積極的に行う必要がある。現状でも行っているが、公共施設内トイレにチラシを配布するなど、女性の目に止まりやすい場所での周知や、今後はその他の手法において周知方法を検討する。 また、相談員・支援員のスキルアップ講座については、女性弁護士による法改正等の話であったため、参加者も多く非常に成果はあった。令和5年度についても、相談員・支援員のニーズも把握しながら、効果的な研修内容にする。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 周知方法について、チラシだけでなく公式SNSを活用する。また、泉南市事業所人権推進連絡会員への周知など、企業へも積極的に周知を行う。 | | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| | | | | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 令和6年度の広報等改善内容を踏まえたうえで、実績件数の結果を分析する。その結果から、相談窓口・時間・回数等の改善を行う。 | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|---------------|---|------|----------------------------------|----------|------|------|------|------|-----------|---|------|--|--|----------------------|--|--|--|--|--|
| 分野別政策 | 1 | 『ひと』を育てる・輝かせる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | 主な取組 | ①保育環境の充実 | | | | | | | |
| 施策 | 3 | 子育て支援 |  | | | | | | | | | | | ◇保育人材の確保や定着、キャリアアップの支援等を行います。 ◇保育施設と児童発達支援を一体的に行うインクルーシブ保育や、療育支援に係る専門機関との連携を図ります。 ◇保育施設・保育士等による地域の子育て支援や、保護者に対する助言等により、地域や家庭における保育の充実に図ります。 ◇子育て関連施設の充実に図ります。 | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 子どもや保護者が社会や地域に見守られ、子育て環境が充実し、安心して子育てができるまち | | | | | | | | | | | ②子育てしやすい環境の整備 | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 子どもの健やかな成長と子育て家庭を支えるため、地域ぐるみで安心して子育てができる環境づくりを行い、就学前における教育・保育環境が充実したまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | ◇個々の家庭、子どもに寄り添い、それぞれに応じた切れ目のない、継続的な支援を行います。 ◇就学前の子どもとその保護者の居場所づくりや、ふれあえる機会づくり、子育てに関する情報提供等の充実に図ります。 ◇身近な子育て支援者の人材発掘、育成、見守りがある地域づくりを行います。 ◇家庭で協力して子育てを行うための啓発活動を促進します。 ◇児童虐待の発生を予防するため、面談等を通じ、保護者等への支援を行います。 | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | | | 基準値 (R3) | | | | | 目標値 (R14) | | | | | 備考 | | | | | |
| | この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | 95.8% | | | | | 99.0% | | | | | 3歳6か月児健康診査のアンケート集計より | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | | | | | | | | | |
| | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | | | | | | | | | | |
| 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-① 認定こども園事業【健康子ども部】 | | | | | 1-3-② 地域子育て支援拠点事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-① 旧浜保育所除却事業【健康子ども部】 | | | | | 1-3-② ファミリーサポートセンター事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-① 民間保育所等支援事業【健康子ども部】 | | | | | 1-3-③ 泉州広域母子医療センター運営補助事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-① 子ども総合支援センター事業【健康子ども部】 | | | | | 1-3-③ 母子健康増進事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-① 児童発達支援事業【健康子ども部】 | | | | | 1-3-③ 母子健康診査事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-② 家庭児童相談室事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-② 子ども食堂応援事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-② 育児ヘルプ家庭訪問事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-② 出産記念品配付事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3-②、③ 子ども医療助成事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|--------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | | 担当課名 | 指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 保育環境の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 認定こども園事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 目標 96.0 96.2 96.4 96.6 97.0 97.4 97.8 98.2 98.6 99.0 % | | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 実績 93.2 | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 保育・教育を必要とする児童のため、安全で安心できる認定こども園の運営を行います。(なるにつに認定こども園) | | 市単独 | | 02-認定こども園事業 | 達成率 97.1% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | | | | | | | |
| | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成度 A | | | | | | | | | | | | |
| | | 子ども・子育て支援法、泉南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用に関する条例、第2期子ども・子育て支援事業計画 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | |
| 1 家庭支援保育士による在園家庭の育児相談等(87件)、在宅家庭の育児相談(68件)等を行った。 | | 1 利用者支援事業 ・利用者の相談支援 | | | | 1 利用者支援事業 ・利用者の相談支援 | | | | 1 利用者支援事業 ・利用者の相談支援 | | | | | | | | |
| 2 ・保育人材の就労支援「保育学生就職支援プログラム」及び「潜在保育士復職支援プログラム」に各1名参加した。 ・保育士の質の向上 職員研修(7回)・on-line研修(112講座)・ちやいるどネット大阪人権保育講座(1コース・6講座)・郡市園長会・保育士会・保育子育て人権研修会において、研修を実施した。 | | 2 保育人材支援等事業 ・保育人材の就労支援 ・保育士の質の向上 | | | | 2 保育人材支援等事業 ・保育人材の就労支援 ・保育士の質の向上 | | | | 2 保育人材支援等事業 ・保育人材の就労支援 ・保育士の質の向上 | | | | | | | | |
| 3 適正な保育環境維持のために必要な修繕を実施した。1,875,995円(17箇所) | | 3 施設維持管理事業 ・施設の適正な維持管理 | | | | 3 施設維持管理事業 ・施設の適正な維持管理 | | | | 3 施設維持管理事業 ・施設の適正な維持管理 | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 予算額 | | | | 予算額 | | | | 予算額 | | | | | | | | |
| 決算額 | | 国庫支出金 418千円 | | | | 国庫支出金 441千円 | | | | | | | | | | | | |
| 府支出金 48千円 | | 府支出金 133千円 | | | | 府支出金 50千円 | | | | | | | | | | | | |
| 26,744千円 | | 29,996千円 | | | | 30,506千円 | | | | | | | | | | | | |
| 市債 0千円 | | 市債 0千円 | | | | 市債 0千円 | | | | | | | | | | | | |
| その他 9,342千円 | | その他 11,051千円 | | | | その他 11,512千円 | | | | | | | | | | | | |
| 決算書ページ 216ページ | | 予算書ページ 223ページ | | | | 予算書ページ 225ページ | | | | | | | | | | | | |
| 一般財源 16,936千円 | | 一般財源 18,226千円 | | | | 一般財源 18,503千円 | | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 8.39人 | | | | 正職員 8.39人 | | | | | | | | | | | | |
| 会計年度職員 0.24人 | | 会計年度職員 0.24人 | | | | 会計年度職員 0.24人 | | | | | | | | | | | | |
| 65,913千円 | | 65,913千円 | | | | 65,913千円 | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | |
|--------------|--|---|--|-------------------|--|---|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| 事務事業の改善内容 | | <改善内容> | | 事業の方向性 | | |
| Check 3 | | 1 関係機関と連携しながら、様々な悩みに応えていく。 | | 1 現状維持 ○ | | 安全・安心な保育・教育を継続して提供するために、様々な媒体を利用しながら職員確保に努める。また、関係機関と連携しながら子育て支援の現状を把握し、必要な研修の実施や参加を促す。 |
| | | 2 ・保育人材の就労支援プログラムに参加して良かった」との感想があったので、継続して実施する必要があるが、参加者数が少ないので、内容の見直しや周知の工夫が必要である。 ・保育士の質の向上 様々な研修を受講することで、スキルアップにつながっている。特にon-line研修は短時間で受講可能なので、職員不足の中でも学ぶことができるので、継続して実施する。 | | 2 見直しで継続 | | |
| | | 3 施設の老朽化により、今後も修繕が必要となる箇所が出てくる。 | | 重点化 | | |
| | | | | 手段改善 | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | |
| | | | | 規模縮小 | | |
| | | | | 事業統合 | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | |
| | | | | 4 完了 | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|----------------|--------------|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|------------------------|--|--|----|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 保育子ども課 | | 指標名 | | | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 保育環境の充実 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 単年度実施の除却事業のため活動指標の設定なし | | | | |
| 事務事業名 旧浜保育所除却事業 | | ソフト | | 款項目 | 3 | 2 | 6 | 目標 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 04-旧浜保育所除却事業 | | 実績 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 浜保育所の完全民営化及び移転に伴い、旧施設について建物の除却を行います。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  | | 子ども・子育て支援法、泉南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用に関する条例、第2期子ども・子育て支援事業計画 | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|-------|--|-------|--------|-------|-------|--|-----------|--|----------|--|-----|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | |
| | | | | 令和5年度まで公立保育所として社会福祉法人を指定管理者とし、運営を委託してきたが令和6年度より移転及び完全民営化を実施したことに伴い、建物の除却を実施する。 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 0千円 | | 予算額 | | 0千円 | | 130,000千円 | | 0千円 | | 0千円 | | | |
| | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 117,000千円 | | 0千円 | | 0千円 | | | |
| | | 決算書ページ | | 0千円 | | 予算書ページ | | 0千円 | | 228ページ | | 13,000千円 | | 0千円 | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.00人 | 会計年度職員 | 0.00人 | 任期付職員 | 0.00人 | 方向性 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---------|--|-------------|--|-------------|--|-------------------|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | 令和6年度の改善の取組 | | | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> | | <改善内容> | | Action 4 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| | | Check 3 | | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| | | | | | | 1 現状維持 | | | | | | | |
| | | | | | | 2 見直して継続 | | | | | | | |
| | | | | | | 重点化 | | | | | | | |
| | | | | | | 手段改善 | | | | | | | |
| | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | |
| | | | | | | 規模縮小 | | | | | | | |
| | | | | | | 事業統合 | | | | | | | |
| | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | |
| | | | | | | 4 完了 | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------------|-----------------------------|---|----------------|---------------|---|-----|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | | 担当課名 | 保育子ども課 | | | 指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 保育環境の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 | 民間保育所等支援事業 | ソフト | ○ | 款項目 | 3 | 2 | 6 | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | % | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 03-民間保育所等支援事業 | | | 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 保育・教育を必要とする児童のため、安全で安心できる保育所・認定こども園等の運営がなされるよう補助します。(10施設) | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | | 子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|-----------|--|--|--|-----------|--|--|--|-----------|--|-----------|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | |
| 1. 利用者支援事業 ・第2子無償化 (対象者 前期93名 後期96名 金額19,242,400円) ・食料料費の高騰に対応するために各施設へ補助 (500円×毎月初日の入所児童数) | | 1. 利用者支援事業 ・利用者の負担軽減に係る支援 | | | | 1. 利用者支援事業 ・利用者の負担軽減に係る支援 | | | | 1. 利用者支援事業 ・利用者の負担軽減に係る支援 | | | | | |
| 2. 保育人材確保等事業 ・保育士(補助者含む)の雇用状況により、各施設へ補助 (7施設 46,437,900円) ・研修受講に際し、経費の一部を該当施設へ補助 (3施設 159,000円) | | 2. 保育人材確保等事業 ・保育人材の確保や定着に係る支援 ・保育士の質の向上に係る支援 | | | | 2. 保育人材確保等事業 ・保育人材の確保や定着に係る支援 ・保育士の質の向上に係る支援 | | | | 2. 保育人材確保等事業 ・保育人材の確保や定着に係る支援 ・保育士の質の向上に係る支援 | | | | | |
| 3. 民間施設運営支援事業 ICTを活用した業務効率化支援(登降園管理、連絡ツール、午睡チェック等)(1施設 375,000円) | | 3. 民間施設運営支援事業 ・民間施設の運営支援 | | | | 3. 民間施設運営支援事業 ・民間施設の運営支援 | | | | 3. 民間施設運営支援事業 ・民間施設の運営支援 | | | | | |
| 事業の財源 | | 予算額 | | | | 予算額 | | | | 予算額 | | | | | |
| 決算額 | | 国庫支出金 | | 741,306千円 | | 国庫支出金 | | 647,747千円 | | 国庫支出金 | | 697,924千円 | | | |
| 1,447,927千円 | | 府支出金 | | 239,241千円 | | 府支出金 | | 310,268千円 | | 府支出金 | | 319,492千円 | | | |
| | | 市債 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | | 市債 | | 11,000千円 | | | |
| | | その他 | | 6,340千円 | | その他 | | 8,156千円 | | その他 | | 8,897千円 | | | |
| 決算書ページ | | 217ページ | | 一般財源 | | 461,040千円 | | 予算書ページ | | 224ページ | | 一般財源 | | 513,605千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | | 0.64人 | | 正職員以外の その他職員 | | 0.00人 | | 4,977千円 | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---|--|--|--|-------------|--|---|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> 上記1,2の事業に関しては各保護者、施設も積極的な活用が見られたが、3に関しては、1施設のみの活用となった。今後、国の動向に注視し、情報を集めるとともに、各施設への周知徹底を図り、積極的な活用促進に取り組む。 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 | |
| Check 3 | | | | <改善内容> 有効的な補助金の活用に資するため、各補助金事業における成果のアンケート(職員数、職員の勤続年数、導入したシステムに対する保護者からの声など)を実施する。 | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| | | | | | | 1 現状維持 | | ○ 保育施設が抱える課題の把握と優先度を検討し、効率的に課題解決できるように補助金を活用しながら事業を進める。 | | | | | |
| | | | | | | 2 見直して継続 | | | | | | | |
| | | | | | | 重点化 | | | | | | | |
| | | | | | | 手段改善 | | | | | | | |
| | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | |
| | | | | | | 規模縮小 | | | | | | | |
| | | | | | | 事業統合 | | | | | | | |
| | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | |
| | | | | | | 4 完了 | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|-----------------------------|------------------|-----|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | | 担当課名 | 保育子ども課 | | 指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 保育環境の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 子ども総合支援センター事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 3 | 2 | 7 | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | % |
| 事業に関連するSDGs  | | ハード | ○ | 細目 | 02-子ども総合支援センター事業 | | 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 障害のある子どもたちの発達・成長のため、子ども総合支援センターを中心に個々の子どもに応じた支援を行います。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | | | | 子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--------|-----------------|---|----------|---------|---|---------|---------|---|-------|---------|
| 主な事業内容 | 通所支援事業サービスを利用していない地域の障害児やその家族等への療育相談・相談支援の実施や地域の子どもに関わる機関への適切な助言や支援を実施した。発達検査や適切な助言・療育を行う体制を強化した。発達障害に関する知識を有する心理職等が中心となり、幼児教育保育施設等を訪問し、子どもの園生活や支援の状況を把握し、今後の支援のあり方について必要な助言や支援を行った。 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 親子教室開催回数 93回 相談件数 70件(発達相談28件・育児相談38件・その他4件) 発達検査数 171件 幼児教育保育施設数 8箇所 幼児教育保育施設への訪問回数 33回 | | | <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用者支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 利用者への助言、相談等 2. 施設維持管理事業 <ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理 3. 施設支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 児童施設への訪問指導 | | | <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用者支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 利用者への助言、相談等 2. 施設維持管理事業 <ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理 3. 施設支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 児童施設への訪問指導 | | | <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用者支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 利用者への助言、相談等 2. 施設維持管理事業 <ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理 3. 施設支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 児童施設への訪問指導 | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 |
| | 8,373千円 | 府支出金 | 2,850千円 | 10,558千円 | 府支出金 | 3,943千円 | 11,002千円 | 府支出金 | 3,943千円 | 11,002千円 | 府支出金 | 3,943千円 |
| | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 |
| | | その他 | 181千円 | | その他 | 252千円 | | その他 | 252千円 | | その他 | 252千円 |
| | 決算書ページ | 219ページ | 一般財源 | 5,342千円 | 予算書ページ | 227ページ | 一般財源 | 6,363千円 | 予算書ページ | 230ページ | 一般財源 | 6,807千円 |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 2.50人 | 会計年度職員 任期付職員 | 3.40人 | 29,807千円 | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|--|---|----------|-------------------|---|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> 子どもの様子や職員の関わり等を実際に訪問して聞き取り、様子を見ることで現状の把握ができた。また訪問先の施設職員と子どもの特性や支援内容について一緒に振り返り、考えることで、子どもが園生活を安心して過ごせるよう助言や支援を行った。今後も発達障害の早期発見・早期療育への気づきを促し、支援へとつなげていく。 | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | Check 3 | <改善内容> 各施設職員のスキルアップが図れるよう、発達障害児の特性理解や支援につながる具体的な方法を継続して行う。 | | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | |
| | | | | 1 現状維持 | ○ 引続き、各施設を訪問し、子どもの園生活や支援の状況、施設的环境等を把握し、子どもや保護者が地域で安心して過ごせるよう地域の障がい理解や早期発見・早期療育につながる必要な助言や支援を行う。 | |
| | | | | 2 見直して継続 | | |
| | | | | 重点化 | | |
| | | | | 手段改善 | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | |
| | | | | 規模縮小 | | |
| | | | | 事業統合 | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | |
| | | | | 4 完了 | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|-----------------------------|---|----------------|---------------------------------------|---|---|----|--|--|--|--|--|--|--|--|------|--|--|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | | 担当課名 | この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ① 保育環境の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 | 児童発達支援事業 | ソフト | ○ | 款項目 | 3 | 2 | 7 | 目標 | | | | | | | | | | | | 96.0 96.2 96.4 96.6 97.0 97.4 97.8 98.2 98.6 99.0 % |
| <事業概要> 大阪府の指定事業で、障害のある子どもたちの発達・成長のため、個々の子どもに応じた支援を行います。 | | ハード | ○ | 細目 | 実績 | | | | | | | | | | | | 93.2 | | | |
| | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 達成率 | | | | | | | | | | | | 97.1% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | |
| | | 達成度 | | | | | | | | | | | | A | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--------|-----------------|----------|---|----------|----------|-------|---|--------|------|-----|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 主な事業内容 | 地域の障害児通所支援事業所の職員や関係機関職員の療育技術向上のための研修・相談・実習受け入れの実施及び事業所利用者の保護者向け研修・療育相談の実施。 事業を利用している障害児やその家族等への療育相談・相談支援の実施。 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援事業契約数 60人 放課後等デイサービス事業契約数 12人 保育所等訪問支援事業契約数 25人 研修開催回数 27回 家庭訪問件数 41件 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 利用者支援事業 利用者への助言、相談等 障害児支援事業 児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業 保育所等訪問支援事業 地域支援研修 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 利用者支援事業 利用者への助言、相談等 障害児支援事業 児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業 保育所等訪問支援事業 地域支援研修 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 利用者支援事業 利用者への助言、相談等 障害児支援事業 児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業 保育所等訪問支援事業 地域支援研修 | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 50千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 50千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 50千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 府支出金 | 25千円 | | 府支出金 | 25千円 | | 府支出金 | 25千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 17,971千円 | 市債 | 0千円 | 24,260千円 | 市債 | 0千円 | 22,742千円 | 市債 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | その他 | 17,896千円 | | その他 | 24,185千円 | | その他 | 22,667千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 決算書ページ | 219ページ | 一般財源 | 0千円 | 予算書ページ | 229ページ | 一般財源 | 0千円 | 予算書ページ | 232ページ | 一般財源 | 0千円 | | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 8.50人 | 会計年度職員 任期付職員 | 12.18人 | 103,867千円 | 方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|--|--|----------|-------------------|--|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | 発達検査の実施及び適切な助言や療育を行うため、障害特性や支援等についての研修に参加し、センター職員のスキルアップを行った。また、地域の障害児通所支援事業所の職員や関係機関職員、保護者向けの研修・相談等の実施により地域支援を行うことができた。引き続き、事業を継続することで地域での療育技術の向上を図る。 | <改善内容> 児童発達支援センターとして、地域の中核的な療育支援が行えるようセンター職員のスキルアップを行い、関係機関職員等や保護者のニーズに沿った研修や支援の提供を行っていく。 | 1 現状維持 | ○ | 地域の中核的な役割を継続するために、職員の専門職の配置や専門的なスキルアップを図る。同時に関係機関職員等や保護者向け研修や支援の提供を行っていき、引き続き事業を継続することで地域での療育技術の向上を図る。 | |
| Check 3 | | | | 2 見直して継続 | | |
| | | | | 重点化 | | |
| | | | | 手段改善 | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | |
| | | | | 規模縮小 | | |
| | | | | 事業統合 | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | |
| | | | | 4 完了 | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる ○ 施策 3 子育て支援 ○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備 | | 事業区分 新規 担当課名 家庭支援課 継続 ○ 会計名 一般会計 ソフト ○ 予算 款項目 3 2 1 ハード 細目 04-家庭児童相談室事業 市単独 (関係法令・市条例・計画等) 子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画 | | 事務事業に関する活動指標 指標名 この地域で今後も子育てをしたいと回答した人の割合 備考 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 家庭児童相談室事業 事業に関連するSDGs | | | | 目標値 目標 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 実績 96.0 96.2 96.4 96.6 97.0 97.4 97.8 98.2 98.6 99.0 % 達成率 97.1% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 達成度 A | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|---|--|
| 主な事業内容 1. 児童・保護者等支援事業 ・親支援面接の実施(164回) ・出張型生活場面活動支援の実施(105回) ・研修会の実施(ヤングケアラーについて理解を深めるため、関係機関に対しての研修を1回実施) 2. 子ども相談事業 ・専用フリーダイヤルをツールとした相談対応機能の立ち上げ及び運営(令和5年7月3日(月)フリーダイヤルを開設) ・メールや手紙等をツールとした相談対応機能の立ち上げ及び運営 3. 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 ・要保護児童対策調整機関の職員等の専門性強化 ・相談員延べ52人が専門性を高めるための研修を受講 ・児童虐待対応に関する進捗管理や個別ケース検討会議等の実施 ・個別ケース検討会議30件、実務者会議5回実施 ・養育支援訪問事業の中核機関として進捗管理等の実施 ・当該を含めた3機関の養育支援訪問対象76世帯について進捗管理 | | 令和6年度(令和6年3月) 1. 児童・保護者等支援事業 ・親支援面接の実施 ・出張型生活場面活動支援の実施 ・研修会の実施 2. 子ども相談事業 ・専用フリーダイヤルをツールとした相談対応を実施 ・メールや手紙等をツールとした相談対応を実施 3. 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 ・要保護児童対策調整機関の職員等の専門性強化 ・児童虐待対応に関する進捗管理や個別ケース検討会議等の実施 ・養育支援訪問事業の中核機関として進捗管理等の実施 | | 令和7年度 1. こども家庭センター型利用者支援事業 ・妊娠前から18歳未満までの切れ目ない支援のため、児童福祉と母子保健が一体的な支援を行う。 ・必要に応じ合同ケースを開催し、母子保健、児童福祉双方で支援方針を協議し、サポートプランの作成等を行う。 2. 子ども相談事業 ・専用フリーダイヤルをツールとした相談対応を実施 ・メールや手紙等をツールとした相談対応を実施 3. 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 ・要保護児童対策調整機関の職員等の専門性強化 ・児童虐待対応に関する進捗管理や個別ケース検討会議等の実施 ・養育支援訪問事業の中核機関として進捗管理等の実施 | | 令和8年度以降 1. こども家庭センター型利用者支援事業 ・妊娠前から18歳未満までの切れ目ない支援のため、児童福祉と母子保健が一体的な支援を行う。 ・必要に応じ合同ケースを開催し、母子保健、児童福祉双方で支援方針を協議し、サポートプランの作成等を行う。 2. 子ども相談事業 ・専用フリーダイヤルをツールとした相談対応を実施 ・メールや手紙等をツールとした相談対応を実施 3. 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 ・要保護児童対策調整機関の職員等の専門性強化 ・児童虐待対応に関する進捗管理や個別ケース検討会議等の実施 ・養育支援訪問事業の中核機関として進捗管理等の実施 | |
| 事業の財源 決算額 1,577千円 国庫支出金 15千円 府支出金 1,487千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 208ページ 一般財源 75千円 | | 予算額 3,509千円 国庫支出金 79千円 府支出金 2,812千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 212ページ 一般財源 618千円 | | 予算額 2,666千円 国庫支出金 1,169千円 府支出金 1,169千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 213ページ 一般財源 328千円 | | 方向性 | |
| 職員数/人件費 正職員 400人 正職員以外のその他職員 300人 40,864千円 | | | | | | | |

評価

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 事務事業の改善内容 <成果・課題> 課題 ・ヤングケアラー等、新たな視点の支援対象にも対応していく必要がある。 ・児童福祉法の改正に伴い、令和6年度からは必要に応じてサポートプランの作成が必要となる。 ・児童福祉法の改正に伴い、令和6年度からは養育支援訪問事業の対象者が変更になるため対応が必要である。 ・家庭児童相談室機能を維持したうえで、母子保健機能と一体的に切れ目ない支援を行うことが必要である。 Check 3 | | 令和6年度の改善の取組 Action 4 <改善内容> ・ヤングケアラー等、新たな視点の支援対象にも対応していく必要があるため、専門性を高める研修を積極的に受講する。 ・対象家庭と共に実情の改善に向けての共通ツールとして、サポートプランを作成する。 ・養育支援訪問実施機関に対して説明会等を実施する。 ・子ども家庭センターを設置・運営する。 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 方向性 ・児童福祉と母子保健機能を一体化した支援機関として、子ども家庭センターを運営し、妊娠期からの切れ目ない支援を行う。 取組内容 ・家庭児童相談室事業を継続していく。 ・母子保健との合同ケース会議等を実施する。 ・母子保健との共通ツールや地域資源の開発を行う。 | | 備考 | |
|--|--|--|--|--|--|---|--|----|--|

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|----------------|------------------|---|-----|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | | 担当課名 | 家庭支援課 | | | 指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 子ども食堂応援事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 3 | 2 | 1 | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | % | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 05-子ども食堂 応援事業 | | | 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 泉南市子ども食堂ネットワーク登録団体に対し、子ども食堂の運営に必要な費用の一部を補助することにより、継続的・安定的な子ども食堂の運営を支援し、食事の提供をおとした子どもの居場所を確保する。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画、第2期泉南市まち・ひと・しごと創世総合戦略 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----------------|--|--|--|---------|--|--|--|---------|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| 1. 子ども食堂ネットワーク事業 ・ホームページ等による広報を実施 ・ホームページ及び4月広報で登録案内 ・子ども食堂への支援等に関する情報提供 ・大阪府や支援団体機関からの情報提供を実施 ・子ども食堂を開催している主体の相互連携を支援 令和6年1月に交流会において講演等を実施し、子ども食堂実施団体同士の交流を図った。 | | | | 1. 子ども食堂ネットワーク事業 ・ホームページ等による広報を実施 ・子ども食堂への支援等に関する情報提供 ・子ども食堂を開催している主体の相互連携を支援 | | | | 1. 子ども食堂ネットワーク事業 ・ホームページ等による広報を実施 ・子ども食堂への支援等に関する情報提供 ・子ども食堂を開催している主体の相互連携を支援 | | | | 1. 子ども食堂ネットワーク事業 ・ホームページ等による広報を実施 ・子ども食堂への支援等に関する情報提供 ・子ども食堂を開催している主体の相互連携を支援 | | | |
| 2. 子ども食堂ネットワーク補助金事業 ・子ども食堂ネットワーク登録団体を対象に、子ども食堂の運営に関する費用の一部を支援 7団体に対して、各20万円の補助を実施 | | | | 2. 子ども食堂ネットワーク補助金事業 ・子ども食堂ネットワーク登録団体を対象に、子ども食堂の運営に関する費用の一部を支援 | | | | 2. 子ども食堂ネットワーク補助金事業 ・子ども食堂ネットワーク登録団体を対象に、子ども食堂の運営に関する費用の一部を支援 | | | | 2. 子ども食堂ネットワーク補助金事業 ・子ども食堂ネットワーク登録団体を対象に、子ども食堂の運営に関する費用の一部を支援 | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 予算額 | | 決算額 | | 予算額 | | 決算額 | | 予算額 | | | |
| | | 国庫支出金 | | 国庫支出金 | | 国庫支出金 | | 国庫支出金 | | 国庫支出金 | | 国庫支出金 | | | |
| | | 府支出金 | | 府支出金 | | 府支出金 | | 府支出金 | | 府支出金 | | 府支出金 | | | |
| | | 1,406千円 | | 2,158千円 | | 2,158千円 | | 2,158千円 | | 2,158千円 | | 2,158千円 | | | |
| | | 市債 | | 市債 | | 市債 | | 市債 | | 市債 | | 市債 | | | |
| | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | | |
| | | その他 | | その他 | | その他 | | その他 | | その他 | | その他 | | | |
| | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | | |
| 決算書ページ | | 209ページ | | 予算書ページ | | 213ページ | | 予算書ページ | | 214ページ | | 一般財源 | | | |
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | 一般財源 | | 一般財源 | | 一般財源 | | 0千円 | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | | 正職員 | | 正職員 | | 正職員 | | 正職員 | | 正職員 | | | |
| | | 0.12人 | | 0.12人 | | 0.80人 | | 0.80人 | | 0.80人 | | 0.80人 | | | |
| | | 正職員以外の その他職員 | | 正職員以外の その他職員 | | 0.80人 | | 0.80人 | | 0.80人 | | 0.80人 | | | |
| | | 3,535千円 | | 3,535千円 | | 3,535千円 | | 3,535千円 | | 3,535千円 | | 3,535千円 | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|---|--|----------------------|--|---|--|--|--|-------------------|--|------|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | 令和6年度の改善の取組 | | | | Action 4 | | | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> 成果 令和5年度は新規に2団体が加わったため、交流会では既存団体との意見を交わす良い機会になった。また、近隣自治体で活動している団体代表者を講師として講演を実施したことは、様々な活動形態の子ども食堂があることを知り得る機会となった。市内4圏域で活動するCSWも今回の交流会に招き、地域資源としての子ども食堂を紹介できた。 | | <改善内容> ・各小学校校区に1か所以上の子ども食堂設置を目指し、引き続き登録について周知する。 ・子ども食堂運営の支援として、引き続き補助事業や情報提供、交流会を実施する。 | | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 | | 事業の方向性 方向性 ・食事の提供をおとした子どもの居場所としての子ども食堂が、安定した継続運営ができることを目指す。 | | 事業の方向性と取組の内容 取組内容 ・補助事業を継続する。 ・支援団体からの情報提供を継続する。 ・食堂間の交流を図り、運営等に関して互いに情報交換できる機会を設ける。 | | 3 休止・廃止 | | 4 完了 | | | |
| Check 3 | | 課題 各小学校校区に1か所以上の子ども食堂の設置が望ましいが、現状は子ども食堂がない小学校区がある。 | | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------------|--------------------|-----------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|--|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | 担当課名 | この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
| ○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備 | | 継続 | 会計名 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | | |
| 事務事業名 育児ヘルプ家庭訪問事業 | | ソフト | 一般会計 | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | | | | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | 06-育児ヘルプ 家庭訪問事業 | 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 家事・育児等に対して不安や負担を抱え、支援を行うことが特に必要な家庭に対し、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みに傾聴するとともに、家事支援や育児支援を実施することにより、当該家庭の養育環境を整え、児童虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。 | | 市単独 | (関係法令・市条例・計画等) | 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | |
| | | 子どもの権利に関する条例 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 ・実施要綱の制定(令和5年7月1日制定) ・事務取扱要領の制定(令和5年7月1日制定し、令和5年7月11日事業者へ説明会を実施後随時登録受付) ・委託事業者募集要項、委託概要書等の制定(令和5年7月1日制定し、HPで委託事業者募集を周知) ・委託契約締結⇒事業開始(登録4事業者と令和5年9月12日随意契約を締結) ・広報紙等による事業周知(令和5年9月広報で周知、妊娠届出時及び乳児医療申請時にチラシを配布) ・利用申請受付、育児ヘルパー派遣の決定等の実施(令和5年10月1日より受付開始、令和5年度中に申請3件、内利用1件) | | | | 令和6年度(令和6年3月) ・委託契約締結 ・広報せんなん等による事業周知 ・利用申請受付、決定等の実施 | | | | 令和7年度 ・委託契約締結 ・広報せんなん等による事業周知 ・利用申請受付、決定等の実施 | | | | 令和8年度以降 ・委託契約締結 ・広報せんなん等による事業周知 ・利用申請受付、決定等の実施 | | | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 410千円 市債 0千円 その他 0千円 548千円 決算書ページ 209ページ 一般財源 138千円 | | | | 予算額 国庫支出金 1,439千円 府支出金 1,439千円 市債 0千円 その他 0千円 4,316千円 予算書ページ 213ページ 一般財源 1,438千円 | | | | 予算額 国庫支出金 1,041千円 府支出金 1,041千円 市債 0千円 その他 0千円 3,124千円 予算書ページ 215ページ 一般財源 1,042千円 | | | | 方向性 ↑ | | | |
| 職員数/人件費 正職員 0.35人 正職員以外の その他職員 0.00人 2,722千円 | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|---|--|--|---|--|----------|--|--|--|--|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | | <成果・課題> 課題 ・利用にあたっては、利用者宅に最も近い事業所を案内する予定であるが、令和5年度は4事業者の登録で、調整が必要であったため、スムーズな運営に向けて登録事業者数を増やす取組が必要である。 ・必要な家庭にもれなく情報提供できるよう、周知方法を検討する。 | | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> ・事業者説明会を実施し、登録事業者数の増加につなげる。 ・国要綱改正に伴い、適切な事業運営のため事業者向けの研修を整備する。 ・公共機関等へのチラシ配架を依頼する。 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | | | 事業の方向性と取組の内容 ・事業の方向性ヘルパー派遣により、育児負担を軽減することで虐待の未然防止につなげる。 ・取組の内容 目的達成のため、利用者の声や家庭(育児)支援等を行う関係機関と連携し、必要に応じて利用対象の拡大を検討する。 | | 備考 | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|---|----------------|-------|--------------|-----|------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | 新規 | ○ | 担当課名 | 家庭支援課 | | | 指標名 | 記念品配布数 | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備 | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | | | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 令和6年度より指標を記念品配布数に変更 令和5年度配布実績314人のため、令和6年度以降の目標を400人とする。 |
| 事務事業名 出産記念品配布事業 | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 3 | 2 | 1 | 目標 | 400 | 400 | 400 | 400 | 400 | 400 | 400 | 400 | % | |
| 事業に関連するSDGs | ハード | | | 細目 | 07-出産記念品配布事業 | | | 実績 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 泉南市に出生届を提出した本市に住民票をおく新生児を対象に、おくるみを配布する。 | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|--------|-----------------|--|---------|--|--------|--|-------|--------|---------|------|-----|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | 出産記念品配布事業 ・出生届提出時に市民課の窓口でおくるみを配布した。 ・4月～配付開始前までに出生した新生児は保健推進課または家庭支援課で配布した。 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | | | | | |
| | | | | 出産記念品事業 ・出生届提出時に市民課の窓口でおくるみを配布。 ・年間400人程度の出生を想定。 | | 出産記念品事業 ・出生届提出時に市民課の窓口でおくるみを配布。 ・年間400人程度の出生を想定。 | | 出産記念品事業 ・出生届提出時に市民課の窓口でおくるみを配布。 ・年間400人程度の出生を想定。 | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | | | |
| | 1,180千円 | | 府支出金 | 0千円 | | 1,238千円 | | | 府支出金 | 0千円 | 1,150千円 | | |
| | | | 市債 | 0千円 | | | 市債 | 0千円 | | | | | |
| | | | その他 | 0千円 | | | その他 | 1,150千円 | | | | | |
| | | 決算書ページ | 209ページ | 一般財源 | 1,180千円 | 予算書ページ | 214ページ | 一般財源 | 0千円 | 予算書ページ | 215ページ | 一般財源 | 0千円 |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.30人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 2,333千円 | | 方向性 | | | | | | |



| | | | | | |
|--------------------------|---|-------------|----------|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> おくるみのデザインに本市のマスコットキャラクターを起用することで、地域への愛着を深めるとともに、本市の子育て支援策に対するPRとなった。 | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | <改善内容> デザインを変更し、令和6年度分の入札を執行する。 | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | |
| | | 1 現状維持 | ○ | 出産という貴重なライフイベントに際し、記念品を贈ることにより子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を願うとともに地域への愛着を深められるように図る。 | |
| | | 2 見直して継続 | | | |
| | | 重点化 | | | |
| | 手段改善 | | | | |
| | 効率化(コストダウン) | | | | |
| | 規模縮小 | | | | |
| | 事業統合 | | | | |
| | 3 休止・廃止 | | | | |
| | 4 完了 | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|-----------------------|--------------|-----|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | | 担当課名 | 家庭支援課 | | 指標名 子ども医療証交付数 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備 ③ 子どもと保護者の健康づくりの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 令和6年度より指標を医療証交付数に変更 目標値は、医療証交付見込数を入力。実績が年間平均交付数。 | |
| 事務事業名 子ども医療助成事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 3 | 2 | 2 | | | | | | | | | | 人 | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 01-子ども医療助成事業 | | 実績 | | | | | | | | | | | 令和5年度実績が7,879人のため、令和6年度以降の目標は8,000人とする。 | |
| <事業概要> 出生時、転入時に乳幼児医療証の発行し、医療費を助成する。 一部自己負担額:1医療機関あたり、入院各500円/日(月2回限度)。1ヶ月あたりの負担限度額:2,500円。対象年齢は18歳到達年度末まで。 | | 市単独 | | (関係法・市条例・計画等) | | 達成率 | #DIV/0! | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | 子どもの医療費の助成に関する条例・施行規則 | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----------|--|---|--|-----------|--|---|--|----------|--|---|--|-----------|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| ・子ども医療証の発行 ・府内診療は現物支給。府外診療は申請により現金給付(振込)。 ・対象年齢の拡充(0歳～中学3年生から0歳～18歳到達後の年度末まで) 助成件数94,913件 医療助成費191,119,558円 | | | | ・乳幼児医療証の発行 ・府内診療は現物支給。府外診療は申請により現金給付(振込)。 ・対象年齢は18歳到達年度末まで。 | | | | ・乳幼児医療証の発行 ・府内診療は現物支給。府外診療は申請により現金給付(振込)。 ・対象年齢は18歳到達年度末まで。 | | | | ・乳幼児医療証の発行 ・府内診療は現物支給。府外診療は申請により現金給付(振込)。 ・対象年齢は18歳到達年度末まで。 | | | |
| 事業の財源 | | | | 予算額 | | | | 予算額 | | | | 予算額 | | | |
| 決算額 | | 197,296千円 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 国庫支出金 | | 0千円 | |
| | | | | 府支出金 | | 20,836千円 | | 府支出金 | | 41,247千円 | | 府支出金 | | 42,101千円 | |
| | | | | 市債 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | |
| | | | | 其他 | | 18,025千円 | | 其他 | | 0千円 | | 其他 | | 0千円 | |
| 決算書ページ | | 211ページ | | 一般財源 | | 158,435千円 | | 予算書ページ | | 214ページ | | 一般財源 | | 158,835千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 1.10人 | | 正職員以外の その他職員 0.10人 | | 8,822千円 | | 予算書ページ | | 215ページ | | 一般財源 | | 161,096千円 | |

評価

方向性

| | | | |
|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> 対象年齢を3学年分拡充することで、新たに対象者約1,800人分(助成件数11,502件 助成金額26,277,082円)の医療費を助成することができた。 少子化対策の観点からも引き続き医療費の一部について助成する必要がある。 | |
| Check 3 | | | |
| 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | |
| <改善内容> 令和6年度よりPMH事業(医療証のマイナンバーカード一体化)を開始し、利用者の医療機関受診時の利便性を図る。 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | |
| | | 事業の方向性 | |
| | | 事業の方向性と取組の内容 | |
| | | 1 現状維持 ○ | |
| | | 2 見直して継続 | |
| | | 重点化 | |
| | | 手段改善 | |
| | | 効率化(コストダウン) | |
| | | 規模縮小 | |
| | | 事業統合 | |
| | | 3 休止・廃止 | |
| | | 4 完了 | |
| | | 備考 | |
| | | 引き続き事業を行うことで、子どもの健康の保持増進及び子育て世帯に係る経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てる環境を整備する。 | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------------------------|------|----------------|----------------|---------------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | 担当課名 | 家庭支援課 | | 指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 地域子育て支援拠点事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 3 | 2 | 8 | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 02-地域子育て支援拠点事業 | | 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 直営の地域子育て支援センター『ひだまり』を中心に、就学前の子どもとその保護者の居場所である地域子育て支援センターを運営する。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | | 子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--------|-------|-----------------|---|----------|--------|---------|---|---------|----------|---------|---|---------|---------|----------|--------|-------|---------|----------|--|--------|
| 主な事業内容 | 1. 利用者支援事業 ・保護者の相談に応じ、個々のニーズに合った支援事業・期間等を紹介する。相談件数 328件 ・地域資源の開発(乳幼児の遊びの広場の開設) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | |
| | 2. 地域子育て支援拠点事業 ・委託契約締結 ・ひだまりルーム、出前保育、親子教室、子育て講座等の実施 ひだまりルーム参加延べ子ども数 4441回 出前保育参加延べ子ども数 373人 親子教室参加延べ子ども数 244人 子育て講座参加延べ子ども数 105人 ・子育てに関わる機関と連携・協力し、子育て支援を行う。 ・育児パパへのサポートを行う。 土曜日・日曜日のひだまりルーム年間4回実施 | | | | 1. 利用者支援事業 ・保護者の相談に応じ、個々のニーズに合った支援事業・期間等を紹介する。 ・地域資源の開発 | | | | 1. 利用者支援事業 ・保護者の相談に応じ、個々のニーズに合った支援事業・期間等を紹介する。 ・地域資源の開発 | | | | 1. 利用者支援事業 ・保護者の相談に応じ、個々のニーズに合った支援事業・期間等を紹介する。 ・地域資源の開発 | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | | 国庫支出金 | 6,041千円 | 予算額 | 国庫支出金 | | 6,214千円 | 予算額 | 国庫支出金 | | 6,672千円 | 予算額 | 国庫支出金 | | 6,672千円 | 予算額 | 国庫支出金 | | 6,672千円 | | |
| | 18,137千円 | | 府支出金 | 6,041千円 | | 18,640千円 | | 府支出金 | | 6,214千円 | 21,541千円 | | | 府支出金 | 6,672千円 | 21,541千円 | | 府支出金 | 6,672千円 | 21,541千円 | | 府支出金 |
| | | 市債 | | 0千円 | | | 市債 | 0千円 | | | 市債 | 0千円 | | | 市債 | 0千円 | | | 市債 | 0千円 | | |
| | | その他 | | 16千円 | | | その他 | 90千円 | | | その他 | 1,361千円 | | | その他 | 1,361千円 | | | その他 | 1,361千円 | | |
| 決算書ページ | | 221ページ | 一般財源 | 6,039千円 | 予算書ページ | | 231ページ | 一般財源 | 6,122千円 | 予算書ページ | | 234ページ | 一般財源 | 6,836千円 | 予算書ページ | | 234ページ | 一般財源 | 6,836千円 | 予算書ページ | | 234ページ |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 3.00人 | 正職員以外の その他職員 | 3.80人 | 33,496千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|---|-------------|--|---|---|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | ・あいびあ泉南のエスコ事業及び乳幼児の遊びの広場開設に伴う改修工事のため保育室を使うことができず、その期間には実施できない事業(年齢別ルーム、おいでおいで広場、おひさま交流会、フナルボ)、回数を減らした事業(双子のサークル活動)、樽井防災コミュニティセンターを借りて行った事業(子育て講座、赤ちゃん教室、体操教室、出前保育)があった。利用者に混乱がないように、周知、案内を丁寧に行った。 ・地域子育て支援拠点事業の周知のため、保健センター事業の4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、ママサロンに出向き、直接会ってひだまり事業について説明することで利用者増加につなげた。その中で、コロナ禍から行っている人数制限のための予約制度が参加のハードルとなっているという声があった。 | <改善内容> | ・ひだまりルーム、よちよちルーム、ころころルーム…定員、予約を無くすことで、気軽に参加することができるようにする。 ・年齢別ルーム、親子教室、子育て講座等…定員を設け予約制を継続することで、適切な準備や丁寧な関わりを継続する。 | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 保護者の相談対応や利用者アンケートのなかで、利用者のニーズを把握し、必要な支援が行えるように、事業の見直しを行う。 | |

Check 3

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------|------|---|----------------|-------|--------------------|----------------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | | 担当課名 | 家庭支援課 | | 指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 子育てしやすい環境の整備 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 | ファミリーサポートセンター事業 | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 3 2 8 | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | % | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 03-ファミリーサポートセンター事業 | 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 子育ての援助が必要な方と子育ての援助を行いたい方を組織化し、会員相互の子育てに関する援助活動を行うことにより、仕事と子育ての両立を支援するとともに地域の子育て支援を行い、市民参加による協働の子育て支援を通じて地域コミュニティの形成を図る。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画 | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--------|-----------------|-------|--|-------|--------|-------|--|-------|--------|-------|--|-----|----|-----|----|-----|----|-----|
| 主な事業内容 | 1 ファミリーサポートセンター事業 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | |
| | ・入会手続き、会員登録 ・会員同士のペアリング ・援助の調整 ・研修会の実施 ・ほっとみるく通信の発行 活動件数 352件 新規会員登録数 23件 うち利用会員 16人 うち協力会員 6人 うち両方会員 1人 年間ペアリング件数 11件 研修会 実施回数 12回 延べ参加人数 65人 | | | | 1 ファミリーサポートセンター事業 ・入会手続き、会員登録 ・会員同士のペアリング ・援助の調整 ・研修会の実施 ・ほっとみるく通信の発行 | | | | 1 ファミリーサポートセンター事業 ・入会手続き、会員登録 ・会員同士のペアリング ・援助の調整 ・研修会の実施 ・ほっとみるく通信の発行 | | | | 1 ファミリーサポートセンター事業 ・入会手続き、会員登録 ・会員同士のペアリング ・援助の調整 ・研修会の実施 ・ほっとみるく通信の発行 | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | | 956千円 | | 予算額 | | 911千円 | | 予算額 | | 929千円 | | | | | | | | | |
| | 国庫支出金 | 318千円 | 府支出金 | 318千円 | 国庫支出金 | 304千円 | 府支出金 | 304千円 | 国庫支出金 | 309千円 | 府支出金 | 310千円 | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| 決算書ページ | | 222ページ | 一般財源 | | 320千円 | | 232ページ | | 303千円 | | 235ページ | | 310千円 | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.00人 | 正職員以外の その他職員 | 2.20人 | 5,885千円 | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|--|--|---|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | ・利用する理由は、「仕事」が63.6%、「保護者の病気・体調不良」が16.5%、「産前・産後」が10.2% ・活動内容は、「送迎」86.9%、「送迎と前後の預かり」2.3%、「預かり」10.8% ・利用したい人に対して協力会員の数が少ない。協力会員は比較的高齢な方が多い。協力会員を増やすための取組が必要である。 | <改善内容> ・令和6年4月より、泉南市総合福祉センター「あいびあ泉南」内3階から1階に受付場所を移設したことで、館を利用する人の目にとまる機会が増えファミリーサポートセンター事業を知ってもらうきっかけとなる。 ・しばらく利用がない会員に連絡をとり、再活動を促す。 | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 利用会員、協力会員、ともに会員数を増やすことで、適切な運営を行っていく。 | | |
| Check 3 | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------|---|----------------|-----------------------|---|---------------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | 新規 | | 担当課名 | 保健推進課 | | 指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ③ 子どもと保護者の健康づくりの推進 | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 泉州広域母子医療センター運営補助事業 | ソフト | ○ | 款項目 | 4 | 1 | 2 | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | % |
| <事業概要> 泉州広域母子医療センター運営事業に対し、負担金を交付する。地域の安全・安心な周産期医療の確保を目指し、周産期センター(市立泉佐野病院・現地方独立行政法人りんくう総合医療センター)と婦人科医療センター(市立貝塚病院)として平成20年度にスタートし、4市3町からの財政的支援を受け、継続的・安定的に運営している。 | ハード | | 細目 | 01-泉州広域母子医療センター運営補助事業 | | 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | | % |
| | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|-----------|-----------------|----------|---|--------|--------|---------|---|--------|--------|--------|----------|----------|-----|-----------|--|----------|--|--------|--|---------|--|
| 主な事業内容 | 泉南地域4市3町 出生数 泉南市/4市3町 令和元年度 出生数 428人/2,294人 令和2年度 出生数 386人/2,152人 令和3年度 出生数 402人/2,091人 令和4年度 出生数 374人/2,081人 令和5年度 出生数 353人(前年比▲21人)/1,981人(前年比▲100人) 令和6年度(見込) 出生数 329人/1,814人 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | |
| | 関係市町は、泉州地域における周産期医療提供体制を確保するため、泉州広域母子医療センターとして、市立泉佐野病院(現地方独立行政法人りんくう総合医療センター)に周産期センターを、市立貝塚病院に婦人科医療センターとして、整備、運営する、事業を協力して負担することにより、地域住民に対する円滑な医療保険対策事業を行う。 | | | | 関係市町は、泉州地域における周産期医療提供体制を確保するため、泉州広域母子医療センターとして、市立泉佐野病院(現地方独立行政法人りんくう総合医療センター)に周産期センターを、市立貝塚病院に婦人科医療センターとして、整備、運営する、事業を協力して負担することにより、地域住民に対する円滑な医療保険対策事業を行う。 | | | | 関係市町は、泉州地域における周産期医療提供体制を確保するため、泉州広域母子医療センターとして、市立泉佐野病院(現地方独立行政法人りんくう総合医療センター)に周産期センターを、市立貝塚病院に婦人科医療センターとして、整備、運営する、事業を協力して負担することにより、地域住民に対する円滑な医療保険対策事業を行う。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 0千円 | | 府支出金 0千円 | | 市債 0千円 | | その他 0千円 | | 決算書ページ | 229ページ | 一般財源 | 26,942千円 | | 予算額 | 国庫支出金 0千円 | | 府支出金 0千円 | | 市債 0千円 | | その他 0千円 | |
| | 予算額 | 19,754千円 | | 35,930千円 | | 予算書ページ | 245ページ | 一般財源 | 19,754千円 | | 予算書ページ | 248ページ | 一般財源 | 35,930千円 | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.01人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 78千円 | 方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|-------------|--------|----------|-------------------|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> 泉州広域母子医療センターは、ハイリスク分娩などの困難事例、夜間救急対応を含め365日24時間の受け入れ体制(常時、産科医2名、小児科医1名)が整備されている。不採算の部分ではあるが、地域の安全・安心な産科医療を継続するために、4市3町の連携支援が必須である。 | | | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 | |
| | Check 3 | <改善内容> 泉州広域母子医療センター運営協議会及び連絡会議において、大阪大学・医師会・大阪府・各市町等が泉州地域の周産期医療体制、安心安全な母子医療について協議・調整を実施し、現在の体制を継続する必要がある。 | | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| 1 現状維持 | | ○ | | 市内に分娩を取り扱う医療機関がないため、市民の分娩場所を確保し、早産・多胎出産、妊娠糖尿病等のハイリスク分娩にも迅速に対応できることが必要である。また、産婦人科医の不足等により、貝塚市以南の4市3町の広域で継続して取り組むことが重要である。 | | | | | | | | | |
| 2 見直して継続 | | | | 重点化 | | | | | | | | | |
| | | | | 手段改善 | | | | | | | | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | | | |
| | | | | 規模縮小 | | | | | | | | | |
| | | | | 事業統合 | | | | | | | | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | | | |
| | | | | 4 完了 | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|--|----------------|-------------|---------------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | | 担当課名 | 保健推進課 | | 指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ③ 子どもと保護者の健康づくりの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 母子健康増進事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 4 1 3 | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | % | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 01-母子健康増進事業 | 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | % | |
| <事業概要> 妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援を実施する。居場所づくりや情報提供等、子育て支援の充実を図り、保護者が安心して子育てできるように支援する。必要時には、関係機関との連携を図り支援を実施する。 | | 市単独 | | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | 母子保健法、子ども子育て支援法、児童福祉法、成育基本法 泉南市子ども、子育て支援事業計画 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|----------|--|----------|---|-----------------|--|----------|--|----------|--|-------|--|----------|--|---------|--|---------|--|
| 主な事業内容 | 1. 情報提供の充実 せんくまっこナビ(母子健康手帳アプリ):登録数494件 「子育てノート」の作成(母子健康手帳交付時に配布) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | |
| | 2. 妊娠、出産への支援 妊産婦・多胎児タクシー乗車券交付:妊産婦308人、多胎9人 せんくまっこベビーサポート(出産・子育て応援給付金):出産341人、子育て351人 | | | | 1. 情報提供の充実 広報、ホームページ、せんくまっこナビ(母子アプリ)、保健センターだより、子育てガイドブック等の充実 | | | | 1. 情報提供の充実 広報、ホームページ、せんくまっこナビ(母子アプリ)、保健センターだより、子育てノート、子育てガイドブック等の充実 | | | | 1. 情報提供の充実 広報、ホームページ、せんくまっこナビ(母子アプリ)、保健センターだより、子育てノート、子育てガイドブック等の充実 | | | | | | |
| 事業の財源 | 3. 相談支援事業の充実 助産師相談 母子健康手帳交付364件(助産師・保健師面談) | | | | 2. 妊娠、出産への支援 妊産婦・多胎児タクシー乗車券交付 せんくまっこベビーサポート(出産・子育て応援給付金) | | | | 2. 妊娠、出産への支援 妊産婦・多胎児タクシー乗車券交付 せんくまっこベビーサポート(妊婦のための支援給付交付金) | | | | 2. 妊娠、出産への支援 妊産婦・多胎児タクシー乗車券交付 せんくまっこベビーサポート(妊婦のための支援給付交付金) | | | | | | |
| | 4. 訪問支援事業の実施(こにちは赤ちゃん訪問)337人 | | | | 3. 相談支援事業の充実 訪問支援事業の実施 | | | | 3. 相談支援事業の充実 訪問支援事業の実施 | | | | 3. 相談支援事業の充実 訪問支援事業の実施 | | | | | | |
| 決算額 | | 国庫支出金 | | 29,958千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 | | 34,477千円 | | 国庫支出金 | | 47,543千円 | | 府支出金 | | 2,813千円 | |
| | | 府支出金 | | 8,552千円 | | | | 府支出金 | | 8,505千円 | | | | 府支出金 | | 2,813千円 | | | |
| | | 40,198千円 | | 市債 | | 0千円 | | 60,707千円 | | 市債 | | 0千円 | | 57,399千円 | | 市債 | | 0千円 | |
| | | その他 | | 0千円 | | | | その他 | | 0千円 | | | | その他 | | 0千円 | | | |
| 決算書ページ | | 230ページ | | 一般財源 | | 1,688千円 | | 予算書ページ | | 246ページ | | 一般財源 | | 17,725千円 | | 予算書ページ | | 250ページ | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | | 1.25人 | | 正職員以外の その他職員 | | 2.35人 | | 16,325千円 | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|---|-------------------|--|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 |
| | 出産・子育て応援給付金事業を開始し、妊娠期から子育て期の家庭に寄り添い、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」の充実とともに、「経済的支援」を一体的に実施した。また妊産婦や多胎児家庭に、受診や外出支援として、タクシー利用支援事業(タクシー券の支給)を実施した。妊娠・出産・育児に関する母子保健サービスの情報を掲載した「子育てノート」を作成し、母子健康手帳交付時にセルフプランとして個別に必要な情報を提供することができた。母子手帳アプリは、母子手帳交付時や健診・訪問時に案内し、乳幼児の栄養など情報発信している。産後ケア事業では、家族等から十分な家事や支援が受けられない方だけでなく、心身の不調や育児不安がある方も利用できるように対象を変更したため、利用者も増え、産後に安心して子育てができる支援ができた。産後の育児不安や負担の軽減のために、利用しやすいサポート体制の充実を図ることが大切である。 | | <改善内容> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援「伴走型相談支援」の充実を図る。母子健康手帳交付時など妊娠期からの関係づくりを重視し、必要がある家庭には出産後早期に訪問し、子育て支援を行う。 母子健康手帳アプリの利用者が増加するよう、子育てに関する情報をタイムリーに発信できるように内容等を検討していくとともに、母子手帳交付時にアプリの活用について周知し、勧奨を行う。 産後の支援として、アウトリーチ(訪問型)の産後ケア事業の導入や、一時預かり保育等利用の試し利用の機会、また育児負担軽減のための利用料金の減額など、利用しやすい支援体制の充実が図れるように検討する。 | | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|--|----------------|-------------|---------------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 3 子育て支援 | | 新規 | | 担当課名 | 保健推進課 | | 指標名 この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合 | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ③ 子どもと保護者の健康づくりの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 母子健康診査事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 4 1 3 | 目標 | 96.0 | 96.2 | 96.4 | 96.6 | 97.0 | 97.4 | 97.8 | 98.2 | 98.6 | 99.0 | | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 02-母子健康診査事業 | 実績 | 93.2 | | | | | | | | | | | % |
| ＜事業概要＞ 乳幼児・妊産婦の健康診査等とおして、子どもの健康状態や保護者の子育ての悩み、不安等について、相談を受けるとともに、保護者が安心して子育てができるよう、支援する。必要時には関係機関と連携し、支援する。妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援を実施する。 | | 市単独 | | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 97.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | 母子保健法、子ども子育て支援法、児童福祉法、成育基本法 泉南市子ども、子育て支援事業計画 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|-----------------------|---------------|---------------|---|---------------|---------------|---------------|---|---------------|---------------|--|-----|--|--|
| 主な事業内容 | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | |
| | 1. 妊産婦健診の実施・フォローの充実 妊婦健診公費負担14回 産婦健診2回公費 産婦健診2週間 91.5% 1か月健診 83.3% 2. 乳幼児健康診査の実施・フォローの充実(全数把握) 4か月児健診 362人 97.6% 1歳6か月児健診 368人 96.8% 3歳6か月児健診 386人 95.3% 3. 経過観察健診等の実施・フォローの充実 経過観察健診157人 発達相談249人 4. 相談支援の実施・充実 母子健康手帳の交付 364人(保健師・助産師面談) 5. 産前・産後ケア事業の充実 両親教室4回 38人 産後ケア事業 利用者12人 6. 関係機関との連携の強化 | | | | 1. 妊産婦健診の実施・フォローの充実 2. 乳幼児健康診査の実施・フォローの充実 3. 経過観察健診等の実施・フォローの充実 4. 相談支援の実施・充実 5. 産前・産後ケア事業の充実 6. 関係機関との連携の強化 | | | | 1. 妊産婦健診の実施・フォローの充実 2. 乳幼児健康診査の実施・フォローの充実 3. 経過観察健診等の実施・フォローの充実 4. 相談支援の実施・充実 5. 産前・産後ケア事業の充実 6. 関係機関との連携の強化 | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | | 国庫支出金 2,162千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 2,065千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 2,930千円 | | 方向性 | | |
| | 53,533千円 | | 府支出金 611千円 | | 62,479千円 | | 府支出金 605千円 | | 61,152千円 | | 府支出金 591千円 | | | | |
| | | 市債 0千円 | | | | 市債 0千円 | | | | 市債 0千円 | | | | | |
| | | 其他 0千円 | | | | 其他 0千円 | | | | 其他 44千円 | | | | | |
| 決算書ページ 231ページ | | 一般財源 50,760千円 | | 予算書ページ 247ページ | | 一般財源 59,809千円 | | 予算書ページ 250ページ | | 一般財源 57,587千円 | | | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 1.05人 | 正職員以外の その他職員 2.00人 | 13,833千円 | | | | | | | | | | | | |

評価

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|--|--|--|--|---|-------------------|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | ＜成果・課題＞ | | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 |
| | 妊婦健診は、国基準の公費負担と産婦健診2回公費で経済的支援を実施している。産後に心身が不安定となるため、産後つつの予防や育児支援のために、産後健診の受診率を上げることが大切である。 乳幼児健診の受診率は、出生率の低下により減少傾向にあるが、受診率は高い数値で横ばいで推移している。未受診児も全数把握しており、子どもの健康状態や保護者の育児の悩みや不安等に対応する専門職によるカウンセリングを行い、健診後も支援が必要な場合には、支援を継続している。新型コロナウイルス感染症の感染予防の対応として、集団指導を控え、パンフレット等の配布など個別の対応をしていたが、感染状況等を踏まえ緩和し、年度途中より集団指導を再開する。 | | | ＜改善内容＞ 妊婦健診や産後健診の受診では、母子健康手帳交付時等において健診の必要性を伝え動員していくとともに、健診機関の産科や産院と連携を強化し、産後健診の受診率を上げることにより、母子の健康管理と支援を図る。 乳幼児健診の集団指導を再開しており、子どもの健全な発育・発達を促すために、生活習慣や栄養など子育てについて適切な情報を提供できるようにする。 健診の機会を通して、母子の健康管理と育児支援を実施するとともに、必要時は他機関と連携し、妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援の充実を図る。 | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 乳幼児・妊産婦の健康診査等とおして、子どもの健康状態や保護者の子育ての悩みや不安等について、相談を受けるとともに、保護者が安心して子育てができるよう、支援の充実を図る。必要時には関係機関と連携し、妊娠・出産・子育て期にわたり、切れ目のない支援の充実を図る。 | | | |
| Check 3 | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|---|---------------|--|------|---------|--------------------------|------|------|----------|------|---|----|--|
| 分野別政策 | 1 | 『ひと』を育てる・輝かせる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①就学前教育の充実 ◇子どもたちが遊びと学びの連続性を確保するため、保育所(園)・幼稚園・こども園・小学校の連携を推進します。 ◇グローバル社会に対応し、多様な文化に触れながら豊かな心を育むため、就学前の段階からの国際交流を推進します。 ②義務教育の充実 ◇確かな学力を身につけ豊かな心を育むため、教職員研修の充実等、教職員の資質・能力向上を図ります。 ◇学力の定着や教育内容の充実を図るため、家庭学習の支援及び小中一貫教育を推進します。 ◇性別、国籍、障害の有無、生まれた環境等に関わらず自他を尊重できる子どもを育成するため、人権教育や外国語教育等を推進します。 ◇いじめや不登校、問題行動等の生徒指導上の問題解決に注力するため、教育相談体制と子どもの心のケアの充実を図ります。 ③安全・安心な教育環境づくり ◇すべての家庭が安心して、育てる喜びを感じることができるようにするための子育て・子育て支援の充実を図ります。 ◇柔軟で創造的な学びに対応することができる教育環境の整備を図ります。 ◇保護者や地域との連携による通学路の安全確保や、学校の防犯機能強化、避難訓練の実施等による子どもの安全確保を推進します。 ◇防災拠点や地域コミュニティ拠点となる機能の付加や学校を核として各主体をつなぐ教育コミュニティ拠点となる開かれた学校づくりを行います。 ◇子どもの健やかな心身の育成や、食を通じて地域や文化、自然の恵み、勤労の大切さを理解するため、安全・安心な学校給食の提供と食育の推進を図ります。 |
| 施策 | 4 | 就学前教育・学校教育 |  | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 安全・安心な環境の中で、学力向上に取り組むことができ、子どもたちの笑顔と健康が守られるまち | | | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 子どもが安全に安心して過ごせる教育環境の中で、確かな学力とたくましく生きる力を身につけられるよう、家庭、地域、学校、行政が連携した地域ぐるみの学校づくりに取り組むとともに、生まれ育った地域に愛着、誇りを持ち、明るく元気な子どもが育つまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | 備考 | | |
| | 幼稚園・学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合 | | | | 86.9% | | | | 90.0% | | 令和3年度数値は幼稚園児98.9%・小学生84.0%・中学生77.8%の平均値 | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| | 目標 | 87.0 | 87.5 | 88.0 | 88.5 | 89.0 | 89.5 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | | |
| 実績 | 84.8 | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 97.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所管部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-4-② 教育推進事業【教育部】 | | | | | | 1-4-③ 中学校給食提供事業【教育部】 | | | | | | | |
| 1-4-② 学力向上推進事業【教育部】 | | | | | | 1-4-③ 施設保全整備事業(幼稚園)【教育部】 | | | | | | | |
| 1-4-①、② JETプログラム事業【教育部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-4-② 就学援助事業(小学校)【教育部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-4-② 就学援助事業(中学校)【教育部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-4-③ (仮称)西信達義務教区学校等整備事業【教育部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-4-③ 施設保全整備事業(小学校)【教育部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-4-③ 小学校給食提供事業【教育部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-4-③ 施設保全整備事業(中学校)【教育部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|--|--------------|----------------------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | | 担当課名 | 指導課 | 指標名 全国学力学習状況調査の全国平均値 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 義務教育の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | |
| 事務事業名 教育推進事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 1 3 | 目標 | 92.0 | 94.0 | 96.0 | 98.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | % | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 01-教育推進事業 | 実績 | 88.4 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 学力向上に向けた授業改善の推進や学習指導要領の着実な実施に向けて、教育課程への理解を深める。児童・生徒が安心して学校に通えるよう生活指導、生徒指導の充実を図り、小中一貫教育やギガスクール構想へのICT支援を推進する。 | | 市単独 | | (関係法人・市条例・計画等) | | 達成率 | 96.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
|  | | | | 「小学校・中学校学習指導要領」(文科省)、泉南市教育振興基本計画、生徒指導提要(令和4年12月 文科省) | | 達成度 | A | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|-----------|-----------------|---|----------|--------|---|-------|-----|---|-----------|----------|-----|-----|-----------|------|-----------|
| 主な事業内容 | (資質能力向上) 学校教育アドバイザーが各学校園を訪問し、週4回は主に、学習指導等の指導・助言を行い、週1回は主に生徒指導に関する指導・助言を行ってきた。また、オンラインによる講座を年間4回行った。 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | | | | | | |
| | (学力向上) 大阪府教育庁SE推進事業の一環として、砂川小学校・一丘中学校・西信達中学校のそれぞれで学校公開を実施した。市内の全教職員が現地参加・オンライン参加した。 (教育課程への理解) 担当指導主事が年2回、全校訪問し教育課程の実施状況や編成の工夫等についてヒアリングを行った。 | | | ・学校教育を活性化するための教職員の資質能力の向上 ・教育の質を高める教育研究活動の推進 | | | ・学校教育を活性化するための教職員の資質能力の向上 ・教育の質を高める教育研究活動の推進 | | | ・学校教育を活性化するための教職員の資質能力の向上 ・教育の質を高める教育研究活動の推進 | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 100,611千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 15千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 2,456千円 | 一般財源 | 98,139千円 | | | | | |
| | 決算書ページ | 284ページ | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 15千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 2,456千円 | 一般財源 | 98,139千円 | | | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 7.40人 | 正職員以外の その他職員 | 1.00人 | 62,076千円 | 予算額 | 131,954千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 15千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 2,680千円 | 一般財源 | 129,259千円 |
| | | | | | | 予算書ページ | 324ページ | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 171,979千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 248,123千円 | 一般財源 | 153,918千円 |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|-----------|--|---|----------|---|--|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> (資質能力向上) 生徒指導対応の視点で管理職や生徒指導担当者へ年間94回の学校訪問を行い、助言指導を行った。また、主に経験年数の浅い教員や講師を対象に、授業観察や学習指導や学級経営における指導助言を行ったため、より実践的な指導を行うことができた。年間のべ335人の講師を対象に指導助言でできた。オンライン講座については、参加のしやすさもあるが、対面で協働的な学びになるようなスタイルの必要性を感じる。 (学力向上) 学校公開に全教職員が参加したことで、市としての方針を示すことができた。また、授業後に大学教授に講演を行ったことで教員の知見を深めることができた。学校公開で学んだことについて各校で今後の計画を立てる必要がある。 (教育課程への理解) 指導主事が助言することで各校で教育課程の見直しが進んでいる。教育課程を編成する際に、カリキュラムマネジメントの観点が必要である。 | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | Check 3 | <改善内容> (資質能力向上) 引き続き、学校訪問や授業観察を行い、管理職等への具体的な指導助言を行うとともに、主に経験年数の浅い教員や講師を対象に、オンラインではなく、対面での研修を実施する。お互いの意見交流や指導教諭を活用し、より実践的な研修を行う。 (学力向上) 引き続き、公開授業を通じて、他校から学んだ好事例を自校に持ち帰り、授業改善に役立てる機会を設ける。また認知能力テストを実施し、その結果分析をいかして、授業づくりを進めていく。 (教育課程) ヒアリングを通じて、計画通り行われているか進捗確認を行うとともに、各校の特色ある取組をいかにカリキュラムマネジメントの観点で指導助言を行う。また、働き方改革や授業の質向上の観点からも、余剰時間に関する扱いの指導助言も行う。 | 事業の方向性 | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 毎年度、学校訪問・授業観察を行い、管理職等への具体的な指導助言を行う。若手教員に対して、対面での研修を実施する。その際の講師として、本市の指導教諭に依頼する。初任者研修等にも指導教諭を活用していく。 TM校は公開授業を実施し、自校の実践について広く周知する。参加者も自校の実践へ役立てる。また児童生徒に対して認知能力テストを実施し、授業づくりを進めていく。 教育課程の確実な実施を目指して、各校へヒアリングを行う。その際にカリキュラムマネジメントの視点を大事にした指導計画を作成するよう、助言を行う。 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|--|---------|-------------|---|---|-----|---|----|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | | 担当課名 | 学力向上対策室 | | | | | 指標名 全国学力学習状況調査における小中学校算数・数学・国語の「知識・技能」全国平均値に対する割合 | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 義務教育の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 学力向上推進事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 9 | 1 | 3 | 目標値 | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 05-学力向上推進事業 | | | | | 実績 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 令和4年度の全国学力・学習状況調査では「知識・技能」の習得に課題が見られた。そこで、AIドリルで個別最適化された問題に取り組み「知識・技能」の確実な習得を図る。また、民間作成教育検査を実施することで、その効果検証を行う。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | | | | | | | | | | | | |
|  | | | | 「小学校・中学校学習指導要領」(文科省)、泉南市教育振興基本計画、生徒指導要領(令和4年12月 文科省) | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|--|-----------------|---------|--|--------|-------|--------|--|-----|--------|-----|--------|------|-----|
| 主な事業内容 | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | |
| | | ・基礎基本の定着、家庭学習を充実させるためのAIドリルの活用促進 ・民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業の実施 | | | | ・基礎基本の定着、家庭学習を充実させるためのAIドリルの活用促進 ・民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成 | | | | ・基礎基本の定着、家庭学習を充実させるためのAIドリルの活用促進 ・民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成 | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 国庫支出金 | 2,510千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 0千円 | / | | |
| | | 7,528千円 | | 府支出金 | 0千円 | 16,104千円 | | 府支出金 | 0千円 | 12,614千円 | | 府支出金 | 0千円 | | | |
| 職員数/人件費 | | 決算書ページ | | 286ページ | 一般財源 | 2,509千円 | 予算書ページ | | 326ページ | 一般財源 | 0千円 | 予算書ページ | | 333ページ | 一般財源 | 0千円 |
| | | 2.10人 | | 正職員以外の その他職員 | 1.00人 | 19,007千円 | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|---|---|---|---|--|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | ○AIドリルの活用について ・ログイン延べ人数や平均実施ドリル数などの活用状況は徐々に向上してきている。特に小学校の平均実施ドリル数は高い状況である。 ・課題は、小学校に比べると中学校の平均実施ドリル数の割合は高くないことがあげられる。 ○民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・児童生徒理解、授業改善の視点として効果的なものであるという認識が進んだ。 ・課題は、導入初年度として、結果の活用方法等が教員に十分浸透しきつていなかったことがあげられる。 ○学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業 ・泉南市全小中学校の子どもの声を集約した成果物が完成した。 | <改善内容> ○AIドリルの活用について ・好事例の共有、情報発信 ○民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・推進校を指定し、大学教授等との共同研究による授業改善・学力向上の推進 ・活用方法等研修の実施 ○学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業 ・「泉南っ子日本一宣言」の姿を具現化する事業の実施 | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | ・AIドリル事業は、令和7年度末までの長期継続契約にて契約する。 ・民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進事業、学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業は、令和8年度末までの継続事業として計画している。 ・大学教授等との共同研究事業は、令和7年度以降も継続して実施する。 | | |

Check 3

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----|------|--|---------------|---------|--------------|----------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 再掲 | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | | 新規 | | 担当課名 | 人権国際教育課 | 指標名 | 児童生徒の国際交流内容の満足度評価(%)/90%以上 | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ② 義務教育の充実 ① 就学前教育の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | R5 | | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 |
| 事務事業名 JETプログラム事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 9 | 1 | 4 | 目標 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 02-JETプログラム事業 | | 実績 | 89 | | | | | | | | | |
| <事業概要> JETプログラムを活用して全小中学校にALT(外国語指導助手)を1名以上配置することで英語教育の充実を図る。また、幼稚園・保育園所・認定こども園にCIR(国際交流員)を派遣することで幼児期からの国際交流を推進する。CIR/ALT/SEAを市民との交流のために派遣し・市内での国際交流を推進する。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 99.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | | | | 泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権教育基本方針、泉南市子どもの権利に関する条例、教育振興基本計画 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--------|-----------------|---|----------|----------|---|----------|----------|---|-------|----------|
| 主な事業内容 | 【翻訳・通訳(CIR)】(延べ184回) ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| | 【多文化共生・国際交流】(延べ374回) ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施 | | | 【翻訳・通訳(CIR)】 ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】 ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施 | | | 【翻訳・通訳(CIR)】 ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】 ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施 | | | 【翻訳・通訳(CIR)】 ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】 ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣(CIR) ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣(CIR) ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施 | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 |
| | | 府支出金 | 0千円 | | 府支出金 | 0千円 | | 府支出金 | 0千円 | | 府支出金 | 0千円 |
| | 17,977千円 | 市債 | 0千円 | 26,523千円 | 市債 | 0千円 | 26,604千円 | 市債 | 0千円 | 26,604千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 其他 | 10,365千円 | | 其他 | 12,384千円 | | 其他 | 12,096千円 | | 其他 | 12,096千円 |
| | 決算書ページ | 287ページ | 一般財源 | 7,612千円 | 予算書ページ | 327ページ | 一般財源 | 14,139千円 | 予算書ページ | 334ページ | 一般財源 | 14,508千円 |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.98人 | 正職員以外の その他職員 | 1.00人 | 10,296千円 | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|-----------|--|--|----------|---|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> 翻訳した書類は増加しているが、令和4年度と同程度の翻訳を行い、市民サービスの向上を図ることができた。また、国際交流に関しては、令和4年度以上の回数を行い、児童生徒はもちろん、就学前施設に通う子どもや市民等にも国際交流活動や多文化共生に関する講義等も行った。翻訳を通して、外国にルーツのある市民へのサービス向上は一定の基盤が整いつつあるが、実際に悩みを抱えたときなどの相談窓口としての役割も果たせるように、支援の方策を考えていく必要がある。 | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | Check 3 | <改善内容> 国際交流員が行う相談窓口の周知のため、学校園と連携し、保護者へ働きかける。国際交流活動は引き続き行うと同時に、令和6年度より開始したCIRによる多文化理解講座についてもよりよい周知の方法を考え、市民へのさらなる普及に努める。 | | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|----------------|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | 担当課名 | 指標名 学校に行くのが楽しいと思う児童の割合(全国学力・学習状況調査より) | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 義務教育の充実 | | 継続 | 会計名 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 就学援助事業(小学校) | | ソフト | 款項目 | 目標 82.5 83.0 83.5 84.0 84.5 85.0 85.5 86.0 86.5 87.0 % | | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | 細目 | 実績 85.4 | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 経済的な理由により就学困難な児童や、支援学級に在籍する児童の保護者に対して、負担軽減のため、学用品・通学用品購入費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資する。 | | 市単独 | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | | |
|  | | 学校教育法第19条、泉南市就学援助規則、泉南市就学援助費支給要綱、泉南市特別支援教育就学奨励費支給要綱 | | | 目標値 達成率 103.5% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 達成度 A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|----------------------------------|---|-----|--|--|---|--|--|--|
| 主な事業内容 ◎就学援助事業【就学援助費】 支給人数: 776人 支給総額: 68,579,770円 【特別支援教育就学奨励費】 支給人数: 141人 支給総額: 4,394,814円 【要保護児童生徒援助費】 支給人数: 4人 支給総額: 85,403円 | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| | ◎就学援助事業【就学援助費】 小学校入学準備金57,060円、新入学児童生徒学用品・通学用品費1年57,060円、学用品・通学用品購入費1年11,630円・2年～6年13,900円、校外活動等参加費(宿泊を伴わない)1,600円、校外活動等参加費(宿泊を伴う)3,690円、修学旅行費 実費、学校給食費 実費、医療費 実費、日本スポーツ振興センター共済掛金460円、中学校入学準備金6年63,000円【特別支援教育就学奨励費】 新入学児童生徒学用品・通学用品費1年57,060円、学用品・通学用品購入費1年11,630円・2年～6年13,900円、校外活動等参加費(宿泊を伴わない)1,600円、校外活動等参加費(宿泊を伴う)3,690円、修学旅行費 実費の8割、学校給食費 実費の7割【要保護児童生徒援助費】 修学旅行費 実費 | | | | ◎就学援助事業【就学援助費】 小学校入学準備金57,060円、新入学児童生徒学用品・通学用品費1年57,060円、学用品・通学用品購入費1年11,630円・2年～6年13,900円、校外活動等参加費(宿泊を伴わない)1,600円、校外活動等参加費(宿泊を伴う)3,690円、修学旅行費 実費、学校給食費 実費、医療費 実費、日本スポーツ振興センター共済掛金460円、中学校入学準備金6年63,000円【特別支援教育就学奨励費】 新入学児童生徒学用品・通学用品費1年57,060円、学用品・通学用品購入費1年11,630円・2年～6年13,900円、校外活動等参加費(宿泊を伴わない)1,600円、校外活動等参加費(宿泊を伴う)3,690円、修学旅行費 実費の8割、学校給食費 実費の7割【要保護児童生徒援助費】 修学旅行費 実費 | | | | ◎就学援助事業【就学援助費】 小学校入学準備金57,060円、新入学児童生徒学用品・通学用品費1年57,060円、学用品・通学用品購入費1年11,630円・2年～6年13,900円、校外活動等参加費(宿泊を伴わない)1,600円、校外活動等参加費(宿泊を伴う)3,690円、修学旅行費 実費、学校給食費 実費、医療費 実費、日本スポーツ振興センター共済掛金460円、中学校入学準備金6年63,000円【特別支援教育就学奨励費】 新入学児童生徒学用品・通学用品費1年57,060円、学用品・通学用品購入費1年11,630円・2年～6年13,900円、校外活動等参加費(宿泊を伴わない)1,600円、校外活動等参加費(宿泊を伴う)3,690円、修学旅行費 実費の8割、学校給食費 実費の7割【要保護児童生徒援助費】 修学旅行費 実費 | | | |
| 事業の財源 決算額 73,060千円 決算書ページ 292ページ 職員数/人件費 正職員 0.40人 職員以外その他職員 0.30人 3,971千円 | 予算額 76,782千円 予算書ページ 333ページ | 国庫支出金 1,137千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 71,923千円 | 国庫支出金 2,884千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 73,898千円 | 予算額 84,952千円 予算書ページ 341ページ | 国庫支出金 2,875千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 82,077千円 | 方向性 | | | | | | |

評価

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--|--|---|--------------|-------------------|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 経済的理由により、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 援助内容を国の補助基準額にあわせることで、より保護者に必要な援助が届くよう支給額を変更(増額)する。また、補助金申請事務についても、対象経費をわけの必要がなくなり、事務の効率化につながる。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| 1 現状維持 ○ | | ・経済的理由により、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、必要な援助を与えることができるよう、さらなる制度の周知により、制度の活用促進を目指す。 | | | |
| 2 見直し継続 | | ・利用者側の利便性の向上、担当課の事務効率の向上等のバランスを考慮しつつ、市民サービス向上を模索する。 | | | |
| 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 | | | | | |
| 3 休止・廃止 | | | | | |
| 4 完了 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|----------------|-----------|--------------|-----------------------------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|------|------|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | | 担当課名 | 教育サービス課 | 指標名 | 学校に行くのが楽しいと思う生徒の割合(全国学力・学習状況調査より) | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ② 義務教育の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | | 単位 | |
| 事務事業名 就学援助事業(中学校) | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 3 2 | | 目標 | 76.5 | 77.0 | 77.5 | 78.0 | 78.5 | 79.0 | 79.5 | 80.0 | 80.5 | | 81.0 | % |
| <事業概要> 経済的な理由により就学困難な生徒や、支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、負担軽減のため、学用品・通学用品購入費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資する。 | | ハード | | 細目 | 01-就学援助事業 | | 実績 | 81.8 | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 106.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | 0.0% |
| | | 学校教育法第19条、泉南市就学援助規則、泉南市就学援助費支給要綱、泉南市特別支援教育就学奨励費支給要綱 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | |
|---------|---|-------|---------------|-------|----------|------|---------|-----|-----|
| 主な事業内容 | ◎就学援助事業【就学援助費】 支給人数:405人 支給総額:37,978,160円 【特別支援教育就学奨励費】 支給人数:55人 支給総額:3,294,297円 【要保護児童生徒援助費】 支給人数:5人 支給総額:275,578円 | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | | |
| | 事業の財源 | | 令和6年度 | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | | |
| 決算額 | 41,548千円 | 国庫支出金 | 959千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| 決算書ページ | 297ページ | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| 職員数/人件費 | 正職員 0.40人 正職員以外の その他職員 0.30人 | 国庫支出金 | 959千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 市債 | 0千円 | 国庫支出金 | 48,838千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | その他 | 0千円 | 国庫支出金 | 48,838千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 国庫支出金 | 2,307千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 40,589千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|------|----------------|---------------|-----|-----------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | 担当課名 | 教育総務課 | | 指標名 | 小中一貫校整備校数 | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ③ 安全・安心な教育環境づくり | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | 目標 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 令和5年度は、学校の建設に向け地域住民から意見を聴取し、学校基本計画を作成し、民間活力導入可能性検討を行った。 |
| 事務事業名 (仮称)西信達義務教区学校等整備事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 1 2 | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 校 | |
| <事業概要> 令和10年4月開校に向け、(仮称)西信達義務教育学校の整備を行う。 | | ハード | ○ | 細目 | 04-小中一貫教育推進事業 | | 達成率 | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 事業に関連するSDGs | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成度 | - | | | | | | | | | | | | |
| 泉南市立小中学校再編計画(令和5年3月策定) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--------|-----------------|--|---------|------|---|--------|-----------|--|-------|-----------|
| 主な事業内容 | (仮称)西信達義務教育学校基本計画策定及び民間活力導入可能性検討業務等を実施 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| | 1. 地域住民アンケート ・調査期間: 令和5年7月5日から令和5年7月28日まで ・1,037世帯配布、339件回収、回収率32.7% ・令和5年10月5日結果公表 2. 地域住民ワークショップ ・実施時期: 令和5年8月から令和5年9月まで ・実施回数: 3回、延べ42人参加 ・ワークショップ互版発行: 3回 3. 泉南市学校施設検討委員会 ・開催時期: 令和5年11月から令和6年2月まで ・開催回数: 3回 4. 学校基本計画及び民間活力導入可能性検討業務報告書作成 | | | 【業務内容】 令和5年度に策定した(仮称)西信達義務教育学校基本計画及び民間活力導入可能性検討結果をもとに ・建設する学校施設の内容を精査、要求水準書決定 ・プロポーザル方式による事業者選定委員会開催 ・施設を建設する事業者の募集・選定 ・契約を締結 | | | 【業務内容】 (仮称)西信達義務教育学校建設事業 ・旧施設解体に向けた解体設計 ・学校施設建設の基本設計・実施設計 ・開発許可申請・建築確認申請 ・仮校舎の建設 ・仮校舎への移転 ・西信達中学校用地測量 ※令和7年度から「(仮称)西信達義務教育学校等整備事業」に事務事業名を変更 | | | 【業務内容】 (仮称)西信達義務教育学校建設事業 ・プール棟、特別教室等、旧幼稚園施設等解体 ・校舎棟、屋内運動場・多機能化施設棟建設工事 ・消防分団車庫建設工事、完成 ・消防分団車庫解体工事、完了 | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 |
| | | 府支出金 | 0千円 | | 府支出金 | 0千円 | | 府支出金 | 0千円 | | 府支出金 | 0千円 |
| | 26,117千円 | 市債 | 0千円 | 27,061千円 | 市債 | 0千円 | 388,642千円 | 市債 | 305,500千円 | | 市債 | 305,500千円 |
| | | その他 | 0千円 | | その他 | 0千円 | | その他 | 82,800千円 | | その他 | 82,800千円 |
| | 決算書ページ | 283ページ | 一般財源 | 26,117千円 | 323ページ | 一般財源 | 27,061千円 | 329ページ | 一般財源 | 342千円 | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.40人 | 会計年度職員 任期付職員 | 0.00人 | 3,111千円 | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|---|---|---|---|--|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | 1. 地域住民アンケート、地域住民ワークショップ 新しい義務教育学校の目指す姿(コンセプト)や学校に必要な教室・機能等について、地域住民と学校の関わり方などについて、西信達地区住民の意見を確認することができ、泉南市学校施設検討委員会及び学校基本計画の基礎資料とすることができた。 2. 学校基本計画及び民間活力導入可能性検討業務報告書 義務教育学校の目指す姿(コンセプト)、今後の児童生徒数の推移などを整理し、学校に必要な教室や複合化する施設を整理することができた。 Check 3 建築費が高騰する中、事業費の抑制、財源の確保、実施事業者の募集に向け精査し、事業を進めていく必要がある。 | <改善内容> 設計、建設を実施する事業者を募集するため募集要項や要求水準書等は十分に精査した上で作成する。 実施事業者の決定は、泉南市教育委員会プロポーザル方式による事業者選定委員会を設置し、総合評価一般競争入札方式で実施する予定のため、競争性があり、品質を確保することができる評価基準を設定する必要がある。 事業者を決定し、議案として議会に提案した上で、契約を締結する。 | 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性 事業の方向性と取組の内容 契約した事業者と協議し、学校と連携した上で、現在の施設の解体設計、新しい施設の基本設計・実施設計を行う。 また、仮設校舎の建築と第1期除却建物からの移動を行う。 | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------------------|------|----------------|-------------|---|---------------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | 担当課名 | 教育総務課 | | | 指標名 LED化が完了した市立小学校数 | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ③ 安全・安心な教育環境づくり | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 施設保全整備事業(小学校) | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 | 2 | 3 | 目標 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | | 校 |
| <事業概要> 小学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕・工事などを行う。 | | ハード | ○ | 細目 | 01-施設保全整備事業 | | | 実績 | 9 | | | | | | | | | | | |
| | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 学校教育法、泉南市立学校管理運営に関する規則、泉南市教育振興基本計画等 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--------|-----------------|-----------|-----------|----------|----------|-----------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1. 学校施設等修繕 ・修繕件数:86件 ・主な内容:給水管、床、天井、屋根、トイレ、照明、電気錠、エアコン、エレベーターなどの修繕 2. 机天板交換 ・交換枚数:419枚 ・実施校数:2校(東小学校、砂川小学校) 3. 工事設計委託 ・各小学校空調設備工事設計委託:8校 ・トイレ改修工事設計委託:1校(東小学校) 4. LED照明器具借上 ・実施校数:9校 5. 体育館屋根塗装改修工事 ・実施校数:1校(東小学校) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 事業の財源 | | 令和6年度 | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 19,252千円 | 方向性 | |
| | | 41,113千円 | 府支出金 | 0千円 | 255,496千円 | 府支出金 | 0千円 | | |
| | | | 市債 | 29,100千円 | | 633,060千円 | 市債 | | 507,500千円 |
| | | | その他 | 1,190千円 | | | その他 | | 58,658千円 |
| | | | 決算書ページ | 292ページ | | | 一般財源 | | 10,823千円 |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.55人 | 会計年度職員 任期付職員 | 0.00人 | 4,277千円 | 一般財源 | 47,650千円 | |

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---|--|--|--|-------------------------------|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | | 1. 学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事、設計業務などを行った。 2. 机天板交換は、現行の机より大きな天板サイズに交換することで教育環境の向上につなげることができた。引き続き全児童の机天板交換に向け事業を継続する必要がある。 3. 工事設計は、予知していた内容を完了することができたため、次年度予算を確保し業務を実施する。 4. LED照明器具借上は、予定していた小学校9校全ての照明器具をLED化することができた。 5. 体育館屋根塗装改修工事は、予定していた工事を完了することができた。 | | 1. 昨年度に引き続き、学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 昨年度に実施した設計業務の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、設計業務を実施する。 3. 机天板交換の交換台数を増加させ交換を実施する。 4. 小学校屋内運動場強力空調設備設置工事に向けた設計を行う。 | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| | | 1 現状維持 | | ○ | | 1. 学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 | | 2. 設計業務完了分の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、工事設計業務を実施する。 | | |
| | | 2 見直しで継続 | | | | 3 小学校屋内運動場強力空調設備設置工事を実施する。 | | 3 休止・廃止 | | |
| | | 重点化 | | | | 4 完了 | | | | |
| | | 手段改善 | | | | | | | | |
| | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | | |
| | | 規模縮小 | | | | | | | | |
| | | 事業統合 | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|------|--------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせるまち | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | | 担当課名 | 教育総務課 | 指標名 給食を満足と感じている児童の割合 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ③ 安全安心な教育環境づくり | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 小学校給食提供事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 2 4 | 目標 94.0 94.0 94.0 94.0 94.0 96.0 96.0 96.0 96.0 96.0 % | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 02-小学校給食提供事業 | 実績 93.0 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 市立小学校に在籍する児童に栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する | | 市単独 ○ (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成率 98.9% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | | | | | |
| | | 教育大綱、教育振興基本計画、公共施設最適化推進実施計画、公共施設等個別施設計画 | | | | 達成度 A | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|--|---|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 子どもの健やかな心身の育成や、食を通じて地域や文化の大切さを理解するため、安全・安心な学校給食の提供と食育の推進を図る。 (年次計画) 子どもたちが、健全な食習慣を身につけて、健康で豊かな人間性を育むことができるよう、市内10小学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供する。 (実績) 年間を通して、各小学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供できた。 年間提供日数 192日 給食提供数 625,513食 | | | | 令和6年度(令和6年3月) 1. 安全安心な給食の提供 2. 地産地消の推進 3. 食文化の継承 4. 食育の推進 5. リサイクルの推進 6. デリバリー給食提供へ向けての準備 | | | | 令和7年度 1. 安全安心な給食の提供 2. 地産地消の推進 3. 食文化の継承 4. 食育の推進 5. リサイクルの推進 6. デリバリー給食の円滑な提供開始 | | | | 令和8年度以降 1. 安全安心な給食の提供 2. 地産地消の推進 3. 食文化の継承 4. 食育の推進 5. リサイクルの推進 6. デリバリー給食の改善検討 | | | |
| | 事業の財源 決算額 263,570千円 国庫支出金 0千円 府支出金 89,300千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 294ページ 一般財源 174,270千円 | | 予算額 154,684千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 944千円 予算書ページ 336ページ 一般財源 153,740千円 | | 予算額 190,739千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 510千円 予算書ページ 344ページ 一般財源 190,229千円 | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 正職員 3.00人 正職員以外の その他職員 2.00人 29,258千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|-------------------------------|---|---|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> <成果> 令和5年4月から5月までの学校給食費に対して一人あたり500円の補助を行うとともに、令和5年6月から令和7年3月までの学校給食費の無償化を実施することにより原油価格・物価高騰等の影響を受ける子育て世帯を支援することができた。 食の大切さと感謝の心を育む教育の一環として、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることができた。 食生活が多様化するなかで、郷土料理や伝統食を学校給食で提供することにより、「生きた教材」として食文化の大切さを学ぶことができた。 食育を推進することで、成長期における食生活の重要性・食生活と生活習慣病の関係について理解することができた。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> ①令和6年4月分から令和7年3月分までの給食費を一部補助することにより、児童の保護者負担を軽減する。 ②令和7年9月からの食缶によるデリバリー方式での小学校給食の提供開始に向けて、小学校に在籍する児童及び新1年生に対して食物アレルギー調査を実施し、安全・安心に喫食できる給食提供体制を整える。 ③牛乳パックリサイクルの取組及び牛乳のストローレス化を実施することにより、環境に配慮する。 ④食の大切さを再認識するための食育を推進する。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 ①食缶によるデリバリー方式での小学校給食の提供開始に向けた給食の試行を実施するとともに、学校側との綿密な調整を図る。 ②牛乳パックリサイクルの取組及び牛乳のストローレス化を一層推進することにより、環境に悪影響を与えるプラスチックごみを削減し、環境問題改善の一部に寄与する。 ③食の大切さを再認識するための食育の推進に取り組み。 | 備考 |
| | <課題> ①食材費が高騰する中で、学校給食を安定的に供給する必要がある。 ②地元食材を提供するために生産者、生産者組合及び本市農林水産担当課との連携が必要である。 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------------------|---|----------------|--------------|------|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | | 担当課名 | 教育総務課 | | 指標名 LED化が完了した市立中学校数 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ③ 安全・安心な教育環境づくり | | 継続 | ○ | 予算 | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 施設保全整備事業(中学校) | | ソフト | | | 款項目 | 9 | 3 | 3 | 目標 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | | 4 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 01-施設保全整備事業 | | 実績 | 3 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 中学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕・工事などを行う。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 学校教育法、泉南市立学校管理運営に関する規則、泉南市教育振興基本計画等 | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|----------|--|--|--|-----------------|--|--|--|-----------|--|---|--|-----------|--|---|--|---------|--|--------|--|------|--|----------|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 1. 学校施設等修繕 ・修繕件数:50件 ・主な内容:天井、外壁、屋根、照明、舗装、防火扉、消防設備などの修繕 2. 委託業務 ・西信達中学校耐力度調査 ・西信達中学校用地測量調査 3. LED照明器具借上 ・実施校数:2校 4. 工事設計委託 ・各中学校空調設備工事設計委託:2校 | | | | ・学校施設等修繕 ・工事設計委託 ・空調機借上 ・LED照明器具借上 ・空調設置工事 ・各中学校屋内運動場強力空調設備設置工事設計委託 | | | | ・学校施設等修繕 ・特殊建築物定期検査 ・西信達中学校用地測量 ・信達中学校屋内消火栓設備配管改修工事 ・各中学校屋内運動場空調設備整備工事 ・空調機借上 ・LED照明器具借上 ・学校天板作成業務 | | | | ・学校施設等修繕 ・空調機借上 ・工事設計委託 ・LED照明器具借上 | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 | | 10,877千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 | | 4,210千円 | | | | | | | |
| | | 43,260千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | 107,687千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | 208,223千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | | | | | | |
| | | 市債 | | 10,400千円 | | 72,700千円 | | 市債 | | 133,900千円 | | 133,900千円 | | 市債 | | 45,068千円 | | | | | | | | | |
| | | その他 | | 464千円 | | 8,768千円 | | その他 | | 8,768千円 | | 8,768千円 | | その他 | | 45,068千円 | | | | | | | | | |
| | | 決算書ページ | | 298ページ | | 一般財源 | | 32,396千円 | | 予算書ページ | | 342ページ | | 一般財源 | | 15,342千円 | | 予算書ページ | | 349ページ | | 一般財源 | | 25,045千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | | 0.60人 | | 会計年度職員 任期付職員 | | 0.05人 | | 4,829千円 | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|--|---|--|--|-------------------|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | | <成果・課題> 1. 学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事、設計業務などを行った。 2. (仮称)西信達義務教育学校建設に向け委託業務を行った。 3. LED照明器具借上は、予定していた中学校2校全ての照明器具をLED化することができた。 4. 工事設計は、予知していた内容を完了することができたため、次年度予算を確保し業務を実施する。 | | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 |
| | | | <改善内容> 1. 令和5年度に引き続き、学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 昨年度に実施した設計業務の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、工事設計業務を実施する。 3. 中学校屋内運動場強力空調設備設置工事に向けた設計を行う。 | | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 1. 学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 設計業務完了分の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、工事設計業務を実施する。 3. 中学校屋内運動場強力空調設備設置工事を実施する。 | | | | | |
| Check 3 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|----------------|-------|--------------|------------------|-----|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせるまち | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | | 担当課名 | 教育総務課 | 指標名 | 給食を満足と感じている生徒の割合 | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ③ 安全・安心な教育環境づくり | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 中学校給食提供事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 9 | 3 | 4 | 目標 | 75 | 77 | 81 | 82 | 83 | 84 | 84 | 84 | 84 | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 01-中学校給食提供事業 | | | | 実績 | 77 | | | | | | | | |
| <事業概要> 市立中学校に在籍する生徒に栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供する | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成率 | 102.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
|  | | 教育大綱、教育振興基本計画、公共施設最適化推進実施計画、公共施設等個別施設計画 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) 子どもの健やかな心身の育成や、食を通して地域や文化の大切さを理解するため、安全・安心な学校給食の提供と食育の推進を図る。 (年次計画) 子どもたちが、健全な食習慣を身につけて、健康で豊かな人間性を育むことができるよう、市内4中学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供する。 (実績) 年間を通して、各中学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供できた。 給食提供日数 191日 給食提供数 285,397食 | | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | |
| | | | | | 1. 安全安心な給食の提供 2. 地産地消の推進 3. 食文化の継承 4. 食育の推進 5. リサイクルの推進 6. 給食提供方法の充実にに向けた改善 7. 現給食の提供方式の今後の在り方検討 | | | | | 1. 安全安心な給食の提供 2. 地産地消の推進 3. 食文化の継承 4. 食育の推進 5. リサイクルの推進 6. 給食提供方法の充実にに向けた改善 | | | | | 1. 安全安心な給食の提供 2. 地産地消の推進 3. 食文化の継承 4. 食育の推進 5. リサイクルの推進 6. 給食提供方法の充実にに向けた改善 | | | | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 49,223千円 府支出金 0千円 市債 0千円 市債 0千円 その他 0千円 145,543千円 決算書ページ 298ページ 一般財源 96,320千円 | | | | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 市債 0千円 その他 2,996千円 113,883千円 予算書ページ 343ページ 一般財源 110,887千円 | | | | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 市債 0千円 その他 33千円 97,039千円 予算書ページ 350ページ 一般財源 97,006千円 | | | | | | | | | |
| | | | | | 職員数/人件費 正職員 3.00人 正職員以外の その他職員 2.00人 29,258千円 | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|--|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 <成果・課題> <成果> 令和5年4月から5月までの学校給食費に対して一人あたり500円の補助を行うとともに、令和5年6月から令和7年3月までの学校給食費の無償化を実施することにより原油価格・物価高騰等の影響を受ける子育て世帯を支援することができた。 食の大切さと感謝の心を育む教育の一環として、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることができた。 食生活が多様化するなかで、郷土料理や伝統食を学校給食で提供することにより、「生きた教材」として食文化の大切さを学ぶことができた。 食育を推進することで、成長期における食生活の重要性・食生活と生活習慣病の関係について理解することができた。 <課題> ①食料費が高騰する中で、学校給食を安定的に供給する必要がある。 ②食物アレルギーが多様化しているため、個別の状況に応じて丁寧に対応する必要がある。 ③地元食材を提供するために生産者、生産者組合及び本市農林水産担当課との連携が必要である。 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| | | <改善内容> ①令和6年4月分から令和7年3月分までの給食費を一部補助することにより、生徒の保護者負担を軽減する。 ②牛乳のストローレス化を実施することにより、環境に配慮する。 ③食の大切さを再認識するために食育を推進する。 | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直し継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 ①牛乳のストローレス化を一層推進することにより、環境に悪影響を与えるプラスチックごみを削減し、環境問題改善の一部に寄与する。 ②食の大切さを再認識するための食育の推進に取り組む。 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|----------------|-------------|-----|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 4 就学前教育・学校教育 | | 新規 | | 担当課名 | 教育総務課 | | 指標名 LED化が完了した市立幼稚園数 | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ③ 安全・安心な教育環境づくり | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 施設保全整備事業(幼稚園) | | ソフト | | 款項目 | 9 | 4 | 3 | 目標 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 園 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 01-施設保全整備事業 | | 実績 | 2 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 幼稚園施設の機能確保、保持のために必要な保全及び保育教育環境改善に向けた修繕・工事などを行う。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
|  | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------|--|-------------------------|--|---------|--|---------------------------------------|--|---------|--|-------------------------|--|---------|--|---------|--|--------|--|------|--|---------|--|--------|--|-------|--|---------|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 幼稚園施設等修繕 ・修繕件数:9件 ・主な内容:屋根、防火シャッター危険防止装置、消防設備、エレベーター、フェンスなどの修繕 2. LED照明器具借上 ・実施園数:2園 | | | | ・幼稚園施設等修繕 ・LED照明器具借上 | | | | ・幼稚園施設等修繕 ・特殊建築物定期検査 ・LED照明器具借上 | | | | ・幼稚園施設等修繕 ・LED照明器具借上 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | | | 予算額 | | | | 予算額 | | | | 予算額 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決算額 | | 4,111千円 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | | その他 | | 116千円 | | | |
| 決算書ページ | | 302ページ | | 一般財源 | | 3,995千円 | | 3,398千円 | | 3,957千円 | | 3,957千円 | | 1,848千円 | | 2,109千円 | | 348ページ | | 一般財源 | | 2,000千円 | | 355ページ | | 一般財源 | | 2,109千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.35人 | | 会計年度職員 任期付職員 0.05人 | | 2,885千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---|--|---|--|----------|--|-------------------|--|---------------------------------|--|----|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> 1. 幼稚園施設の機能確保、保持のために必要な保全及び保育教育環境改善に向けた修繕などを行った。 2. LED照明器具借上は、予定していた幼稚園2園全ての照明器具をLED化することができた。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 令和5年度に引き続き、幼稚園施設の機能確保、保育教育環境改善に向けた修繕を行う。 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 | | | |
| Check 3 | | | | | | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| | | | | | | | | 1 現状維持 | | ○ 幼稚園施設の機能確保、保育教育環境改善に向けた修繕を行う。 | | | | | |
| | | | | | | | | 2 見直して継続 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 重点化 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 手段改善 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | |
| | | | | | | | | 規模縮小 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 事業統合 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 4 完了 | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------------|---|----------|------|------|-----------|------|------|---|---|-----|--|
| 分野別政策 | 1 | 『ひと』を育てる・輝かせる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | ①生涯学習の推進 ◇生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供を行います。 ◇関係団体の活動・発表・交流の場や機会の提供等、生涯学習活動の支援を行います。 ◇読書への興味・関心を高め、必要な知識を得るとともに、楽しみながら読書活動ができる環境の整備を図ります。 ②スポーツ活動の推進 ◇地域資源を活用したスポーツイベントの実施や開催支援、国際大会の誘致等、その経験や国際協力関係をいかした生涯スポーツ社会の実現に寄与します。 ◇スポーツ、芸術、文化の分野で将来にわたり活躍が期待できる人を支援します。 ◇あらゆる世代を通じたスポーツを楽しむ環境づくりや、泉南りんくう公園 (SENNAN LONG PARK) 等を活用したスポーツイベントを展開します。 ③青少年の健全育成 ◇地域全体で子ども・青少年の健やかな育成に取り組む機運を高め、学校園を含む関係組織や団体との連携による子どもの居場所の確保と青少年の健全育成に取り組みます。 ◇留守家庭児童会運営事業の充実、強化を図ります。 | | |
| 施策 | 5 | 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 |   | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 誰もが生涯学習と健康なからだづくりを楽しめる、心豊かな生活と学びを支えるまち 生涯学習の充実や子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり、家庭や地域の見守りや支援を通じた青少年の健全な成長を促進し、市民の生きがいや健康づくりにつなげ、豊かな心を育み楽しく学び、活動ができるまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | 基準値 (R3) | | | 目標値 (R14) | | | 備考 | | | |
| | 人口一人当たりの生涯学習施設の年間利用回数 | | | 2.6回 | | | 3.9回 | | | 生涯学習施設 (市民体育館、双子川テニスコート、市民球場、図書館、文化ホール、公民館、青少年センター) | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | 備考 | |
| | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | | | |
| | 目標 | 3.0 | 3.1 | 3.2 | 3.3 | 3.4 | 3.5 | 3.6 | 3.7 | 3.8 | | 3.9 | |
| 実績 | 3.8 | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 127.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 1-5-① 公民館運営事業【教育部】 1-5-① 公民館改修事業【教育部】 1-5-① 図書館運営事業【教育部】 1-5-① 文化ホール指定管理事業【教育部】 1-5-① 図書館文化ホール改修事業【教育部】 1-5-② 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業(夢の教室)【教育部】 1-5-② 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業【教育部】 1-5-② 保健体育団体推進事業【教育部】 1-5-③ 泉南っ子応援事業【教育部】 1-5-③ 青少年センター運営事業【教育部】 1-5-③ 留守家庭児童会運営事業【教育部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------------|----------------|------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | 担当課名 | 指標名 | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 生涯学習の推進 | | 継続 | 会計名 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 | | | | | | | | | | ・令和6年3月末人口 58,527人 ・令和5年度利用者数 36,604人 | |
| 事務事業名 公民館運営事業 | | ソフト | 款項目 | 目標 | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | 細目 | 実績 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 講座等自主事業実施、貸館事業、建物の維持管理業務、クラブ協議会等利用団体の育成、支援等を行うこと、多様で自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点を提供すると同時に、市民による自主的な文化・芸術活動の高揚を図る。 | | 市単独 | (関係法令・市条例・計画等) | 達成率 | | | | | | | | | | | |
|  | | 02-公民館運営事業 | | 達成度 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) 1. 市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進 2. クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会の提供 3. 広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動による自発的な文化・芸術活動支援 4. 文化・芸術に関する講座等自主事業実施による自発的な文化・芸術活動の高揚 5. 公民館としての在り方や地域コミュニティの拠点とすべく市全体の公共施設の在り方検討を深め、新たな施設への複合化に向けた基本的な考え方を整理 | | 令和7年度 1. 市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進 2. クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会の提供 3. 広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動による自発的な文化・芸術活動支援 4. 文化・芸術に関する講座等自主事業実施による自発的な文化・芸術活動の高揚 5. 公民館としての在り方や地域コミュニティの拠点とすべく市全体の公共施設の在り方検討を深め、新たな施設への複合化等の事例研究 | | 令和8年度以降 1. 市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進 2. クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会の提供 3. 広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動による自発的な文化・芸術活動支援 4. 文化・芸術に関する講座等自主事業実施による自発的な文化・芸術活動の高揚 5. 公民館としての在り方や地域コミュニティの拠点とすべく市全体の公共施設の在り方検討を深め、新たな施設への複合化等検討 | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,616千円 決算書ページ 312ページ 一般財源 10,705千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 2,800千円 その他 5,116千円 予算書ページ 361ページ 一般財源 11,946千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 5,000千円 その他 5,116千円 予算書ページ 369ページ 一般財源 14,141千円 | | | |
| 職員数/人件費 正職員 3.04人 会計年度職員 任期付職員 3.96人 39,788千円 | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---|--|--|--|---|--|---|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> ・市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進を行った。特に、樽井公民館において照明器具すべてをLED化を行う一方、その他については、予算の範囲内で緊急性の高いものから修繕等を順次行った。また、国による新型コロナウイルス感染症の位置付けが、2類相当から5類移行に伴い、各部屋の定員制限等を完全に撤廃、撤去した。 ・クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供した。特に、公民館まつりについては、コロナ禍以降、3館すべてで通常の形で開催することができ、自主的な文化・芸術活動を支援した。 ・同時に講座等自主事業実施にあたっては、広報紙やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動により、文化・芸術活動の高揚を図った。 ・各公民館にあるクラブ連絡協議会等を事務局として支援、協力を行うことで、自主的な文化・芸術活動を支援した。一方、クラブ員の高齢化、コロナ後の会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退に対してどのように対処し、事務局として支援の方策を研究する必要がある。 | | <改善内容> ・クラブ員の高齢化、コロナ後の会員減少などにどのように対処し、事務局として支援の方策を研究する。 ・魅力的な内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・事務局として公民館クラブ協議会等へのバックアップを行い、確実に公民館まつりを開催する。 ・公民館クラブ員の高齢化、部員や加盟団体減少に対して、クラブ協議会等の再構築検討を行う。 ・協議会等の現状や問題点を整理し、規約改正をうながし、再活性化を行い、脱退したクラブに働きかけ、再加盟を促進する。 | | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | ・引き続き、市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業を推進する。 ・クラブ連絡協議会等を事務局として支援し、運営等が円滑に行われるよう取り組む。 ・魅力的な内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・施設の在り方については、公共施設再編案と連携して、施設の複合化等の検討を深める。 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|------------------|------------|------|---|--|--|---|--|--|--|--|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------------------------|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 文化振興課 | | | | | 指標名 | | | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ① 生涯学習の推進 | | 継続 | | 予算 | 会計名 | 一般会計 | | | | <table border="1"> <tr><td>目標</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>実績</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>達成率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> | | | | | 目標 | | | | | | | | | | | | | | 実績 | | | | | | | | | | | | | | 達成率 | | | | | | | | | | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | | 単年度実施の設備更新事業のため活動指標の設定なし |
| 目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 公民館改修事業 | | ソフト | | 款項目 | 9 | 5 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 03-公民館改修事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 老朽化した公民館を改修し、公民館施設を法令に基づき適切に保全することで、多様で自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点を提供すると同時に、市民による自主的な文化・芸術活動の高揚を図る。 | | 市単独 | | ○ (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 消防法、建築基準法、社会教育法、泉南市公民館条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | | |
| | | | | 予算額 国庫支出金 府支出金 市債 その他 0千円 | | | | | 予算額 国庫支出金 府支出金 市債 その他 0千円 | | | | | 予算額 国庫支出金 府支出金 市債 その他 0千円 | | | | | 予算額 国庫支出金 府支出金 市債 その他 0千円 |
| 事業の財源 決算額 0千円 決算書ページ | | | | 予算額 0千円 予算書ページ | | | | | 34,000千円 0千円 34,000千円 0千円 0千円 370ページ | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---------|--|-------------|--|----------|--|-------------------|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 | |
| | | | | <改善内容> | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| Check 3 | | | | | | | | 1 現状維持 | | | | | |
| | | | | | | | | 2 見直して継続 | | | | | |
| | | | | | | | | 重点化 | | | | | |
| | | | | | | | | 手段改善 | | | | | |
| | | | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | |
| | | | | | | | | 規模縮小 | | | | | |
| | | | | | | | | 事業統合 | | | | | |
| | | | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | |
| | | | | | | | | 4 完了 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------------------------------------|------|----------------|----------------|-----|--------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | 担当課名 | 文化振興課 | | 指標名 | 人口一人当たりの図書館の年間利用回数 | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ① 生涯学習の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | ・令和6年3月末人口 58,527人 ・令和5年度利用者数 89,591人 | |
| 事務事業名 図書館運営事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 | 5 | 9 | 目標 | 1.30 | 1.40 | 1.50 | 1.55 | 1.60 | 1.60 | 1.60 | 1.60 | 1.60 | 1.60 | | 回 |
| <事業概要> 市民の生涯学習活動や教養文化の向上を支援するため、資料や情報の収集と提供、調査相談などを行う。地域の情報拠点となる居場所づくり、及び学習機会を提供する。 | | ハード | | 細目 | 02-図書館 運営事業 | | 実績 | 1.53 | | | | | | | | | | | | |
| | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 117.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 図書館法、泉南市教育大綱、教育振興基本計画、泉南市子ども読書活動推進計画 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---|--|--|---|--|--|---|--|--|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | | | | |
| (実績) | | 1. 地域の情報拠点としての整備 ・地域の課題解決や、生涯学習、教養文化の向上に役立つ資料や情報の収集、提供 ・生涯学習拠点としてすべての人への学習機会の提供 2. 読書活動推進事業 ・図書、視聴覚資料、雑誌、郷土資料、行政資料、パリアフリー資料、多言語資料等の幅広い資料の収集と提供 ・全世代に対する読書の興味・関心を高める企画展示、各種行事や講座の開催 ・子育て支援、高齢者支援等のサービスの充実 3. 居場所やサードプレイスとしての機能充実 ・一人でも仲間とでも気軽に利用できる施設として、特に青少年の居場所の充実と相談事業 | | | 1. 地域の情報拠点としての整備 ・地域の課題解決や、生涯学習、教養文化の向上に役立つ資料や情報の収集、提供 ・生涯学習拠点としてすべての人への学習機会の提供 2. 読書活動推進事業 ・図書、視聴覚資料、雑誌、郷土資料、行政資料、パリアフリー資料、多言語資料等の幅広い資料の収集と提供 ・全世代に対する読書の興味・関心を高める企画展示、各種行事や講座の開催 ・子育て支援、高齢者支援等のサービスの充実 3. 居場所やサードプレイスとしての機能充実 ・一人でも仲間とでも気軽に利用できる施設として、特に青少年の居場所の充実と相談事業 | | | 1. 地域の情報拠点としての整備 ・地域の課題解決や、生涯学習、教養文化の向上に役立つ資料や情報の収集、提供 ・生涯学習拠点としてすべての人への学習機会の提供 2. 読書活動推進事業 ・図書、視聴覚資料、雑誌、郷土資料、行政資料、パリアフリー資料、多言語資料等の幅広い資料の収集と提供 ・全世代に対する読書の興味・関心を高める企画展示、各種行事や講座の開催 ・子育て支援、高齢者支援等のサービスの充実 3. 居場所やサードプレイスとしての機能充実 ・一人でも仲間とでも気軽に利用できる施設として、特に青少年の居場所の充実と相談事業 | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 330千円 市債 0千円 その他 121千円 決算書ページ 314ページ 一般財源 19,006千円 | | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 630千円 市債 0千円 その他 76千円 予算書ページ 364ページ 一般財源 18,730千円 | | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 600千円 市債 0千円 その他 76千円 予算書ページ 371ページ 一般財源 19,581千円 | | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 2.40人 正職員以外の その他職員 10.41人 47,245千円 | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| <成果・課題> ・自動車図書館の運営については、高齢者施設への巡回場所を追加し、計17箇所への月2回の定期巡回を実施した。また学校、園、地域フォーラム等への特別巡回を行い、来館が困難な方への貸出等のサービスを提供することができた。課題は、車両の老朽化である。 ・国による新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類相当から5類移行に伴い、行事や自習室の定員数、市民ボランティアの活動状況を通常に戻せたことで、多くの方に参加していただくことができた。幅広い年代層へ、さらなる利用促進のため、図書館からの情報発信の強化が必要である。 ・関係各課、団体と連携した事業や市民協働事業の中で、ボランティアや小中学生の意見を反映した事業を行い、効果的な運営を行った。 ・老朽化した施設の維持管理のため、小荷物専用昇降機や集密書架の修繕等、施設の維持管理を行った。 | | <改善内容> ・自動車図書館の安定したサービスの維持、提供のため、車両更新の検討を行う。 ・地域の情報拠点として、子どもから高齢者の方まで、幅広い層への情報発信の強化のため、各年代向けのサービスの充実と、図書館のウェブサイトのみでなく、あらゆる情報提供の場を活用した広報を行う。 ・関係各課、団体と連携した事業、市民協働事業を今後も継続、発展させ、図書館が市民の大切な居場所となるよう、多様なサービスを提供する。 | | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | ・引き続き、市民の生涯学習活動や教養文化の向上を支援するため、資料や情報の収集と提供、調査相談などを行う。地域の情報拠点となる居場所づくり、及び学習機会を提供する。 ・施設の在り方については、公共施設再編と連携して、施設の複合化等の検討を深める。 | | |
| Check 3 | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|------------------|---|--------------|----------------|----------------|-----|---|-----|------------------------------------|--------|------|------|------|----------------------|--|------|------|------|------|------|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | | 担当課名 | 文化振興課 | | | | | 指標名 | | | | | 人口一人当たりの文化ホールの年間利用回数 | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 生涯学習の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 | | | | | 単位 | ・令和6年3月末人口 58,527人 ・令和5年度利用者数 27,752人 | | | | | |
| 事務事業名 | 文化ホール指定管理事業 | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 9 | 5 | 9 | 目標値 | | | | | 回 | | | | | | | |
| <事業概要> | 指定管理者制度による運営及び施設の維持管理及び実施事業を通じ、市民が多様な文化や芸術にふれる機会を充実させる。 | ハード | ○ | | 細目 | 03-文化ホール指定管理事業 | | | | | 実績 | 0.47 | | | | | | | | | |
| |  | 市単独 | ○ | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | 156.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | | 泉南市教育大綱、教育振興基本計画 | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| (実績) | | 1. 文化及び芸術の普及、振興を図る自主事業実施 2. 敬老月間事業、市民作品展等の指定事業実施 3. 市民の自主的な文化活動を支援する貸館事業実施 4. 図書館・文化ホールの良好な状態での施設・設備の維持管理、運営 5. 指定管理者と教育委員会文化振興課との定期的意見交換会等の協議開催により、お互いの意思疎通を図り、施設や事業のチェック体制強化 | | 1. 文化及び芸術の普及、振興を図る自主事業実施 2. 敬老月間事業、市民作品展等の指定事業実施 3. 市民の自主的な文化活動を支援する貸館事業実施 4. 図書館・文化ホールの良好な状態での施設・設備の維持管理、運営 5. 指定管理者と教育委員会文化振興課との定期的意見交換会等の協議開催により、お互いの意思疎通を図り、施設や事業のチェック体制強化 | | 1. 文化及び芸術の普及、振興を図る自主事業実施 2. 敬老月間事業、市民作品展等の指定事業実施 3. 市民の自主的な文化活動を支援する貸館事業実施 4. 図書館・文化ホールの良好な状態での施設・設備の維持管理、運営 5. 指定管理者と教育委員会文化振興課との定期的意見交換会等の協議開催により、お互いの意思疎通を図り、施設や事業のチェック体制強化 | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 其他 0千円 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 其他 2,966千円 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 其他 0千円 | |
| | | 決算書ページ 315ページ 一般財源 35,744千円 | | 予算書ページ 365ページ 一般財源 30,693千円 | | 予算書ページ 373ページ 一般財源 32,137千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.18人 正職員以外の 其他職員 0.00人 1,400千円 | | | | | |

評価

方向性

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| <成果・課題> ・貸館事業では、5月に国による新型コロナウイルス感染症の位置付けが、2類相当から5類に移行したことで、一定の制限はなくなったが、最低限の感症対策は行いつつ良好な管理運営を行った。 ・自主事業等については、指定管理者単独事業の他に、各種団体等と連携し、多くの市民に文化行事に触れる機会を提供することができた。 ・施設の維持管理については、指定管理者が仕様に基づき適切に実施し、リスク分担により、修繕については緊急性の高いものが順次行った。 ・指定管理者と教育委員会文化振興課との定期的意見交換会等の協議開催により、お互いの意思疎通を図り、施設や事業のチェック体制強化を行った。 | | <改善内容> ・引き続き、市民生活の向上と文化及び芸術の普及、振興を図るため、市民が多様な文化や芸術にふれる機会を充実させる。 ・地域の関係団体との連携を助け、より一層市民の文化芸術活動の促進を図れるよう工夫する。 ・利用者が安全・安心にサービスを利用できるよう適切に施設の維持管理を行う。 ・引き続き、指定管理者と教育委員会文化振興課との定期的意見交換会等の協議開催により、お互いの意思疎通を図り、施設や事業のチェック体制強化を行う。 | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 ・引き続き、市民生活の向上と文化及び芸術の普及、振興を図るため、市民が多様な文化や芸術にふれる機会を充実させる。 ・施設の在り方については、公共施設再編と連携して、施設の複合化等の検討を深める。 |
| Check 3 | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------|------|---|------------------|-----------------|-----|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 文化振興課 | | 指標名 当該年度事業実施率 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 生涯学習の推進 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | |
| 事務事業名 | 図書館文化ホール改修事業 | ソフト | | 細目 | 06-図書館文化ホール改修事業 | | 目標 | | | | | | | | | | | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 実績 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 個別施設計画及び文化ホールの在り方の検討結果に基づき、利用者の安全・安心を確保し、施設を継続使用するための改修事業を行う。 | | 市単独 | ○ | 泉南市教育大綱、教育振興基本計画 | | 達成率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-------|-------|-----------------|-------|--------------------------------------|-----|----------|---------------------------|---------|--|---------------------|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| | | | | | | 1. 外壁・屋上防水改修工事の実施 2. ブロック塀改修工事の実施 | | | 1. 空調設備(送風機)改修工事に係る実施設計委託 | | | 1. 空調設備(送風機)改修工事の実施 | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 0千円 | | 予算額 | | 0千円 | | 5,400千円 | | 0千円 | | |
| | | 国庫支出金 | | | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | |
| | | 府支出金 | | | | 府支出金 | | 0千円 | | 市債 | | 4,000千円 | | |
| | | 市債 | | | | 市債 | | 56,100千円 | | その他 | | 0千円 | | |
| | | その他 | | | | その他 | | 0千円 | | 一般財源 | | 1,400千円 | | |
| | | 一般財源 | | | | 一般財源 | | 261千円 | | 予算書ページ | | 373ページ | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.00人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 0千円 | 方向性 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

評価

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---------|--|-------------|--|--------------|--|-------------------|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | | <改善内容> | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | |
| | | | | 1 現状維持 | | | | | | |
| | | | | 2 見直して継続 | | | | | | |
| | | | | 重点化 | | | | | | |
| | | | | 手段改善 | | | | | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | |
| | | | | 規模縮小 | | | | | | |
| | | | | 事業統合 | | | | | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | |
| | | | | 4 完了 | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|----------------|--|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------------------|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | | 担当課名 | 指標名 授業を受けて夢や目標に向かって努力することの大切さへの意識が向上した割合 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② スポーツ活動の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 令和6年度からアンケート実施予定 | |
| 事務事業名 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業(夢の教室) | | ソフト | ○ | 款項目 | 目標 | - | 75 | 75 | 75 | 80 | 80 | 80 | 85 | 85 | 85 | | % |
| 事業に関連するSDGs  | | ハード | | 細目 | 実績 | - | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 元プロスポーツ選手などを招聘し、実体験に基づく授業を通じて、夢を持つことの大切さや失敗を乗り越えて夢や目標に向かって努力する意識を育む。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | | | 達成度 | - | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| 公益財団法人日本サッカー協会が推進するJFAこころのプロジェクト「夢の教室」を活用し、市立中学校の4校の2年生全15クラスを対象に6~7月にかけて授業を行った。 | | 公益財団法人日本サッカー協会が推進するJFAこころのプロジェクト「夢の教室」を活用し、市立中学校の4校の2年生を対象に授業を行う。 | | ○「夢の教室」の実施 ・市立中学校の4校の2年生を対象に授業を行う。 | | ○「夢の教室」の実施 ・市立中学校の4校の3年生を対象に授業を行う。 | |
| 事業の財源 | | 予算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| 決算額 | | 国庫支出金 | | 国庫支出金 | | 国庫支出金 | |
| 2,027千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | |
| | | 府支出金 | | 府支出金 | | 府支出金 | |
| | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | |
| | | 市債 | | 市債 | | 市債 | |
| | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | |
| | | 其他 | | 其他 | | 其他 | |
| 2,027千円 | | 2,101千円 | | 2,251千円 | | 2,251千円 | |
| 決算書ページ | | 予算書ページ | | 予算書ページ | | 予算書ページ | |
| 306ページ | | 353ページ | | 360ページ | | 360ページ | |
| 一般財源 | | 一般財源 | | 一般財源 | | 一般財源 | |
| 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | | 正職員 | | 正職員 | |
| | | 0.50人 | | 0.50人 | | 0.50人 | |
| | | 正職員以外の 其他職員 | | 正職員以外の 其他職員 | | 正職員以外の 其他職員 | |
| | | 0.00人 | | 0.00人 | | 0.00人 | |
| 3,889千円 | | 3,889千円 | | 3,889千円 | | 3,889千円 | |

評価

方向性

| | | | |
|---------------------------------|---|---|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 毎年実施しているFA主体の事業実施後アンケートが令和5年度は実施されず、指標達成度を図ることができなかった。令和6年度からは、市主体とする事業実施後アンケートを予定しており、目標達成に向けて事業を進める。 | 令和6年度の改善の取組 Action 4 <改善内容> 令和6年度より市主体の事業実施後Googleアンケートを実施し、生徒の夢や目標に向かって努力することの大切さへの意識が向上した割合を図る。 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 |
| | | | 事業の方向性 |
| | | | 1 現状維持 ○ |
| | | | 2 見直して継続 |
| | | 重点化 | 事業の方向性と取組の内容 |
| | | 手段改善 | 令和7年度以降も市主体の事業実施後アンケートを実施し、目標達成度に応じて随時JFAと相談しながら、授業内容や授業形態を検討する。 |
| | | 効率化(コストダウン) | |
| | | 規模縮小 | |
| | | 事業統合 | |
| | | 3 休止・廃止 | |
| | | 4 完了 | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------|---|----------------|-------|--------------------------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--|--|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | | 担当課名 | 生涯学習課 | 指標名 泉南オープンウォータースイミング大会の参加者数 | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ② スポーツ活動の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | |
| 事務事業名 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 9 | 6 | 2 | 目標 | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 02-国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業 | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 市民に健全なスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供し、市民の健康の増進と明るく豊かな市民生活の向上を図る。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | 実績 | | | | | | | | | | | |
|  | | 泉南市教育振興基本計画 | | | | 達成率 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | |
| 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業 本市におけるマリンスポーツの核として泉南オープンウォータースイミング大会を位置づけ、これを開催支援することで、タライサザンビーチをマリンスポーツの拠点として内外に発信し都市魅力の向上に努める。 令和5年10月1日(日)泉南オープンウォータースイミング大会2023を開催 参加申込数327名、当日参加者301名 | | | | 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業 本市におけるマリンスポーツの核として泉南オープンウォータースイミング大会を位置づけ、これを開催支援することで、タライサザンビーチをマリンスポーツの拠点として内外に発信し都市魅力の向上に努める。 | | | | 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業 本市におけるマリンスポーツの核として泉南オープンウォータースイミング大会を位置づけ、これを開催支援することで、タライサザンビーチをマリンスポーツの拠点として内外に発信し都市魅力の向上に努める。 | | | | 国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業 本市におけるマリンスポーツの核として泉南オープンウォータースイミング大会を位置づけ、これを開催支援することで、タライサザンビーチをマリンスポーツの拠点として内外に発信し都市魅力の向上に努める。 | | | | | | | |
| 事業の財源 決算額 2,000千円 決算書ページ 319ページ 正職員 1.00人 正職員以外の その他職員 0.00人 7,777千円 | | | | 予算額 4,517千円 予算書ページ 370ページ 一般財源 0千円 | | | | 予算額 4,459千円 予算書ページ 377ページ 一般財源 705千円 | | | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,000千円 一般財源 0千円 | | | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 4,517千円 一般財源 0千円 | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---|--|---|--|-------------------------------|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 令和5年度から本大会が日本水泳連盟公認の大会となり、国内オープンウォータースイミングサーキットシリーズの会場として組み入れられることとなった。その効果もあり、参加者は前年と比較して1.5倍に増加することとなった。その一方で、大会の観覧者は参加者の家族などが中心であり、大会自体の盛り上がりには欠けることは否めない。今後は、WMG(ワールドマスターズゲームズ)2027関西の開催に向けて、幅広い年代に対して競技の周知や魅力を伝える必要があるとともに、会場となるタライサザンビーチやロングパークを訪れる人々へのPRを進め、大会への参加者の増加や賑わいの創出に努める必要がある。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 大会開催の周知をSNS等を通じて発信し、水泳教室や大学のクラブ等に向けて参加を促す。大会会場であるタライサザンビーチと隣接するロングパークを活用し、賑わいづくりの創出に努める。 | | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 WMG(ワールドマスターズゲームズ)2027の開催に向けて、大会参加者の増加に努めるとともに世界大会開催への運営に関するスキルアップを目指す。 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------------------|---|----------------|---------------|-----|-----|---|-----|-------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 生涯学習課 | | | | | 指標名 オリンピック又はパラリンピック出場奨励金の交付件数 | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② スポーツ活動の推進 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | |
| 事務事業名 保健体育団体推進事業 | | ソフト | ○ | | 予算 | 款項目 | | 9 | 6 | 2 | 目標 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 01-保健体育団体推進事業 | | | | | 実績 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 夏季若しくは冬季オリンピック競技大会又は夏季若しくは冬季パラリンピック競技大会に出場する本市の選手に、オリンピック又はパラリンピック出場奨励金を交付することにより、スポーツ活動の推進、競技力の向上及び文化芸術の振興を図るとともに、全市民が一体となって泉南っ子を応援することで、市全体のスポーツと文化芸術に関する機運を醸成することを目的とする。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 泉南市教育振興基本計画、泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金等交付要綱 | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|-----|--|----------------------------|--|------------------------------|--|----------------------------|--|--|--|----------------|--|-----|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | |
| | | | | | 保健体育団体推進事業 ・オリンピック又はパラリンピック出場奨励金の交付 ・りんくうマラソン大会開催委託 ・各種大会等対外試合派遣業務委託 ・市総合体育大会開催委託 ・大阪府体育連合負担金の支出 ・泉南市スポーツ少年団補助金の交付 ・泉南市体育協会補助金の交付 | | | | | 保健体育団体推進事業 ・オリンピック又はパラリンピック出場奨励金の交付 ・りんくうマラソン大会開催委託 ・各種大会等対外試合派遣業務委託 ・市総合体育大会開催委託 ・大阪府体育連合負担金の支出 ・泉南市スポーツ少年団補助金の交付 ・泉南市体育協会補助金の交付 | | | | | 保健体育団体推進事業 ・オリンピック又はパラリンピック出場奨励金の交付 ・りんくうマラソン大会開催委託 ・各種大会等対外試合派遣業務委託 ・市総合体育大会開催委託 ・大阪府体育連合負担金の支出 ・泉南市スポーツ少年団補助金の交付 ・泉南市体育協会補助金の交付 | | | | |
| 事業の財源 決算額 0千円 | | | | | 国庫支出金 府支出金 市債 その他 | | 0千円 | | 国庫支出金 府支出金 市債 その他 | | 0千円 0千円 0千円 2,350千円 | | 国庫支出金 府支出金 市債 その他 | | 0千円 0千円 0千円 2,323千円 | | | | |
| | | | | | 決算書ページ 正職員 0.00人 正職員以外の その他職員 0.00人 | | 0千円 | | 予算額 5,606千円 | | 0千円 | | 予算額 5,579千円 | | 0千円 | | 予算額 3,256千円 | | 0千円 |
| 職員数/人件費 正職員 0.00人 正職員以外の その他職員 0.00人 | | | | | 0千円 | | | | | 370ページ 一般財源 3,256千円 | | | | | 377ページ 一般財源 3,256千円 | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---------|--|---|--|--------------|--|-------------------|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | | <改善内容> | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | |
| | | | | 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------------------------------------|---|----------------|-------------|-----|-----|-----------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|------|----|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 生涯学習課 | | | 指標名 泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金の交付件数 | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ③ 青少年の健全育成 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | |
| 事務事業名 泉南っ子応援事業 | | ソフト | ○ | | 予算 | 款項目 | 9 | 5 | 4 | 目標 | 20 | 22 | 24 | 26 | 28 | 30 | 32 | 34 | | 36 | 38 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 06-泉南っ子応援事業 | | | 実績 | 29 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 国際的規模及び全国的規模の競技会、コンクール等に出場又は出展する本市の子どもに、泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金を交付することにより、スポーツ活動の推進、競技力の向上及び文化芸術の振興を図るとともに、全市民が一体となって泉南っ子を応援することで、市全体のスポーツと文化芸術に関する機運を醸成する。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 145.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | |
| | | 泉南市教育振興基本計画、泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金等交付要綱 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--------|----------------|------------------------------------|---------|--------|------------------------------------|---------|------|------------------------------------|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 国際的規模及び全国的規模の競技会等に出場等する本市の子どもに泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金を交付する。 (令和5年度交付実績) 個人-全国 26件 団体-全国 3件 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| | 泉南っ子応援事業 ・泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金の交付 | | | 泉南っ子応援事業 ・泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金の交付 | | | 泉南っ子応援事業 ・泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金の交付 | | | 泉南っ子応援事業 ・泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金の交付 | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | | | |
| | 1,600千円 | 府支出金 | 0千円 | 2,004千円 | 府支出金 | 0千円 | 2,004千円 | 府支出金 | 0千円 | | | |
| 市債 | | 0千円 | 市債 | | 0千円 | 市債 | | 0千円 | | | | |
| 其他 | | 0千円 | 其他 | | 2,000千円 | 其他 | | 2,000千円 | | | | |
| 決算書ページ | | 307ページ | 一般財源 | | 1,600千円 | 予算書ページ | | 353ページ | 一般財源 | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.20人 | 正職員以外の 其他職員 | 0.00人 | 1,555千円 | ↑ 方向性 | | | | | | |

評価

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|---|-------------|--------------|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 事業実施初年度ということもあり、市民への周知が十分ではなかった。 一方、交付件数は目標値を大きく上回り、一定の成果はあった。 今後は広報紙やウェブサイト等を活用し、一層の周知を図る必要がある。 | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | <改善内容> 広報紙・ウェブサイト・市SNSを活用し、事業の周知を図る。オリンピック等出場枠を設け、事業の拡充を図り、さらなるスポーツの振興につなげる。 | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | | | |
| | | 1 現状維持 | ○ | 奨励金を交付することで、全国大会等に出場する本市の子どもへの支援とスポーツの振興につなげる。 | | |
| | | 2 見直して継続 | | | | |
| | | 重点化 | | | | |
| | | 手段改善 | | | | |
| | | 効率化(コストダウン) | | | | |
| | | 規模縮小 | | | | |
| | | 事業統合 | | | | |
| | | 3 休止・廃止 | | | | |
| | | 4 完了 | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|------|---|----------------|--------------------------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | 担当課名 | 生涯学習課 | | 指標名 青少年センター関連事業への参加・利用者数 | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ③ 青少年の健全育成 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 青少年センター運営事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 | 5 | 5 | 目標 | 9,000 | 14,000 | 14,100 | 14,200 | 14,300 | 14,300 | 14,300 | 14,300 | 14,300 | 人 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 03-青少年センター運営事業 | | 実績 | 13,933 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 講座の開催、自主活動の推進、安全・安心な居場所の提供等、遊びや学びを通じて青少年の健全育成を行います。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 154.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | | | | 泉南市立青少年センター及び児童館設置条例、「青少年センターのあり方」についての基本方針 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------|---|---|---------|---|---|------|---|---|---|--|--------|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1. 講習講座事業 青少年のニーズやこどもの意見を取り入れた、様々な知識を学べる場、体験できる場、生き方のモデルと出会う場を提供する講習講座事業を実施。(23講座実施、延べ892人参加) | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | | |
| | 2. 自主活動事業 青少年が青少年センターの運営の一端を担うとともに、地域をステージに自主的な活動を行ったり、まちづくりに参加参画したりする自主活動事業を実施。(6事業実施、延べ534人参加) | | | 1. 講習講座事業 青少年のニーズやこどもの意見を取り入れた、様々な知識を学べる場、体験できる場、生き方のモデルと出会う場を提供する講習講座事業を実施する。 | | | 1. 講習講座事業 青少年のニーズやこどもの意見を取り入れた、様々な知識を学べる場、体験できる場、生き方のモデルと出会う場を提供する講習講座事業を実施する。 | | | 1. 講習講座事業 青少年のニーズやこどもの意見を取り入れた、様々な知識を学べる場、体験できる場、生き方のモデルと出会う場を提供する講習講座事業を実施する。 | | | |
| 3. 元氣広場事業 青少年センターや市民交流センター、各小学校において、青少年が安全で安心な居場所となる子ども元氣広場推進事業を実施。(延べ648日実施、延べ12,507人参加) | | | 2. 自主活動事業 青少年が青少年センターの運営の一端を担うとともに、地域をステージに自主的な活動を行ったり、まちづくりに参加参画したりする自主活動事業を実施する。 | | | 2. 自主活動事業 青少年が青少年センターの運営の一端を担うとともに、地域をステージに自主的な活動を行ったり、まちづくりに参加参画したりする自主活動事業を実施する。 | | | 2. 自主活動事業 青少年が青少年センターの運営の一端を担うとともに、地域をステージに自主的な活動を行ったり、まちづくりに参加参画したりする自主活動事業を実施する。 | | | | |
| 3. 元氣広場事業 青少年センターや市民交流センター、各小学校において、青少年が安全で安心な居場所となる子ども元氣広場推進事業を実施。(延べ648日実施、延べ12,507人参加) | | | 3. 元氣広場事業 青少年センターや市民交流センター、各小学校において、青少年が安全で安心な居場所となる子ども元氣広場推進事業を実施する。 | | | 3. 元氣広場事業 青少年センターや市民交流センター、各小学校において、青少年が安全で安心な居場所となる子ども元氣広場推進事業を実施する。 | | | 3. 元氣広場事業 青少年センターや市民交流センター、各小学校において、青少年が安全で安心な居場所となる子ども元氣広場推進事業を実施する。 | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | / | | |
| | | 府支出金 | 370千円 | 府支出金 | 370千円 | 府支出金 | 370千円 | | | | | | |
| | | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 | | | | | | |
| | | 其他 | 0千円 | 其他 | 39千円 | 其他 | 39千円 | | | | | | |
| | | 決算書ページ | 308ページ | 一般財源 | 1,446千円 | 予算書ページ | 355ページ | 一般財源 | 1,696千円 | 予算書ページ | | | 362ページ |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 2.00人 | 会計年度職員 任期付職員 | 3.30人 | 27,898千円 | 方向性 | | | | | | |

評価

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|---|-------------|--|-------------------|--|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 青少年センターのあり方基本方針に沿って職員一人ひとりが利用者や丁寧な関わりをすることで、来館者や参加者が急増している。また講習講座や自主活動事業等、子どもたちの声を形にするため、しっかりと聴くことで、よりニーズの高い講座の実施や自主活動の支援を行うことができた。利用者の増加に伴い、現在の職員体制では、安全管理上、不安な面も多く、そのため多様な子どもたちのニーズに応えきれない面がある。また施設のキャパシティ的に増加傾向にある来館者について、安全な受入体制を行うための人員配置の充実が喫緊の課題である。講座等についてもニーズの高いものについては、定員の2倍・3倍になることも多く、抽選により参加できない申込者も多数出ている。 | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | <改善内容> 子どもたちの安全安心を第一に、これまで以上に意識をもって利用者・参加者の見守りを行う。地域をとりまく教育コミュニティを意識し、これまでも各地区の民生委員児童委員協議会等に御協力を得ていたが、保護者や学生ボランティア等への呼びかけを行うとともに人員の確保に向けて働きかける。講座等についても可能な限りの定員の増加や、2部構成での実施等を検討し、できるだけ参加者の要望に応え、様々な知識を学べる場、体験できる場、生き方のモデルと出会う場を提供する。 | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | | | |
| | 1 現状維持 | ○ | 現状は今ある既存の施設の中でしか事業の拡充を望めないため、職員の青少年センターのあり方基本方針をベースに職員の間で共通理解や情報共有の徹底を行い、その中で子どもたちの安心をサポートする。あわせて、青少年センターBCPや運営管理マニュアル、安全計画等の見直しを定期的に行い安全を確保する。また、講座についてもオンラインを活用し、参加できるものについても検討し、誰もが参加しやすい状況を構築していく。 | | | |
| | 2 見直して継続 | | 重点化 | | | |
| | 手段改善 | | 効率化(コストダウン) | | | |
| | 規模縮小 | | 事業統合 | | | |
| | 3 休止・廃止 | | | | | |
| | 4 完了 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|------------------|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 新規 | | 担当課名 | 留守家庭児童会利用に関する総合的な満足度 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ③ 青少年の健全育成 | | 継続 | ○ | 会計名 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | | 令和6年度からアンケート実施予定 |
| 事務事業名 留守家庭児童会運営事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 目標 - 66.0 67.0 68.0 69.0 70.0 71.0 72.0 73.0 74.0 % | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 実績 - | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供することにより、子どもたちの健全育成、自立支援及び子育て支援を図る。 | | 市単独 | | 達成率 - 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | | | | | | | |
|  | | | | 達成度 - | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--------|-------|-----------------|--|--|--------|-----------|--|------|----------|--|--|---------|--|--------|------|---------|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 9小学校で10施設を開設し、464人の児童を受入れ、適切な遊び、生活環境を提供できた。 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | |
| | 開所日数: 293日 職員研修実績: 資質向上研修2回等 認定資格研修所持率: 72.7%(R5年度末時点) 避難訓練・不審者訓練の実施(年間2回) 施設修繕の実施、空調機器入れ替え等 | | | | 1. 留守家庭児童会運営事業 ・留守家庭児童会支援員への研修の実施 ・留守家庭児童会施設の修繕 ・避難訓練又は不審者訓練の実施 | | | | 1. 留守家庭児童会運営事業 ・留守家庭児童会支援員への研修の実施 ・留守家庭児童会施設の修繕 ・避難訓練又は不審者訓練の実施 | | | | 1. 留守家庭児童会運営事業 ・留守家庭児童会支援員への研修の実施 ・留守家庭児童会施設の修繕 ・避難訓練又は不審者訓練の実施 | | | | | | | |
| 事業の財源 | 17,618千円 | | | 国庫支出金 | 3,477千円 | | | 28,957千円 | | | 24,611千円 | | | 5,286千円 | | | | | | |
| | | | | 府支出金 | 3,488千円 | | | | | | 5,286千円 | | | | | | | | | |
| | | | | 市債 | 0千円 | | | | | | 0千円 | | | | | | | | | |
| | | | | その他 | 9,786千円 | | | 5,763千円 | | | 6,988千円 | | | | | | | | | |
| 決算書ページ | | 310ページ | 一般財源 | 867千円 | | | 予算書ページ | | 358ページ | 一般財源 | 12,358千円 | | | 予算書ページ | | 365ページ | 一般財源 | 7,051千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 1.29人 | 正職員以外の その他職員 | 32.15人 | | | 106,674千円 | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|--|-------------------------------|---|--|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 本事業は、コロナ禍を経て、利用する保護者にとって重要な社会資源であることが再認識された。今後も快適で安全・安心な保育環境を維持するため、施設の維持修繕や適切な人員数の確保・支援員の資質向上などに取り組む必要がある。また、障害児に対する対応をよりきめ細かく行なうことや、保育時における事故対応を適切かつ迅速に行えるように日頃からシミュレーションを行うことが必要である。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> ・待機児童が発生している児童会において、小学校内での新規クラブ開設の為に調整・交渉等に取り組んでいく。 ・補助金を活用した新規の取組(防犯カメラ及び入退室管理システムの導入等)について、検討調整を行う。 ・資質向上研修は人権研修を含め3回実施し、支援員の資質向上に取り組む。 ・施設設備の適切な維持管理に努め、適切な規模の空調への取替工事や、外壁塗装等を実施する。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直しで継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 児童と保護者にとってよりよい児童会であるため、運営の在り方を含め、抜本的な見直しを図る。 施設の適切な維持・管理に努め、義務教区学校再編計画に合わせて、施設の在り方の検討等を進める。また、待機児童解消のための新規クラブ開設に向けて調整・予算要求等を行っていく。 支援員の資質向上のため、継続して研修等を実施する。併せて、安全な運営のための人員確保に努める。 | 備考 |
|--------------------------|--|--|--|-------------------------------|---|--|----|

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------------|---|---------|------|------|------|----------|------|------|-----|----|
| 分野別政策 | 1 | 『ひと』を育てる・輝かせる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | |
| 施策 | 6 | 歴史・文化 |   | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 歴史的・文化的な地域資源に親しみを持ち、郷土愛が育まれるまち | | | | | | | | | | | |
| | 歴史的・文化的な資源をいかして文化の質が高い地域づくりを行い、市民がふるさとや地域への愛着、誇り等、郷土愛を持てるまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | | | 備考 |
| | 学習活動等に活用された文化財の件数 | | | 118件 | | | | 150件 | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 |
| | 目標 | 120 | 125 | 130 | 135 | 140 | 141 | 143 | 144 | 147 | 150 | |
| | 実績 | 82.0 | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 68.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 達成度 | B | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | |
| 1-6-① 文化財保存活用事業【教育部】 1-6-② 公民館運営事業【教育部】 1-6-② 公民館改修事業_実施計画様式【教育部】 | | | | | | | | | | | | |
| ①歴史的資産の活用 ◇文化財や伝承の保存と活用、新たな地域資源の発掘や開発を行います。 ◇地域の文化的財産に対する意識向上に向けた学習の場や、文化財・伝統芸能を紹介・PRする機会を創出します。 ◇小中学校園や埋蔵文化財センターを核とした人が集まれる仕組づくりや、子どもや家族向けの地域資源を活用したイベントを通じたPR活動を実施します。 | | | | | | | | | | | | |
| ②市民文化活動の充実 ◇市民による自主的な文化活動に対する支援の充実を図ります。 ◇広報紙やホームページ、SNS等を活用したPRによる自発的な文化活動への参加支援を行います。 ◇多様な文化・芸術に触れる機会の創出や、市民ボランティアの育成等、市民の意見を取り入れた運営を実施します。 | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|----------------|--------------|--|-----------------------|----------|------|--|------|--------|------|----------|------|----------|------|--------|---|--------|--|-------|--|----------|--|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 6 歴史・文化 | | 新規 | | 担当課名 | 生涯学習課 | | 指標名 学習活動等に活用された文化財の件数 | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ① 歴史的資産の活用 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | | | | | | |
| 事務事業名 文化財保存活用事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 | 5 | 10 | 目標 | 120 | 125 | 130 | 135 | 140 | 141 | 143 | 144 | 147 | 150 | 件 | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 02-文化財保存活用事業 | | 実績 | 82 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 歴史的・文化的な資源をいかして文化の質が高い地域づくりを行い、市民がふるさとや地域への愛着、誇り等、郷土愛を持てるまちづくりに取り組みます。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 68.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | | | |
| | | | | | | 達成度 | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 学校教育への協力、出張授業 市民による文化遺産(せんなんのたからもの)の活用 研究目的での文化財の資料観察 重要文化財海会寺跡出土品の常設展示及び企画展示 フィールドワークの実施 自宅で楽しめる体験学習キットの配布 文化財に関わる講座を実施 | | <ul style="list-style-type: none"> 学校教育への協力、出張授業 他施設への協力、イベント出展 市民による文化遺産(せんなんのたからもの)の活用 研究目的での文化財の資料観察 重要文化財海会寺跡出土品の常設展示及び企画展示 フィールドワークの実施 自宅で楽しめる体験学習キットの配布 文化財に関わる講座を実施 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 学校教育への協力、出張授業 他施設への協力、イベント出展 市民による文化遺産(せんなんのたからもの)の活用 研究目的での文化財の資料観察 重要文化財海会寺跡出土品の常設展示及び企画展示 フィールドワークの実施 自宅で楽しめる体験学習キットの配布 文化財に関わる講座を実施 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 学校教育への協力、出張授業 他施設への協力、イベント出展 市民による文化遺産(せんなんのたからもの)の活用 研究目的での文化財の資料観察 重要文化財海会寺跡出土品の常設展示及び企画展示 フィールドワークの実施 自宅で楽しめる体験学習キットの配布 文化財に関わる講座を実施 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | | その他 | | 36千円 | |
| | | 6,080千円 | | | | | | 12,247千円 | | | | | | 10,903千円 | | | | | | | | 108千円 | | 6,044千円 | |
| | | 決算書ページ | | 316ページ | | 一般財源 | | 6,044千円 | | 予算書ページ | | 367ページ | | 一般財源 | | 12,167千円 | | 予算書ページ | | 374ページ | | 一般財源 | | 10,795千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | | 2.00人 | | 正職員以外の その他職員 | | 2.00人 | | 20,904千円 | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---|--|--|--|--|----------|-------------------|--|--|--|--|--|----|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> 令和5年度は学校へのお出張授業を16回実施することにより、生徒への文化財についての興味を喚起することに努めた。またフィールドワークや文化財に関わる講座を実施することにより、市民に対して歴史に触れる機会の提供を行った。今後引き続き市民への歴史に対する興味喚起や、市内の文化財保護への意識を深める事業を進める必要がある。 | | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | | | 備考 | | |
| Check 3 | | | | | <改善内容> 市民による文化遺産の活用数においては、学校教育への協力、出張授業の件数が大きく反映することから、教育機関への働きかけにより、さらなる利用件数の増加に向けて取組を進める。またフィールドワークや講座の実施回数を増やすことにより、市民が歴史に触れる機会の場を増加させる。 | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | | |
| | | | | | | | | 1 現状維持 | | ○ 市民が郷土の歴史に関心を持つことは、シビックプライドの醸成を促すものであり、郷土愛を育むことにつながると思える。今後も引き続き市民が歴史に興味を持ち、関心を抱くようなイベント等を開催する。 | | | | | | |
| | | | | | | | | 2 見直して継続 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 重点化 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 手段改善 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 規模縮小 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 事業統合 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 4 完了 | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----|------|---------------------------------|------------|-------|--------------|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 再掲 | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 6 歴史・文化 | | | 新規 | | 担当課名 | 文化振興課 | 指標名 | 公民館における文化・芸術活動の開催回数 | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 市民文化活動の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | ・令和6年度3月末人口 58,527人 ・令和5年度利用者数 36,604人 |
| 事務事業名 公民館運営事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 9 5 8 | | 実績 | 6 | 6 | 7 | 7 | 8 | 8 | 9 | 10 | 10 | 10 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 02-公民館運営事業 | 達成率 | 150.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| <事業概要> 講座等自主事業実施、貸館事業、建物の維持管理業務、クラブ協議会等利用団体の育成、支援等を行うことで、多様で自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点を提供すると同時に、市民による自主的な文化・芸術活動の高揚を図る。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |
| | | | | 社会教育法、泉南市公民館条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画 | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|---|------------------------|---|---|--|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1. 年間利用者数 榊井(10,493人)・信達(9,291人)・新家(13,114人)・西信達(3,706人) : 計36,604人 2. 年間利用件数 榊井(999件)・信達(1,006件)・新家(1,213件)・西信達(510件) : 計3,427件 3. 登録クラブ数 榊井(16団体)・信達(35団体)・新家(33団体)・西信達(10団体) : 計94団体 4. 公民館における文化活動、自主事業等の開催回数: 9回 5. 自習室開設実績及び参加人数 夏期: 7月21日～8月24日・開設日数: 29日・利用者合計16人 春期: 3月23日～4月7日・開設日数: 14日・利用者合計4人 6. 消防避難訓練開催実績及び参加人数 榊井(6月24日: 26人・12月10日: 29人)・信達(6月25日: 33人・12月10日: 31人)・新家(7月2日: 29人・12月9日: 43人)・西信達(6月24日: 17人・12月9日: 43人) : 計222人 | | | 令和6年度(令和6年3月) 1. 市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進 2. クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会の提供 3. 広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動による自発的な文化・芸術活動支援 4. 文化・芸術に関する講座等自主事業実施による自発的な文化・芸術活動の高揚 5. 公民館としての在り方や地域コミュニティの拠点とすべく市全体の公共施設の在り方検討を深め、新たな施設への複合化に向けた基本的な考え方を整理 | | | 令和7年度 1. 市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進 2. クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会の提供 3. 広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動による自発的な文化・芸術活動支援 4. 文化・芸術に関する講座等自主事業実施による自発的な文化・芸術活動の高揚 5. 公民館としての在り方や地域コミュニティの拠点とすべく市全体の公共施設の在り方検討を深め、新たな施設への複合化等の事例研究 | | | 令和8年度以降 1. 市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進 2. クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会の提供 3. 広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動による自発的な文化・芸術活動支援 4. 文化・芸術に関する講座等自主事業実施による自発的な文化・芸術活動の高揚 5. 公民館としての在り方や地域コミュニティの拠点とすべく市全体の公共施設の在り方検討を深め、新たな施設への複合化等検討 | | |
| | 事業の財源 決算額 13,321千円 決算書ページ 312ページ | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,616千円 一般財源 10,705千円 | 職員数/人件費 正職員 3.04人 会計年度職員 任期付職員 3.96人 26,210千円 | 予算額 19,862千円 予算書ページ 361ページ | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 2,800千円 その他 5,116千円 一般財源 11,946千円 | 方向性 3 休止・廃止 4 完了 | 予算額 24,257千円 予算書ページ 369ページ | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 5,000千円 その他 5,116千円 一般財源 14,141千円 | | | | |

令和5年度 事務事業評価

| | | | | |
|----------------------|---|---|-------------------------------|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> ・市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進を行った。特に、榊井公民館において照明器具すべてをLED化を行う一方、その他については、予算の範囲内で緊急性の高いものから修繕等を順次行った。また、国による新型コロナウイルス感染症の位置付けが、2類相当から5類移行に伴い、各部屋の定員制限等を完全に撤廃、撤去した。 ・クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供した。特に、公民館まつりについては、コロナ禍以降、3館すべてで通常の形で開催することができ、自主的な文化・芸術活動を支援した。 ・同時に講座等自主事業実施にあたっては、広報紙やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動により、文化・芸術活動の高揚を図った。 ・各公民館にあるクラブ連絡協議会等を事務局として支援、協力を行うことで、自主的な文化・芸術活動を支援した。一方、クラブ員の高齢化、コロナ後の会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退に対してどのように対処し、事務局として支援の方策を研究する必要がある。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> ・クラブ員の高齢化、コロナ後の会員減少などにどのように対処し、事務局として支援の方策を研究する。 ・魅力的な内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・事務局として公民館クラブ協議会等へのバックアップを行い、確実に公民館まつりを開催する。 ・公民館クラブ員の高齢化、部員や加盟団体減少に対して、クラブ協議会等の再構築検討を行う。 ・協議会等の現状や問題点を整理し、規約改正をうながし、再活性化を行い、脱退したクラブに働きかけ、再加盟を促進する。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 | 事業の方向性と取組の内容 ・引き続き、市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業を推進する。 ・クラブ連絡協議会等を事務局として支援し、運営等が円滑に行われるよう取り組む。 ・魅力的な内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・施設の在り方については、公共施設再編案と連携して、施設の複合化等の検討を深める。 | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|----------------|------------|------|-----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--------------------------|
| ○ 分野別政策 1 『ひと』を育てる・輝かせる | | 再掲 | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 6 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成 | | 再掲 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 文化振興課 | | | 指標名 | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ② 生涯学習の推進 | | | | 継続 | | 予算 | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 単年度実施の設備更新事業のため活動指標の設定なし |
| 事務事業名 公民館改修事業 | | 事業に関連するSDGs | | ソフト | | | 款項目 | 9 | 5 | 8 | 目標 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 老朽化した公民館を改修し、公民館施設を法令に基づき適切に保全することで、多様で自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点を提供すると同時に、市民による自主的な文化・芸術活動の高揚を図る。 | |  | | ハード | ○ | 細目 | 03-公民館改修事業 | | | 実績 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 消防法、建築基準法、社会教育法、泉南市公民館条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画 | | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--|--|---------------|--|-----------------------|--|---------|--|------|--|-----------|--|----------|--|-----|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | |
| | | | | 令和6年度実績 | | | | 令和7年度実績 | | | | 令和8年度以降実績 | | | | | |
| 事業の財源 | | | | 決算額 | | 0千円 | | 予算額 | | 0千円 | | 34,000千円 | | 0千円 | | | |
| | | | | 国庫支出金 | | 府支出金 | | 国庫支出金 | | 府支出金 | | 市債 | | 市債 | | その他 | |
| 職員数/人件費 | | | | 正職員 0.00人 | | 正職員以外の その他職員 0.00人 | | 予算書ページ | | | | 370ページ | | 一般財源 0千円 | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---------|--|-------------|--|----------|--|-------------------|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| | | Check 3 | | <改善内容> | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | |
| 1 現状維持 | | | | | | | | | | | |
| 2 見直して継続 | | | | | | | | | | | |
| 重点化 | | | | | | | | | | | |
| 手段改善 | | | | | | | | | | | |
| 効率化(コストダウン) | | | | | | | | | | | |
| 規模縮小 | | | | | | | | | | | |
| 事業統合 | | | | | | | | | | | |
| 3 休止・廃止 | | | | | | | | | | | |
| 4 完了 | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----------------------|---|------|------|-----------|------|------|------|------|-------------------|--|--|
| 分野別政策 | 2 | 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①農漁業の振興 ◇農業用道路、農業用水路及び農地の保全等、機能の維持や、農業振興と生産性向上のため、意欲ある農業者への遊休農地の貸借促進や利用集積を図ります。 ◇農作物、水産物等の販路の確保等、地域ブランド品の開発・展開を推進します。 ◇漁業協同組合等、関係団体との連携強化や、地産地消を推進します。 ②農漁業の担い手確保・育成 ◇泉南農業塾の拡充や、就農希望者の受け入れ策の検討による担い手の確保・育成に取り組みます。 ◇農漁業体験等、農漁業に興味を持つきっかけづくりの推進による担い手の確保につなげます。 ◇移住者への支援による農漁業を生業とする移住促進を図ります。 |
| 施策 | 7 | 農業・漁業 |  | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 自然の恵みがいかされ、農業・漁業が活気にあふれるまち 山と海の資源をいかした地産地消や地域ブランドの推進、6次産業化等による新たな商品やビジネスの創出に向けた仕組の構築等を通じ、農業・漁業が活性化し、にぎわいのあるまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値 (R3) | | | 目標値 (R14) | | | 備考 | | | | |
| | 地域ブランド品目数 | | 1 | | | 5 | | | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | | |
| 目標 | 2 | 3 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 1.泉南あなご | | |
| 実績 | 3 | | | | | | | | | | 2.ソフト干物 | | |
| 達成率 | 150% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 3.地元調味料を使用した水産加工物 | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 2-7-①、② 農業振興事業【市民生活環境部】 2-7-① 農道水路改修事業【市民生活環境部】 2-7-①、② 水産振興事業【市民生活環境部】 2-7-② 観光振興事業【成長戦略室】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|----------------|--------------|-----|-----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|-----------------|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 7 農業・漁業 | | 新規 | | 担当課名 | 産業振興課 | | 指標名 農業の新たな担い手育成 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 農漁業の振興 ② 農漁業の担い手確保・育成 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 農業の新たな担い手を育成した。 |
| 事務事業名 農業振興事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 5 | 1 | 3 | 目標 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 人 | |
| <事業概要> 農業の振興を図るため、各種団体での情報共有・意見交換を行うとともに、農業用施設の整備及び維持管理を適切に進めるため、各種団体を通じて国への要望や事業推進に必要な情報の共有を行い、継続的に農業を行う環境整備に取り組めます。 | | ハード | | 細目 | 01-農業振興事業 | | 実績 | 17 | | | | | | | | | | |
| | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 170% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) 1 農業振興を図るための団体等への補助金支出 ・泉南市土地改良区 農業用施設等の改修を行い、農業経営の安定化を図るとともに、各地区ごとに農業用施設等の草刈り、清掃及び早期補修に努め、維持管理の徹底を図った。 ・泉南農業塾 入塾延べ人数64人、就農者延べ人数8人 ・大阪府農業共済組合 農業者が不慮の災害等により受けることのある損失を補填して、農業経営の安定化を図り、農業産力の発展に資することを目的に、大阪府農業共済組合に対する助成を行った。 2 各種協議会等への参加(各会議等参加回数) ・大阪府ため池総合整備推進協議会(1回)／大阪泉州エコ農産物推進協議会(2回)／大阪府土地改良事業団体連合会(5回)／大阪府農空間整備推進協議会(2回) | | | | 令和6年度(令和6年3月) 1 農業振興を図るための団体等への補助金支出 ・泉南市土地改良区 ・泉南農業塾 ・大阪府農業共済組合 ・新規就農者育成総合対策 2 各種協議会等への参加 ・大阪府ため池総合整備推進協議会 ・大阪泉州エコ農産物推進協議会 ・大阪府土地改良事業団体連合会 ・大阪府農空間整備推進協議会 | | | | 令和7年度 1 農業振興を図るための団体等への補助金支出 ・泉南市土地改良区 ・泉南農業塾 ・大阪府農業共済組合 ・新規就農者育成総合対策 2 各種協議会等への参加 ・大阪府ため池総合整備推進協議会 ・大阪泉州エコ農産物推進協議会 ・大阪府土地改良事業団体連合会 ・大阪府農空間整備推進協議会 | | | | 令和8年度以降 1 農業振興を図るための団体等への補助金支出 ・泉南市土地改良区 ・泉南農業塾 ・大阪府農業共済組合 ・新規就農者育成総合対策 2 各種協議会等への参加 ・大阪府ため池総合整備推進協議会 ・大阪泉州エコ農産物推進協議会 ・大阪府土地改良事業団体連合会 ・大阪府農空間整備推進協議会 | | | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 6,952千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 247ページ 一般財源 4,234千円 | | | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 10,694千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 268ページ 一般財源 4,153千円 | | | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 14,131千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 272ページ 一般財源 3,310千円 | | | | | | | |
| 職員数/人件費 正職員 0.13人 正職員以外の その他職員 0.00人 1,011千円 | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | | <成果・課題> ・泉南農業塾では、農業技術を習得し農業経営を開始しようとする方等を泉南農業の新たな担い手として育成に努めた。 ・泉南市土地改良区では、農業用施設等の老朽化により、修繕箇所が増加が見込まれるため、国庫補助事業等を活用した修繕工事等の実施が必要である。 ・全国的に農業従事者数が減少し、農業の担い手が不足している中、本市においても同様である。泉南農業塾での担い手育成や国庫補助事業を活用した新規就農者育成総合対策等の支援を実施するとともに、新たな就農者には農地の斡旋等に努めます。 | | | 令和6年度の改善の取組 Action 4 <改善内容> 引続き、泉南農業塾において新たな担い手の育成に努めるとともに、国庫補助事業を活用した新規就農者育成総合対策等の支援を実施する。 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | | | 事業の方向性と取組の内容 団体等への補助金を支出することは、農業用施設等の適切な維持管理や新規就農者を確保することにつながるため、農業振興を図るためには事業の継続が必要である。 | | | | 備考 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|----------------|-------------|------------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------------|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 7 農業・漁業 | | 新規 | | 担当課名 | 産業振興課 | 指標名 農道・水路等の修繕箇所数 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 農漁業の振興 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 農業用施設等の修繕を実施した。 |
| 事務事業名 農道水路改修事業 | | ソフト | | 款項目 | 5 1 4 | 目標 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 箇所 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 01-農道水路改修事業 | 実績 | 72 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 営農のための農道、水路等の維持管理に要する事業を実施する。また土地改良区が実施する農業用施設の改修に対しての補助及び地元による良好な農空間の維持保全などに対する補助を行う。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 144.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
|  | | | | 泉南市耕地事業補助金交付要綱 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--|---|---|---|--|---|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1 農道、水路等の維持管理 ・水路等の除草・清掃作業(21箇所) ・農道・水路等の修繕箇所数(72箇所) ・原材料支給(9団体) ・耕地事業補助金の支給(4事業) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 1 農道、水路等の維持管理 ・水路等の除草・清掃作業 ・農道・水路等の修繕及び原材料支給 ・耕地事業補助金の支給 | | 1 農道、水路等の維持管理 ・水路等の除草・清掃作業 ・農道・水路等の修繕及び原材料支給 ・耕地事業補助金の支給 | | 1 農道、水路等の維持管理 ・水路等の除草・清掃作業 ・農道・水路等の修繕及び原材料支給 ・耕地事業補助金の支給 | | 1 農道、水路等の維持管理 ・水路等の除草・清掃作業 ・農道・水路等の修繕及び原材料支給 ・耕地事業補助金の支給 | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 予算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| | | 26,728千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 6,000千円 その他 640千円 | 83,411千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 62,600千円 その他 947千円 | 34,682千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 4,900千円 その他 860千円 | | |
| 決算書ページ | | 249ページ | 一般財源 20,088千円 | 予算書ページ | 270ページ | 一般財源 19,864千円 | 予算書ページ | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.52人 | 正職員以外の その他職員 0.64人 | 6,125千円 | | ↑ 方向性 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|--|-------------|--|--------------|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> ・農家の営農に支障をきたしている農業用施設等の修繕や原材料を支給することで農業経営の安定化を図った。 ・農業用施設等の老朽化により、修繕箇所の増加が見込まれる。 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | 備考 |
| | | <改善内容> 修繕以外の工事については、地元と調整し国や府の補助金を積極的に活用する。 | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | |
| | | | | | | 1 現状維持 | ○ 農業用施設等の老朽化により修繕箇所の増加が見込まれるため、計画的に整備していく。 | | | |
| | | | | | | 2 見直して継続 | | | | |
| | | | | | | 重点化 | | | | |
| | | | | | | 手段改善 | | | | |
| | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | |
| | | | | | | 規模縮小 | | | | |
| | | | | | | 事業統合 | | | | |
| | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | |
| | | | | | | 4 完了 | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------|------|----------------|-----------|-----|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|----|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 7 農業・漁業 | | 新規 | 担当課名 | 産業振興課 | | 指標名 | 地域ブランド品目数 | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ① 農漁業の振興 ② 農漁業の担い手確保・育成 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 1.泉南あなご 2.ソフト干物 3.地元調味料を使用した水産加工物 | |
| 事務事業名 水産振興事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 5 | 3 | 1 | 目標 | 2 | 3 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | | 品目 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 01-水産振興事業 | | 実績 | 3 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 本市の水産業は、大阪府有数の魚介類の供給地として重要な役割を果たしており、主要な地場産業として発展してきたが、近年の漁業従事者数は横ばいで、漁獲量についても減少しているため、大阪湾の漁業生産力を有効に活用した生産性の高い都市型漁業を促進し、担い手の育成を支援する。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 150.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 水産業協同組合法 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

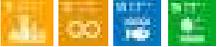
| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|---|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| 1 漁業振興を図るための団体等への補助金支出 ・水産資源再生事業補助金(泉南あなご養殖プロジェクト)養殖施設整備(1箇所)／加工品の試作品製作(2品)／各種店舗等への出荷販売／ふるさと納税返礼品への出品 2 各種協議会等への参画(各会議等参加回数) ・大阪府漁港漁場協会(2回)／大阪府港湾協会(2回)／海上保安協会(1回) 3 新規ブランド創出 ・2事業者において、地元食材等を活用し付加価値を持った地域特産品の商品開発のために、機器や資材を購入し、施設整備等が完了している。令和5年度に当該施設で加工されたもの1品目がふるさと納税返礼品として出品された。 | | 1 漁業振興を図るための団体等への補助金支出 ・水産資源再生事業補助金 2 各種協議会等への参画 ・大阪府漁港漁場協会 ・大阪府港湾協会 ・海上保安協会 | | 1 漁業振興を図るための団体等への補助金支出 ・水産資源再生事業補助金 2 各種協議会等への参画 ・大阪府漁港漁場協会 ・大阪府港湾協会 ・海上保安協会 | | 1 漁業振興を図るための団体等への補助金支出 ・水産資源再生事業補助金 2 各種協議会等への参画 ・大阪府漁港漁場協会 ・大阪府港湾協会 ・海上保安協会 | |
| 事業の財源 | | 予算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| 決算額 | | 国庫支出金 0千円 | | 国庫支出金 0千円 | | 国庫支出金 0千円 | |
| 3,326千円 | | 府支出金 0千円 | | 府支出金 0千円 | | 府支出金 0千円 | |
| | | 市債 0千円 | | 市債 0千円 | | 市債 0千円 | |
| | | 其他 3,000千円 | | 其他 3,085千円 | | 其他 3,085千円 | |
| 決算書ページ 251ページ | | 一般財源 326千円 | | 予算書ページ 279ページ | | 一般財源 0千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.02人 | | 正職員以外の 其他職員 0.00人 | | 156千円 | |

評価

方向性

| | | | | |
|--|--|---|---|---|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| <成果・課題> 泉南あなご養殖プロジェクトについて ・ふるさと納税返礼品への出品、各種店舗等への出荷販売及びイベントでの販売によりブランド化を図った。 ・施設整備により外海からの水源を確保することで、歩留まり率の向上に寄与した。 ・養殖数を増加させ、歩留まり率を向上させることにより、実施主体での自立経営を目指す必要がある。 ・ここ数年での稚魚捕獲数が減少しているため、新たな稚魚確保ルートについて検討が必要である。 Check 3 | | <改善内容> 泉南あなご養殖プロジェクトについて ・他の加工品を開発し、販売やふるさと納税返礼品に出品することで、本市の特産品としてさらなるブランド化を図り、水産業及び市の活性化につなげる。 | Action 4 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 泉南あなご養殖プロジェクトについて ・実施主体による自立経営について検討し、事業の継続等について協議する必要がある。 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------|--|----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | 事務事業コード | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 7 農業・漁業 | | 新規 | | 担当課名 | | SNSフォロワー数 | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 農漁業の担い手確保・育成 | | 継続 | | 会計名 | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | SNS (Sennan Nature School) 公式Instagram フォロワー数 |
| 事務事業名 観光振興事業 | | ソフト | | 款項目 | | 目標 350 400 1,000 1,500 2,000 2,500 3,000 3,500 4,000 4,500 人 | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | | 実績 498 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 観光協会と連携した観光情報のPRに努めるとともに、広域連携による地域の魅力向上を図る。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 142.3% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | | | | |
|  | | 観光振興ビジョン | | | | 達成度 | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1. 市内生産者、事業者と連携した新規体験プログラムとして「収穫スイーツ作り体験」を実施した。事業プロモーションのため「泉南まるごとフェスティバル」「子ども未来フェス」に参画し、それぞれの動画制作およびInstagramへの投稿を行った。 2. ①収穫スイーツ作り体験 市内事業者「ことりはブドウ園」にてブドウ収穫をし、市内にあるカフェ「ベイクイコイ」にてスイーツ作り体験を実施した。 ②泉南まるごとフェスティバル 上記イベントにブース出店し、花入りヨーヨー釣り、SNSフォロワー増加のためのハンフレット配架など事業のPRを行った。 ③子ども未来フェス 教育委員会主催のイベントにて、野菜の植え付けや大飯湾の魚と触れ合う体験や、農業塾で管理する畑での収穫体験をし、料理する体験イベントを実施。 | | 令和6年度(令和6年3月) 4.SNS(Sennan Nature School)運営事業 ※R5実施「地域共生のまちづくり推進事業」統合 ■事業運営 ・公募により運営委託事業者を選定 ・受託者およびプレイヤーによるワークショップの開催 ・収支バランスの検討、教育旅行の受入 ・明確な業績評価指標を設定し、効果検証を実施する ・今後の方向性、ロードマップについて検討 ■体験プログラム磨き上げ ・プログラムの開発および新規プレイヤーの獲得 ・工場見学など新しいコンテンツの開発 ■情報発信 内外へのプロモーションの拡充 | | 令和7年度 4.SNS(Sennan Nature School)運営事業 ※R5実施「地域共生のまちづくり推進事業」統合 ・前年度設定したKPIの検証 ・プログラムの販売条件の検証 ・プログラムの磨き上げ ・プログラムパッケージの検証 | | 令和8年度以降 4.SNS(Sennan Nature School)運営事業 ※R5実施「地域共生のまちづくり推進事業」統合 ・KPI検証 ・販売形態実装 | |
| 事業の財源 決算額 1,500千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 1,500千円 決算書ページ 175ページ 一般財源 0千円 | | 予算額 17,130千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 11,470千円 予算書ページ 281ページ 一般財源 5,660千円 | | 予算額 25,882千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 23,510千円 予算書ページ 286ページ 一般財源 2,372千円 | | 方向性 | | | |
| 職員数/人件費 正職員 0.40人 正職員以外のその他職員 0.00人 3,111千円 | | | | | | | | | |

評価

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|---|--|
| 事務事業の改善内容 <成果・課題> 地域活性化の一環として、農業や漁業体験をメインコンテンツとして磨き上げるため、市内の農業者、漁業者などと連携し、体験メニューの開発を行った。これまで体験ツアーの実施、イベントへの出展により市の知名度向上を図り、結果としてInstagramのフォロワー数も大幅に増加した。 教育委員会と連携した「子ども未来フェス」では市内4中学校の文化部と共に体験ブースを設置し、様々なデモ体験を実施した。 Check 3 これまで作成してきたプロモーション素材のビジュアル効果もあって、事業そのものの認知度は向上してきたといえるが、体験プログラムに関しては、実践の機会が限られていたこともあり、未だ自走可能なコンテンツとして成立していない。今後は内容の磨き上げは無論のこと、収益を得て自走可能な稼げるコンテンツとしてブラッシュアップを行う必要がある。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 令和6年度より観光振興事業に統合し、これまでの観光協会主体での運営から、広く公募を募り幅広いノウハウをもった事業者へ委託することで柔軟かつ戦略的な事業展開を図り、自走化に向けた具体的な運営を実施する。 その一環として、令和5年度では実施に至らなかった、教育旅行の受入、工場見学ツアーなど幅広いプログラムの開発及びPRを実施する。 | | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 ○ 3 休止・廃止 4 完了 | | 備考 令和6年度に開発したプログラムやメニューについてより魅力あるコンテンツとなるよう磨き上げを行い、観光振興事業として、幅広い需要を喚起することで積極的な自走化を目指す。 | |
|--|--|--|--|---|--|---|--|

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|----------------------|---|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|------------------------|---|
| 分野別政策 | 2 | 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①商工業の振興 ◇商工会との連携による異業種ビジネス交流会や若手経営者等の育成支援を行います。 ◇企業の事業継承推進のため、経営者と新たな創業者とのマッチング機会の創出や、生産性向上に関する取組を支援します。 ◇本市の立地特性をいかした企業立地を促進します。 ◇市内の特色ある産品等を銘品として認定するとともに、認定品及び事業者の取組を市内外へ広く発信します。 ◇空き店舗の活用や買い物困難者に対する取組等、地域商業の活性化を推進します。 ②起業・創業の支援 ◇商工会や金融機関等との連携による創業支援、創業後のサポート等、事業継続を支援します。 ◇空き店舗活用による支援等、起業・創業の機会の拡充を図ります。 |
| 施策 | 8 | 商工業 |  | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 商工業の活性化が地域に活力を生み、笑顔とにぎわいにあふれるまち | | | | | | | | | | | | |
| | 広域的な交通アクセス等の立地をいかした新たな企業誘致や、市内事業者への支援の充実により、商工業の活性化を図ることで、市民の生活が便利で満足度が高く、にぎわいにあふれるまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | 基準値 (R3) | | | | 目標値 (R14) | | | | 備考 | |
| | 市内事業所数 | | | 1,969事業所 | | | | 2,200事業所 | | | | 経済センサスの統計を引用 | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| | 目標 | 1,992 | 2,015 | 2,038 | 2,061 | 2,084 | 2,107 | 2,130 | 2,153 | 2,176 | 2,200 | 経済センサスの集計の更新が令和6年10月以降 | |
| | 実績 | - | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | - | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 2-8-①、② 商工業振興事業【市民生活環境部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------|---|----------------|--------------|--|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------------------|--|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 8 商工業 | | 新規 | | 担当課名 | 産業振興課 | | 指標名 市内事業所数 | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 商工業の振興 ② 起業・創業の支援 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | 経済センサスの集計の更新がR7.4以降 | |
| 事務事業名 商工業振興事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 6 | 1 | 2 | 目標 1,992 2,015 2,038 2,061 2,084 2,107 2,130 2,153 2,176 2,200 事業所 | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 02-商工業振興事業 | | 実績 - | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 商工会や関係機関と連携し、創業支援を行うとともに、空き店舗・空き家活用による事業を支援することで起業、創業機会の拡充を図る。また、市内事業者の事業継続・発展に向けた取組を支援することで、地域の活性化及び地場産業の振興に寄与する。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 - 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | | | | | | |
| | | 創業支援事業計画 | | 達成度 - | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1. 商工会補助事業 ・経営相談事業 ・地域活性化事業 ・創業支援事業 2. 創業支援事業 ・市内の起業・創業を推進するために、創業アカデミー(創業塾)の実施(1回、延べ11人参加) ・特定創業支援事業修了者8人(終了証12枚発行) 3. 空き店舗等活用対策事業 ・市内の12店舗に補助 | | 令和6年度(令和6年3月) 1. 商工会補助事業 2. 創業支援事業 ・市内の起業・創業を推進するために、創業アカデミー(創業塾)を開催 ・特定創業支援事業修了者に対する支援 3. 空き店舗等活用対策事業 ・市内の空き店舗・空き家を活用し、事業を開始した事業者に対して、創業に係る経費の一部を補助 4. ふるさと納税型クラウドファンディング 地場産品の創出に向けた取組をふるさと納税型クラウドファンディングを活用し支援 | | 令和7年度 1. 商工会補助事業 2. 創業支援事業 ・市内の起業・創業を推進するために、創業アカデミー(創業塾)を開催 ・特定創業支援事業修了者に対する支援 3. 空き店舗等活用対策事業 ・市内の空き店舗・空き家を活用し、事業を開始した事業者に対して、創業に係る経費の一部を補助 4. ふるさと納税型クラウドファンディング 地場産品の創出に向けた取組をふるさと納税型クラウドファンディングを活用し支援 | | 令和8年度以降 1. 商工会補助事業 2. 創業支援事業 ・市内の起業・創業を推進するために、創業アカデミー(創業塾)を開催 ・特定創業支援事業修了者に対する支援 3. 空き店舗等活用対策事業 ・市内の空き店舗・空き家を活用し、事業を開始した事業者に対して、創業に係る経費の一部を補助 4. ふるさと納税型クラウドファンディング 地場産品の創出に向けた取組をふるさと納税型クラウドファンディングを活用し支援 | |
| 事業の財源 決算額 9,291千円 決算書ページ 252ページ 正職員 0.64人 会計年度職員 任期付職員 0.00人 4,977千円 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 9,291千円 | | 予算額 17,909千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 11,850千円 一般財源 6,059千円 予算書ページ 278ページ | | 予算額 17,460千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 11,550千円 一般財源 5,910千円 予算書ページ 282ページ | | 方向性 | |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 空き店舗における創業支援については、補助内容が限定的であったことから、補助対象経費について見直しを行った。 また、起業、事業者支援策としてふるさと納税型クラウドファンディングを活用する補助事業の新設を行った。 今後、市内事業者の事業継続支援について、新たな検討が必要である。 | |
| 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 空き店舗等活用対策事業については、家賃補助の利用率を増やし、改修等の費用や買取費用の補助を新設し、補助内容を拡充したことによる起業支援を強化する。 ふるさと納税型クラウドファンディングを活用した支援を新設したことによる、市内への企業誘致や地場産品の開発、新たな事業展開に対する啓発活動の強化する。 | | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | |
| | | 事業の方向性と取組の内容 引続き、商工会と連携しながら、創業支援事業の推進や空き店舗等活用対策事業およびふるさと納税型クラウドファンディングにより、創業者に対する継続的な支援を実施する。 | |
| | | 備考 | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------|-------------|-------|-----------|-------|--------------------------------------|-------|-------|-------|-------|----|--|
| 分野別政策 | 2 | 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①観光の振興 ◇目指すべきコンセプト、ターゲットの明確化を通じた観光の振興を図ります。 ◇泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）来園者を内陸部へと周遊させる取組を促進します。 ◇インバウンドを含めた幅広い観光客層に対応する受け入れ環境の整備・向上を図ります。 ◇農漁業体験と観光をつなげた体験型観光を促進します。 ②観光魅力のPR ◇泉南市の地域資源や観光資源等を通じて泉南市の魅力を市内外へ広く発信するとともに、にぎわいづくりや知名度向上を図ります。 ◇SNSやデジタルサイネージ等、様々な手段により観光情報を市内外へ発信し、観光資源の知名度向上と集客の促進を図ります。 ◇広域連携により観光資源を結びつけ、PRしていくことにより幅広い集客を図ります。 |
| 施策 | 9 | 観光 | | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 地域資源がいかされ、人びとが行き交う観光・交流のまち 豊かな海・山等の自然や歴史文化を地域資源として活用した泉南市ならではの観光サービスや商品開発により泉南市を訪れる人を増やし、人びとが行き交うまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値 (R3) | | 目標値 (R14) | | 備考 | | | | | | |
| | 休日滞在人口率 | | 1.06 | | 1.15 | | 地域経済分析システムRESASより引用 1月～12月の月平均を表示 | | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| | 目標 | 1.096 | 1.102 | 1.108 | 1.114 | 1.120 | 1.126 | 1.132 | 1.138 | 1.144 | 1.150 | | |
| 実績 | 1.108 | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 101.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 2-9-① 観光振興事業【成長戦略室】 2-9-① 日本遺産活用推進事業【成長戦略室】 2-9-② タルイサザンビーチ活用促進事業【成長戦略室】 2-9-② 誘客連携による地域活性化事業【成長戦略室】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|------|----------------|-----------|---|---|----|--|--|--|--|-----|------------------------------------|-------|--------|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|--|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 9 観光 再掲 | | 新規 | 担当課名 | プロモーション戦略課 | | | | | | | | | 指標名 | | | 備考 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ① 観光の振興 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | | | | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 | | | 単位 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 観光振興事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 6 | 1 | 5 | 目標 | | | | | | 1.096 | 1.102 | 1.108 | 1.114 | | 1.120 | 1.126 | 1.132 | 1.138 | 1.144 | 1.150 | 人 | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 02-観光振興事業 | | | | | | | | | 実績 | | | 1.108 | | | | | | | | | | | |
| ＜事業概要＞ 観光協会と連携した観光情報のPRに努めるとともに、広域連携による地域の魅力向上を図る。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | 達成率 | | | 101.1% | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | | | | | | | | | | | | | | 達成度 | | | A | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|---|---------|---|-------|---|-----|---------|----|-----|--|-----|-------|--------|--------|------|---------|---|--|-----|-------|-----|--|------|-----|----------|----|-----|--|-----|----------|--------|--------|------|---------|---|--|-----|-------|-----|--|------|-----|----------|----|-----|--|-----|----------|--------|--------|------|---------|
| <p>主な事業内容 (年次計画) (実績)</p> <p>1. 観光協会へ補助金を交付し案内所運営業務、イベントへの出席など実施した。 2. ええもんせんなんもんとして6品認証。また令和5年度からの事業としてすでに選ばれていた「ええもんせんなんもん」の中からよりプロモーションを強化する「ええもんせんなんもんプレミアム」として6品認定した。 3. ①根来街道グリーンツーリズム振興協議会 岩出市と連携して、新たなプロモーションツールとして「たび帳」作成に向け協議を重ねる。たび帳は両市にある寺社8施設を対象に御朱印を集めつつ、観光スポットも掲載する観光紙と御朱印帳を兼ね備えた旅の思い出アイテムとして活用予定。また岩出市にて開催される「かくはん祭り」にてブース出展を実施した。 ②KIX泉州ツーリズムビューロー 「泉州ゲルメーターカス」「大阪泉州社媽フェスin泉南」でのブース出展を実施した。(市内事業者も出展) また大阪泉州リゾートパスポートの作成事業では市内事業者を利用可能店舗として登録した。</p> | | <p>令和6年度(令和6年3月)</p> <p>1. 観光協会補助事業 ・会員へのヒアリング、ワークショップ等を通じて、市の観光に対するスタンスや観光協会のあり方について検討 2. プロモーション効果測定事業 ・測定結果について検証を行う 3. 広域連携事業 ・根来街道グリーンツーリズム振興協議会 ・KIX泉州ツーリズムビューロー 4. SNS(Sennan Nature School)運営事業【再掲】 ※令和5年度実施「地域共生のまちづくり推進事業」統合 5. あらたな地域資源創造事業(シティブランド構築事業) ・KPIを設定し、事業効果を検証を踏まえたらうで、今後の方針について検討 6. せんなん銘品プロモーション支援事業 7. デジタルサイネージ保守管理委託料</p> | | <p>令和7年度</p> <p>1. 観光協会再生事業 ・専門人材を活用し、今後のあり方について具体的かつ実行可能な計画を策定。 2. 広域連携事業 ・根来街道グリーンツーリズム振興協議会 ・KIX泉州ツーリズムビューロー 3. SNS(Sennan Nature School)運営事業【再掲】 ※令和5年度実施「地域共生のまちづくり推進事業」統合 4. 新たな地域資源創造事業 ・チョコレートに関するプロモーションを実施する 5. せんなん銘品プロモーション支援事業 ・事業効果の検証を踏まえ2年目の補助金交付 6. デジタルサイネージ保守管理委託料 7. 秋季祭礼プロモーション事業 8. 市制55周年記念事業 ・ふし祭り25周年とタイアップした記念事業を実施</p> | | <p>令和8年度以降</p> <p>1. 観光協会再生事業 ・事業計画の実施 2. 広域連携事業 ・根来街道グリーンツーリズム振興協議会 ・KIX泉州ツーリズムビューロー 3. SNS(Sennan Nature School)運営事業【再掲】 ※令和5年度実施「地域共生のまちづくり推進事業」統合 4. せんなん銘品プロモーション支援事業 ・事業効果の検証を踏まえ3年目の補助金交付 5. 秋季祭礼プロモーション事業</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>事業の財源</p> <table border="1"> <tr> <td>決算額</td> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>府支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>8,949千円</td> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>484千円</td> </tr> <tr> <td>決算書ページ</td> <td>256ページ</td> <td>一般財源</td> <td>8,465千円</td> </tr> </table> | | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | | 府支出金 | 0千円 | 8,949千円 | 市債 | 0千円 | | その他 | 484千円 | 決算書ページ | 256ページ | 一般財源 | 8,465千円 | <table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>府支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>17,130千円</td> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>11,470千円</td> </tr> <tr> <td>予算書ページ</td> <td>281ページ</td> <td>一般財源</td> <td>5,660千円</td> </tr> </table> | | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | | 府支出金 | 0千円 | 17,130千円 | 市債 | 0千円 | | その他 | 11,470千円 | 予算書ページ | 281ページ | 一般財源 | 5,660千円 | <table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>府支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>25,882千円</td> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>23,510千円</td> </tr> <tr> <td>予算書ページ</td> <td>286ページ</td> <td>一般財源</td> <td>2,372千円</td> </tr> </table> | | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | | 府支出金 | 0千円 | 25,882千円 | 市債 | 0千円 | | その他 | 23,510千円 | 予算書ページ | 286ページ | 一般財源 | 2,372千円 |
| 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 府支出金 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8,949千円 | 市債 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | 484千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決算書ページ | 256ページ | 一般財源 | 8,465千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 府支出金 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17,130千円 | 市債 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | 11,470千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算書ページ | 281ページ | 一般財源 | 5,660千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 府支出金 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25,882千円 | 市債 | 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | 23,510千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算書ページ | 286ページ | 一般財源 | 2,372千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>職員数/人件費</p> <table border="1"> <tr> <td>正職員</td> <td>1.20人</td> <td>正職員以外の その他職員</td> <td>0.80人</td> <td>11,934千円</td> </tr> </table> | | 正職員 | 1.20人 | 正職員以外の その他職員 | 0.80人 | 11,934千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 正職員 | 1.20人 | 正職員以外の その他職員 | 0.80人 | 11,934千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|-------------------|--|------|---|-------------|--|------|--|------|--|---|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | | | | | | | | | | |
| <p>事務事業の改善内容</p> <p>＜成果・課題＞ 1. 令和5年度は従来通りの運営補助を行ったが、硬直化した運営を打開するため今後は協会の自主財源の獲得を目指し、稼げる仕組みを検討する必要がある。 2. これまで認証してきた「ええもんせんなんもん」の内、より戦略的なプロモーションに活用すべく6品をプレミアムとして認定することで、市内産業のPRが行いやすくなった。今後では認定した6品を中心にプロモーション強化に努める。 3. ①根来街道グリーンツーリズム振興協議会 たび帳をコンテンツとしたイベントを開催するなど、根来街道沿いの誘客、周遊を促進する機会を創出する必要がある。 ②KIX泉州ツーリズムビューロー 令和5年度は泉南市主体で実施したイベントはなく、今後は本ビューローのもつネットワークを活用したイベントやツアーの作成を検討していく。</p> <p>Check 3</p> | | <p>＜改善内容＞ 1. 観光協会補助事業 会員との継続的なヒアリングや協議等を通じて、市の観光に対するスタンスや観光協会のあり方について検討を行った。 2. プロモーション効果測定ツールを作成した。 3. 広域連携事業 根来街道周辺への周遊促進のため御朱印帳「たび帳」を作成した。KIX泉州TBの自主事業に積極的に協力した。 4. SNS(Sennan Nature School)運営事業【再掲】 今年度から公募による受託者選定を行いより柔軟な事業展開を行った。 5. あらたな地域資源創造事業(シティブランド構築事業) チョコレートプロモーションに厚みを持たせるため、イベントに加え、雑誌媒体での告知を行った。 6. せんなん銘品プロモーション支援事業 補助金要綱を制定し、事業者に対し申請に向けての支援を行った。</p> | | <p>事業の方向性</p> <p>1 現状維持</p> <p>2 見直して継続</p> <table border="1"> <tr> <td>重点化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段改善</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>効率化(コストダウン)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>規模縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td></td> </tr> </table> <p>3 休止・廃止</p> <p>4 完了</p> | 重点化 | | 手段改善 | ○ | 効率化(コストダウン) | | 規模縮小 | | 事業統合 | | <p>事業の方向性と取組の内容</p> <p>1. 令和6年度に見直した協会運営の在り方について、令和7年度は具体的な実現に向け実行していく。 2. 「ええもんせんなんもんプレミアム」認定品への補助については3年間を予定しているため、令和6~8年は補助事業を継続する。 3. ①令和6年に開発したコンテンツを活用した事業を実施する。 ②KIX泉州ツーリズムビューローのネットワークを活用した事業の創出する。</p> | | |
| 重点化 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手段改善 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 効率化(コストダウン) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 規模縮小 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業統合 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|----------------|---------------|---|---|-----|-----|-------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|----|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 9 観光 | | 新規 | | 担当課名 | プロモーション戦略課 | | | | | 指標名 日本遺産パンフレット配布数 | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 観光の振興 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | 目標 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | |
| 事務事業名 日本遺産活用推進事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 6 | 1 | 5 | 目標値 | 実績 | | | | | | | | | | 冊 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 09-日本遺産活用推進事業 | | | | | 達成率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| <事業概要> 日本遺産に認定された金熊寺及び信達神社にかかるプロモーションを実施し、認知度向上を図る | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--|--|---------------|--|--|--|-----------------------|--|--|--|-----------|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| 事業の財源 | | | | 決算額 | | | | 予算額 | | | | 予算額 | | | |
| | | | | 0千円 | | | | 0千円 | | | | 816千円 | | | |
| 職員数/人件費 | | | | 正職員 0.00人 | | | | 正職員以外の その他職員 0.00人 | | | | 国庫支出金 0千円 | | | |
| 評価 | | | | 方向性 | | | | 国庫支出金 0千円 | | | | 府支出金 0千円 | | | |
| | | | | | | | | 市債 0千円 | | | | 市債 0千円 | | | |
| | | | | | | | | その他 786千円 | | | | その他 786千円 | | | |
| | | | | | | | | 一般財源 30千円 | | | | 一般財源 30千円 | | | |

| | | | | | |
|------------------------|--|------------------------|--|---|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | |
| <成果・課題> Check 3 | | <改善内容> Action 4 | | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | |
| 備考 | | 備考 | | 備考 | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------------|---|----------------|--------------|--------------------|----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|--|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 9 観光 | | 新規 | | 担当課名 | プロモーション戦略課 | 指標名 海水浴場来場者数 | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 観光魅力のPR | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 タルイサザンビーチ活用促進事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 6 | 1 | 5 | 目標値 | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 03-タルイサザンビーチ活用促進事業 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> タルイサザンビーチを有効活用するため、夏の海水浴場開設に加え、ビーチスポーツのメッカとしてのブランディングを促進し、隣接する泉南ロングパークとの相乗効果を最大化する。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | | |
|  | | 海岸法・大阪府遊泳場条例 | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|------------------|---|-----|--|---|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | タルイサザンビーチにおいて、水上バイクの侵入を防ぐためオイルフェンス(水面上20cm 水面下30cm 長さ200m)を設置した。 | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| | 海水浴場については、ロングパークの開設後初の検討の機会となったが、開設者の選定及びその安全や集客を考慮した費用について実施困難との判断とし、開設を見送った。 | | 1. 海水浴場開設事業 ・関係するステークホルダーとの連携を前提に、海水浴場開設にあたってあらたな事業スキームを構築し、海水浴場を開設し、事業検証を踏まえ翌年度以降の自走化について検証する。 2. ビーチスポーツ・イベント開催支援 ・多様なビーチスポーツ大会を誘致し、サザンビーチ及びロングパークの活用促進、相乗効果の向上を図る。 | | | 1. 海水浴場開設事業 ・前年度の事業実績を踏まえ、実行委員会の収益確保が可能なスキームの実現に向けて取り組む。 2. ビーチスポーツ・イベント開催支援 ・多様なビーチスポーツ大会を誘致し、サザンビーチ及びロングパークの活用促進、相乗効果の向上を図る。 3. 施設更新委託料 ・オイルフェンス更新 4. ビーチエリア環境整備事業 ・大規模イベント等の開催に適した環境整備の実施 | | | 1. 海水浴場開設事業 ・前年度の事業実績を踏まえ、実行委員会の収益確保が可能なスキームの実現に向けて取り組む。 2. ビーチスポーツ・イベント開催支援 ・多様なビーチスポーツ大会を誘致し、サザンビーチ及びロングパークの活用促進、相乗効果の向上を図る。 3. 施設更新委託料 ・オイルフェンス更新 4. ビーチエリア環境整備事業 ・大規模イベント等の開催に適した環境整備の実施 | | |
| 事業の財源 | 決算額 1,210千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | 予算額 14,999千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 14,000千円 | 予算額 20,821千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 20,008千円 | 方向性 | | | | |
| | 決算書ページ 256ページ | 一般財源 1,210千円 | 予算書ページ 282ページ | 一般財源 999千円 | 予算書ページ 287ページ | 一般財源 813千円 | | | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 0.30人 | 正職員以外の その他職員 0.00人 | 2,333千円 | | | | | | | | |

評価

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--------------------------|--|---|--------------|-------------------|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> タルイサザンビーチ及び周辺エリアのブランディングのため、海水浴場の開設に向けて、関係者との協議を進める必要がある。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> タルイサザンビーチでの海水浴場開設に向け、関係者との協議を行う。また、多様なビーチスポーツ大会を誘致することで、タルイサザンビーチ及び泉南ロングパークの活用促進を図る。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| 1 現状維持 | | 令和6年度の海水浴客数等を検証し、単なる海水浴場開設だけではなく、相乗効果が見込める賑わいづくりについても検討する。多様なビーチスポーツ大会を誘致することで、海水浴場開設期間外の賑わいづくりを進める。 | | | |
| 2 見直して継続 | | 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 | | | |
| 3 休止・廃止 | | | | | |
| 4 完了 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|----------------|-------------------|--------------|--------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 9 観光 | | 新規 | | 担当課名 | プロモーション戦略課 | 指標名 | 泉南ロングパークでの民間等(市主催以外)のイベント実施団体数 | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 観光魅力のPR | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | 目標 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | |
| 事務事業名 誘客連携による地域活性化事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 6 1 5 | 実績 | 23 | 25 | 25 | 35 | 40 | 45 | 50 | 50 | 50 | 50 | 件 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 04-誘客連携による地域活性化事業 | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| <事業概要> 地方創生推進交付金を活用し、事業に参画する市町村と情報を共有することのできるプラットフォームを整備し、広域連携による市町村間相互の観光交流促進と観光消費拡大を図る。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------------------------|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | ■観光プロモーション 泉南ロングパークを核としたイベント:13件 その他市内開催イベント:4件 動画制作:1件 コンテンツ機能強化:1件 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | |
| | ■公民連携 泉南ロングパークを核としたイベント:3件 その他市内開催イベント:1件 実証実験:1件 アンバサダー関係:1件 国際交流:1件 動画作成:1件 | | | | 恋人の聖地や泉南ロングパークをはじめ、本市の魅力あるコンテンツを題材として、様々なイベントを実施する。また、将来的な自走化を視野に入れ積極的なシティプロモーションを展開する。 ・明確なKPIを設定し、事業毎の達成状況を明らかにする。 ・特定の事業に関して、プロモーション効果測定事業による市内経済効果の測定を行い、今後の方向性を検討する。 | | | | 泉南ロングパークをはじめ、本市の魅力あるコンテンツを題材として、様々なイベントを実施する。あらゆる角度から積極的なプロモーションを展開すると同時に、将来的な自走化を視野に、収益性の高い企画内容について実証実験の機会とする。 ・明確なKPIを設定し、事業毎の達成状況を明らかにする。 ・特定の事業に関して、令和6年度プロモーション効果測定事業によって作成した経済効果測定ツールを用いて市内経済効果の測定を行い、今後の方向性を検討する。 | | | | 泉南ロングパークをはじめ、本市の魅力あるコンテンツを題材として、様々なイベントを実施する。あらゆる角度から積極的なプロモーションを展開すると同時に、将来的な自走化を視野に、収益性の高い企画内容について実証実験の機会とする。 ・経済効果測定ツールによる市内経済効果やKPIの検証結果を踏まえ、令和9年以降の事業展開について検討する。 | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 102,019千円 | | 国庫支出金 50,990千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 51,028千円 | | 予算額 99,726千円 | | 国庫支出金 49,863千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 49,863千円 | | 予算額 112,161千円 | | 国庫支出金 56,080千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 56,081千円 | | 予算書ページ 256ページ 一般財源 0千円 | | 予算書ページ 282ページ 一般財源 0千円 | | 予算書ページ 287ページ 一般財源 0千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 3.20人 正職員以外の その他職員 0.20人 25,537千円 | | 職員数/人件費 | | 正職員 3.20人 正職員以外の その他職員 0.20人 25,537千円 | | 職員数/人件費 | | 正職員 3.20人 正職員以外の その他職員 0.20人 25,537千円 | | 職員数/人件費 | | 正職員 3.20人 正職員以外の その他職員 0.20人 25,537千円 | | 職員数/人件費 | | 正職員 3.20人 正職員以外の その他職員 0.20人 25,537千円 | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--------------------------|---|--|----------|---|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 各事業においてその効果や実績を検証する必要があるため、KPIを設定し、達成度を明確にする。 ・公民連携 オンライン国際交流により、姉妹都市間の子どものための国際交流を促進した。また、スマートシティの観点から「ドライブレコーダーとAI画像解析技術を活用した道路維持管理に関する実証実験」及び「オンデマンドバス運行に関する実証実験」を実施し、民間サービスを活用しながらデータ収集・分析等を行った。今後、事業の実装を見据えた関係各課との調整、庁内外における公民連携に対する知識・機運の醸成が求められる。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 観光振興事業にて「プロモーション効果測定事業」を実施し、イベントにおける効果測定を行い、課題の洗い出しと今後の改善策を検討する。 ・公民連携 令和6年度以降は新規事務事業として公民連携推進事業を新設し、当該事業において令和5年度事業の実装に向けた関係各課との調整や、庁内や民間団体等における公民連携への機運醸成を図る。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | | 令和6年度に測定した各イベントの実績を基に令和7年度以降のイベント開催を検討する。 | |
| 1 現状維持 | | | | | |
| 2 見直して継続 | | | | | |
| 重点化 | | | | | |
| 手段改善 | ○ | | | | |
| 効率化(コストダウン) | | | | | |
| 規模縮小 | | | | | |
| 事業統合 | | | | | |
| 3 休止・廃止 | | | | | |
| 4 完了 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------------|-------------|--------|--------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------------|------------------------|--|
| 分野別政策 | 2 | 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①雇用・就業支援の推進 ◇農漁業、商工業、観光振興に関する施策や企業誘致を推進することで、多様な雇用機会、働く場所を創出します。 ◇就労相談による支援や関係機関との連携により、就業支援を行います。 ◇商工会と連携し、雇用の受け皿となる事業者への家賃補助や、空き店舗と新規事業者のマッチング等ソフト支援策を充実します。 ②労働環境の充実 ◇労働相談、法律相談を通じ、専門的な見地からの助言を行い、相談者の問題解決や雇用・労働環境の改善を図ります。 ◇商工会や企業が実施する福利厚生事業を支援し、労働者の福利厚生の向上を図ります。 ◇働きやすい環境整備や労働条件の向上等、労働者が安心して就業できる環境づくりのため、企業への啓発を推進します。 |
| 施策 | 10 | 雇用 | | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 新たな雇用の創出による就業機会の拡充と雇用環境の改善により、地元で安心して働くことができるまち 農業・漁業、商工業、観光等、それぞれの産業の振興により、多様な雇用の場を確保・充実することで、希望する人が市内で働くことができるまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値 (R3) | | | | 目標値 (R14) | | | | 備考 | | |
| | 従業者数 | | 23,862人 | | | | 24,000人 | | | | 経済センサスの統計を引用 | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| | 目標 | 23,875 | 23,888 | 23,902 | 23,916 | 23,930 | 23,944 | 23,958 | 23,972 | 23,986 | 24,000 | 経済センサスの集計の更新が令和6年10月以降 | |
| | 実績 | — | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | — | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | — | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 2-10-① 総合相談事業【市民生活環境部】 2-10-② 共済掛金補助事業【市民生活環境部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|------|--|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 再掲 | | 事業区分 | | 事務事業コード | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 10 雇用 | | | | 新規 | | 担当課名 | | 産業振興課 | | 指標名 就労相談・支援等による年間就職者数の割合 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 雇用・就業支援の推進 | | | | 継続 | | ○ | | 一般会計 | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 総合相談事業 | | 事業に関連するSDGs | | ソフト | | ○ | | 2 1 12 | | 目標値 実績 0.41 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 働く意欲を持ちながらもさまざまな問題や事情を抱えているため、雇用就労が実現しない方に対し、専門の相談員が就労支援相談を実施することで、雇用・就業支援を推進する。 | |  | | ハード | | | | 09-総合相談事業 | | 達成率 102.5% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 市単独 | | | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成度 A | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| 1. 就労支援相談員による就労支援相談を実施 64人 2. 相談内容に応じて関係機関へ誘導 16人(うち就労者7人) 3. 技能取得講座や就労支援セミナーを開催 (2回 1月26日、2月5日) | | | | 1. 就労支援相談員による就労支援相談を実施 2. 相談内容に応じて関係機関へ誘導 3. 技能取得講座や就労支援セミナーを開催 | | | | 1. 就労支援相談員による就労支援相談を実施 2. 相談内容に応じて関係機関へ誘導 3. 技能取得講座や就労支援セミナーを開催 | | | | 1. 就労支援相談員による就労支援相談を実施 2. 相談内容に応じて関係機関へ誘導 3. 技能取得講座や就労支援セミナーを開催 | | | |
| 事業の財源 決算額 10,230千円 国庫支出金 0千円 府支出金 6,600千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 174ページ 一般財源 3,630千円 | | | | 予算額 10,230千円 国庫支出金 0千円 府支出金 6,600千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 163ページ 一般財源 3,630千円 | | | | 予算額 11,388千円 国庫支出金 0千円 府支出金 7,475千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 162ページ 一般財源 3,913千円 | | | | | | | |
| 職員数/人件費 正職員 0.20人 会計年度職員 0.00人 任期付職員 0.00人 1,555千円 | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|------------------------------------|--|--|-------------------|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | | <成果・課題> 就職に役立つ無料セミナーを2週間連続で実施したが、参加人数を増やすことができなかった。 今後、リモートワークに対するセミナーなど、女性や介護者などが働きやすい環境で就労できるような取組を検討していく。 | | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> ポスティング・SNSによる市民への広報活動を強化する。近況の状況把握に努め、来館の促進を図る。アンケート等を実施し、ニーズの高い講座の開催を検討する。 | | | Action 4 | | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | 備考 |
| | | | | | | 1 現状維持 ○ | | | 引き続き、広報活動を行い、就労支援相談等により、雇用につなげていく。 | | | | | | |
| | | | | | | 2 見直して継続 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 4 完了 | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|----------------|-------------|--------------|------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------------|--------|------|----|
| ○ 分野別政策 2 『しごと』を生み出す・にぎわいを創出する | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 10 雇用 | | 新規 | | 担当課名 | 産業振興課 | 指標名 | 従業者数 | | | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 労働環境の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 経済センサスの集計の更新がR7.4以降 | | | |
| 事務事業名 共済掛金補助事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 6 | 1 | 4 | 目標 | 23,875 | 23,888 | 23,902 | 23,916 | 23,930 | 23,944 | 23,958 | 23,972 | 23,986 | | 24,000 | 人 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 01-共済掛金補助事業 | | | 実績 | - | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 中小企業退職金共済掛金の一部を補助することで、事業主の負担を軽減するとともに、福利厚生の上を促進する。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成率 | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | |
| | | | | | | | | 達成度 | - | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|----------------------------------|-------|---|-------|---|-----|---|-----|----|-----|------|-------|-----|-------|-------|-----|------|-----|----|-----|----|-----|------|-------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 補助金交付事務処理件数 中小企業退職金共済掛金補助 12件 | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 泉南市内に事業所を有し、自らの負担において中小企業退職金共済契約を行なっている中小企業者に対し、掛金の一部を補助することにより、福利厚生の上、事業の持続化に寄与する。 | | 泉南市内に事業所を有し、自らの負担において中小企業退職金共済契約を行なっている中小企業者に対し、掛金の一部を補助することにより、福利厚生の上、事業の持続化に寄与する。 | | 泉南市内に事業所を有し、自らの負担において中小企業退職金共済契約を行なっている中小企業者に対し、掛金の一部を補助することにより、福利厚生の上、事業の持続化に寄与する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 524千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 其他 | 0千円 | 一般財源 | 524千円 | 予算額 | 830千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 其他 | 0千円 | 一般財源 | 830千円 |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.30人 | 会計年度職員 任期付職員 | 0.00人 | 2,333千円 | 評価 | 方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|-------------|--|--------------|-----------------------------------|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> 市内中小企業就労者の退職金に対する支援を実施することができた。 また泉南市内は中小企業が事業所数の大多数を占めることから、退職者の生活保障に資する中小企業退職金共済制度および本補助制度の周知が必要である。 | | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 |
| Check 3 | | 補助事業のさらなる周知を図る。 | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| | | | | | 1 現状維持 | | ○ | 市内の中小企業者において、雇用の安定を図り、福利厚生を向上させる。 | | | | |
| | | | | | 2 見直して継続 | | | | | | | |
| | | | | | 重点化 | | | | | | | |
| | | | | | 手段改善 | | | | | | | |
| | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | |
| | | | | | 規模縮小 | | | | | | | |
| | | | | | 事業統合 | | | | | | | |
| | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | |
| | | | | | 4 完了 | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------------|---|------|------|------|----------|------|------|------|-----------|--|
| 分野別政策 | 3 | 『くらし』を守る・快適にする | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | |
| 施策 | 11 | 防災 |  | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 災害による被害を地域の支え合いや民間企業等との連携で最小化し、誰もが安全・安心に暮らし続けられるまち | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | | | 備考 | |
| | 自主防災組織の組織率 | | 62% | | | | 80% | | | | 組織地区の世帯按分 | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | |
| | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| 目標 | 65 | 65 | 68 | 68 | 71 | 71 | 74 | 74 | 77 | 80 | | |
| 実績 | 63.3 | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 97.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | |
| <p>3-11-① 防災備蓄事業【行政経営部】</p> <p>3-11-①、② 防災情報伝達推進事業【行政経営部】</p> <p>3-11-② 自主防災組織強化事業【行政経営部】</p> <p>3-11-② 安全・安心住まいづくり支援事業【都市整備部】</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>①防災体制の充実</p> <p>◇大災害発生時に迅速な地域復興につなげることができるよう、事前の計画づくりや庁内連携体制を構築します。</p> <p>◇避難所・備蓄拠点等の整備、庁内緊急出動体制の強化を図り、災害に備えます。</p> <p>◇府内外の市町村や企業、関係団体等との防災協定の締結を促進します。</p> <p>◇SNSの活用等、市民に対する防災情報の伝達手段の拡充を行います。</p> <p>②災害に強い地域づくり</p> <p>◇市民の防災意識を高めるため、各種講座や広報等による啓発、市民と行政との協働による防災訓練等の充実を図ります。</p> <p>◇自主防災組織のさらなる設立支援や、その活動を支援するとともに、地域における避難行動要支援者の個別避難計画作成を促進します。</p> <p>◇民間住宅の耐震化を促進するため、市民の周知啓発を図ります。</p> | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|-----------------|-----------|-----|--|------|-------|--------|------|--|------|------|------|------|---------|--|------|------|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 11 防災 | | 新規 | | 担当課名 | 危機管理課 | | 指標名 備蓄品目数 | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 防災体制の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | |
| 事務事業名 防災備蓄事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 9 | 目標 | 22 | 22 | 23 | 23 | 24 | 24 | 25 | 25 | 26 | | 27 | 品目 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 12-防災備蓄事業 | | 実績 | 21 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 大規模災害発生時に被災した市民の避難所生活をサポートするために必要となる食糧等について、大阪府地震被害想定に基づく備蓄を行う。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 95.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | 0.0% |
| | | | | 災害対策基本法、泉南市防災計画 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | |
| ・備蓄食糧の更新を行った。(4,200食分) ・備蓄高齢者食の更新を行った。(1,500食) ・備蓄飲料水数の更新を行った。(500mlペットボトル、1,512本) ・備蓄用粉ミルク、液体ミルクの更新を行った。 ・各種イベントにて、有効活用として、備蓄品の配布を行い啓発活動を行った。(4,200食分) ・伝市メール講座にて、家庭内での備蓄についての啓発活動を行った。(5回) | | 非常食や毛布等の重要11品目の備蓄及びその更新、管理、その他避難所生活の環境改善に資する物資の備蓄及びその更新管理を行う。 備蓄拠点の見直しを行う。 | | | | | 非常食や毛布等の重要11品目の備蓄及びその更新管理、その他避難所生活の環境改善に資する物資の備蓄及びその更新管理を行う。 | | | | | 非常食や毛布等の重要11品目の備蓄及びその更新管理、その他避難所生活の環境改善に資する物資の備蓄及びその更新管理を行う。 | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 予算額 | | | | | 予算額 | | | | | 予算額 | | | | | | | | |
| | | 国庫支出金 | | 0千円 | | | 国庫支出金 | | 0千円 | | | 国庫支出金 | | 0千円 | | | | | | |
| | | 府支出金 | | 0千円 | | | 府支出金 | | 0千円 | | | 府支出金 | | 0千円 | | | | | | |
| | | 市債 | | 0千円 | | | 市債 | | 0千円 | | | 市債 | | 0千円 | | | | | | |
| | | その他 | | 0千円 | | | その他 | | 0千円 | | | その他 | | 0千円 | | | | | | |
| 決算書ページ | | 165ページ | | 一般財源 | | | 1,572千円 | | | 決算書ページ | | 151ページ | | 一般財源 | | | 1,792千円 | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | | 0.13人 | | | 正職員以外の その他職員 | | 0.00人 | | | 1,011千円 | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|-------------|--|----------|-------------------|--|--|--|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> 備蓄数の目標数量を維持するために更新期限を迎える備蓄品を購入した。令和6年能登半島地震を踏まえた、防災備蓄品目の見直しを行う必要がある。 災害時の孤立等を想定した、備蓄拠点の配置と備蓄品の分散について検討する必要がある。 大阪府により令和5年度実施された府民の防災意識に関するアンケート調査では、備蓄を行っている家庭の割合が4割程度であった。そのため、本市においても家庭内での備蓄を推進していく必要がある。 | | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | | | | 備考 | |
| Check 3 | | <改善内容> 令和6年度に改定される令和6年能登半島地震を踏まえた大阪府の備蓄計画をもとに、備蓄品の見直しを行う。 分散備蓄を行うために、備蓄拠点、避難所ごとに備蓄品を配備することを検討する。 家庭内での備蓄を推進するため、啓発講座を実施し、さらなる周知を行う。 | | | | | | 事業の方向性 | | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| | | | | | | | | 1 現状維持 | | | 見直した備蓄計画のもとに備蓄を行い、人口や地形的特性を配慮した備蓄場所の選定を行うことで、食糧等を遅滞なく被災した市民に届け、避難所生活をサポートする。 また、家庭内での備蓄についての啓発を継続していくことで、大規模災害発生時にサポートが必要になる市民を少なくする。 | | | | | |
| | | | | | | | | 2 見直して継続 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 重点化 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 手段改善 | | | ○ | | | | | |
| | | | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 規模縮小 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 事業統合 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 4 完了 | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------|---|----------------|---------------|--------------|-----------------|--------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------------------------|--------|------|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 11 防災 | | 新規 | | 担当課名 | 危機管理課 | 指標名 | 防災アプリのダウンロード累計数 | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
| ○ 主な取組 ① 防災体制の充実 ② 災害に強い地域づくり | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 令和6年4月本格運用開始 令和5年区長等のダウンロード実績 | | | |
| 事務事業名 防災情報伝達推進事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 9 | 目標 | 100 | 5,000 | 10,000 | 18,000 | 18,800 | 19,600 | 20,400 | 21,200 | 22,000 | | 23,000 | 件 | |
| <事業概要> インターネット上のポータルサイト「おおさか防災ネット」で府民に対し防災に関する様々な情報を提供している。また、防災気象情報や避難所の開設・閉鎖の情報をリアルタイムで知ることができるメールを配信している。防災用広報システム、防災アプリを活用し、災害時の情報伝達を行う。 | | ハード | | 細目 | 13-防災情報伝達推進事業 | | | 実績 | 427 | | | | | | | | | | | | |
| | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 427.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | |
| | | 災害対策基本法、泉南市防災計画 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|---|---|--|---------|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 防災情報伝達推進事業 ・防災用広報システムの補助的手段として防災アプリを導入した。 ・防災用広報システムを用いて、Jアラートの訓練放送(4回)、避難指示や特殊詐欺注意等の臨時放送(6回)を実施した。 ・上記、避難指示や特殊詐欺注意喚起等の防災用広報システムの放送を電話案内サービスにより配信した。(年間利用者数118人) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・防災用広報システム更新に向けた基本計画・実施設計の実施する。 ・防災用広報システムを活用し、災害時の情報伝達を行う。 ・防災アプリ、電話案内サービスを用いて、防災用広報システムでの防災用広報システムの放送内容を確認できるようにし、情報伝達の多重化する。 ・防災アプリの写真投稿により、危険箇所への対応を行う。 ・防災ポータルサイトで府民に防災情報の提供する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・防災用広報システムを更新する。 ・防災用広報システムを活用し、災害時の情報伝達を行う。 ・防災アプリ、電話案内サービスを用いて、防災用広報システムでの防災用広報システムの放送内容を確認できるようにし、情報伝達の多重化する。 ・防災アプリの写真投稿により、危険箇所への対応を行う。 ・防災ポータルサイトで府民に防災情報の提供する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・防災用広報システムを活用し、災害時の情報伝達を行う。 ・防災アプリ、電話案内サービスを用いて、防災用広報システムでの防災用広報システムの放送内容を確認できるようにし、情報伝達の多重化する。 ・防災アプリの写真投稿により、危険箇所への対応を行う。 ・防災ポータルサイトで府民に防災情報の提供する。 | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 国庫支出金 11,715千円 府支出金 0千円 市債 14,630千円 その他 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 13,600千円 その他 825千円 | 予算額 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 419,600千円 その他 0千円 | | |
| | | 決算書ページ | 165ページ 一般財源 22,750千円 | 予算書ページ | 152ページ 一般財源 16,327千円 | 予算書ページ | 151ページ 一般財源 6,966千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.80人 | 正職員以外の その他職員 0.00人 | 6,222千円 | | | | | |

評価

方向性

| | | | |
|--------------------------|--|--|-------------------------------|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 防災用広報システムの補助的手段として導入していた電話案内サービスは同時に接続できなかったのが3回線までで、災害時の情報伝達に課題があった。補助的手段を拡充するため、防災アプリを導入した。防災用広報システムによる放送だけでなく、電話案内サービス、防災アプリでも防災情報を入手できることを周知する必要がある。 また、防災用広報システムについては気候などの外的要因により、放送内容の音達範囲に影響が現れる。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 市内のイベントで周知活動を行うほか、市の情報配信のプラットフォームとなっているホームページと防災アプリを連携し、利便性を向上させることで利用者の増加につなげる。 防災用広報システムの更新に係る基本・実施設計を行い音達範囲の適正化を図る。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 |
| | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | |
| 1 現状維持 | 基本・実施設計に基づき、防災広報システムの子局の適正配置を行い、防災用広報システムでの防災情報伝達を強化する。また、防災用広報システムの補助的手段である防災アプリ、電話案内サービスの周知活動を実施することで、市民の防災情報入手手段の多様化を図る。 | | |
| 2 見直して継続 | 重点化 ○ | | |
| | 手段改善 | | |
| | 効率化(コストダウン) | | |
| | 規模縮小 | | |
| | 事業統合 | | |
| 3 休止・廃止 | | | |
| 4 完了 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|-----------------|---------------|-----|----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|------|------|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 11 防災 | | 新規 | | 担当課名 | 危機管理課 | | 指標名 自主防災組織の組織率 | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ② 災害に強い地域づくり | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 組織地区の世帯按分 | | |
| 事務事業名 自主防災組織強化事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 9 | 目標 | 65 | 65 | 68 | 68 | 71 | 71 | 74 | 74 | 77 | | 80 | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 15-自主防災組織強化事業 | | 実績 | 63.3 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 大規模災害が発生した場合、行政の能力には限界があるため、自主防災組織の活動は必要不可欠である。自分たちの地域は自分達で守ろう「自助」「共助」の推進を図るため、新たな自主防災組織の結成及び既存組織の充実を図る。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 97.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | 0.0% |
| | | | | 災害対策基本法、泉南市防災計画 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---------|-----------------|---------|---|---------|--|---------|--|---------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2 | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | | | |
| | | 榊井防災コミュニティセンターの防災目的の利用回数(30回) ・自主防災組織連絡協議会の開催(4回) ・リーダー育成研修(1回) ・自主防災組織における防災訓練実施回数(10回) ・避難行動要支援者名簿提供団体数(12団体) ・自主防災組織の新規結成数(1団体) ・泉南市コミュニティ補助金の交付(1団体) | | | | 榊井防災コミュニティセンターの運営 自主防災組織連絡協議会の開催 リーダー育成研修への参加 防災訓練の実施 避難行動要支援者の支援体制の整備 自主防災組織の新規設立 | | 榊井防災コミュニティセンターの運営 自主防災組織連絡協議会の開催 リーダー育成研修への参加 防災訓練の実施 避難行動要支援者の支援体制の整備 | | 榊井防災コミュニティセンターの運営 自主防災組織連絡協議会の開催 リーダー育成研修への参加 防災訓練の実施 避難行動要支援者の支援体制の整備 | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 7,310千円 | | 予算額 | | 7,921千円 | | 7,721千円 | |
| | | 国庫支出金 | 0千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 |
| | | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 7,010千円 | その他 | 7,721千円 |
| | | その他 | 7,010千円 | その他 | 6,133千円 | その他 | 6,133千円 | 一般財源 | 300千円 | 一般財源 | 200千円 |
| | | 決算書ページ | 165ページ | 予算書ページ | 153ページ | 予算書ページ | 151ページ | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.70人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 正職員 | 0.70人 | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---|--|---|--|---|--|---|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 榊井防災コミュニティセンターの防災目的の利用回数を増加させるため、市主催の防災会議等を同施設で開催し、防災目的の利用の周知を行った。防災目的の利用が全体の利用の10%程度となっている。 自主防災組織での訓練を促進するために、訓練に伴う事故に対する保険対象とした。訓練実施団体の固定化が進んでおり、促進方法の見直しを含めた検討が必要である。 新規設立の自主防災組織に対して、資機材購入の補助を行った。また、既存の自主防災組織にコミュニティ助成事業助成金を活用し、資機材の購入補助を行った。自主防災組織が未結成の地域に対して、設立支援を行う必要がある。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 各自主防災組織での会議でも榊井防災コミュニティセンターの利用を促し、防災目的の利用回数の増加につなげる。 伝メール講座実施に合わせて、防災訓練の実施を提案するなどして、新たな団体での訓練実施につなげる。 自主防災組織未結成地区に対して、組織体制の構築案や規約案の説明を行うことで、設立支援を行う。 | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 継続して、榊井防災コミュニティセンターの適切な運営、自主防災組織活動の活性化支援に努め、自分たちの地域は自分達で守ろうという「自助」「共助」の推進を図る。 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------|------|----------------|--------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|----|--|--|--|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 11 防災 | | 新規 | | 担当課名 | 都市政策課 | | | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
| ○ 主な取組 ② 災害に強い地域づくり | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 安全・安心住まいづくり支援事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 7 | 4 | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 03-安全・安心住まいづくり支援事業 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)で建築された住宅の所有者が既存民間耐震診断、耐震改修補助金交付要綱に基づいて行った耐震診断や改修(設計)に対して補助金を交付する。住宅耐震化の重要性を周知するためフォーラム等の講演会、防災に関するイベント等により普及啓発活動を行う。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 泉南市住宅、建築物耐震改修促進計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | | 実績 | 172 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | | 98.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | | |
| 達成度 | | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|-------|--|-------|-------|---------|--|---------|--|---------|-------------------------------------|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1 補助金交付事業 耐震診断補助の実施(予算10件、実施9件) 耐震改修補助の実施(予算2件、実施1件) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | |
| | | 2 フォーラム等による普及啓発事業 個別相談会・展示会の開催 (5月に開催、21組31名参加) | | 1 補助金交付事業 耐震診断補助の実施 耐震改修補助の実施 | | | | 1 耐震改修促進計画の改定 | | | | 1 補助金交付事業 耐震診断補助の実施 耐震改修補助の実施 | | | | |
| 事業の財源 | | 2 フォーラム等による普及啓発事業 個別相談会・展示会の開催 (5月に開催、21組31名参加) | | 2 フォーラム等による普及啓発事業 個別相談会・展示会の開催 | | | | 2 補助金交付事業 耐震診断補助の実施 耐震改修補助の実施 | | | | 2 フォーラム等による普及啓発事業 個別相談会・展示会の開催 | | | | |
| | | 国庫支出金 675千円 府支出金 262千円 市債 0千円 その他 0千円 | | 国庫支出金 1,500千円 府支出金 475千円 市債 0千円 その他 0千円 | | | | 国庫支出金 4,524千円 府支出金 650千円 市債 0千円 その他 0千円 | | | | | | | | |
| 決算書ページ | | 266ページ | 一般財源 | 483千円 | 予算額 | | 2,847千円 | | 8,889千円 | | 3,715千円 | | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.09人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 700千円 | 297ページ | | 303ページ | | 一般財源 | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|--|---|--|---|--|---|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 |
| | | 市民フォーラムの参加者数及び耐震化の補助申請数については前年度とほぼ同じであることから、新たな普及啓発の機会をつくり、耐震化の重要性の周知啓発をより一層推進していく必要がある。 また、改修補助申請の受付開始時期を5月としたため、先に枠内の件数以上の申請があった場合、市民フォーラムの参加者が期間中に申請できないため、受付開始時期の見直しが必要である。 | | <改善内容> 改修補助申請受付開始時期を7月からとし、フォーラム参加者の申請が可能となるようにする。 | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 耐震改修促進計画について、国の方針及び大阪府の計画の改正等を踏まえ、計画内容及び進捗状況等を検証した上で、耐震化率の目標や普及啓発方法等について見直しを行い、一層の住宅耐震化を促進していく。 | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------|--|------|-----------|------|---------|------|------|------|------|---|--|---|-----|----|
| 分野別政策 | 3 | 『くらし』を守る・快適にする | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①防犯対策の充実 ◇地域の関係団体等との連携による子どもの見守り活動等のさらなる支援を行うとともに、防犯カメラ及び防犯灯の設置、適切な維持管理を行うための仕組みづくりに取り組みます。 ◇市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、地域の自主防犯活動を支援します。 | | | |
| 施策 | 12 | 防犯・交通安全・消費者トラブル対策 |  | | | | | | | | | | | ②交通安全対策の推進 ◇地域の関係団体等との連携により、危険箇所の点検等、通学路の安全対策の強化を図ります。 ◇歩行者優先社会づくりに向けた啓発や、交通安全施設の整備等、歩行者の安全確保を図ります。 | | |
| 目指すまちの姿 | 犯罪と交通事故が少なく、子どもから高齢者まで安心して生活を送れるまち 全国的に多様化・凶悪化する犯罪や消費者問題、交通事故等から、子どもから高齢者まで、一人ひとりの生命と暮らしを守り、被害に遭う人を最小限におさえることができる、市民、地域、行政の連携による安全・安心なまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | ③消費者トラブル対策の推進 ◇市民一人ひとりの消費者トラブルの意識の向上を図るとともに、関係機関との連携により、見守りネットワークの構築に向けて取り組みます。 ◇消費生活相談員や弁護士、行政書士等の専門家による相談体制の充実を図るとともに、消費生活に関する講座及び情報発信、啓発を行います。 | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値 (R3) | | 目標値 (R14) | | 備考 | | | | 主な取組 | | | | | |
| | 刑法犯罪種及び手口別発生市区町村別認知件数 | | 314件 | | 250件 | | 大阪府犯罪統計 | | | | | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | | | | | R14 | 備考 |
| | 目標 | 314 | 307 | 300 | 293 | 286 | 279 | 272 | 265 | 258 | | | | | 250 | |
| 実績 | 344 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 91.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3-12-① 交通安全事業【市民環境生活部】 3-12-① 防犯事業【福祉保険部】 3-12-② 交通安全施設等整備事業【都市整備部】 3-12-③ 消費生活センター運営事業【市民生活環境部】 | | | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|----------------|--------------|-----|---------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|---|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策 | | 新規 | | 担当課名 | 生活福祉課 | | 指標名 刑法犯罪種及び手口別発生市区町村別認知件数 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ① 防犯対策の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 大阪府犯罪統計 | | |
| 事務事業名 防犯事業 | | ソフト | | 款項目 | 3 | 1 | 4 | 目標 | 314 | 307 | 300 | 293 | 286 | 279 | 272 | 265 | 258 | | 250 | 件 |
| <事業概要> 防犯委員事務局運営等防犯に関する事務及び防犯カメラの設置管理を行う。 | | ハード | ○ | 細目 | 01-防犯事業 | | 実績 | 344 | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 91.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | |
| | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|--|--|---------------------|---|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | <ul style="list-style-type: none"> 防犯委員事務局運営 月1回定例会開催、必要費用等会計処理、行事等予定調整 歳末夜警市長及び防犯委員長同伴 安全なまちづくり推進委員会事務局運営 総会開催、安全大会実施、会計処理 防犯カメラを20台設置 設置委員会の開催、設置場所確認、NTT、開電等電柱所有者調査、設置可否判定調査、設置各地区区長説明、防犯カメラ映り込み同意依頼、設置電柱地地所有者同意依頼、カメラ購入入札、業者調整、業者を通じて工事許可、道路占用許可等申請、電柱共架契約、電気契約、角角等警察同行の上調整、電柱及び電気使用料支払い | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 防犯委員事務局運営 負担金支払い 安全なまちづくり推進委員会事務局運営 防犯カメラを20台設置 | | <ul style="list-style-type: none"> 防犯委員事務局運営 負担金支払い 安全なまちづくり推進委員会事務局運営 防犯カメラを20台設置 | | <ul style="list-style-type: none"> 防犯委員事務局運営 負担金支払い 安全なまちづくり推進委員会事務局運営 防犯カメラを20台設置 | | <ul style="list-style-type: none"> 防犯委員事務局運営 負担金支払い 安全なまちづくり推進委員会事務局運営 防犯カメラを8台設置 | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 7,480千円 | 予算額 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 8,916千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 8,800千円 | | | |
| | | 決算書ページ | 195ページ 一般財源 2,285千円 | 予算書ページ | 190ページ 一般財源 2,576千円 | 11,627千円 市債 0千円 その他 8,800千円 | 191ページ 一般財源 2,827千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.30人 | 正職員以外の その他職員 0.00人 | 2,333千円 | | 方向性 | | | |

評価

方向性

| | | | |
|--------------------------|--|---|-------------------------------|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 防犯カメラ20台を設置した。防犯カメラを設置することで、犯人の検挙等防犯につながっているが、一方で、電気代、電柱使用料等費用は増加することになる。市の防犯施策において目標台数を150台として、市としての設置計画を策定し、設置委員会での決定を経て進めていくこととした。 また、設置済みの防犯カメラの修繕等費用がかさんでいくことが懸念されている。150台の故障等把握も困難であり、今後は防犯カメラの更新も考えなければならず、管理に関する課題がある。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 防犯カメラの管理について、今後の方針を検討する必要がある。 修繕台数の推移や警察署からの映像提供依頼件数等について、ここ数年の実績把握に努める。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 |
| | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 引き続き防犯カメラを増設し、目標台数の150台設置に向け、取り組む。 事業の初期に設置した防犯カメラについては、耐用年数を経過していることから、老朽化対策として、適切な修繕を行うこととあわせ、更新に係る計画・方針を策定する。 | 備考 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|---------------------|----------------|-----|-----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|----|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策 | | 新規 | | 担当課名 | 道路課 | | 指標名 交通安全施設設置箇所数 | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 交通安全対策の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 交通安全施設等整備事業 | | ソフト | | 款項目 | 7 | 2 | 2 | 目標 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | | 箇所 |
| <事業概要> カーブミラー等交通安全施設の整備を推進し、交通安全対策に寄与する。 | | ハード | ○ | 細目 | 04-交通安全施設等整備事業 | | 実績 | 24 | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 96.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | 道路法、泉南市通学路交通安全プログラム | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|-----------------------|------------------------------|---------|------------------------------|----------|------------------------------|-------------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1 交通安全施設等整備工事 2件実施 ・カーブミラー設置 ・グリーンベルト設置 ・路面表示(新設・塗り直し) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 2 交通安全施設等修繕 ・カーブミラー修繕(ミラー交換等) ・防護柵修繕 | | 1 交通安全施設等整備工事 2 交通安全施設等修繕 | | 1 交通安全施設等整備工事 2 交通安全施設等修繕 | | 1 交通安全施設等整備工事 2 交通安全施設等修繕 | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 予算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| | | 国庫支出金 0千円 | 府支出金 0千円 | 市債 0千円 | その他 0千円 | 国庫支出金 0千円 | 府支出金 0千円 | 市債 0千円 | その他 3,000千円 |
| | | 9,105千円 | | 8,110千円 | | 11,110千円 | | | |
| | | 決算書ページ 260ページ 一般財源 9,105千円 | | 予算書ページ 289ページ 一般財源 8,110千円 | | 予算書ページ 294ページ 一般財源 8,110千円 | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 1.03人 | 正職員以外の その他職員 0.00人 | 8,010千円 | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | |
|---------------------------------|--|-------------|---|--|-------------------|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 例年において交通安全施設等整備工事を実施しているが、路面標示等の経年劣化が進んでおり、安全性に課題を有している状況にあるため、早急に施設を更新し、交通安全対策の促進を図る必要がある。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> ・通学路の安全性を確保するため、泉南市通学路交通安全プログラムを開催し、教育部局と連携しながら優先順位を整理し、グリーンベルトの更新や新たな交通安全施設の設置など、交通安全対策を講じる。 ・点検により特に劣化が進んでいる施設の更新を図る。 | | 備考 |
| | | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 |
| | | | 事業の方向性 | | |
| | | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| | | 1 現状維持 ○ | | 路面標示等の施設の劣化が進んでおり、インフラを利用する市民の安全・安心を確保するため、さらなる整備コストの増加が見込まれる。 | |
| | | 2 見直して継続 | | | |
| | | 重点化 | | | |
| | | 手段改善 | | | |
| | | 効率化(コストダウン) | | | |
| | | 規模縮小 | | | |
| | | 事業統合 | | | |
| | | 3 休止・廃止 | | | |
| | | 4 完了 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|----------------|-----------------|---|-----|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|----|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策 | | 新規 | | 担当課名 | 産業振興課 | | | 消費生活相談の解決率(助言、情報提供、紹介及び斡旋による解決) | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ③ 消費者トラブル対策の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 消費生活センター運営事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 6 | 1 | 3 | 目標 | 90.5 | 91.0 | 91.5 | 92.0 | 92.5 | 93.0 | 93.5 | 94.0 | 94.5 | 95.0 | | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 01-消費生活センター運営事業 | | | 実績 | 91.5 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 消費者トラブルに対して、専門の相談員による消費生活相談を実施するとともに、消費者被害を未然に防止するため、泉南市消費生活センターの機能及び運営体制の強化を図る。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 101.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
|  | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|--------|-----------------|--|----------|--------|--|--------|-------|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) | 1. 消費生活相談の実施(320件) 他機関へ紹介11件 助言(自主交渉)186件 その他情報提供33件 斡旋解決50件 斡旋不調9件 処理不能14件 処理不要14件 その他3件 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| | 2. 啓発グッズ及びチラシ制作 啓発グッズ2,651枚、チラシ配布2,520枚 | | | 1. 消費生活相談員による消費生活相談を実施する。 2. 啓発グッズ及びチラシを制作し、市内の小学6年生、中学3年生及び新成人へ消費啓発を実施する。 3. 緊急を有する事件・事象に関する注意喚起をWEBサイト等を通じて適時行う。 | | | 1. 消費生活相談員による消費生活相談を実施する。 2. 啓発グッズ及びチラシを制作し、市内の小学6年生、中学3年生及び新成人へ消費啓発を実施する。 3. 緊急を有する事件・事象に関する注意喚起をWEBサイト等を通じて適時行う。 | | | 1. 消費生活相談員による消費生活相談を実施する。 2. 啓発グッズ及びチラシを制作し、市内の小学6年生、中学3年生及び新成人へ消費啓発を実施する。 3. 緊急を有する事件・事象に関する注意喚起をWEBサイト等を通じて適時行う。 | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 方向性 | | |
| | 1,545千円 | 府支出金 | 872千円 | 1,929千円 | 府支出金 | 954千円 | 1,712千円 | 府支出金 | 738千円 | | | |
| 市債 | | 0千円 | 市債 | | 0千円 | 市債 | | 0千円 | | | | |
| 其他 | | 0千円 | 其他 | | 0千円 | 其他 | | 0千円 | | | | |
| 決算書ページ | | 254ページ | 一般財源 | | 673千円 | 予算書ページ | | 280ページ | 一般財源 | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.60人 | 会計年度職員 任期付職員 | 2.00人 | 11,170千円 | | | | | | | |

評価

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|-----------|---|--|---|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> 消費者が抱える不安は、相談員へ相談することによって、一定軽減されると考えられるため、相談数に比例して成果は生じている。 電話による勧誘、テレビショッピング、インターネットやスマートフォンによる課金など日々さまざまなトラブルが発生していることから、解決へ導くため、消費生活センターの設置を継続させることが重要である。 | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | | <改善内容> 消費者講座の実施や、公共施設等におけるチラシの配架やグッズの配布により、啓発を強化する。 また、新型コロナウイルスの影響により中止していた消費者講座を消費者月間である5月に開催し、市民に対しての注意啓発を図る。 | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 引き続き、5月の消費者月間における講座の開催や、HPやSNS等での情報発信を行っていく。 | | |

Check 3

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----------------|--|---------|------|------|------|----------|------|------|-----|----|--|
| 分野別政策 | 3 | 『くらし』を守る・快適にする | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①環境保全の推進 ◇ため池や河川の改修・保全や管理を適切に行います。 ◇市民やNPO団体等と協働し、里地里山の保全と活用を推進します。 ◇ごみの収集方法や収集コースの見直しを行い、ごみ収集を適切に行います。 ◇環境調査の実施や市民・企業と協力した公害の未然防止を図るとともに、水質保全のための取組を推進します。 ②脱炭素社会の実現 ◇ごみの排出抑制に向け、市民が環境にやさしい消費行動に取り組めるよう、啓発を図ります。 ◇3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化)の普及を図るとともに、資源ごみの分別の徹底を図ります。 ◇企業等と連携しながら、ごみ処理場の効率的な運転と適切な維持管理を行います。 ◇自動車から出る二酸化炭素排出量削減のため、公用車の電動自動車導入や市民に対する自転車活用を推進します。 ◇公共施設への再生可能エネルギーの導入や市民への啓発等、利用促進を図ります。 |
| 施策 | 13 | 環境保全・脱炭素・エネルギー |  | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | ごみの排出が抑制され、河川や森林に配慮した環境にやさしいまち | | | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 海・山・川等、本市の豊かな自然を守りながら、「2050年のカーボンニュートラル」を視野に入れた地球温暖化対策やエネルギー対策、ごみの減量化等、環境負荷の少ない暮らし方を浸透させることで、地球にやさしいまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | | | 備考 | |
| | 一人一日あたりのごみ排出量(家庭系ごみ) | | | 464g | | | | 414g | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| | 目標 | 458 | 450 | 443 | 437 | 430 | 428 | 423 | 420 | 417 | 414 | | |
| | 実績 | 436 | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 105.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 3-13-① 公害防止事業【市民生活環境部】 3-13-① ごみ収集事業【市民生活環境部】 3-13-① 林業振興事業【市民生活環境部】 3-13-② 車両管理事業【総務部】 3-13-② 総合福祉センター改修事業【福祉保険部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|----------------|-----------|----|--|----|----|-----|-----|--|-----|-----|----|---------------------------------|----|---|---|------|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー | | 新規 | | 担当課名 | BODの数値 | | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ① 環境保全の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | BOD:生物化学的酸素要求量(水中の有機物の代表的な汚染指標) | | | | |
| 事務事業名 公害防止事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 4 | 1 | 8 | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | | 2 | 2 | 2 | mg/l |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 01-公害防止事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 公害に係る苦情処理及び騒音・振動の規制と公害発生施設の監視及び指導を行う。また、市内を流れる河川の水質調査等の分析を定期的に行い、環境の異常をいち早く察知できるようにする。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  | | 環境基本法等各種環境法令 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | |
| 1. 令和5年度 騒音・振動苦情対応件数17件、野焼き対応件数19件 2. 自動車騒音面的評価について、例年からの評価に変更なし。市内主要河川の水質分析について、市内8ヶ所で水質分析を実施した。その内、水質監視対象として大阪府が管理する男里川の上流にあたる金熊寺川上流のBODを監視対象とし、年2回の測定値、1.5(令和5年9月測定)、2.3(令和6年3月測定)を平均した結果1.9であった。 3. ダイオキシン類について、榊井公園(1.3pg-TEQ/g-dry)及びダイオキシンA1号公園(0.30pg-TEQ/g-dry)で測定した結果環境基準1000pg-TEQ/g-dryを下回っていた。 4. 信達中学校及び馬場大発1号公園にて、アスベスト大気汚染濃度を測定。いずれも総繊維数濃度下限値0.056(本/L)未満であった。 | | 1. 騒音・振動また、野焼きなどの苦情に対して現場に急行し指導・啓発を行う。 2. 自動車騒音面的評価や市内を流れる主要河川の定期的な水質検査などを行う。 3. ダイオキシン類について市内の公園を定期的に調査を行う。 4. 大気中のアスベストについては残存しているアスベストを含む建物に隣接した公園や公共施設等での調査を定期的に行う。 | | | | | 1. 騒音・振動また、野焼きなどの苦情に対して現場に急行し指導・啓発を行う。 2. 自動車騒音面的評価や市内を流れる主要河川の定期的な水質検査などを行う。 3. ダイオキシン類について市内の公園を定期的に調査を行う。 4. 大気中のアスベストについては残存しているアスベストを含む建物に隣接した公園や公共施設等での調査を定期的に行う。 | | | | | 1. 騒音・振動また、野焼きなどの苦情に対して現場に急行し指導・啓発を行う。 2. 自動車騒音面的評価や市内を流れる主要河川の定期的な水質検査などを行う。 3. ダイオキシン類について市内の公園を定期的に調査を行う。 4. 大気中のアスベストについては残存しているアスベストを含む建物に隣接した公園や公共施設等での調査を定期的に行う。 | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 予算額 | | | | | 予算額 | | | | | 予算額 | | | | | | | | |
| 決算額 | | 国庫支出金 0千円 | | | | | 国庫支出金 0千円 | | | | | 国庫支出金 0千円 | | | | | | | | |
| 1,747千円 | | 府支出金 262千円 | | | | | 府支出金 248千円 | | | | | 府支出金 248千円 | | | | | | | | |
| | | 市債 0千円 | | | | | 市債 0千円 | | | | | 市債 0千円 | | | | | | | | |
| | | 其他 0千円 | | | | | 其他 0千円 | | | | | 其他 0千円 | | | | | | | | |
| 決算書ページ 238ページ | | 一般財源 1,485千円 | | | | | 一般財源 2,434千円 | | | | | 一般財源 2,434千円 | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.55人 会計年度職員 任期付職員 0.00人 4,277千円 | | | | | 正職員 0.55人 会計年度職員 任期付職員 0.00人 2,422千円 | | | | | 正職員 0.55人 会計年度職員 任期付職員 0.00人 2,434千円 | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | | 備考 | |
| <成果・課題> 令和5年度は成果指標の河川の監視対象箇所のBOD値の達成度A1になったが、年2回の測定結果によるもので、通年で基準を達成しているかを確認できない。また測定地付近の河川で白濁した水が流入したと住民からの通報が1件あった。他の項目の公害測定結果は問題なしであった。騒音・振動、野焼きの苦情はほぼ例年どおりの件数であった。 Check 3 | | <改善内容> 成果指標の河川のBODの数値維持について、定期的に河川への異常な流入がないかパトロールを行うとともに特定施設からの排水指導権限のある大阪府と連携を密にして監視を行う。また騒音・振動・野焼きの苦情に関しては、現地で原因者に指導する際、再発回数が減少するように指導を工夫していく。 | | | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性 事業の方向性と取組の内容 成果指標の河川のBOD値を維持するために市内に流れる河川の監視対象地点を継続的に水質分析を行うことで、監視地点の水質状況の変化を把握して周辺地域からの異常水質の流入の可能性がないかを監視していく。 | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする ○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー ○ 主な取組 ① 環境保全の推進 | | 事業区分 新規 〇 担当課名 清掃課 継続 〇 会計名 一般会計 ソフト 〇 予算 科目 4 2 1 ハード 〇 細目 02-ごみ収集事業 市単独 〇 (関係法令・市条例・計画等) 泉南市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例 | | 事務事業に関する活動指標 指標名 1人1日あたりのごみ排出量(家庭系ごみ) 備考 目標値 実績 436 450 443 437 430 428 423 420 417 414 単位 g ※目標値については、大阪府の計画を踏まえ、令和7年度までに6%の削減、その後令和18年度までに基準年度から15%の削減 達成率 105% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 達成度 A | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 ごみ収集事業 事業に関連するSDGs | | 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) ○市内全域の家庭ごみの収集運搬を行う(保有台数:2tハッカー車10台、3tハッカー車4台、軽四ダンプ7台、2tダンプ1台、公用車1台) ○生ごみ減量等処理機器購入補助金交付制度(10台) ○小学校、幼稚園等への出前授業による環境教育(小学校1校) ○広報(17タイトル)、ウェブサイト(常時)での各種啓発活動 ○「不用品リサイクル回収ボード」での不用品交換制度 ○有価物集団回収報償金交付制度(活動団体数80/回収量457t) | | 令和6年度(令和6年3月) ○市内全域の家庭ごみの収集運搬を行う ○生ごみ減量等処理機器購入補助金交付制度 ○小学校、幼稚園等への出前授業による環境教育 ○広報、ウェブサイトでの各種啓発活動 ○「不用品リサイクル回収ボード」での不用品交換制度 ○有価物集団回収報償金交付制度 ○市公式LINEの機能拡張に伴い、現行のごみ収集日配信システムを市公式LINEに切り替え | | 令和7年度 ○市内全域の家庭ごみの収集運搬を行う ○生ごみ減量等処理機器購入補助金交付制度 ○小学校、幼稚園等への出前授業による環境教育 ○広報、ウェブサイトでの各種啓発活動 ○「不用品リサイクル回収ボード」での不用品交換制度 ○有価物集団回収報償金交付制度 ○市公式LINEでのごみ収集日配信システム | | | | 令和8年度以降 ○市内全域の家庭ごみの収集運搬を行う ○生ごみ減量等処理機器購入補助金交付制度 ○小学校、幼稚園等への出前授業による環境教育 ○広報、ウェブサイトでの各種啓発活動 ○「不用品リサイクル回収ボード」での不用品交換制度 ○有価物集団回収報償金交付制度 ○市公式LINEでのごみ収集日配信システム | | | | | | | |
| 事業の財源 決算額 132,716千円 決算書ページ 240ページ 正職員 9.29人 会計年度職員 任期付職員 8.42人 100,946千円 | | 予算額 134,990千円 予算書ページ 258ページ 100,560千円 | | 予算額 132,364千円 予算書ページ 262ページ 100,560千円 | | | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 33,179千円 一般財源 99,537千円 | | | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 34,430千円 一般財源 100,560千円 | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|---|--|--|--|---|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <改善内容> ごみ収集日を配信している「ごみの日メール」を市公式LINEに移行することで利便性を高め、ごみの収集日以外のごみに関する情報なども積極的に発信する。 また、生ごみ減量等処理機器購入補助金及び有価物集団回収報償金の申請について、スマート申請システムを利用できないか検討する。 | | 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性 事業の方向性と取組の内容 これまでの施策を継続し、ごみの減量化に取り組む。 | | 令和5年度の成果指標での目標数値458gに対して実績値は436gと目標が達成できたので、引き続きごみの減量化の推進に取り組む。 | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|----------------|-----------|--------------|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|---------------------------------------|--|--|----|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー | | 新規 | | 担当課名 | 産業振興課 | 指標名 | 森林整備箇所数 | | | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 環境保全の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った森林整備(危険木の撤去等)を実施。 | | | |
| 事務事業名 林業振興事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 5 2 1 | 実績 | 1 | | | | | | | | | | 箇所 | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 01-林業振興事業 | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | |
| <事業概要> 市が管理する林道の除草及び修繕等の維持管理を行う。また、防災上等の理由から早期に整備が必要な森林について、危険木の撤去・倒木の除去等の森林整備を行う。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | |
| 泉南市森林整備に係る実施計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|-----------------------|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1 維持管理 ・林道修繕等の実施(2箇所) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 2 森林整備 ・「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った森林整備(危険木の撤去等)の実施(1箇所) | | 1 維持管理 ・林道等の清掃除草等 | | 1 維持管理 ・林道等の清掃除草等 | | 1 維持管理 ・林道等の清掃除草等 | |
| | | 3 各種協会への参画(各会議等参加回数) ・大阪府治山治水協会(1回) ・大阪府林業改良普及協会(0回) | | 2 森林整備 ・危険木撤去 | | 2 森林整備 ・危険木撤去 | | 2 森林整備 ・危険木撤去 | |
| | | 3 各種協会への参画 ・大阪府治山治水協会 ・大阪府林業改良普及協会(0回) | | 3 各種協会への参画 ・大阪府治山治水協会 ・大阪府林業改良普及協会 | | 3 各種協会への参画 ・大阪府治山治水協会 ・大阪府林業改良普及協会 | | 3 各種協会への参画 ・大阪府治山治水協会 ・大阪府林業改良普及協会 | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 予算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| | | 6,846千円 | | 11,056千円 | | 9,066千円 | | 9,066千円 | |
| | | 国庫支出金 0千円 | | 国庫支出金 0千円 | | 国庫支出金 0千円 | | 国庫支出金 0千円 | |
| | | 府支出金 102千円 | | 府支出金 102千円 | | 府支出金 132千円 | | 府支出金 132千円 | |
| | | 市債 0千円 | | 市債 0千円 | | 市債 0千円 | | 市債 0千円 | |
| | | その他 6,127千円 | | その他 10,014千円 | | その他 8,017千円 | | その他 8,017千円 | |
| | | 決算書ページ 250ページ | | 予算書ページ 274ページ | | 予算書ページ 278ページ | | 予算書ページ 278ページ | |
| | | 一般財源 617千円 | | 一般財源 940千円 | | 一般財源 917千円 | | 一般財源 917千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.04人 | 正職員以外の その他職員 0.00人 | 311千円 | | | | | |

評価

方向性

| | | | |
|--------------------------|--|---|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> ・「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った計画的な森林整備(危険木の撤去等)を実施することで、市民の安全確保につながった。 ・近年、台風や大雨による突発的な自然災害が急増しているため、林道災害や森林整備箇所の増加が見込まれる。 | |
| | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 引続き、「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った森林整備(危険木の撤去等)を実施するとともに、林道等の巡回を行い、早期補修等を実施することで災害防止に努める。 | |
| | | Action 4 | |
| | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | |
| | | 事業の方向性 | |
| | | 事業の方向性と取組の内容 | |
| | | 1 現状維持 ○ 「泉南市森林整備に係る実施計画」が令和3年度～令和7年度までの5か年計画となっているため、更新の必要性について検討する。 | |
| | | 2 見直して継続 | |
| | | 重点化 | |
| | | 手段改善 | |
| | | 効率化(コストダウン) | |
| | | 規模縮小 | |
| | | 事業統合 | |
| | | 3 休止・廃止 | |
| | | 4 完了 | |
| 備考 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------|---|----------------|-----------|-----|-------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|------|---|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー | | 新規 | | 担当課名 | 総務課 | | 指標名 公用車更新時における電気自動車の導入率 | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 脱炭素社会の実現 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 電気自動車(ハイブリッド車含む)の全体に占める割合。箱/バンタイプの軽自動車等においては、ハイブリッド車の設定がなく当面ガソリン車への更新を行う。 | | |
| 事務事業名 車両管理事業 | | ソフト | | 款項目 | 2 | 1 | 8 | 目標 | 16 | 16 | 17 | 17 | 18 | 18 | 19 | 19 | 20 | | 21 | % |
| 事業に関連するSDGs  | | ハード | ○ | 細目 | 03-車両管理事業 | | 実績 | 15 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 総務課管理公用車の維持管理をおこなうとともに、更新時には計画的な電気自動車(ハイブリッド車含む)の導入を進める。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 91.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | |
| | | 泉南市車両管理規程 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|----------|---|----------|---|----------|---|----------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1 公用車管理事業(自動車61台 原動機付自転車6台) ・法定点検・車検手続事務 ・共済加入事務 ・事故対応事務 ・車両の更新(9台購入) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 2 私有自動車登録事務 ・私有自動車共済登録事務 | | 1 公用車管理事業(自動車61台 原動機付自転車6台) ・法定点検・車検手続事務 ・共済加入事務 ・事故対応事務 ・車両の更新(2台購入) | | 1 公用車管理事業(自動車61台 原動機付自転車6台) ・法定点検・車検手続事務 ・共済加入事務 ・事故対応事務 ・車両の更新(2台購入) | | 1 公用車管理事業(自動車61台 原動機付自転車6台) ・法定点検・車検手続事務 ・共済加入事務 ・事故対応事務 ・車両の更新(6台購入) | |
| | | 3 安全運転管理事務 ・安全運転管理者事務 ・安全運転講習事務(年1回開催) | | 2 私有自動車登録事務 ・私有自動車共済登録事務 | | 2 私有自動車登録事務 ・私有自動車共済登録事務 | | 2 私有自動車登録事務 ・私有自動車共済登録事務 | |
| | | 3 安全運転管理事務 ・安全運転管理者事務 ・安全運転講習事務(年1回開催) | | 3 安全運転管理事務 ・安全運転管理者事務 ・安全運転講習事務(年1回開催) | | 3 安全運転管理事務 ・安全運転管理者事務 ・安全運転講習事務(年1回開催) | | 3 安全運転管理事務 ・安全運転管理者事務 ・安全運転講習事務(年1回開催) | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 予算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| | | 国庫支出金 | 0千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 国庫支出金 | 0千円 |
| | | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 |
| | | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 市債 | 0千円 |
| | | 其他 | 0千円 | 其他 | 106千円 | 其他 | 52千円 | 其他 | 52千円 |
| | | 決算書ページ | 160ページ | 予算書ページ | 147ページ | 予算書ページ | 145ページ | 予算書ページ | 145ページ |
| | | 一般財源 | 25,682千円 | 一般財源 | 14,541千円 | 一般財源 | 11,338千円 | 一般財源 | 11,338千円 |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.30人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | | | | |

評価

方向性

| | | | |
|---------------------------------|--|---|---|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 公用車の管理事業においては、法定点検・車検手続事務、共済加入事務、事故対応事務等予定通りの成果であった。 車両の更新については予定していた9台を更新した。更新のうち8台がハイブリッド車、1台が電気自動車導入率は14.8%となった。 また、その他私有自動車共済登録事務や安全運転管理者事務 においても特に問題はなく、安全運転講習事務(年1回開催)も予定通り開催した。 課題としては、10万km未満や15年未満の車両においても頻りに故障が発生するものがあり、職員の安全などを考慮し、更新時期を判断する必要がある。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 職員の安全面や二酸化炭素削減を推進するため、走行距離が10万km未満や経過年数が15年未満の車両についても更新対象としていくよう計画を見直し、さらなる電気自動車(ハイブリッド車含む)の導入をする。 | 備考 |
| | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | |
| | | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 |
| | | 1 現状維持 | ○ 今後も職員の安全面等を考慮し、環境負荷に配慮しながら電気自動車(ハイブリッド車含む)の導入を推進していく。 |
| | | 2 見直して継続 | |
| | | 重点化 | |
| | | 手段改善 | |
| | | 効率化(コストダウン) | |
| | | 規模縮小 | |
| | | 事業統合 | |
| | | 3 休止・廃止 | |
| | | 4 完了 | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|----------------|-----------------|---|-----|----|-----|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|---|------|---------------------------|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー | | 新規 | ○ | 担当課名 | 長寿社会推進課 | | | | | 指標名 省エネルギー量の割合 | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 脱炭素社会の実現 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | | | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | 毎年、算出される省エネルギー量の割合を指標とする。 | |
| 事務事業名 総合福祉センター改修事業 | | ソフト | | 款項目 | 3 | 1 | 6 | 目標 | | | | | | | | | | % | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 05-総合福祉センター改修事業 | | | | | 実績 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 総合福祉センターにおけるESCO事業及び内装工事 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | | | | | | | | | | 0.0% | | |
|  | | | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|---------|-----------------------------------|---------|-------|-----------------------------------|---------|--------|------|---------|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | | | |
| | 空調設備等の改修による高効率化(ESCO事業)により、光熱費を削減 | | 空調設備等の改修による高効率化(ESCO事業)により、光熱費を削減 | | | 空調設備等の改修による高効率化(ESCO事業)により、光熱費を削減 | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 決算額 | 国庫支出金 | 0千円 | |
| | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 6,262千円 | 府支出金 | 0千円 | 1,595千円 | 府支出金 | 0千円 | |
| | | 市債 | 3,500千円 | | 市債 | 0千円 | | | | |
| | | その他 | 0千円 | | その他 | 0千円 | | | | |
| 決算書ページ | 一般財源 | 2,762千円 | 予算書ページ | 194ページ | 一般財源 | 2,762千円 | 予算書ページ | 195ページ | 一般財源 | 1,595千円 |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.00人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 0千円 | ↑ 方向性 | | | | |

評価

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|---------|-------------|----------|-------------------|--|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | <改善内容> | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| | | 1 現状維持 | | | | |
| | | 2 見直して継続 | | | | |
| | | 重点化 | | | | |
| | | 手段改善 | | | | |
| | | 効率化(コストダウン) | | | | |
| | | 規模縮小 | | | | |
| | | 事業統合 | | | | |
| | | 3 休止・廃止 | | | | |
| | | 4 完了 | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------|---|----------|------|------|-----------|------|------|------|-----|--|--|
| 分野別政策 | 3 | 『くらし』を守る・快適にする | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①道路環境の整備 ◇拠点となる市役所や駅周辺において、安全で快適な徒歩・自転車・自動車の移動環境の確保を図ります。 ◇拠点間及び地域間をアクセスしやすい道路ネットワークの形成に取り組みます。 ◇ICTやAI等の新技術を活用し、メリハリの効いた道路メンテナンスを実施します。 ②多様な交通手段の利用・導入促進 ◇コミュニティバスについて、利用者の意見を踏まえ、路線の見直しを行うとともに、乗車割引制度の拡充を検討します。 ◇小型バス等を活用したデマンド型交通やカーシェアリングサービス等、多様な交通手段の導入を検討します。 ◇拠点間を連携する交通手段の一つとして、自転車ネットワークの形成を図ります。 ③広域ネットワークの構築 ◇近隣府県及び市町村と連携、協力し、関西国際空港を中心とした広域アクセス網の早期整備を求める要望活動を促進します。 ◇リスクマネジメントの観点から関西国際空港への代替アクセスとなる南ルートの早期実現を訴え、実現要望及び広報活動を積極的に展開します。 ◇紀北地域や広域拠点地域との連携を強化する広域幹線道路の整備を促進します。 |
| 施策 | 14 | 道路・交通 |   | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 主要拠点にアクセスしやすい交通網が整備され、誰もが快適・安全に移動しやすいまち 様々な拠点に行きやすく、市民生活に身近な道路の計画的な整備や、地域の特性に合った公共交通の維持・発展により、誰もが快適・安全に移動できるまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | 基準値 (R3) | | | 目標値 (R14) | | | 備考 | | | |
| | コミュニティバス利用者数 | | | 133千人 | | | 158千人 | | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| | 目標 | 154 | 156 | 156 | 156 | 158 | 158 | 158 | 158 | 158 | 158 | 令和4年度には、大幅な運行経路の見直しやバス停の追加、名称変更などが行われ、これにより利用者の利便性が大幅に向上しました。これらの変更により、利用者の中で浸透しており、その効果が広く認識されています。 | |
| | 実績 | 169 | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 109.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 3-14-① 道路維持管理事業【都市整備部】 3-14-① 道路新設改良事業【都市整備部】 3-14-① 砂川樫井線新設事業【都市整備部】 3-14-① 信達樽井線改良事業【都市整備部】 3-14-② コミュニティバス運行事業【市民生活環境部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----------------|---|----------------|--------------|------|------------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|-------|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 14 道路・交通 | | 新規 | | 担当課名 | 道路課 | | 指標名 舗装補修面積 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ① 道路環境の整備 | | 継続 | ○ | 予算 | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 道路維持管理事業 | | ソフト | | | 款項目 | 7 | 2 | 3 | 目標 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | | 4,000 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 01-道路維持管理事業 | | 実績 | 4,899 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 歩行者や車両が安全に通行できるように、市が管理する道路の修繕工事を行います。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 122.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | | 道路法、道路舗装の個別施設計画 | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|---|---|---|---|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1 道路修繕工事 ・舗装修繕工事 A=4,899m ² (面積) ・道路維持工事 一式 (ネットフェンス設置等) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 2 橋梁補修工事 ・新家8号橋 (塗装塗替え、ひび割れ補修、舗装打ち換え) | | 1 道路修繕工事 ・舗装修繕工事 ・道路付属物修繕工事 2 橋梁補修工事 ・西出橋 ・野口小橋 3. 橋梁長寿命化計画策定(改定) | | 1 道路修繕工事 ・舗装修繕工事 ・道路付属物修繕工事 2 橋梁補修設計 ・新家4号橋他 3 橋梁定期点検(21橋) | | 1 道路修繕工事 ・舗装修繕工事 ・道路付属物修繕工事 2 橋梁補修工事 ・新家4号橋他 3 橋梁定期点検(34橋) | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 予算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| | | 104,813千円 | 国庫支出金 32,273千円 府支出金 0千円 市債 30,600千円 その他 0千円 | 121,883千円 | 国庫支出金 31,625千円 府支出金 0千円 市債 42,200千円 その他 33,477千円 | 137,089千円 | 国庫支出金 24,605千円 府支出金 0千円 市債 56,600千円 その他 43,058千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 1.82人 正職員以外の その他職員 0.00人 | 14,154千円 | 290ページ | 14,581千円 | 295ページ | 12,826千円 | | |

評価

方向性

| | | | |
|--------------|--|---|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> 地域からの道路における修繕要望あるいは道路舗装個別施設計画に基づき修繕工事を実施しているが、インフラ施設の物理的な老朽化や技術職員の減少という両方の側面に課題を有しており、今後、持続的、効率的なメンテナンス手法の導入が必要となる。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> ・道路舗装個別施設計画と地域からの要望を照らし合わせ、より効果的な優先順位を整理する。 ・橋梁メンテナンスにおいて、新技術や実効性の高い手法の導入を図るため、橋梁長寿命化修繕計画を改定する。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 |
| | | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 ライフラインとして欠かせないインフラの持続的な安全性・信頼性の確保するため、官民連携等による新たなメンテナンス手法の導入を検討し、実践につなげるため、事業コストの増加が見込まれる。 |
| Check 3 | | | 備考 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|----------------|-------------|--------------|---------|-----|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 14 道路・交通 | | 新規 | | 担当課名 | 道路課 | 指標名 | 整備完了箇所数 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ① 道路環境の整備 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | |
| 事務事業名 道路新設改良事業 | | ソフト | | 予算 | 款項目 | 7 | 2 | 5 | 目標 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 箇所 | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 01-道路新設改良事業 | | | | 実績 | 2 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 利用者の利便性や安全性の向上のため、生活道路の新設や拡幅を行います。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成率 | 200.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | | 道路法 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--------|-----------------|----------|--|-----|----------|----------|---|--------|----------|----------|--|---------|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1. 道路改良工事 男里御幸線(令和5年度繰越) 信達榎井線(令和5年度繰越) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| | 2. 設計業務 市場長慶寺砂川線(修正設計) 信達榎井線(榎井2丁目) 市場鳴滝線(中小路南交差点) | | | | 1. 道路築造工事 ・市場長慶寺砂川線改良工事 ・信達榎井線改良工事(歩道改良) | | | | 1. 道路改良工事 ・市場長慶寺砂川線改良工事 ・信達榎井線改良工事(榎井二丁目) | | | | 1. 道路改良工事 ・新家駅高野別所線(野口地区)改良工事 ・市場鳴滝線改良工事 | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | | 国庫支出金 | 14,471千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 47,150千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 32,650千円 | | | | |
| | 40,056千円 | | 府支出金 | 0千円 | 101,312千円 | | 府支出金 | 0千円 | 71,346千円 | | 府支出金 | 0千円 | | | | |
| | | 市債 | 22,200千円 | | | 市債 | 38,700千円 | | | 市債 | 33,400千円 | | | | | |
| | | その他 | 0千円 | | | その他 | 0千円 | | | その他 | 0千円 | | | | | |
| 決算書ページ | | 263ページ | 一般財源 | 3,385千円 | 予算書ページ | | 292ページ | 一般財源 | 15,462千円 | 予算書ページ | | 297ページ | 一般財源 | 5,296千円 | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.40人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 3,111千円 | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|---|-------------|--------------|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 成果 当初の計画どおり実施することができた。 課題 今後実施すべき事業が相当数あるが、交付金の割り当 てに限界があることや、人件費や資材高騰により事業費が 増大し、事業推進の妨げとなっており、工夫が必要であ る。 | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | <改善内容> 整備効果の高い箇所を選定を行い、新工法を活用するな ど常にコスト削減を意識した事業監理に努める。 | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | | | |
| | | 1 現状維持 | | 生活道路の整備については、市民生活の安全と安心に直 結しており、引き続き市民のニーズに応えるべく、事業を推 進する。 | | |
| | | 2 見直して継続 | | | | |
| | | 重点化 | | | | |
| | | 手段改善 | ○ | | | |
| | | 効率化(コストダウン) | | | | |
| | | 規模縮小 | | | | |
| | | 事業統合 | | | | |
| | | 3 休止・廃止 | | | | |
| | | 4 完了 | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------|-------|---|----------------|--------------|--------------|----|-----|--------|------|------|------|-----|-----|-----|----|----|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 14 道路・交通 | | 新規 | | 担当課名 | 道路課 | 指標名 整備率(%) | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 道路環境の整備 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 | 砂川樫井線新設事業 | ソフト | | 款項目 | 7 4 6 | 目標 | 42 | 62 | 70 | 93 | 96 | 99 | 100 | | | | % | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 01-砂川樫井線新設事業 | 実績 | 56 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 和泉砂川駅から樽井大苗代新家線を結ぶ幹線道路を整備することで、利用者の利便性を向上させるとともに、円滑な交通を促します。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成率 | 133.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | | |
| | | 都市計画法 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|-----------|--|-----------|--|-----------|---|-----------|----------|-----------|--------|-----------|----------|-----------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1. 道路築造工事 ・新家川橋梁下部工事 ・(河川改修、橋台設置等) ・柳谷川橋梁上部工事 ・(橋桁架設、床版設置、高欄設置、舗装等) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | | | | | | | |
| | | 2. 測量設計業務 ・交差点詳細設計 | | 1. 道路築造工事 ・道路改良工事 ・橋梁下部工事 ・橋梁上部工事 ・電線共同溝設置工事 | | 1. 道路築造工事 ・道路改良工事 ・橋梁上部工事 ・電線共同溝設置工事 ・道路舗装工事 | | 1. 道路築造工事 ・電線共同溝設置工事 ・道路舗装工事 ・植栽工事 | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 207,659千円 | 国庫支出金 | 113,720千円 | 府支出金 | 49,821千円 | 市債 | 38,800千円 | その他 | 0千円 | 市債 | 101,200千円 | その他 | 0千円 |
| | | 国庫支出金 | 113,720千円 | 府支出金 | 49,821千円 | 市債 | 38,800千円 | その他 | 0千円 | 国庫支出金 | 275,000千円 | 府支出金 | 112,500千円 | 市債 | 101,200千円 |
| 決算書ページ 272ページ | | 一般財源 | 5,318千円 | 予算額 | 595,199千円 | 市債 | 122,400千円 | 市債 | 122,200千円 | その他 | 0千円 | 市債 | 101,200千円 | その他 | 0千円 |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.50人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 3,889千円 | 予算書ページ | 306ページ | 一般財源 | 34,899千円 | 予算書ページ | 312ページ | 一般財源 | 15,999千円 | |

評価

方向性

| | | | |
|--------------------------|---|---|---|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 課題 国庫補助金の確保に努める必要がある。 土地収用法に基づく裁決申請に向けての準備が急務である。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 国庫補助金を確保するため、本省(国土交通省等)要望活動に努める。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 |
| | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 これまでの取組と同様に、供用開始に向けて遅滞の無いように、工程管理を行い、府と連携のうえ事業完了に努める。 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------|-------|---|----------------|--------------|--------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 14 道路・交通 | | 新規 | | 担当課名 | 道路課 | 指標名 整備率(%) | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 道路環境の整備 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | |
| 事務事業名 | 信達榊井線改良事業 | ソフト | | 款項目 | 7 4 6 | 目標 | 95 | 95 | 95 | 96 | 96 | 96 | 97 | 97 | 97 | 98 | % |
| <事業概要> 内陸部とりんくろタウンを結ぶ幹線道路を整備(道路拡幅、歩道のバリアフリー化)することで、利用者の利便性を向上させるとともに、円滑な交通を促します。 | | ハード | ○ | 細目 | 02-信達榊井線改良事業 | 実績 | 95 | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | | 都市計画法 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------------------------|--------|------------------|-------|------------------|---------|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1. 法定事務事業 ・都市計画法に基づく事業認可の変更手続き | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | | | 1. 測量業務 ・用地測量 | | 1. 測量業務 ・用地測量 | | 1. 測量業務 ・用地測量 2. 用地買収 ・用地買収 | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 196千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 国庫支出金 | 1,100千円 | / | |
| | | | | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | | |
| | | | | 市債 | 0千円 | 市債 | 800千円 | | |
| | | | | 其他 | 0千円 | 其他 | 0千円 | | |
| | | 決算書ページ | 272ページ | 一般財源 | 196千円 | 一般財源 | 341千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.05人 | 正職員以外の 其他職員 | 0.00人 | 389千円 | | | |

評価

方向性

| | | | |
|---------------------------------|---|---|-------------------------------|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 成果 事業認可(8年間の期間延長)を取得した。 課題 他事業の事業費が増大しており、すぐに着手できない状況である。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 用地測量を行い、迅速な用地買収に備える。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 |
| | | | 事業の方向性 |
| | | | 事業の方向性と取組の内容 |
| | | | 備考 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

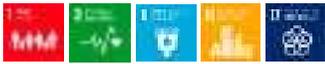
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|------|----------------|------|---------------------------|----|-----|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|----|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 14 道路・交通 | | 新規 | 担当課名 | 環境整備課 | | 指標名 泉南市コミュニティバス運行に関する利用者数 | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ② 多様な交通手段の利用・導入促進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 コミュニティバス運行事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 7 | 2 | 2 | 目標値 | 実績 | 169 | | | | | | | | 千人 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 03-コミュニティバス運行事業 | | 達成率 | 109.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| <事業概要> 市内公共施設を中心に市民の生活交通や交通弱者に対する交通手段の確保を図る。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 泉南市コミュニティバス運行に関する協定書等 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|--|------------------|--|------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | バス会社との5年間協定を基に、令和4年度より、大幅な運行経路の見直しやバス停の追加、名称変更、主要駅での上屋、植樹の設置を行い、また新規バスを導入した。 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| | 令和元年度(感染症前) : 153(千人) 令和2年度(感染症初期) : 123(千人) 令和3年度(感染症中期) : 133(千人) 令和4年度(感染症後期) : 154(千人) 令和5年度(感染症収束宣言) : 169(千人) | | | 1. 近年の猛暑に伴い、主要バス停等に上屋やミストの設置等更なる対応について検討する。 2. 利用者の多様なニーズに対応するため、運行事業者と協議を行い、対応可能な内容を検討する。 3. 市に関連する行事や催し物などの広報活動として、車内広告の利用促進を図る。 | | | 1. 近年の猛暑に伴い、主要バス停等に上屋やミストの設置等更なる対応について検討する。 2. 利用者の多様なニーズに対応するため、運行事業者と協議を行い、対応可能な内容を検討する。 3. 市に関連する行事や催し物などの広報活動として、車内広告の利用促進を図る。 4. ウェブサイトやSNSを活用して、高齢者等が運行状況や時刻表を容易に検索できるよう、また運賃割引の申請をスムーズに行えるよう利用促進を図る。 | | | 1. 近年の猛暑に伴い、主要バス停等に上屋やミストの設置等更なる対応について検討する。 2. 利用者の多様なニーズに対応するため、運行事業者と協議を行い、対応可能な内容を検討する。 3. 市に関連する行事や催し物などの広報活動として、車内広告の利用促進を図る。 4. ウェブサイトやSNSを活用して、高齢者等が運行状況や時刻表を容易に検索できるよう、また運賃割引の申請をスムーズに行えるよう利用促進を図る。 | | |
| 事業の財源 | 決算額 43,363千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | 予算額 46,401千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | 予算額 46,397千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | 評価 | | | 方向性 | | |
| 決算書ページ 260ページ | 一般財源 43,363千円 | 予算書ページ 289ページ | 一般財源 46,401千円 | 予算書ページ 294ページ | 一般財源 46,397千円 | 職員数/人件費 正職員 1.00人 会計年度職員 任期付職員 0.00人 7,777千円 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------------------|--|-------------|---|----------|---|---|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> ・令和5年度の取組により利用者の利便性が大幅に向上し、令和5年度では、利用者間で浸透し、その効果が広く認識された。 ・感染症の収束も相まって、毎年の人口が約1.3%減少する中、令和5年度では乗車人数が当初の目標を大きく上回り、市民の利便性が向上した。 ・今後も市民の声を取り入れ、交通の利便性向上に貢献する施策を継続して実施する。 ・交通インフラのさらなる改善と、地域社会の発展に寄与するための取組を展開する必要がある。 | | <改善内容> ・運賃割引の周知強化 ウェブサイトやSNSを活用して、高齢者や障害者、免許証返納者向けの運賃割引制度を広く周知する。また、チラシなどの物理的な広報も積極的に配布する。 ・スマート申請システムの導入 ウェブサイトを通じて、誰でも簡単に申請できる運賃割引申請のスマート申請を導入する。 | | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性 事業の方向性と取組の内容 令和9年度の変更協議に向けて、市民の利便性を向上させるために以下の方向性を検討する。 ・運行経路の見直し 市民の移動ニーズや地域の変化に合わせて、バスの運行経路を見直す。特に、住宅地や商業地域、公共施設へのアクセスを考慮し、最適な経路を検討する。 ・公共交通手段との併合 バス路線と鉄道など他の公共交通手段との接続性を向上させる。乗り換え時の待ち時間を最小限に抑え、スムーズな移動を実現する。 ・交通ネットワークの構築 シェアリングサービス、徒歩など、バス以外の交通手段との連携を強化する。 | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------------|---|------|----------|------|-------------------|------|------|------|-----|----|--|---|
| 分野別政策 | 3 | 『くらし』を守る・快適にする | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①下水道の整備 | |
| 施策 | 15 | 下水道・生活環境・住まい |  | | | | | | | | | | | ◇下水道施設の計画的な維持管理と更新を行うとともに、効率的な下水道事業を進めます。 ◇下水道使用料の定期的な見直しや下水道普及率の向上を図り、安定的な運営を行います。 ※水道事業については、平成31年4月から大阪府広域水道企業団に統合されました。 |
| 目指すまちの姿 | 地域特性をいかした土地利用が促進され、自然環境とも調和した魅力的なまちなみを有し、多様なニーズに対応した快適で住みやすいまち 下水道等、生活基盤の強化や維持管理を計画的・効率的に進めるとともに、計画的な土地利用により、自然環境と調和しつつ、利便性が高く魅力あるまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | ②都市再生の推進 ◇コンパクト・プラス・ネットワーク(地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくり)の考え方にに基づき、まちづくりを推進します。 ◇農地等の有効活用を図るため、適切な土地利用の転換等を促進します。 ◇公園の再編・集約化やバリアフリー化等、公園の魅力向上を図ります。 ◇拠点集約型と幹線道路沿道型の土地利用を地域の特性に合わせて促進します。 ◇公的不動産の有効活用や公民連携を推進し、多様なニーズに対応した都市再生を推進します。 | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値(R3) | | 目標値(R14) | | 備考 | | | | | | | 主な取組 ③住まいの提供 ◇市営住宅の計画的な改修や建替え等、安心して暮らせる住まいの提供を図ります。 ◇空き家所有者による適正管理、空き家バンク登録の促進等、空き家対策に総合的に取り組みます。 |
| | 拠点徒歩圏の新案件数の割合 | | 60% | | 80% | | 拠点徒歩圏建築確認数/全建築確認数 | | | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | | |
| | 目標 | 62 | 64 | 66 | 68 | 70 | 72 | 74 | 76 | 78 | 80 | | | |
| 実績 | 62 | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 100% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3-15-① 公共下水道整備事業【都市整備部】 3-15-② 双子川浄苑施設建替事業【市民生活環境部】 3-15-② バリアフリー化推進事業【都市整備部】 3-15-② 公園緑地等維持管理事業【都市整備部】 3-15-③ 市営住宅改修事業【都市整備部】 3-15-③ 市営住宅建替事業【都市整備部】 3-15-③ 空家等対策事業【都市整備部】 | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|------|----------------|-------|--|--|--|-----|------------------------------------|----|--|--|---|--|--------------------|---|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい | | 新規 | | 担当課名 | 下水道課 | | | | | | 指標名 | | | | | 公共下水道普及率【下水道供用開始工事済区域内人口(人)／行政人口(人)】 | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 下水道の整備 | | 継続 | ○ | 会計名 | 下水道事業会計 | | | | | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 | | | | | 単位 | 計画的・継続的な管渠整備の実施による | |
| 事務事業名 公共下水道整備事業 | | ソフト | | | 款項目 | 4 1 1 | | | | | | 目標 | | | | | | 62.4 62.6 63.2 63.3 63.5 64.0 64.5 64.9 65.4 65.9 |
| <事業概要> 公共下水道の整備により、生活環境の改善、海や河川における水質汚濁防止に努める。 | | ハード | ○ | 細目 | | | | | | | | 実績 | | | | | | 62.8 |
| 事業に関連するSDGs | | 市単独 | | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | 達成率 | | | | | 100.6% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | |
| 下水道法 | | | | | | | | | | 達成度 | | | | | A | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-------|-----------|-------|---|------|----------|--------|--|----|----------|------|--|-----|-----------|-------|----------|------|-----|----|-----------|----|----------|--------|----------|-----|-----------|-------|-----------|------|-----|----|-----------|----|----------|------|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1 公共下水道整備事業 ・下水道汚水管渠の布設 整備延長: 250.20m(信達牧野地区) 183.74m(岡田地区) ・汚水樹の設置数 21基(信達牧野地区) 15基(岡田地区) | | | | 令和6年度(令和6年3月) 1 公共下水道整備事業 ・下水道汚水管渠の布設 ・汚水樹の設置 ・泉南市下水道事業経営戦略改定 ・雨天時浸入水対策計画策定(流入量調査) | | | | 令和7年度 1 公共下水道整備事業 ・下水道汚水管渠の布設 ・汚水樹の設置 ・雨天時浸入水対策計画策定(計画策定) ・ストックマネジメント計画策定(計画策定) ・大里川ポンプ場水門改築工事(製作) | | | | 令和8年度以降 2 公共下水道整備事業 ・下水道汚水管渠の布設 ・汚水樹の設置 ・大里川ポンプ場水門改築工事(設置) ・中部ポンプ場設備更新等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業の財源 | 決算額 | 203,445千円 | 国庫支出金 | 49,500千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 81,800千円 | 其他 | 37,737千円 | 一般財源 | 34,408千円 | 予算額 | 386,717千円 | 国庫支出金 | 92,200千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 177,300千円 | 其他 | 38,622千円 | 一般財源 | 78,595千円 | 予算額 | 647,553千円 | 国庫支出金 | 153,400千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 313,300千円 | 其他 | 20,461千円 | 一般財源 |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 1.75人 | 会計年度職員 | 0.00人 | 任期付職員 | | 13,610千円 | 予算書ページ | | | | | 予算書ページ | | | | | | | | | | | 予算書ページ | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--------------------------|---|--|----------|---|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 未普及地区を整備することにより、生活環境の改善、河川等の水質保全を図ることができた。 普及率が向上する一方で、浸水被害等により市民生活に影響を及ぼす下水道施設の老朽化対策を行っていく必要がある。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 整備を進めることにより普及率は向上していくが、下水道施設については老朽化が進んでいるため、適切な維持管理と改築を効率的に実施していく。 将来の安定的な事業運営のため、経営戦略の改定を行い、広域化等を検討し、経営の健全化に取り組んでいく。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | | | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | |
| | | 1 現状維持 | ○ | 一般会計からの繰入金を減らせるよう、交付金等を活用するとともに、面整備については整備区域を少しずつ広げていき、優先順位等を考慮しながら整備を進めていく。また、ストックマネジメント計画に基づいた下水道施設の改築及び更新により、事業費の増を見込んでいる。 | |
| | | 2 見直して継続 | | | |
| | | 重点化 | | | |
| | | 手段改善 | | | |
| | | 効率化(コストダウン) | | | |
| | | 規模縮小 | | | |
| | | 事業統合 | | | |
| | | 3 休止・廃止 | | | |
| | | 4 完了 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|----------------|----------------|-----|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい | | 新規 | ○ | 担当課名 | 環境整備課 | | 指標名 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ② 都市再生の推進 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | 当該年度事業実施率 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 双子川浄苑施設建替事業 | | ソフト | | 款項目 | 4 | 2 | 2 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| <事業概要> 老朽化が著しい施設であり適切な運転・維持管理が行えるよう最低限の設備等の更新を繰り返しており、毎年度多くの予算を要しているところであるが、令和5年度に本施設について泉南市単独の建替方針が確定し、現施設の運転管理・維持管理を進めながら、令和6年度より建替への準備に着手したところである。 | | ハード | ○ | 細目 | 07-双子川浄苑施設建替事業 | | 目標 | 実績 | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 環境基本法、循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法、水質汚濁防止法 | | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | |
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 生活排水処理基本計画策定 循環型社会形成推進地域計画策定 建設事業費用対効果分析 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 測量 地質調査 土壌汚染調査 施設基本計画策定 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 施設基本設計(仕様書作成等) 生活環境影響調査 発注支援、発注方式検討 建設工事 工事監理業務 | | | | |
| 事業の財源 | | | | | 予算額 | | | | | 予算額 | | | | | 予算額 | | | | |
| 決算額 | | | | | 国庫支出金 | | | | | 国庫支出金 | | | | | 国庫支出金 | | | | |
| 0千円 | | | | | 府支出金 | | | | | 府支出金 | | | | | 府支出金 | | | | |
| 市債 | | | | | 市債 | | | | | 市債 | | | | | 市債 | | | | |
| その他 | | | | | その他 | | | | | その他 | | | | | その他 | | | | |
| 決算書ページ | | | | | 263ページ | | | | | 267ページ | | | | | 一般財源 | | | | |
| 職員数/人件費 | | | | | 正職員 0.00人 | | | | | 正職員以外の その他職員 0.00人 | | | | | 0千円 | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | |
|--------------------------|--|---------|--|-------------------|--|--------------|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 |
| | | <改善内容> | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 |
| | | | | 1 現状維持 | | |
| | | | | 2 見直して継続 | | |
| | | | | 重点化 | | |
| | | | | 手段改善 | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | |
| | | | | 規模縮小 | | |
| | | | | 事業統合 | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | |
| | | | | 4 完了 | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------|---------------------------|---|----------------|-------|----------------|-----------|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|----|----|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい | | 新規 | ○ | 担当課名 | 都市政策課 | 指標名 | 当該年度事業実施率 | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 都市再生の推進 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 | バリアフリー化推進事業 | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 7 | 4 | 1 | | | | | | | | | | % | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | | 細目 | 04-バリアフリー化推進事業 | | | | 目標値 | 実績 | | | | | | | | |
| <事業概要> 施設が集積する地区において、面的・一体的なバリアフリー化を推進し、高齢者や障害者をはじめ、あらゆる人が暮らしやすいまちづくりの実現に向けた取り組みを進める。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | | |
| | | 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|--|------------------------|--|-------|--|-----------------|--|---|--|-----|--|----|--|---|--|-----|--|---------|--|------|--|---------|--|-------|--|---------|--|------|--|---------|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | | 令和7年度 | | | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | ・岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定 | | | | | | 1、榑井駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直し 2、岡田浦駅周辺地区バリアフリー事業化に向けた関係機関との調整 (南海岡田浦駅・府道大苗代岡田浦停車場線) | | | | | | 令和8年度以降 1、和泉砂川駅及び新家駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直し 2、岡田浦駅周辺地区バリアフリー化事業の検討 (素案の検討→設計→事業化) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | | | | | 決算額 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | | その他 | | 4,334千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | | その他 | | 3,787千円 | | | |
| | | | | | | 予算額 | | 国庫支出金 | | 8,668千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | | その他 | | 4,334千円 | | 予算額 | | 8,110千円 | | 国庫支出金 | | 4,055千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | 市債 | |
| 職員数/人件費 | | | | | | 正職員 | | 0.00人 | | 正職員以外の その他職員 | | 0.00人 | | 0千円 | | 評価 | | | | | | 方向性 | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|---------|--|--|-------------|--|--|--------------|--|-------------------|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | | <成果・課題> | | | 令和6年度の改善の取組 | | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | 備考 | |
| | | | <改善内容> | | | 事業の方向性 | | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | | |
| | | | | | | 1 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 2 見直して継続 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 重点化 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 手段改善 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | | | |
| | | | | | | 規模縮小 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 事業統合 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 4 完了 | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------------|---|----------------|----------------|--------------|---------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|---|---|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい | | 新規 | | 担当課名 | 住宅公園課 | 指標名 | 遊戯施設の長寿命化対策事業 | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
| ○ 主な取組 ② 都市再生の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | | |
| 事務事業名 公園緑地等維持管理事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 7 | 4 | 4 | 目標 | 49 | 25 | 5 | 6 | 49 | 4 | 3 | 31 | 20 | | - | 基 | |
| 事業に関連するSDGs  | | ハード | | 細目 | 02-公園緑地等維持管理事業 | | | 実績 | 44 | | | | | | | | | | | | |
| ＜事業概要＞ 利用者が安全・安心・快適に利用できるよう公園緑地の整備、維持管理を行うとともに、地域住民の自主的な公園ボランティア活動を支援します。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 89.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | |
| | | 都市公園法、泉南市都市公園条例、泉南市公園施設長寿命化計画 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|----------------------|-----------------------|--|----------------------|--|----------------------|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1 長寿命化対策 ・遊具の更新 16公園 ・遊具の修繕 15公園 | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 2 維持管理 シルバー人材センター・区・自治会・造園業者等への委託及び職員による除草、剪定、清掃等 | | 1 長寿命化対策 ・施設の更新、修繕 | | 1 遊戯施設の更新、修繕 | | 1 遊戯施設の更新、修繕 | |
| | | 2 維持管理 ・除草、剪定、清掃等 | | 2 維持管理 ・除草、剪定、清掃等 | | 2 維持管理 ・除草、剪定、清掃等 | | 2 維持管理 ・除草、剪定、清掃等 | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 予算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| | | 93,361千円 | | 104,113千円 | | 68,677千円 | | 0千円 | |
| | | 国庫支出金 20,125千円 | | 国庫支出金 15,500千円 | | 国庫支出金 0千円 | | 国庫支出金 0千円 | |
| | | 府支出金 0千円 | | 府支出金 0千円 | | 府支出金 0千円 | | 府支出金 0千円 | |
| | | 市債 30,300千円 | | 市債 43,000千円 | | 市債 25,000千円 | | 市債 25,000千円 | |
| | | 其他 6,009千円 | | 其他 7,838千円 | | 其他 9,881千円 | | 其他 9,881千円 | |
| | | 決算書ページ 270ページ | | 予算書ページ 303ページ | | 予算書ページ 310ページ | | 一般財源 33,796千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 1.23人 | 正職員以外の 其他職員 0.32人 | 10,606千円 | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---|--|--|--|-------------------|--|--------------|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | ＜成果・課題＞ 【成果】 令和3年度に策定した「泉南市公園施設長寿命化計画」に基づき、遊具の改修・更新を行った。 【課題】 都市公園が136公園、ちびっこ広場が10箇所及びびりんくうタウン内の緑地28ブロックに加え、各地域の緑地を管理しており、多額な維持管理費が毎年必要となっている。また、自治会等に公園の管理を委託しているが、担い手の高齢化等の理由により継続が困難になりつつある。さらに各公園や緑地等の除草や樹木の剪定を計画的・後逸的に実施していく必要がある。 | | 令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 各公園等の除草・剪定業務を計画的に実施していくため、現場担当職員として、任期付職員を2名雇用。自治会等による公園・緑地等の管理に対し、草刈機の貸し出しを開始する。 | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| | | 1 現状維持 ○ | | 草刈等の現場体制の維持・強化を図り、市内各公園の除草・剪定業務を計画的・効率的に実施していく。公園管理における自治会等地元との協力体制を維持するため、負担を軽減するための措置を検討していく。 | | 2 見直して継続 | | | | |
| | | | | 重点化 | | | | | | |
| | | | | 手段改善 | | | | | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | |
| | | | | 規模縮小 | | | | | | |
| | | | | 事業統合 | | | | | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | |
| | | | | 4 完了 | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|-------|----------------|-------------|------|---------------------------------------|---------|-----------------------|------|------|--|--------|--------|-----|-------|-----------------|-------|---------|-----|-------|----------|------|-----|----|----------|----|-----|------|----------|--------|--------|-----|-------|----------|------|-----|----|-----------|----|-----|------|----------|--------|--------|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい | | 新規 | | 担当課名 | 住宅公園課 | | | 指標名 | 市営住宅耐震化率(用途廃止予定の住宅除く) | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ③ 住まいの提供 | | 継続 | ○ | 予算 | 会計名 | 一般会計 | | | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 市営住宅建替事業 | | ソフト | | | 款項目 | 7 | 5 | 1 | | 目標 | 61 | 61 | 61 | 81 | 100 | | | | | | | | | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 04-市営住宅建替事業 | | | 実績 | 61 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 未耐震棟入居者の住替えを推進するとともに、長寿命化計画に基づき未耐震棟の建替えを実施します。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 100% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 公営住宅法、市営住宅整備基準条例、泉南市営住宅長寿命化計画 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 前畑住宅2、3、8、10号棟の建替え ・建替基本・実施設計 ・建替用地測量 ・府営前畑住宅への仮移転戸数:10戸 2 住替え移転 ・前畑住宅内または宮本住宅内での住替え戸数:14戸 | | 1 前畑住宅2、3、8、10号棟の建替え ・建替基本・実施設計 ・建替用地購入 ・府営前畑住宅への仮移転 2 住替え移転 ・前畑住宅内または宮本住宅内での住替え | | | | | 1 前畑住宅2、3、8、10号棟の建替え ・新住棟建設工事(第1期) | | | | | 1 前畑住宅2、3、8、10号棟の建替え ・新住棟建設工事(第1期) ・新住棟建設工事(第2期) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 国庫支出金 | 5,232千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 3,400千円 | 其他 | 0千円 | 一般財源 | 8,269千円 | 決算書ページ | 275ページ | 正職員 | 0.90人 | 正職員以外の その他職員 | 0.24人 | 7,780千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 29,098千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 26,100千円 | 其他 | 0千円 | 一般財源 | 12,475千円 | 予算書ページ | 312ページ | 予算額 | 国庫支出金 | 81,051千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 179,900千円 | 其他 | 0千円 | 一般財源 | 19,066千円 | 予算書ページ | 317ページ |
| 職員数/人件費 | | 方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---|--|--|---|--|--|---|--|--|--|--|--|--------------|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 成果 令和7年度から建替工事に着手するため、設計業務や測量業務を実施した。 未耐震住棟入居者の仮移転及び住替え移転の推進により、住まいの安全確保を図った。 課題 建替基本・実施設計は、引き続き住宅整備基準や入居予定者に配慮した住戸配置、間取り、設備を検討する。残る未耐震住棟入居者の全戸移転を早期に完了し、住まいの安全確保を図る必要がある。 | | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 設計業務は、省エネルギー化による環境面の配慮など、引き続き様々な検討を行い内容を決定する。移転先となる住宅の修繕を早期に行い、未耐震住棟入居者の移転を完了する。 | | | Action 4 | | | 事業の方向性 | | | 事業の方向性と取組の内容 | | | 備考 |
| | | | | | | | | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | | 仮移転先の府営前畑住宅の使用許可が令和9年度内となるため、現在計画している令和7年度工事着手から令和9年度上半期中に工事を完了させ、仮移転入居者の居住環境を整えていく。 | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|------------------------------|---|------|----------------|--------------|----------------|-----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|--|
| ○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい | | 新規 | | 担当課名 | 住宅公園課 | 指標名 | 空家等除却工事補助金交付件数 | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ③ 住まいの提供 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 | 空家対策事業 | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 7 | 5 | 2 | 目標 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 件 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 01-空家対策事業 | | | 実績 | 2 | | | | | | | | | |
| <事業概要> 市内の空き家等が年々増加する中、泉南市空家等対策計画に基づき、空家対策の総合的な取組を推進します。 | | 市単独 | | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 66.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
|  | | 空家等対策の推進に関する特別措置法、泉南市空家等対策計画 | | | | | | 達成度 | B | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|----------|-----------------|-------|--|--------|--------|--------|--|---------|---------|--------|--|-----|-------|-----------------|-------|---------|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1 空家等対策計画の推進 ・適正な管理の促進 (管理不全な空き家の所有者への通知 67件) ・利活用に関する啓発 (固定資産税納税通知に啓発チラシ同封) ・所有者等に対する助言及び指導 ・危険な空き家発生の未然防止 (老朽空家除却減免 2件) ・空家等除却工事補助金の交付 (老朽危険空家等除却工事補助金 2件) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | |
| | 1 空家等対策計画の推進 ・適正な管理の促進 ・利活用に関する啓発 ・所有者等に対する助言及び指導 ・危険な空き家発生の未然防止 ・特定空家等の危険個所の除去や除却 ・空家等除却工事補助金の交付 | | | | 1 空家等対策計画の推進 ・適正な管理の促進 ・利活用に関する啓発 ・所有者等に対する助言及び指導 ・危険な空き家発生の未然防止 ・空家等除却工事補助金の交付 | | | | 1 空家等対策計画の推進 ・適正な管理の促進 ・利活用に関する啓発 ・所有者等に対する助言及び指導 ・危険な空き家発生の未然防止 ・空家等除却工事補助金の交付 | | | | 1 空家等対策計画の推進 ・適正な管理の促進 ・利活用に関する啓発 ・所有者等に対する助言及び指導 ・危険な空き家発生の未然防止 ・空家等除却工事補助金の交付 | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 500千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | 其他 | 0千円 | 一般財源 | 710千円 | 決算書ページ | 276ページ | 正職員 | 0.45人 | 正職員以外の その他職員 | 0.48人 | 5,061千円 |
| | 1,210千円 | 10,141千円 | 4,881千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 5,260千円 | 9,735千円 | 4,641千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 5,094千円 | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.45人 | 正職員以外の その他職員 | 0.48人 | 5,061千円 | 313ページ | 318ページ | 318ページ | 5,094千円 | 318ページ | 5,094千円 | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--------------------------|--|---|---|-------------------|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 【成果】 ・老朽空家を除却した土地の固定資産税等の減免制度や老朽危険空家等の除却費用の一部補助制度を新設し、空き家所有者等に対して、補助制度の充実を図った。 【課題】 相続放棄や所在不明等による所有者の対応が期待できない空き家への対応が必要である。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 相続財産清算人・不在者財産管理人の選任や略式代執行を実施する。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | 事業の方向性 | 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 空家等の除却に関する補助制度等の充実を図り、危険な空き家の発生を抑制し、また、所有者による対応が望めない空き家等については、代執行を含めた各種行政処分の実施による対応を強化していく。 | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|------------------------------|------------------------------|---|------------------------------|------------------------------|------------------------------|--|------------------------------|------------------------------|------------------------------|---|--|---|
| 分野別政策 | 4 | 『健幸』を築く・つながりをひろげる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①安心できる医療環境づくり ◇公民共に連携強化を図り、広域での医療体制・救急救命力の強化に取り組みます。 ◇医療と介護の連携を強化し、在宅医療・介護の充実を図ります。 ②健康づくりの推進 ◇各種健診・検診の周知及び受診率・予防接種率の向上を図り、健康づくりにつなげる支援を行います。 ◇企業や関係機関との連携により、市民の主体的な健康づくりを促進します。 ◇国民健康保険、後期高齢者医療等の制度の垣根を越えて一体的に栄養・運動・口腔ケア等に関する保健事業を実施することで、将来の介護予防につなげます。 ◇ゲートキーパーの育成をはじめ、市民のこころの健康づくりを推進します。 |
| 施策 | 16 | 医療・健康 |  | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 誰もがいきいきと健康に暮らせるまち | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値(R3) | | 目標値(R14) | | 備考 | | | | | | |
| | 健康寿命 | | 男性:78.1歳 女性:83.2歳 | | 大阪府 平均以上 | | 大阪府算出直近データを現状値とする 令和2年の大阪府平均は男性79.32歳(差-1.22歳)、女性は83.85歳(差-0.65歳) | | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | | |
| 目標 | 男性 79.06歳 女性 83.75歳 | 男性 79.32歳 女性 83.85歳 | 男性 79.32歳 女性 83.85歳 | 男性 79.32歳 女性 83.85歳 | 男性 79.32歳 女性 83.85歳 | 男性 79.32歳 女性 83.85歳 | 男性 79.32歳 女性 83.85歳 | 男性 79.32歳 女性 83.85歳 | 男性 79.32歳 女性 83.85歳 | 男性 79.32歳 女性 83.85歳 | 大阪府の健康寿命を目標とする。ただし、数値の公表が2年後のため、令和5年度は令和3年度の数値で評価を行う。 | | |
| 実績 | 男性 78.7歳 女性 83.4歳 | | | | | | | | | | 基準値(令和2年度) 男性:78.1歳 女性:83.2歳 | | |
| 達成率 | 男性 99.5% 女性 99.6% | 男性 0.0% 女性 0.0% | 男性 0.0% 女性 0.0% | 男性 0.0% 女性 0.0% | 男性 0.0% 女性 0.0% | 男性 0.0% 女性 0.0% | 男性 0.0% 女性 0.0% | 男性 0.0% 女性 0.0% | 男性 0.0% 女性 0.0% | 男性 0.0% 女性 0.0% | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 4-16-① 泉州医療圏二次救急医療対策事業【健康子ども部】 4-16-① 泉州南部初期急病センター運営補助事業【健康子ども部】 4-16-② 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業【福祉保険部】 4-16-② 予防接種事業【健康子ども部】 4-16-② 成人健康増進事業【健康子ども部】 4-16-② 成人健康診査事業【健康子ども部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる ○ 施策 16 医療・健康 ○ 主な取組 ① 安心できる医療環境づくり | | 事業区分 新規 <input type="checkbox"/> 担当課名 保健推進課 継続 <input type="checkbox"/> 会計名 一般会計 ソフト <input type="checkbox"/> 予算 款項目 4 1 2 ハード <input type="checkbox"/> 細目 04-泉州医療圏二次救急医療対策事業 市単独 <input type="checkbox"/> (関係法令・市条例・計画等) 泉州医療圏二次救急医療対策事業に関する覚書 | | | 事務事業に関する活動指標 指標名 休日・夜間の病院運営日数 備考 泉州医療圏の救急医療を提供できる体制を確保。(休日・夜間の病院運営日数を確保) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|---|-----|-----|--|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|--|--|--|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|----|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|-----|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 事務事業名 泉州医療圏二次救急医療対策事業 事業に関連するSDGs | | | | | <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> <th>R13</th> <th>R14</th> <th>単位</th> <th rowspan="4">備考</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>437</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>439</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 備考 | 目標 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 日 | 実績 | 439 | | | | | | | | | | 日 | 達成率 | 100.0% | | | | | | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |
| 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 437 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実績 | 439 | | | | | | | | | | 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(試算) 病院群輪番制病院運営事業(20病院)患者数:集計中 小児救急医療支援事業(8病院)患者数:集計中 (診療日数:休日72日、夜間365日、年間437日) 令和5年度 病院群輪番制病院運営事業(20病院)患者数:80,700人 小児救急医療支援事業(8病院)患者数:13,390人 (診療日数:休日73日、夜間366日、年間439日) 令和4年度 病院群輪番制病院運営事業(20病院)患者数:81,576人 小児救急医療支援事業(8病院)患者数:11,476人 (診療日数:休日72日、夜間365日、年間437日) 令和3年度 | | | 令和6年度(令和6年3月) 8市4町は、泉州医療圏における休日診療所からの後送患者と、消防隊からの搬送患者を受け入れる二次救急医療機関に対し、二次救急医療対策事業運営補助金を交付し、もって円滑な救急医療対策を確保するために協力して事業を行う。 | | | 令和7年度 8市4町は、泉州医療圏における休日診療所からの後送患者と、消防隊からの搬送患者を受け入れる二次救急医療機関に対し、二次救急医療対策事業運営補助金を交付し、もって円滑な救急医療対策を確保するために協力して事業を行う。 | | | 令和8年度以降 8市4町は、泉州医療圏における休日診療所からの後送患者と、消防隊からの搬送患者を受け入れる二次救急医療機関に対し、二次救急医療対策事業運営補助金を交付し、もって円滑な救急医療対策を確保するために協力して事業を行う。 | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | | 予算額 | | | 予算額 | | | 予算額 | | |
| | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | | |
| 決算書ページ 229ページ | | 一般財源 2,390千円 | | | 2,582千円 | | | 2,575千円 | | | 2,575千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.01人 正職員以外の その他職員 0.00人 78千円 | | | 246ページ | | | 249ページ | | | 249ページ | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---|--|--|--|--|--|---|--|--|----|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | | Action 4 | | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | 備考 | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <改善内容> 救急搬送人員は、今後高齢化の影響で増加するものと思われる。一部の医療機関に過度な負担が集中することのないよう、支援を図る。 | | | 1 現状維持 <input type="checkbox"/> 2 見直して継続 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/> 効率化(コストダウン) <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 3 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 4 完了 <input type="checkbox"/> | | | 住民ニーズや期待の増大、医師の不足や疲弊、救急医療の不採算性等、救急医療を取り巻く現状は依然として厳しいが、それを受け入れる二次救急告示病院を確保できるよう調整する。 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|----------------|-----------------------|-----|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|---|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 16 医療・健康 | | 新規 | | 担当課名 | 保健推進課 | | 指標名 泉州南部初期急病センター受診者数 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ① 安心できる医療環境づくり | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | 目標 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 泉州南部初期急病センター受診者数 | |
| 事務事業名 泉州南部初期急病センター運営補助事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 4 | 1 | 2 | 目標 | 1,239 | 1,239 | 1,239 | 1,239 | 1,239 | 1,239 | 1,239 | 1,239 | 1,239 | 1,239 | | 人 |
| <事業概要> 3市3町は、泉州地域における初期救急体制を確保するため、泉州南部初期急病センターが運営する事業に対し、当該事業費等を負担することにより、地域住民に対する円滑な初期救急事業を提供する。3市3町は、当該事業に泉佐野市が事業に要する決算額による収支差引額が黒字場合は分配を受け、赤字の場合は負担する。 | | ハード | | 細目 | 05-泉州南部初期急病センター運営補助事業 | | 実績 | 1,239 | | | | | | | | | | | | 人 |
| | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--|---|--|---|--|---------|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和2年度診療科別患者数 (泉南市/3市3町) 診察日数170日 331人/1,931人 (内科170人/944人、小児科161人/987人) 令和3年度診療科別患者数 (泉南市/3市3町) 診察日数171日 358人/2,262人 (内科122人/774人、小児科236人/1,488人) 令和4年度診療科別患者数 (泉南市/3市3町) 診察日数169日 625人/3,446人 (内科214人/1,188人、小児科411人/2,258人) 令和5年度診療科別患者数 (泉南市/3市3町) 診察日数172日 1,239人/7,067人 (内科534人/3,474人、小児科 705人/3,593人) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 広域的に対応する泉州南部急病センターにおいて、来所した軽症患者の中に混じる中等症以上の患者を即座に後送できる体制を整え、軽症患者の初期診察への誘導、医師の負担の軽減、後送バックアップ体制強化による診察機能の充実を図る。 | | 広域的に対応する泉州南部急病センターにおいて、来所した軽症患者の中に混じる中等症以上の患者を即座に後送できる体制を整え、軽症患者の初期診察への誘導、医師の負担の軽減、後送バックアップ体制強化による診察機能の充実を図る。 | | 広域的に対応する泉州南部急病センターにおいて、来所した軽症患者の中に混じる中等症以上の患者を即座に後送できる体制を整え、軽症患者の初期診察への誘導、医師の負担の軽減、後送バックアップ体制強化による診察機能の充実を図る。 | | | |
| 事業の財源 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 229ページ 一般財源 6,954千円 | | 予算額 6,730千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 246ページ 一般財源 6,730千円 | | 予算額 101千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 249ページ 一般財源 101千円 | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.01人 正職員以外の その他職員 0.00人 78千円 | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | |
|--------------------------|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 日曜、休日、土曜日夜間、木曜夜間に診療体制を確保することで、地域住民の急病等(内科、小児科)に対する救急医療体制を整え、休日・夜間の一般医療機関が診療できない時間帯の診療体制を強化することにより、救急医療体制の充実を図る。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 医師不足による医師の負担は泉州医療圏でも顕著であり、医師会協力のもと医師の確保に苦慮している。後送病院の不足があり、バックアップ体制を強化する必要がある。今後、医師会、医療機関との連携を強化していく必要がある。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 |
| | 事業の方向性と取組の内容 質の高い持続可能な二次救急医療をさらに確立する。 | | 備考 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------------------------------|---|----------------|---------------------------|---|-----|---------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|--|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 16 医療・健康 | | 新規 | | 担当課名 | 保険年金課 | | 指標名 | 健康診査受診率 | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ② 健康づくりの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 3 | 1 | 14 | 目標 | 21.6 | 21.6 | 22.6 | 23.6 | 24.6 | 25.6 | 26.6 | 27.6 | 28.6 | 29.6 | % | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 04-高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業 | | 目標値 | 実績 | 21.78 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 高齢者が地域で健康的な生活を送ることができるよう、保健事業と介護予防の一体的な実施により健康増進とフレイルに努める。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 100.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法 | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-------|---------------|---------------|------------------------------------|----------|-------|--|---------|---------------|----------|-----|--|---------|---------------|----------|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1 高齢者に対する個別的支援 ・低栄養の対象者29名に事業案内を送付。 初回訪問2名、2回目訪問1名、未返信者訪問9名 ・口腔フレイルの対象者91名のうち86名に事業案内を送付 初回訪問5名、2回目訪問4名、未返信者訪問17名 ・健康状態不明者の対象者145名のうち138名に事業案内を送付 未返信者訪問52名 2 通いの場等への積極的な関与 ・難聴講演会 2回開催 延べ150名参加 ・健康講話 13回開催 延べ263名参加 ・健康測定会 3回開催 延べ80名参加 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | | | | | |
| | 事業の財源 | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | | | | | |
| 決算額 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 367千円 | 367千円 | 決算書ページ 464ページ | 一般財源 0千円 | 正職員 1.00人 正職員以外の その他職員 1.00人 | 11,029千円 | 予算額 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,200千円 | 2,200千円 | 予算書ページ 209ページ | 一般財源 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,200千円 | 2,200千円 | 予算書ページ 211ページ | 一般財源 0千円 |
| 職員数/人件費 | 正職員 1.00人 正職員以外の その他職員 1.00人 | 1.00人 | 1.00人 | 1.00人 | 11,029千円 | 11,029千円 | 方向性 | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|-----------|---|--|--------------|---|--|
| 事務事業の改善内容 | <成果・課題> ・低栄養で評価までできた1名については、蛋白質の摂取を心掛け体重増加・握力増強につながり改善が見られた。 ・口腔で、初回面接で歯科の受診勧奨を行い、受診につながったのは3名(60%)であった。歯科衛生士が訪問することで、口腔状態に合わせた個別の歯科指導ができ、対象者の満足度が高かった。その結果受診につながっている。 ・健康状態不明者では元気に過ごされている方がおられる反面、医療機関にかかりたくない方も多く、高齢者の実態把握を継続していく必要がある。訪問時期が年末から2月になり、年度末評価をKDBシステムで確認できなかった。 ・難聴講演会では1回目を保健センターで実施し、44名の参加があり、対象者の関心の高さが見受けられた。そのため、2回目はより大きい会場(イオンモールりんくう泉南)にて開催し、100名定員に対し、106名の参加となった。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 低栄養や口腔など個別的支援で介入できた方には、効果・改善が見られた。そのため介入者の増加につながるよう、事業案内がわかりやすいものに工夫したり、家庭訪問以外にも支援できるよう健康測定会を実施し参加勧奨を行う。 健康状態不明者の訪問時期を早めて、評価を年度内に行えるようにする。 75歳の新規加入者を訪問することで、健康診査・歯科健康診査等の受診勧奨を行うとともに、健康づくりや包括支援センターの情報提供が網羅的に実施できる。 令和6年度より、保健師・管理栄養士に加えて歯科衛生士の毎日勤務により、より一層タイムリーにオーラルフレイルについても支援が可能となる。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | Check 3 | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 個別の支援については、前年度の健診結果から対象者が抽出されるため、健康診査・歯科健康診査の受診率向上が必須となる。新規加入者の訪問時に声をかけ、ポピュレーションアプローチ等の機会に受診勧奨を継続していく。フレイル認知度がフレイル予防への行動変容につながるポピュレーションアプローチの評価指標の1つであるため、フレイル予防を目的に、健康教室や健康相談を実施し、フレイル認知度の向上を目指す。 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------|---|----------------|--------------|---|-------------------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|------|---|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 16 医療・健康 | | 新規 | | 担当課名 | 保健推進課 | | 指標名 麻しん・風しん予防接種(第2期)接種率 | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ② 健康づくりの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 定期予防接種の中でも国が95%を目標としている第2期の麻しん・風しん予防接種接種率を指標とする。 | | |
| 事務事業名 予防接種事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 4 | 1 | 4 | 目標 | 81.3 | 83.3 | 85.3 | 87.3 | 89.3 | 91.3 | 93.3 | 95.3 | 97.3 | | 99.3 | % |
| <事業概要> 予防接種法に基づく予防接種を実施し、感染症のまん延予防と個人の重症化予防を図る。 | | ハード | | 細目 | 01-予防接種事業 | | 実績 | 81.3 | | | | | | | | | | | | % |
| 事業に関連するSDGs | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | |
| | | 予防接種法 | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) 1 予防接種法に基づく定期接種の実施 (A類疾病) ロタウイルス、B型肝炎、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・急性灰白髄炎)、結核、麻しん・風しん、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス (B類疾病) インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症 2 周知啓発 ・対象者及び未接種者への個別勧奨 (A類疾病:10,011件 B類疾病:3,100件) ・広報紙、ホームページ、せんくまっこナビ(母子アプリ) 3 個別相談 51件(償還、長期療養、コッホ現象、健康被害救済等) 4 実績 ・結核(BCG)…集団接種(月1回)345人(接種率91.8%) ・高齢者のインフルエンザ…個別接種7,784人(接種率44.2%) | | | | 令和6年度(令和6年3月) 1 予防接種法に基づく定期接種の実施 (A類疾病) ロタウイルス、B型肝炎、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、五種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・急性灰白髄炎・Hib感染症)、四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・急性灰白髄炎)、結核、麻しん・風しん、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス (B類疾病) インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症、新型コロナウイルス感染症 2 周知啓発 ・対象者及び未接種者への個別勧奨 ・広報紙、ホームページ、せんくまっこナビ(母子アプリ) 3 個別相談 | | | | 令和7年度 1 予防接種法に基づく定期接種の実施 (A類疾病) ロタウイルス、B型肝炎、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、五種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・急性灰白髄炎・Hib感染症)、結核、麻しん・風しん、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス (B類疾病) インフルエンザ、帯状疱疹定期予防接種、高齢者の肺炎球菌感染症、新型コロナウイルス感染症 2 周知啓発 ・対象者及び未接種者への個別勧奨 ・広報紙、ホームページ、せんくまっこナビ(母子アプリ) 3 個別相談 | | | | 令和8年度以降 1 予防接種法に基づく定期接種の実施 (A類疾病) ロタウイルス、B型肝炎、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、五種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・急性灰白髄炎・Hib感染症)、結核、麻しん・風しん、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス (B類疾病) インフルエンザ、帯状疱疹定期予防接種、高齢者の肺炎球菌感染症、新型コロナウイルス感染症 2 周知啓発 ・対象者及び未接種者への個別勧奨 ・広報紙、ホームページ、せんくまっこナビ(母子アプリ) 3 個別相談 | | | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 1,825千円 府支出金 372千円 市債 0千円 その他 0千円 146,141千円 決算書ページ 232ページ 一般財源 143,944千円 | | | | 予算額 国庫支出金 3,320千円 府支出金 542千円 市債 0千円 その他 0千円 177,110千円 予算書ページ 248ページ 一般財源 173,248千円 | | | | 予算額 国庫支出金 1,478千円 府支出金 500千円 市債 0千円 その他 0千円 227,906千円 予算書ページ 252ページ 一般財源 225,928千円 | | | | | | | |
| 職員数/人件費 正職員 1.40人 正職員以外の その他職員 0.40人 12,698千円 | | | | | | | | | | | | 方向性 ↑ | | | |

評価

| | | | | |
|---|--|---|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 <成果・課題> 予防接種法に基づく定期接種を実施した。実施にあたっては、予防接種台帳の作成、対象者に対する周知、予防接種実施状況の把握による未接種者への接種勧奨を行い、また予防接種を受ける体制の整備を行った。 A類疾病については、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種の勧奨通知の実施に加えて、小中学校と連携を図り、予防接種の接種勧奨と子宮頸がん予防の啓発チラシの配布を行った。 B類疾病については、高齢者肺炎球菌予防接種対象者に、個別通知を行い、接種勧奨を行った。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> A類疾病については、新規で五種混合等が4月から開始するため、円滑な実施体制の導入を図る。また、風しんの追加的対策のため、クーポン券を送付し、風しん抗体が低い方の接種促進を図る。 B類疾病については、新型コロナウイルス感染症が定期接種で秋接種が開始予定のため、円滑な実施体制を整える。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 国からの新たな予防接種の追加に適宜対応する。 | 備考 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|-------|-----------------|--------------|----------|---|---------|------|---------|------|--|------|---------|------|---------|------|---------------------------------|-------|---------|--|---------|----|---------|-----|---------|--|---------|-----|---------|---------|---------|--|---------|------|---------|---------|---------|--|---------|------|--|---------|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 16 医療・健康 | | 新規 | | 担当課名 | 保健推進課 | | 指標名 健康教室参加者数 | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ② 健康づくりの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 毎年 各種健康教室参加者 数(ゲートキーパー含む) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 成人健康増進事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 4 | 1 | 5 | 目標 | 274 | 284 | 294 | 304 | 314 | 324 | 334 | 344 | 354 | | 364 | 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 01-成人健康増進事業 | | 実績 | 274 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 市民が自らの健康を意識し、生活習慣の見直しや改善に取り組み始めるよう関係機関と連携し、環境整備を行い、健康づくりを支援する。 また、誰も自殺に追い込まれることのない泉南市を目指し、泉南市自殺対策計画に基づき自殺対策を支える人材(ゲートキーパー)の育成に取り組む。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 健康増進法、健康せんなん21、食育推進計画、自殺対策基本法、泉南市自殺対策計画 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 1. 地域におけるネットワークの強化 ・健康づくりボランティア(食生活改善推進協議会・道草会)の活動支援を実施(12回 延べ174人) 2. 人材育成 ・ゲートキーパーの養成(2回、34人) ・ヘルスマイト養成講座の実施(参加延べ46人) 3. 住民への啓発と周知 ・こころの健康に関するリーフレットを作成し、配布。 ・栄養だよりを年4回発行し、食に関する知識の啓発を実施。 4. 居場所づくり、相談体制の充実 ・健康相談(延べ136人) ・健康教室(5教室 延べ240人) 5. 高齢者対策、生活困窮者対策、勤務・経営者対策の充実 泉南市自殺対策推進本部会議をはじめ、各種連絡会により関係機関の連携強化及び事例を通じた協議・調整を実施。 | | | | | 各分野について、ライフステージ別に取組みを行う 1. 栄養・食生活 2. 運動・身体活動 3. 休養・こころの健康づくり 4. 地域交流 5. 歯と口腔の健康 6. アルコール 7. たばこ 8. 健康診査と健康管理 ※若年がん患者の在宅におけるターミナルケアの支援のための若年がん患者在宅療養支援事業を開始 | | | | | 各分野について、ライフステージ別に取組みを行う 1. 栄養・食生活 2. 運動・身体活動 3. 休養・こころの健康づくり 4. 地域交流 5. 歯と口腔の健康 6. アルコール 7. たばこ 8. 健康診査と健康管理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | | 470千円 | 府支出金 | | 470千円 | 市債 | | 0千円 | 市債 | | 0千円 | その他 | | 0千円 | その他 | | 9,823千円 | 予算書ページ | | 250ページ | 一般財源 | | 1,256千円 | 予算書ページ | | 254ページ | 一般財源 | | 1,070千円 |
| | | 1,945千円 | | 府支出金 | 376千円 | 11,579千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | 1,540千円 | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.70人 | 正職員以外の その他職員 | 0.40人 | 6,687千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---|--|---|-------------|---|--------------|----------|--|-------------------|--|--|--|--|----|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 健康教室について、保険年金課と共催にて実施(循環器疾患予防教室)する等、参加者数の増加のための取組を実施しているが、参加者数は横ばいであり、開催方法や周知方法の検討が必要である。 自殺対策については、地域におけるネットワークの強化のため、庁内及び関係機関との会議等を実施し、ゲートキーパーの養成では、職員及び市民向けにそれぞれ研修を実施した。また、市民向けのこころの健康講座として睡眠をテーマに実施し、例年より多くの参加があった。子どもへの取組として、小学5・6年生及び中学生への相談窓口リーフレットの配布や教員向けの研修を実施した。 | | | 令和6年度の改善の取組 | | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | | 備考 | | | |
| | | <改善内容> 健康教室の対象者が参加しやすい日時を設定し、新たな参加者及び参加者数の増加を図る。 自殺対策については、自殺対策を支える人材を育成するため、引き続きゲートキーパー養成研修を実施する。 また、住民がこころの健康について理解し、また必要に応じて相談できる窓口を把握できるよう、周知啓発を行う。 | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | | | | | | | |
| | | 1 現状維持 | | ○ | | 引き続き住民の健康づくりを支援するため、健康に関する取組を実施し、より多くの住民に啓発するため、リーフレットに加えてSNSの活用等、より効果的な方法を検討する必要がある。 | | | | | | | | | | | | |
| | | 2 見直して継続 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 重点化 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 手段改善 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 規模縮小 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事業統合 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3 休止・廃止 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4 完了 | | | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|----------------|--------------|-----|--|-------|-------|-------|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|------|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 16 医療・健康 | | 新規 | | 担当課名 | 保健推進課 | | 指標名 がん検診受診率 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ② 健康づくりの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 胃・大腸・肺・子宮・乳がん検診の受診率の平均 (令和5年度より対象者数の算出を変更) | |
| 事務事業名 成人健康診査事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 4 | 1 | 5 | 目標 | 12.02 | 12.04 | 12.06 | 12.08 | 13.00 | 13.02 | 13.04 | 13.06 | 13.08 | 14.00 | | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 02-成人健康診査事業 | | 実績 | 12.62 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 健康増進法(19条の2)に基づき健康増進事業(市町村事業)としてがん検診(胃・大腸・肺・子宮・乳)検診を実施する。また、基本健康診査と保健指導(30歳代と生活保護受給者)、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診を実施する。他に前立腺がん検診、石綿肺病調査を実施する。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 105.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 0.0% |
| 健康増進法、健康せんなん21計画 | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | |
| 1. がん検診 集団検診・個別検診実施 ・胃がん検診(個別、集団17回、受診者数807人) ・大腸がん検診(個別、集団17回、受診者数2483人) ・肺がん検診(集団17回、受診者数1073人) ・乳がん検診(個別、集団11回、受診者数1195人) ・子宮がん検診(個別、集団9回、受診者数1774人) ・内、日曜日(4回)、特定健診同時実施(6回) 2. 啓発・受診勧奨 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 子宮がん検診無料クーポン送付:20歳女性 358件 乳がん検診無料クーポン送付:40歳女性 317件 個別勧奨通知:561件 | | 1. 健康せんなん21 第3次健康増進計画策定 2. がん検診 集団検診・個別検診実施 ・日曜日、特定健診同時実施 ・協会けんぽとの合同検診 3. 啓発・受診勧奨 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 子宮がん検診無料クーポン送付 20歳女性市民 乳がん検診無料クーポン送付 40歳女性市民 個別勧奨通知 ・官民連携で、生命保険会社加入者へ がん検診受診勧奨 ・医師会等の連携で地域健康講座を開催 ・市民ボランティア養成、活動支援 | | | | | 1. がん検診 集団検診・個別検診実施 ・日曜日、特定健診同時実施 ・協会けんぽとの合同検診 2. 啓発・受診勧奨 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 子宮がん検診無料クーポン送付 20歳女性市民 乳がん検診無料クーポン送付 40歳女性市民 個別勧奨通知 | | | | | 1. がん検診 集団検診・個別検診実施 ・日曜日、特定健診同時実施 ・協会けんぽとの合同検診 2. 啓発・受診勧奨 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 子宮がん検診無料クーポン送付 20歳女性市民 乳がん検診無料クーポン送付 40歳女性市民 個別勧奨通知 | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 予算額 | | | | | 予算額 | | | | | 予算額 | | | | | | | | |
| 決算額 | | 国庫支出金 658千円 | | | | | 国庫支出金 845千円 | | | | | 国庫支出金 804千円 | | | | | | | | |
| 51,012千円 | | 府支出金 2,512千円 | | | | | 府支出金 3,345千円 | | | | | 府支出金 3,425千円 | | | | | | | | |
| | | 市債 0千円 | | | | | 市債 0千円 | | | | | 市債 0千円 | | | | | | | | |
| | | その他 968千円 | | | | | その他 966千円 | | | | | その他 1,054千円 | | | | | | | | |
| 決算書ページ 235ページ | | 一般財源 46,874千円 | | | | | 一般財源 49,148千円 | | | | | 一般財源 50,595千円 | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 1.60人 正職員以外の その他職員 0.60人 14,649千円 | | | | | 正職員 1.60人 正職員以外の その他職員 0.60人 14,649千円 | | | | | 正職員 1.60人 正職員以外の その他職員 0.60人 14,649千円 | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|-------------|---|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| 事務事業の改善内容 | | <改善内容> 受診希望者の多い特定健診同時実施(胃・大腸・肺がん検診)の回数を増やし、また新たな取組として、特定健診と乳がん検診の同時実施を行うことで、受診者数の増加を図る。 協会けんぽと、個別検診の周知について連携を図り、受診勧奨を行う。 | | 1 現状維持 | 事業の方向性 事業の方向性と取組の内容 | | |
| Check 3 | | | | 2 見直して継続 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、各がん検診の受診者数が減少し、その後徐々に受診者数は改善しているが、依然受診率は低迷している。 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業補助金を活用した個別通知や、チラシ配布等による受診勧奨を行い、受診率向上に向けた取組を行う必要がある。 また、受診率やプロセス指標により、検診の精度の現状を把握し、必要に応じて改善を図る。 | | |
| | | | | 重点化 | | | |
| | | | | 手段改善 | ○ | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | | |
| | | | | 規模縮小 | | | |
| | | | | 事業統合 | | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | | |
| | | | | 4 完了 | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|------------------|--|------|-----------|------|----------------------------------|------|------|------|-----|----|---|
| 分野別政策 | 4 | 『健幸』を築くつながりをひろげる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①地域共生社会の実現 ◇「属性を問わない相談支援」や「地域づくりに向けた支援」等を「多機関協働」により、一体的かつ重層的に整備する支援体制を構築し、誰一人取り残さない地域の実現を図ります。 ◇市民主体の地域での見守り活動を促進させるため、様々なニーズに適した効果的な情報発信により理解を促すとともに、活動の担い手の発掘や育成を促進し地域の支援体制の強化を図ります。 ◇成年後見制度に関する支援体制の強化を図るため、成年後見総合センターを中核機関として、地域における権利擁護の普及啓発や利用促進を進めます。 ②生活困窮者福祉の充実 ◇生活困窮者に対する緊急かつ一時的な各種給付や相談支援、就労支援により、その自立を支援します。 ◇生活困窮者やヤングケアラー、引きこもり等の把握に努め、自立に至るまでの支援を行います。 ◇貧困の連鎖により生活困窮に陥ることがないように、子どもに対する学習支援を行います。 |
| 施策 | 17 | 地域福祉・困窮者対策 |  | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 誰も取り残されることがない、やさしさあふれる支え合いのまち | | | | | | | | | | | | |
| | 生活困窮者に対する支援や、高齢者、障害のある人への生活支援・福祉サービス等、支援を必要とする人が誰一人取り残されることがなく、適切に利用できる体制づくりにより、やさしさがあふれる支え合いのまちづくりに取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値 (R3) | | 目標値 (R14) | | 備考 | | | | | | |
| | 就労達成者数 | | 27件 | | 55件 | | 生活困窮者等の未就労者が自立支援プログラムを受講し、就労した人数 | | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| | 目標 | 27 | 30 | 34 | 37 | 40 | 43 | 46 | 49 | 52 | 55 | | |
| | 実績 | 40 | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 148.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 4-17-① 成年後見制度利用促進事業【福祉保険部】 4-17-① 生活困窮者支援等のための地域づくり事業【福祉保険部】 4-17-② 自立相談支援事業【福祉保険部】 4-17-② 就労準備支援事業【福祉保険部】 4-17-② 家計改善支援事業【福祉保険部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------------------------------------|--------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 17 地域福祉・困窮者対策 | | 新規 | 担当課名 | 指標名 予測ニーズに対するの制度の利用割合 | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ① 地域共生社会の実現 | | 継続 | 長寿社会推進課 | 備考 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 成年後見制度利用促進事業 | | ○ | 会計名 一般会計 | 要介護認定者の内、日常生活自立度判定基準Ⅱ以上の独居高齢者と制度利用者の割合 | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ソフト | 款項目 3 1 1 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 % | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 成年後見制度の利用促進のため、総合窓口を開設するとともに、広報・啓発をおこない、また地域における権利擁護ネットワーク(協議会)を形成し、その運営する事業を委託する。 | | ハード | 細目 14-成年後見制度利用促進事業 | 目標値 | | | | | | | | | | | |
|  | | 市単独 | (関係法令・市条例・計画等) | 実績 | | | | | | | | | | | |
| | | 成年後見制度の利用の促進に関する法律 成年後見制度利用促進計画 | | 達成率 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| 泉南・田尻成年後見総合センターとして事業を行う 1. 広報・啓発活動 ・広報活動(7回)・講座、研修の実施(6回) 2. 相談業務 ・電話、来所、訪問に対応(64件) ・専門職による専門相談(61件) 3. 後見人支援 ・親族後見人を対象とした相談会(0件) ・サポートチームへの支援・0件 ・市民後見人の活動支援・1回 4. 協議会の運営 ・協議会(2回)・運営協議会(3回)・検討部会(12回) ・成年後見制度の利用につなげた件数(7件) ※件数については、本市分のみを記載。 | | 泉南・田尻成年後見総合センターとして事業を行う 1. 広報・啓発活動 ・広報活動 ・講座、研修の実施 2. 相談業務 ・電話、来所、訪問に対応 ・専門職による専門相談 3. 後見人支援 ・親族後見人を対象とした相談会 ・サポートチームへの支援 ・市民後見人の活動支援 4. 協議会の運営 | | 泉南・田尻成年後見総合センターとして事業を行う 1. 広報・啓発活動 ・広報活動 ・講座、研修の実施 2. 相談業務 ・電話、来所、訪問に対応 ・専門職による専門相談 3. 後見人支援 ・親族後見人を対象とした相談会 ・サポートチームへの支援 ・市民後見人の活動支援 4. 協議会の運営 | | 泉南・田尻成年後見総合センターとして事業を行う 1. 広報・啓発活動 ・広報活動 ・講座、研修の実施 2. 相談業務 ・電話、来所、訪問に対応 ・専門職による専門相談 3. 後見人支援 ・親族後見人を対象とした相談会 ・サポートチームへの支援 ・市民後見人の活動支援 4. 協議会の運営 | |
| 事業の財源 | | 予算額 | | 予算額 | | 予算額 | |
| 決算額 国庫支出金 2,511千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 3,828千円 決算書ページ 191ページ 一般財源 4,519千円 | | 国庫支出金 2,563千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 5,314千円 予算書ページ 188ページ 一般財源 4,870千円 | | 国庫支出金 3,473千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 5,229千円 予算書ページ 189ページ 一般財源 3,839千円 | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.50人 正職員以外の その他職員 0.00人 3,889千円 | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---|--|---|--|---|--|---|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> <成果>令和5年度(事業初年度)においては、広報誌の折込チラシや地域啓発活動・研修会を行い、地域の住民に成年後見制度の仕組み等の説明を中心に行った。その結果相談件数も徐々に増え、下半期になれば支援関係者からの問い合わせが多く寄せられた。権利擁護の支援において、成年後見制度に対する関心が高くなったと考えられる。一方で、センター開設当初は情報による支援が中心となっていたが、下半期には申立て書類の作成等を丁寧に進めることが出来るようになり、継続支援が多くなった。 <課題>泉南・田尻成年後見センターの役割として、チーム支援を積極的に行い、高齢、障害分野の各支援機関を中心に連携し、支援内容の充実を図っていくことが必要である。 | | <改善内容> ・引き続き、泉南・田尻成年後見センターの普及啓発に努められるように、左記の内容の通り実施していく。 ・後見人の支援機能を強化するため、親族後見人に対して相談会の場を設定する。次に、サポートチームへの支援については、関係機関等のケース会議へ積極的に参加し、情報共有・助言等を行っていく。 | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 ・普及啓発を基本に、出前講座の機会を増やし、権利擁護に対する知識向上を目指し、研修の機会を確保していく。 ・市民後見人の活動支援業務について、親族・市民後見人からの相談対応や、裁判所への提出書類作成支援等の活動支援を実施し、市民後見人のサポート体制を構築していく。 | | | |
| Check 3 | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------|---|----------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 17 地域福祉・困窮者対策 | | 新規 | | 担当課名 | 新規福まちサポートリーダー数 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ① 地域共生社会の実現 | | 継続 | ○ | 会計名 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 生活困窮者支援等のための地域づくり事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 目標 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 人 | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 実績 22 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 泉南市として生活福祉課が長寿社会推進課で実施していた福まちサポートリーダーの養成を引き継ぎ、持続可能な地域のつながりを作り、将来的な民生委員や地区福祉委員の担い手となる人を増やしていく。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | |
|  | | 社会福祉法 | | | 達成率 110% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 達成度 A | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--------|-----------------|-------|--|-----|--------|-------|--|--------|-------|--------|--|--|------|-------|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 市民に向けて福まちサポートリーダー-養成講座を8回実施。新たに福まちサポートリーダーを22人認定し地域づくりを進めた。既に認定済みの方に対し、フォローアップ研修を1回実施し、現状の悩みや状況把握を行い、継続的に続けてもらうよう努めた。 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| | 福まちサポートリーダーの公募を行い、養成講座を年6回開催予定。新受講生及び既受講生による「趣味・興味」等の組織化を図る。 | | | | 福まちサポートリーダーの公募を行い、養成講座を年8回開催予定。新受講生及び既受講生による「趣味・興味」等の組織化を図る。 | | | | 福まちサポートリーダーの公募を行い、養成講座を年8回開催予定。新受講生及び既受講生による「趣味・興味」等の組織化を図る。 | | | | 福まちサポートリーダーの公募を行い、養成講座を年8回開催予定。新受講生及び既受講生による「趣味・興味」等の組織化を図る。 | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | | 国庫支出金 | 465千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 288千円 | 予算額 | | 国庫支出金 | 292千円 | / | | | |
| | 931千円 | | 府支出金 | 0千円 | 578千円 | | 府支出金 | 0千円 | 584千円 | | 府支出金 | 0千円 | | | | |
| | | 市債 | 0千円 | | | 市債 | 0千円 | | | 市債 | 0千円 | | | | | |
| | | その他 | 0千円 | | | その他 | 0千円 | | | その他 | 0千円 | | | | | |
| 決算書ページ | | 192ページ | 一般財源 | 466千円 | 予算書ページ | | 188ページ | 一般財源 | 290千円 | 予算書ページ | | 189ページ | | | 一般財源 | 292千円 |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 0.80人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 6,222千円 | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|--|---|-------------------------------|---|---|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 新たに福まちサポートリーダーとして22人を認定し、地域づくりを進めてきた。受講者は高齢者が多く、若い世代・子育て世代へと広げていく必要があるが、若い世代・子育て世代は忙しく、受講者を増やすことが難しい。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> PTA協議会や、子育て世帯に係る団体等を通じた周知活動を行うことで、新たな世代や年齢層等より多くの受講者を集める。 あわせて、チラシのレイアウトやキャッチフレーズを改善することや、申し込みを電子申請でも受け付けるように変更した。 また、介護事業所、障害事業所を中心に福まちサポートリーダーに関する啓発を行う。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 福まちサポートリーダーの養成は継続する。それとあわせ、将来的な民生委員をはじめとする地域の担い手不足を解消するため、福まちサポートリーダーとなった方々の協力を得る。福まちサポートリーダー養成講座内に民生委員に関する内容を十分に盛り込み、市民に広く民生委員の存在を認知していただく。 また、養成した福まちサポートリーダーに活躍できる場を提供するため、子どもの学習支援や子ども食堂のボランティア等について積極的に案内を行う等、福まちサポートリーダーが地域づくりを担う仕組みの提案等を行う。 | 備考 |
|--------------------------|--|---|-------------------------------|---|---|----|

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------|---|----------------|-------------|---|---|----|-----|--------|--|--|----|---|----|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 17 地域福祉・困窮者対策 | | 新規 | | 担当課名 | 生活福祉課 | | | | | 指標名 | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 生活困窮者福祉の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | 就労達成者数 | | | | | |
| 事務事業名 自立相談支援事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 3 | 1 | 1 | 目標 | | | | | 単位 | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 07-自立相談支援事業 | | | | | 実績 | | | | | 人 |
| <事業概要> 生活保護に至る前の段階で、就労支援等を中心に自立に向けた支援を行うことによって、課題がより複雑化・深刻化する前に自立の促進を図る。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | | | | | | |
|  | | 社会福祉法 | | | | | | | 達成度 | | | | | A | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|----------|--|---------|--------------------------------------|-----|--|--------|--------|-----|------|---------|--------|----------|--------|---------|------|---------|----|-----|-----|-----|------|---------|-----|----------|-------|----------|------|-----|----|-----|-----|-----|------|---------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 各種相談支援事業を実施する。 ・自立相談支援事業 新規相談230件 支援実施延べ回数 4644件 プラン作成件数 133件 就労者 40件 フードバンク提供 38件 | | 令和6年度(令和6年3月) 各種相談支援事業を実施する。 ・自立相談支援事業 実施相談機関の委託契約についてプロポーザル入札の実施 | | 令和7年度 各種相談支援事業を実施する。 ・自立相談支援事業 | | 令和8年度以降 各種相談支援事業を実施する。 ・自立相談支援事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 11,447千円 | 国庫支出金 | 8,585千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 2,862千円 | 予算額 | 12,066千円 | 国庫支出金 | 8,965千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 3,101千円 | 予算額 | 14,160千円 | 国庫支出金 | 10,562千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 3,598千円 |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.20人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 1,555千円 | | 予算書ページ | 186ページ | 186ページ | | 一般財源 | 3,101千円 | 予算書ページ | 187ページ | 187ページ | | 一般財源 | 3,598千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|--|--|--|----------|--|-------------------|--|---|--|----|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 自立相談として新規相談230件受付し、困っている人のよりどころとなることができた。 社会情勢の影響もあり、相談内容が、複雑化、困難化していく傾向にある。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 様々な相談に対応できるように委託先職員に研修等を受けてもらい、スキルアップを図っていく。 アウトリーチを含めた新規相談者の受け入れを増やし、就労準備支援、家計改善支援事業を含めた伴走型支援を展開していく。 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 | | | |
| | | | | | | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | |
| | | | | | | | | 1 現状維持 | | ○ 困窮者が相談しやすい、断らない相談窓口を目指し取り組んでいく。 子ども食堂に対して実施しているフードドライブや、相談者の子の学習支援事業への誘導等、市で実施している他事業と連携し、相談者の抱える複雑化した問題に対応していくため、重層的な支援となるように様々な機関と連携し包括的な支援体制整備を目指して取り組んでいく。 | | | | | |
| | | | | | | | | 2 見直して継続 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 重点化 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 手段改善 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | |
| | | | | | | | | 規模縮小 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 事業統合 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 4 完了 | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------|---|--------------|----------------|-------------|---|---|----|-----------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 17 地域福祉・困窮者対策 | | 新規 | | 担当課名 | 生活福祉課 | | | | | 指標名 | | | | | 備考 | | | | | | |
| ○ 主な取組 ② 生活困窮者福祉の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | 就労準備支援利用者就労達成者数 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 就労準備支援事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 3 | 1 | 1 | 目標 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 09-就労準備支援事業 | | | | | 実績 | 3 | | | | | | | | | 人 |
| <事業概要> 生活困窮者に向けて就労につなげていく前段階として、就労できる能力を身に着ける就労準備を進めることで、自立に向けた支援を行うことにより、課題がより複雑化・深刻化する前に自立の促進を図る | | 市単独 | | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
|  | | 社会福祉法 | | | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--------|-----------------|--|---------|---------|--------------------------------------|---------|---------|--|--|--|--------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 各種相談支援事業を実施する。 ・就労準備支援事業 ひきこもりの脱却、必要な制度、サービス、医療機関へのつなぎ、就労体験先の開拓等を実施 就労準備支援利用者 9名 支援回数 47件 支援延べ回数 213件 就労達成者数 3名 | | | 令和6年度(令和6年3月) 各種相談支援事業を実施する。 ・就労準備支援事業 実施相談機関の委託契約についてプロポーザル入札の実施 | | | 令和7年度 各種相談支援事業を実施する。 ・就労準備支援事業 | | | 令和8年度以降 各種相談支援事業を実施する。 ・就労準備支援事業 | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 国庫支出金 | 5,518千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 5,847千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 7,339千円 |  | | | |
| | | 8,277千円 | | 府支出金 | 0千円 | 8,772千円 | | 府支出金 | 0千円 | 府支出金 | | | | 0千円 |
| | | | | 市債 | 0千円 | | | 市債 | 0千円 | 市債 | | | | 0千円 |
| | | | | 其他 | 0千円 | | | 其他 | 0千円 | 其他 | | | | 0千円 |
| | | 決算書ページ | 191ページ | 一般財源 | 2,759千円 | 予算書ページ | 187ページ | 一般財源 | 2,925千円 | 予算書ページ | | | | 188ページ |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.10人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 778千円 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|--|--|-------------|--|---|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> ひきこもりや社会的接点がない方の足掛かりとして利用されるケースもあり、社会参加・就労を目指して9名の方が利用した。 潜在的な制度を利用すべき対象者等がまだまだいると思われるが、顕在化しにくい。 | | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 様々な相談に対応できるように委託先職員に研修等を受けてもらい、スキルアップを図っていく。 アウトリーチを重点的に実施することで新規相談者の受け入れを増やす。 関係団体等との連携をはかり、情報網を強化することで、利用促進に向け、さらなる周知を図る。 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | 備考 |
| Check 3 | | | | | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | |
| | | | | | | | 1 現状維持 | | ○ 困窮者が相談しやすい、断らない相談窓口を目指し取り組んでいく。 | | | |
| | | | | | | | 2 見直して継続 | | 協力事業所を募り、社会参加や就労体験の場の確保を図るほか、市で実施している他事業と連携し、相談者の抱える複雑化した問題に対応していくため、重層的な支援となるように様々な機関と連携し包括的な支援体制整備を目指して取り組んでいく。 | | | |
| | | | | | | | 重点化 | | | | | |
| | | | | | | | 手段改善 | | | | | |
| | | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | |
| 規模縮小 | | | | | | | | | | | | |
| 事業統合 | | | | | | | | | | | | |
| 3 休止・廃止 | | | | | | | | | | | | |
| 4 完了 | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------|---|----------------|-------------|---|-----|--------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 17 地域福祉・困窮者対策 | | 新規 | | 担当課名 | 生活福祉課 | | | 指標名 家計改善達成者数 | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 生活困窮者福祉の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | 目標 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 家計改善支援事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 3 | 1 | 1 | 目標 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 人 | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 12-家計改善支援事業 | | | 実績 | 20 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 生活保護に至る前の段階で、生活困窮世帯の家計状況を改善し、自立に向けた支援を行うことにより、課題がより複雑化・深刻化する前に自立の促進を図る | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 400% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
|  | | 社会福祉法 | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--------|-----------------|--|-------|---------|--------------------------------------|--------|--|------|---------|--------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 各種相談支援事業を実施する。 ・家計改善支援事業 自立支援プラン作成40件 家計簿作成 38件 債務整理 15件 貸付のあっせん 7件 滞納の解消改善した件数 20件 | | | 令和6年度(令和6年3月) 各種相談支援事業を実施する。 ・家計改善支援事業 実施相談機関の委託契約についてプロポーザル入札の実施 | | | 令和7年度 各種相談支援事業を実施する。 ・家計改善支援事業 | | 令和8年度以降 各種相談支援事業を実施する。 ・家計改善支援事業 | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 国庫支出金 | 4,917千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 5,252千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 7,545千円 | | | |
| | | 7,376千円 | 府支出金 | 0千円 | 7,879千円 | 府支出金 | 0千円 | 11,319千円 | 府支出金 | 0千円 | | | |
| | | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 | | | |
| | | | 其他 | 0千円 | | 其他 | 0千円 | | 其他 | 0千円 | | | |
| | | | 決算書ページ | 191ページ | | 一般財源 | 2,459千円 | | 予算書ページ | 187ページ | 一般財源 | 2,627千円 | 予算書ページ |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.10人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 778千円 | ↑ 方向性 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> 想定以上の利用者があり、40件のプラン作成となった。事業利用期間が長くなる傾向があり、対応人員のスキルアップや整理等が必要となる。 | | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 様々な相談に対応できるように委託先職員に研修等を受けてもらい、スキルアップを図っていく。 アウトリーチを重点的に実施することで新規相談者の受け入れを増やす。 関係団体等との連携をはかり、情報網を強化することで、利用促進に向け、さらなる周知を図る。 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | | 事業の方向性と取組の内容 困窮者が相談しやすい、断らない相談窓口を目指し取り組んでいく。 家計管理のための支援、弁護士へのつなぎ作業のほか、市で実施している他事業と連携し、相談者の抱える複雑化した問題に対応していくため、重層的な支援となるように様々な機関と連携し包括的な支援体制整備を目指して取り組んでいく。 | | 備考 |
| Check 3 | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------------|---|-------|----------|-------|---------|-------|-------|-------|--------|----|
| 分野別政策 | 4 | 『健幸』を築く・つながりをひろげる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | |
| 施策 | 18 | 高齢者福祉 |   | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく暮らし続けられるまち | | | | | | | | | | | |
| | 市民が生涯を通じて生きがいを持ちながら健やかに暮らすことができ、支援が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムを深化・推進し、地域共生社会の実現に向けて取り組みます。 | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値(R3) | | 目標値(R14) | | 備考 | | | | | |
| | 介護予防教室参加者数 | | 6,456人 | | 10,000人 | | 延べ人数を記載 | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 |
| | 目標 | 8,600 | 8,755 | 8,910 | 9,065 | 9,220 | 9,375 | 9,530 | 9,685 | 9,840 | 10,000 | |
| | 実績 | 9248.0 | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 107.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | |
| <p>主な取組</p> <p>①地域包括ケアシステムの推進</p> <p>◇多職種による連携を強化し、地域の多様な主体による支援を行う生活支援体制の整備を図ります。 ◇介護サービス充実と質の向上、担い手の確保を図り、「WAO(輪を)！ SENNAN」の実現に向け、高齢者が要介護状況になった場合でも、可能なかぎり住み慣れた地域で安心して生活できるように、泉南市独自の地域包括ケア体制を深化・推進します。</p> <p>②介護予防の推進</p> <p>◇健康でいきいきとした高齢期を過ごし、健康寿命の延伸を実現するため、一人ひとりが健康意識を高め、望ましい生活習慣を身につけ、疾病予防や生涯にわたる健康づくりを支援する取組を推進します。 ◇要支援者や自立した生活を維持することが困難な高齢者を対象に、介護予防や生活支援サービス等を総合的に提供します。 ◇地域住民が気軽に集える居場所の普及啓発、実施場所が増えるよう立ち上げ支援を行い、高齢者の活動的な生活、社会的な交流、身体的・精神的な充足を通して介護予防を図ります。</p> <p>③持続可能な介護サービスの充実・強化</p> <p>◇高齢者一人ひとりができるかぎり住み慣れた地域で生活を続けられるようなサービス提供体制の充実を図り、保健、医療、福祉、介護サービスの連携強化を進めます。 ◇要介護認定、事業者支援、給付実績の点検等を通じ、費用の効率化と介護給付の適正化を図ります。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | |
| <p>4-18-① 包括的支援事業【福祉保険部】</p> <p>4-18-② 介護予防普及啓発事業【福祉保険部】</p> <p>4-18-② 地域リハビリテーション活動支援事業【福祉保険部】</p> <p>4-18-② 認知症検診事業【福祉保険部】</p> <p>4-18-③ 介護給付等費用適正化事業【福祉保険部】</p> | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|------|--------------|--|--|--|--|------------|--|--|--|--|------------------|----|----|----|-----|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---|--|--|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 18 高齢者福祉 | | 新規 | | 担当課名 | 長寿社会推進課 | | | | | 指標名 | | | | | 認知症サポーター養成人数(累計) | | | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ① 地域包括ケアシステムの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 介護保険事業特別会計 | | | | | R5 | | | | | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 包括的支援事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | | | | | 3 | | | | | 1 | 1 | 目標 | | | | | 20,000 | 20,750 | 21,500 | 22,250 | 23,000 | 23,750 | 24,500 | 25,250 | 26,000 | 26,750 | 人 | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | | | | | 01-包括的支援事業 | | | | | 実績 | | | | | 20,531 | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 地域包括支援センターを設置し、第1号介護予防支援事業、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を行い、地域包括ケアシステム構築のため、各種事業に取り組む。 | |  | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | </ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------------------|---|----------------|--------------|---------------|-------------------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|--|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 18 高齢者福祉 | | 新規 | | 担当課名 | 長寿社会推進課 | | 指標名 MCI(軽度認知障害)予防教室参加者数(延べ人数) | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 介護予防の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 介護保険事業特別会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 介護予防普及啓発事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 3 2 1 | 目標 | 8,600 | 8,690 | 8,780 | 8,870 | 8,960 | 9,050 | 9,140 | 9,230 | 9,320 | 9,420 | 人 | |
| <事業概要> 介護予防に資する基本的な知識の普及啓発、講演会や相談会等の開催、教室を行う。 | | ハード | | | 細目 | 03-介護予防普及啓発事業 | 実績 | 9,248 | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 107.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 介護保険法、泉南市地域包括ケア計画 | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | |
| 1.フレイル予防の啓発 地域において介護予防に資する活動が広く実施されるよう、専門的知見を有する者によるフレイル予防に関する講座を実施した。また、地域における自発的な介護予防活動の支援を行った。 理学療法士による公開講座 参加者55人 地域の通いの場説明会 4箇所で開催 (延べ27人参加) 2. MCI予防教室の実施 MCI予防運動及び運動器の機能向上、認知機能低下予防、口腔機能向上プログラムの実施 MCI予防教室実績 泉南ふれあいの里 285回 (延べ2,320人参加) さくら 288回 (延べ2,888人参加) きぼうの輪 291回 (延べ2,088人参加) ほぞら 287回 (延べ1,852人参加) 3. 泉南市食生活改善推進協議会による食についての普及啓発 高齢者の栄養改善のため、カルシウムやたんぱく質の有効性の説明や手軽に摂取できるアドバイスを行った。 15箇所で開催 (延べ199人参加) | | 1.フレイル予防の啓発 ・講演会の開催 ・地域での普及啓発 ・チラシ等の作成、配布 2. MCI予防教室の実施 3. 泉南市食生活改善推進協議会による食についての普及啓発 | | | 1.フレイル予防の啓発 ・講演会の開催 ・地域での普及啓発 ・チラシ等の作成、配布 2. MCI予防教室の実施 3. 泉南市食生活改善推進協議会による食についての普及啓発 | | | 1.フレイル予防の啓発 ・講演会の開催 ・地域での普及啓発 ・チラシ等の作成、配布 2. MCI予防教室の実施 3. 泉南市食生活改善推進協議会による食についての普及啓発 | | |
| 事業の財源 | | 予算額 | | | 予算額 | | | 予算額 | | |
| 決算額 | | 国庫支出金 2,864千円 | | | 国庫支出金 3,590千円 | | | 国庫支出金 3,520千円 | | |
| 11,475千円 | | 府支出金 1,434千円 | | | 府支出金 1,796千円 | | | 府支出金 1,760千円 | | |
| | | 市債 0千円 | | | 市債 0千円 | | | 市債 0千円 | | |
| | | その他 5,738千円 | | | その他 7,178千円 | | | その他 7,038千円 | | |
| 決算書ページ 451ページ | | 一般財源 1,439千円 | | | 一般財源 1,796千円 | | | 一般財源 1,760千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 1.00人 正職員以外のその他職員 1.00人 11,029千円 | | | 正職員 585ページ 一般財源 1,796千円 | | | 正職員 587ページ 一般財源 1,760千円 | | |

評価



令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | | |
|---|--|---|--|-------------|--|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | 備考 |
| <成果・課題> <成果>街かどデイハウス事業所での介護予防教室を実施し、介護予防に関する普及啓発を行い、地域住民の介護予防に関する意識を向上させることができた。 また、地域で住民主体の通いの場が展開されるよう、介護予防普及啓発に関する説明会を実施し、介護予防の場を広めた。 <課題>身近な場所で参加者自らが、介護予防の活動が行えるように自主的なグループづくり等をさらに促進する必要がある。 | | <改善内容> 引き続き、地域において介護予防のための活動を広く実施し、地域の高齢者がより一層、自らの意思で活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的に実施されるような地域社会の構築を目指していく。 | | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | | | |
| Check 3 | | 別途、認知症検診事業において、認知症の早期発見、早期診断を目的に、65歳以上を対象とした「もの忘れ検診」を実施予定である。 | | 1 現状維持 | もの忘れ検診事業の実施により得られた問診票等の結果を活用し、早期対応を図ることで、(仮)認知症条例の示す理念をもとに、生きがいを持って住み慣れたまちで自分らしく暮らすことができるまちづくりに寄与する。 | | | |
| | | | | 2 見直して継続 | | | | |
| | | | | 重点化 | | | | |
| | | | | 手段改善 | | | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | | | |
| | | | | 規模縮小 | | | | |
| | | | | 事業統合 | | | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | | | |
| | | | | 4 完了 | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------|---|------|----------------|---------------------------------------|-----|---|----|-----|----|--|--|--|--|--|----|---|--|-----|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 18 高齢者福祉 | | 新規 | | 担当課名 | 長寿社会推進課 | 指標名 短期集中型介護予防教室参加者数(延べ人数) | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ② 介護予防の推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 介護保険事業特別会計 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 地域リハビリテーション活動支援事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 3 | 2 | 1 | 目標 | | | | | | | | | | | 400 | 420 | 440 | 460 | 480 | 500 | 520 | 540 | 560 | 580 | 人 | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 05-地域リハビリテーション活動支援事業 | | | | | 実績 | | | | | | | | | | | 550 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 地域における介護予防の取組みを機能強化するため、リハビリテーションに関する専門的知見を有する者が地域包括支援センターと連携しながら、介護予防の取組を総合的に支援する。 | | 市単独 | | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | | | | | | | | | | | 137.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 介護保険法、泉南市地域包括ケア計画 | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | A | | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|--|--|--------|--|--|--|-------|--|--|--|---------|--|------|--|-------|--|
| 主な事業内容 (年次計画) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | |
| (実績) | | 1 地域ケア個別会議の開催 検討事例件数 36件 居宅介護支援事業所の個別ケースについて検討を行う会議で、経過や改善点の報告を受けるなどの振り返りを行い、介護支援専門員(ケアマネジャー)の資質向上を図った。なお、事業所、市、包括、地域の専門職(栄養士、PT等)が参加している。 | | | | 1 地域ケア個別会議の開催 | | | | 1 地域ケア個別会議の開催 | | | | | | | |
| | | 2 短期集中型介護予防教室の実施 開催回数 103回 | | | | 2 短期集中型介護予防教室の実施 | | | | 2 短期集中型介護予防教室の実施 | | | | | | | |
| | | 3 リハビリテーションに関する専門職による支援 リハビリテーションに関する専門職による予防教室を実施し、生活行為の改善を目的として効果的に介護予防プログラムを行い、住民主体の通いの場等で、介護予防の取組について技術的助言を行った。 | | | | 3 リハビリテーションに関する専門職による支援 ・住民への助言 ・介護職員等への助言 | | | | 3 リハビリテーションに関する専門職による支援 ・住民への助言 ・介護職員等への助言 | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 国庫支出金 | | 1,337千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 | | 1,667千円 | | | | | |
| | | 5,358千円 | | 府支出金 | | 670千円 | | | | 府支出金 | | 832千円 | | | | | |
| | | | | 市債 | | 0千円 | | | | 市債 | | 0千円 | | | | | |
| | | | | その他 | | 2,679千円 | | | | その他 | | 3,335千円 | | | | | |
| | | 決算書ページ | | 451ページ | | 一般財源 | | 672千円 | | 予算書ページ | | 589ページ | | 一般財源 | | 832千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | | 1.00人 | | 正職員以外の その他職員 | | 1.00人 | | 11,029千円 | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|--|--|-------------------|-------------|--|---|----|--|
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 | |
| Check 3 | | <成果・課題> <成果>短時間で集中的に運動することで、運動機能向上と生活課題の改善について効果があった。 <課題>短期集中型介護予防教室において、生活課題の改善に加えて、趣味活動などの活動や参加につなげていく関わりが必要である。 | | <改善内容> 引き続き、短期集中型介護予防教室を実施し、生活行為の改善を目的として効果的に介護予防プログラムを行い、高齢者が自らの健康づくりや介護予防への取組を実践していただけるような環境を整えていく。 | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| | | | | | | 1 現状維持 | | ○ 介護予防の取組から、高齢者の自立支援、重症化防止の推進を図り、高齢者が地域で生きがいを持って活動し、社会参加する機会を増やす。 | | |
| | | | | | | 2 見直して継続 | | | | |
| | | | | | | 重点化 | | | | |
| | | | | | | 手段改善 | | | | |
| | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | |
| | | | | | | 規模縮小 | | | | |
| | | | | | | 事業統合 | | | | |
| | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | |
| | | | | | | 4 完了 | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|------|----------------------|------------|---|---|----|---------------------------------------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|
| ○ 分野別政策 4 『健幸』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 18 高齢者福祉 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 長寿社会推進課 | | | | | 指標名 もの忘れ検診の受診者数 | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 介護予防の推進 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | | | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 認知症検診事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 3 | 5 | 1 | 目標 | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 03-認知症検診事業 | | | | | 実績 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 65歳以上の高齢者を対象に、かかりつけ医(指定医療機関)による認知機能テストを実施し、認知症が疑われる場合は、専門医の受診につなぐ。 また、認知機能テストの結果から、軽度認知障害の方への支援、認知症の方への支援等、その人の状態に合わせて専門職等による支援を行う。 | | 市単独 | | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 介護保険法、泉南市第9期地域包括ケア計画 | | | | | 達成度 | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----------------------------|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | | | | |
| | 1 もの忘れ検診の実施 2 検診後の支援(各事業との連携) ・認知症初期集中支援事業 ・認知症地域支援・ケア向上事業 ・認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業 | | | 1 もの忘れ検診の実施 2 検診後の支援(各事業との連携) ・認知症初期集中支援事業 ・認知症地域支援・ケア向上事業 ・認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業 | | | 1 もの忘れ検診の実施 2 検診後の支援(各事業との連携) ・認知症初期集中支援事業 ・認知症地域支援・ケア向上事業 ・認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業 | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 0千円 | | | 予算額 2,503千円 | | | 予算額 2,369千円 | | | 予算額 2,369千円 | | |
| | 決算書ページ 正職員 0.00人 正職員以外の その他職員 0.00人 0千円 | | | 決算書ページ 239ページ 一般財源 2,503千円 | | | 決算書ページ 243ページ 一般財源 2,369千円 | | | 決算書ページ 243ページ 一般財源 2,369千円 | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|---------|-------------|-------------|-------------------|--|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | | <改善内容> | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| | | | 1 現状維持 | | | |
| | | | 2 見直して継続 | | | |
| | | | 重点化 | | | |
| | | | 手段改善 | | | |
| | | | 効率化(コストダウン) | | | |
| | | | 規模縮小 | | | |
| | | | 事業統合 | | | |
| | | | 3 休止・廃止 | | | |
| | | | 4 完了 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------|---|----------------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|----|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 18 高齢者福祉 | | 新規 | | 担当課名 | 要介護認定の適正化(認定調査票の事後点検) | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ③ 持続可能な介護サービスの充実・強化 | | 継続 | ○ | 会計名 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 実績値は実際の認定申請件数を上回らない。 | |
| 事務事業名 介護給付等費用適正化事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 目標 | 3,060 | 3,100 | 3,150 | 3,200 | 3,300 | 3,300 | 3,300 | 3,300 | 3,300 | 3,300 | | 件 |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 実績 | 2,826 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 介護給付を必要とする受給者を適切に認定する。過不足のないサービスを提供できるよう事業者を促す。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | |
|  | | 介護保険法、泉南市地域包括ケア計画 | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) 1. 要介護認定調査事後点検 要介護認定調査事後点検では、要介護・要支援認定申請があり、最終認定決定するまでの全ての対象について点検を実施した(2,826件)。 2. ケアプラン点検 ケアプラン点検は、すべての新規プランと、更新・暫定プランについても点検を実施した(492件)。 3. 医療突合 関係連合会に委託し、介護給付費の請求と医療保険を利用した請求とを適宜突合せ審査を実施した。 4. 縦覧点検 関係連合会に委託し、複数月における算定回数の確認や事業所間等の給付の整合性の確認を適宜実施した。 5. 住宅改修等の点検 住宅改修の点検にあたり、書面での点検実施(329件)に加え、ケアマネジャー同行の施工後現場確認も実施した(3件)。また、福祉用具購入の書面点検を実施した(267件)。 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| | | | | 1. 要介護認定調査事後点検 全件点検 2. ケアプラン点検 すべての新規プランについて点検 3. 医療突合 4. 縦覧点検 介護給付実績について、医療実績との突合、縦覧点検を行う(国保連委託) 5. 住宅改修等の点検 | | | | 1. 要介護認定調査事後点検 全件点検 2. ケアプラン点検 すべての新規プランについて点検 3. 医療突合 4. 縦覧点検 介護給付実績について、医療実績との突合、縦覧点検を行う(国保連委託) 5. 住宅改修等の点検 | | | | 1. 要介護認定調査事後点検 全件点検 2. ケアプラン点検 すべての新規プランについて点検 3. 医療突合 4. 縦覧点検 介護給付実績について、医療実績との突合、縦覧点検を行う(国保連委託) 5. 住宅改修等の点検 | | | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 9,078千円 府支出金 4,539千円 23,578千円 市債 0千円 その他 5,422千円 決算書ページ 449ページ 一般財源 4,539千円 | | | | 予算額 国庫支出金 9,860千円 府支出金 4,929千円 25,608千円 市債 0千円 その他 5,890千円 予算書ページ 580ページ 一般財源 4,929千円 | | | | 予算額 国庫支出金 9,738千円 府支出金 4,869千円 25,293千円 市債 0千円 その他 5,817千円 予算書ページ 582ページ 一般財源 4,869千円 | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | | | | 正職員 1.00人 正職員以外の その他職員 0.00人 | | | | 方向性 | | | | 評価 | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|---|--|--|--|--|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 <成果・課題> <成果>認定調査票及び主治医意見書の内容を点検し、記載内容が過不足なく適切であるかを確認することで、申請者の認定の必要性について検証するとともに、最終決定権者である認定審査会における議論の平準化に資することができた。 また、住宅改修の点検にあたっては、施工後の現場確認も少数ながら実施を始めることができた。 <課題>今後、後期高齢者数が増加するとともに申請件数も増加が予測されるため、対応できる人員配置の見直し等事務効率向上のための検討が必要である。 | | | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 | |
| | | | | <改善内容> 窓口対応時間を短縮するため、必要であれば申請における聞き取り事項等の変更や電子申請受付を実施する。 | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直しで継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 認定調査票及びケアプランの点検等については、ご本人の意思をできるだけ尊重し、生活状況等を鑑みた上で、自立した生活のため、過不足のない給付につなげる。 また、申請件数等の状況を鑑みて執行体制に見直しが必要であれば、委託業者との変更契約も視野に入れ、事業を継続していく。 | | | | | |
| Check 3 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------------|---|------|------|------|----------|------|------|------|-----------------------------------|-------------------|
| 分野別政策 | 4 | 『健幸』を築く・つながりをひろげる | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | |
| 施策 | 19 | 障害福祉 |  | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 障害のある人への社会的な障壁を取り除く必要なサービスや支援により、住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるまち 障害のある人やその家族が、地域の中で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、ユニバーサルデザインによるまちづくりや障害のある人への理解を促進し、それぞれのライフステージに応じて必要な障害福祉サービスの提供や相談支援体制の充実に取り組みます。 | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | | | 備考 | |
| | 福祉施設から一般就労への移行者数 | | 13人 | | | | 25人 | | | | 福祉施設(就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型事業所) | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 |
| | 目標 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 25 | 令和5年度公表分(令和4年度実績) |
| 実績 | 18 | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 120.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | |
| 4-19-① 地域生活支援事業【福祉保険部】 4-19-② 障害者相談支援事業【福祉保険部】 4-19-③ 障害者自立支援給付事業【福祉保険部】 | | | | | | | | | | | | |
| ①共生に向けた啓発の充実 ◇多様な交流や啓発により障害者差別解消法や、合理的配慮等の障害に関する正しい知識を知ることにより、障害や障害のある人・子どもに対する正しい理解や認識を深めます。 ②身近な地域で暮らすための支援 ◇障害のある人・子どもの心身の状況やニーズを的確に把握し、心身の健康の維持・増進・回復を図るため、関係機関と連携しながら、リハビリテーション体制等の充実、必要な障害福祉サービス、障害児通所支援等への給付を行います。 ◇障害のある人の相談支援の中核的な機能を担う基幹相談支援センターを設置し、関係分野との連携のもと、障害のある人の地域移行や権利擁護の推進、相談支援体制の充実に努めます。 ③自立と社会参加の支援 ◇療育から教育、就労へとそれぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援、スポーツや文化活動等、その人らしい生活を送ることができるよう、社会参加の促進に努めます。 ◇就労支援事業所や企業等との連携、身近な地域での支え合い・助け合い活動を活性化し、障害のある人の就労機会の拡大、住まいの場の確保や住みやすい環境整備を進めます。 | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|----------------|---|--|---|---|---------------------------------------|----|--|--|--|----|--|
| ○ 分野別政策 4 『健幸』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 19 障害福祉 | | 新規 | | 担当課名 | 障害福祉課 | | | | | 指標名 障害理解啓発研修参加者数 | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① 共生に向けた啓発の充実 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | |
| 事務事業名 地域生活支援事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 3 | 1 | 8 | 目標値 | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 05-地域生活支援事業 | | | | | 実績 | | | | | |
| <事業概要> 障害のある人が地域の中で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、障害のある人の理解を促進し、社会参加を促進するため、事業を実施する。 | | 市単独 | | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | 達成率 | | | | | | |
|  | | | | 障害者の生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法) | | | | | 167.5% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | |
| 達成度 | | | | | | | | | A | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 障害のある人の地域での生活を支えるため以下の様な事業を実施した。 ・理解促進研修・啓発事業 令和5年11月26日(日)イオンホール 67名参加 ・手話通訳者設置 ・手話通訳者派遣(173件) ・手話奉仕員等養成講座(全61回実施) ・精神障害者等地域活動支援センター事業 (延べ利用者数:1,473人、相談件数:1,617件) ・日常生活用具給付事業(1,540件) ・日中一時支援(延べ292人利用) ・移動支援事業(16,517時間/187人利用) ・訪問入浴サービス、成年後見制度利用支援事業など | | 令和6年度(令和6年3月) 障害者総合支援法に定める以下の様な事業を実施する。 理解促進研修・啓発事業、手話通訳者設置・派遣、手話奉仕員等養成研修、精神保健福祉ボランティア養成、精神障害者等地域活動支援センター事業、日常生活用具給付、日中一時支援、移動支援事業など | | | | | 令和7年度 障害者総合支援法に定める以下の様な事業を実施する。 理解促進研修・啓発事業、手話通訳者設置・派遣、手話奉仕員等養成研修、精神保健福祉ボランティア養成、精神障害者等地域活動支援センター事業、日常生活用具給付、日中一時支援、移動支援事業など | | | | | 令和8年度以降 障害者総合支援法に定める以下の様な事業を実施する。 理解促進研修・啓発事業、手話通訳者設置・派遣、手話奉仕員等養成研修、精神保健福祉ボランティア養成、精神障害者等地域活動支援センター事業、日常生活用具給付、日中一時支援、移動支援事業など | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 決算額 国庫支出金 22,705千円 府支出金 11,303千円 市債 0千円 その他 133千円 83,262千円 | | 予算額 国庫支出金 41,089千円 府支出金 20,594千円 市債 0千円 その他 130千円 95,948千円 | | 予算額 国庫支出金 41,094千円 府支出金 20,649千円 市債 0千円 その他 130千円 96,092千円 | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 決算書ページ 200ページ 一般財源 49,121千円 | | 予算書ページ 198ページ 一般財源 34,135千円 | | 予算書ページ 199ページ 一般財源 34,219千円 | | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 正職員 1.41人 正職員以外の その他職員 0.90人 13,892千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|--|---|--|----------|--|--|--|--|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 各事業の実施により、障害のある人の地域での生活がより充実するよう支援することができた。 今後も利用希望者の増加が見込まれるため、円滑なサービスの提供ができるよう、適正に必要な事業を実施していく必要がある。 | | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 各事業の利用状況を把握し、障害のある人が必要なサービスを利用できるよう、事業の周知を図る。 また、泉南市自立支援協議会など、日常的にサービス提供事業所や関係機関と連携を図りながら事業を実施する。 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | | | | 事業の方向性と取組の内容 今後も地域生活支援のための障害理解促進研修・啓発事業・手話通訳者派遣・移動支援事業などの各種事業について、利用者のニーズに合わせて、自立した日常生活、社会生活を営むために必要な事業を実施する。 | | 備考 |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|---------------|--------------|--------------|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|----|
| ○ 分野別政策 4 『健幸』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 19 障害福祉 | | 新規 | | 担当課名 | 障害福祉課 | 指標名 | 年間相談実利用者数 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 身近な地域で暮らすための支援 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | |
| 事務事業名 障害者相談支援事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 3 1 8 | 実績 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 | 人 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 07-障害者相談支援事業 | 達成率 | 102.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| <事業概要> 障害のある人が地域の中で安心して生活を送ることができるよう、関係機関との連携のもと、障害のある人や家族からの相談に応じ、自立や社会参加、権利擁護の推進、相談支援体制の充実をすすめる。 | | 市単独 | | (関係法・市条例・計画等) | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|-----------------------------|--|--|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 障害のある人や家族等からの相談に応じ、自立や社会参加、権利擁護を推進するため、地域の関係機関と協議、連携して支援体制を構築し、支援を実施した。 ・自立支援協議会(年2回、部会14回、事務局会議毎月実施) ・相談支援事業(委託相談支援) せんなんピアセンター (相談件数:1,530件、実人数86人) せんなん生活支援相談室 (相談件数:2,055件、実人数222人) ・令和5年度、第7期泉南市障害福祉計画、第3期泉南市障害児福祉計画を策定 | | | | 令和6年度(令和6年3月) 障害のある人や家族からの相談に応じ、自立や社会参加、権利擁護の推進をすすめる、相談支援の中核的な機能を担う基幹相談支援センターのあり方を検討し、関係分野との連携のもと、相談支援体制の充実を図る。 | | | | 令和7年度 障害のある人や家族からの相談に応じ、自立や社会参加、権利擁護の推進をすすめる、相談支援の中核的な機能を担う基幹相談支援センターを設置し、関係分野との連携のもと、相談支援体制の充実を図る。 | | | | 令和8年度以降 障害のある人や家族からの相談に応じ、自立や社会参加、権利擁護の推進をすすめる、相談支援の中核的な機能を担う基幹相談支援センターを設置し、関係分野との連携のもと、相談支援体制の充実を図る。 | | | |
| | 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 79千円 市債 0千円 その他 4,313千円 36,852千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 42千円 市債 0千円 その他 0千円 35,751千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 42千円 市債 0千円 その他 0千円 30,771千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 42千円 市債 0千円 その他 0千円 30,729千円 | | 決算書ページ 201ページ 一般財源 32,460千円 | | 予算書ページ 199ページ 一般財源 35,709千円 | | 予算書ページ 201ページ 一般財源 30,729千円 | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 1.43人 | 正職員以外の その他職員 0.00人 | 11,121千円 | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|-------------------------------|---|---|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 相談支援事業所との連携により、きめ細かな相談支援が実施できた。 年々、相談内容が多様化しており、障害のある本人への支援だけでなく、高齢の親、子ども、生活困窮など、家族全体への支援が必要なケースが増え、触法や金銭管理、権利擁護に課題のあるケースへの対応など、委託相談支援事業所と市の各担当課、関係機関との連携や高度な専門性が必要になる。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 相談支援体制の充実を図るため、令和7年度設置に向けて、相談支援の中核的な機能を担う基幹相談支援センターのあり方を検討する。 | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 事業の方向性と取組の内容 相談支援の中核的な機能を担う基幹相談支援センターを設置し、個別支援で出てきた課題の整理や、相談支援専門員の質の向上のため、助言や研修により、関係分野との連携のもと、相談支援体制の充実を図る。 | 備考 |
|--------------------------|---|--|-------------------------------|---|---|----|

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|---|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ○ 分野別政策 4 『健康』を築く・つながりをひろげる | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 19 障害福祉 | | 新規 | | 担当課名 | 福祉施設から一般就労への移行者数 | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ③ 自立と社会参加の支援 | | 継続 | ○ | 会計名 | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | 福祉施設(就労移行支援・就労継続支援A型・就労継続支援B型事業所) 令和5年度公表分(令和4年度実績) |
| 事務事業名 障害者自立支援給付事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 15 16 17 18 19 20 21 22 23 25 人 | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 実績 18 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 障害のある人がライフステージに応じ、その人らしい生活を送ることができるよう、障害者総合支援法に定めるその人に必要な障害福祉サービスを提供する。 | | 市単独 | | 達成率 120.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 達成度 A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--------|-----------------|-----------|--|--------|------|-----------|--|--------|-------|-------------|--|-----------|----|-----|----|-----|-----|-------|-------------|------|-----------|----|-----|----|-----|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 障害者総合支援法に定める以下の障害福祉サービスの支給決定、給付を行った。 (身体障害者更生医療、育成医療、補装具、児童補装具、高額障害福祉サービス費、短期入所、生活介護、共同生活援助、療養介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、施設入所支援、居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護、療養介護医療費、計画相談支援、就労定着支援) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・障害福祉サービス支給決定者数: 756人 ・訪問系サービス月平均利用時間数/月平均利用者数(居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護) 4,955時間/246人 ・日中活動系サービス月平均利用者数(生活介護、療養介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援) 536人 | | | | 障害者総合支援法に定める以下の様な障害福祉サービスを提供する。 身体障害者更生医療費支給、育成医療費支給、補装具給付、児童補装具給付、高額障害福祉サービス費支給、短期入所給付、生活介護給付、共同生活介護・共同生活援助給付、療養介護給付、自立訓練給付、就労移行支援給付、就労継続支援給付、施設入所支援給付、居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護給付、療養介護医療費支給、計画相談支援給付、就労定着支援給付、自立生活援助給付。障害のある人や家族からの相談に応じ、自立や社会参加、権利擁護の推進をすすめ、相談支援の中核的な機能を担う基幹相談支援センターのあり方を検討し、関係分野との連携のもと、相談支援体制の充実を図る。 | | | | 障害者総合支援法に定める以下の様な障害福祉サービスを提供する。 身体障害者更生医療費支給、育成医療費支給、補装具給付、児童補装具給付、高額障害福祉サービス費支給、短期入所給付、生活介護給付、共同生活介護・共同生活援助給付、療養介護給付、自立訓練給付、就労移行支援給付、就労継続支援給付、施設入所支援給付、居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護給付、療養介護医療費支給、計画相談支援給付、就労定着支援給付、自立生活援助給付。 | | | | 障害者総合支援法に定める以下の様な障害福祉サービスを提供する。 身体障害者更生医療費支給、育成医療費支給、補装具給付、児童補装具給付、高額障害福祉サービス費支給、短期入所給付、生活介護給付、共同生活介護・共同生活援助給付、療養介護給付、自立訓練給付、就労移行支援給付、就労継続支援給付、施設入所支援給付、居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護給付、療養介護医療費支給、計画相談支援給付、就労定着支援給付、自立生活援助給付。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 国庫支出金 | 1,004,028千円 | 府支出金 | 502,014千円 | 市債 | 0千円 | 其他 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 1,049,277千円 | 府支出金 | 524,638千円 | 市債 | 0千円 | 其他 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 1,178,056千円 | 府支出金 | 589,028千円 | 市債 | 0千円 | 其他 | 0千円 |
| | 決算書ページ | 199ページ | 一般財源 | 505,461千円 | 予算書ページ | 197ページ | 一般財源 | 526,296千円 | 予算書ページ | 198ページ | 一般財源 | 590,686千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 2.59人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 20,142千円 | 方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--------------------------|--|--|---|--|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 障害のある人が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの給付を行い、日中活動系サービスにおいては、就労移行支援、就労継続支援等、障害のある人の就労機会の拡大を図った。 今後とも利用者の増加が見込まれ、事業所とも連携を図り、円滑なサービスの提供ができるよう、適正な運営が必要である。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 事業所に対して、適正な運営や支援の質の向上を図るため、事業所連絡会とも連携し、情報共有を図る。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 今後も継続して、障害者総合支援法に定める障害福祉サービスの給付を行い、障害のある人の生活や就労支援により、その人らしい自立生活を促進する。 また、令和7年度に施行される就労選択支援については、円滑な事業開始により、障害のある人の就労支援の充実を図る。 | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| 分野別政策 | 総合 | 『しくみ』をつくる・運営する | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①市民参画・協働の推進 | |
|---|---|----------------|---|------|-----------|------|-------------------------|------|------|------|-----|----|--|--|
| 施策 | 20 | 協働・コミュニティ |  | | | | | | | | | | | <p>◇パブリックコメント制度や審議会・委員会への市民公募制度、またワークショップの開催等、市民がより市政に参画しやすい環境づくりを推進します。</p> <p>◇市民、行政共に、市民協働の理解や参画が進むよう、協働の仕組の充実や情報提供を行います。</p> <p>◇NPO団体等の設立や運営について、情報提供等の支援を行い、NPO団体や民間団体と連携してまちづくりを行います。</p> |
| 目指すまちの姿 | 地域住民がコミュニティで気軽に集い、交流と助け合いがあるまち | | | | | | | | | | | | ②地域コミュニティづくりの推進 | |
| | 地域コミュニティ機能の低下や市民ニーズの多様化・高度化が進んでおり、個人の努力や行政だけの取組ではなく、あらゆる分野で市民、地域、企業、団体等、多様な主体と行政が気軽に集い、交流する場があり、助け合うことができる協働によるまちづくりを推進します。 | | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値 (R3) | | 目標値 (R14) | | 備考 | | | | | | 主な取組 ◇地域コミュニティ活動の場を提供し、組織間の交流や連携を図るため、取組を支援します。 ◇地域コミュニティ活動を活性化するため、地域を支える人材の育成と確保に努めます。 ◇地域コミュニティの様々な課題を解決するために、コミュニティビジネスの取組を支援します。 | |
| | 市民公益活動団体数 | | 62団体 | | 80団体 | | 泉南市HPに掲載する市民公益活動団体数とする。 | | | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | | |
| | 目標 | 64 | 66 | 68 | 70 | 72 | 74 | 76 | 78 | 79 | 80 | | | |
| | 実績 | 63 | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 98.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 総合-20-① 市民協働推進事業【行政経営部】 総合-20-② ボランティア・NPO促進事業【行政経営部】 総合-20-② 市民交流センター管理運営事業【行政経営部】 | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|--|
| ○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 20 協働・コミュニティ | | 新規 | | 担当課名 | | 政策推進課 | | 指標名 市民協働啓発講座参加者数 | | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ① 市民参画・協働の推進 | | 継続 ○ | | 会計名 一般会計 | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 市民協働推進事業 | | 事業に関連するSDGs | | ソフト ○ | | R5 30 R6 30 R7 30 R8 30 R9 30 R10 30 R11 30 R12 30 R13 30 R14 30 人 | | 実績 | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 泉南市自治基本条例に基づき、住民自治の観点から、市民の自主性、自立性を高めながら、市民と行政が協働して自立したまちづくりを実現するため、泉南市市民協働推進指針を基に市民協働の仕組みづくりを構築する。 | | | | ハード | | 06-市民協働推進事業 | | 達成率 60.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 市単独 ○ | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成度 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 泉南市自治基本条例・泉南市市民協働推進指針 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1. 市民協働推進事業 ・市民協働啓発講座を実施した。(全3回延べ26人参加) ・まちづくりサロンを実施した。(全3回延べ9名参加) ・市ウェブサイトにて市民公益活動団体の情報提供を行った。(令和4年度62団体→令和5年度63団体) | | 令和6年度(令和6年3月) 自分たちのまちづくりについて意見交換・市民交流の場として、市民参加型のワークショップを開催する。各テーマに沿ったアンケート及びワークショップを開催し、市民協働の機運醸成に努める。また、今後市民協働においてコアとなるメンバーの発見・創出につなげる。 泉南市自治基本条例を広く市民に理解され活用されるように、ボランティア・NPO推進事業との合同事業として、「市民協働啓発講座」の開催を行う。 | | 令和7年度 ○市民協働啓発講座の実施 ○タウンミーティングの実施 ・中学校区単位のエリアで、タウンミーティングを実施する。 | | 令和8年度以降 ○市民ワークショップ・タウンミーティングの実施 これまでの実施結果を踏まえ、効果検証を行い市民との意見交換の場の創出として最適な手法を検討する。 ○市民協働啓発講座の実施 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 163ページ 一般財源 65千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 3,281千円 予算書ページ 151ページ 一般財源 105千円 | | 433千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 149ページ 一般財源 433千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 正職員 0.25人 正職員以外の その他職員 0.00人 1,944千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---|--|--|--|---|--|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 令和5年度の市民協働啓発講座については、講座のテーマを廃棄物とエネルギーをテーマとして3回連続講座形式で行った。参加者の減少、固定化が見られるため、休日開催や実演形式での講座としたが、定員には満たなかった。令和5年度は子どもの参加があり、今後は子どもも参加できる講座テーマや開催形式などについて、検討する必要がある。 | | <改善内容> 講座については、市民の希望に沿ったテーマにするため、他のイベントの開催方法などを参考に情報収集を行う。また、新規事業として市民が自由に意見交換し、交流ができるワークショップを開催する。 | | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 新規事業のワークショップについては、令和6年度実施についての効果検証結果を踏まえ、継続すべきか検討する。 ワークショップと併せて、市民との対話の場である、タウンミーティングを開催する。 市民との協働により、市が抱える課題の解決を目指す。 | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|----------------|-------|-----------------------|---|-----------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
| ○ 分野別政策 **『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 20 協働・コミュニティ | | 新規 | | 担当課名 | 政策推進課 | 指標名 | | 市民公益活動団体数 | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ② 地域コミュニティづくりの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | |
| 事務事業名 ボランティア・NPO促進事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 2 | 1 | 9 | 目標 | 64 | 66 | 68 | 70 | 72 | 74 | 76 | 78 | 79 | 80 | 団体 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 08-ボランティア・NPO促進事業 | | 実績 | 63 | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 地域・社会の様々な課題を解決するため、市民ボランティア団体、NPO法人などの市民公益活動団体の活動を促進するとともに大阪府から事務移譲を受けたNPO法人の設立認証に関する事務を行う。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 08-ボランティア・NPO促進事業 | | 達成率 | 98.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | | | | | | 泉南市自治基本条例・泉南市市民協働推進指針 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|------------------------------------|--|---|--|------------------------------------|--|--|--|------------------------------------|--|--|--|------------------------------------|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 市内で活動している63組織の市民ボランティア団体およびNPO法人などの市民公益活動団体に関する情報や市民と行政との協働事業の一覧を市ウェブサイトに掲載し、市民への情報提供を行った。 (令和4年度62団体→令和5年度63団体) | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | |
| | 大阪府から事務移譲を受けたNPO法人の設立認証に関する事務として、新たに設立した1団体について、設立相談業務や事業報告書などの文書作成等について助言等を行った。 活動支援として、市民協働推進事業との合同事業として「市民協働啓発講座」の開催を行った。(再掲) | | | | 市内で活動している市民ボランティア団体、NPO法人などの市民公益活動団体に関する情報や市民と行政との協働事業の一覧を市ウェブサイトに掲載し、市民への情報提供を行う。 活動支援として、市民協働推進事業との合同事業として「市民協働啓発講座」の開催を行う。 | | | | 市内で活動している市民ボランティア団体、NPO法人などの市民公益活動団体に関する情報や市民と行政との協働事業の一覧を市ウェブサイトに掲載し、市民への情報提供を行う。 活動支援として、市民協働推進事業との合同事業として「市民協働啓発講座」の開催を行う。 | | | | 市内で活動している市民ボランティア団体、NPO法人などの市民公益活動団体に関する情報や市民と行政との協働事業の一覧を市ウェブサイトに掲載し、市民への情報提供を行う。 活動支援として、市民協働推進事業との合同事業として「市民協働啓発講座」の開催を行う。 | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 82千円 市債 0千円 その他 0千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 145千円 市債 0千円 その他 0千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 133千円 市債 0千円 その他 0千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 133千円 市債 0千円 その他 0千円 | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.25人 正職員以外の その他職員 0.00人 | | 1,944千円 | | 正職員 0.25人 正職員以外の その他職員 0.00人 | | 1,944千円 | | 正職員 0.25人 正職員以外の その他職員 0.00人 | | 1,944千円 | | 正職員 0.25人 正職員以外の その他職員 0.00人 | | 1,944千円 | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|---|-------------|--------------|--|-------------------|--|--|--|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 事業報告書や会計書類などの記載方法に関する助言等を行った。また、所轄庁事務についての研修に参加することで、NPO法人への相談業務等を円滑に行うことができた。 市民活動の活発化により、個人・団体を問わずボランティア活動に取り組み市民が増加すると考えられる。活力ある市民との協働によるまちづくりを推進していくため、市民と行政による協働の場の創出、参加しやすい受入環境整備として様々な事業・イベントの実施を関係団体との協力を得ながら企画していく。ボランティア活動について、様々な情報提供経路が整備されていく中で、個人での情報発信が容易になり、多数に周知できることから、団体活動であることのメリットが低い。実施主体側において若年層の参加が少なくなっており、若年層の参加を促す為の事業・イベントの企画等を検討していく。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> NPO関連については、引き続き継続して支援業務等を行う。 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 |
| | ボランティア活動については、引き続き情報発信に努めるとともに、情報発信の手法を見直す。団体活動における事業実施方法についても、他組織や他団体などと共催事業を行うことで、双方のデメリットを補いあい、PRの場を増やして行く。 | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | | | | |
| | | | | 1 現状維持 | | NPOについては、内閣府による法人情報管理をクラウド管理とするシステムが稼働しているため、大阪府の助言と連携により引き続き業務を行っていく。 | | | | | |
| | | | | 2 見直して継続 | | 共催でのイベント事業実施について、開催場所の施設使用や業務担当の振分けなど、行政組織と市民団体がそれぞれノウハウを蓄積し、共催事業のモデルケースを構築していく。 | | | | | |
| | | | | 重点化 | | | | | | | |
| | | | | 手段改善 | | ○ | | | | | |
| | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | | | |
| | | | | 規模縮小 | | | | | | | |
| | | | | 事業統合 | | | | | | | |
| | | | | 3 休止・廃止 | | | | | | | |
| | | | | 4 完了 | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------|------|---|----------------|-------------------|--|-----|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--|--|
| ○ 分野別政策 ^{※※} 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 20 協働・コミュニティ | | 新規 | | 担当課名 | 人権推進課 | | 指標名 | 市民交流センターの利用者 | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
| ○ 主な取組 ② 地域コミュニティづくりの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | | |
| 事務事業名 | 市民交流センター管理運営事業 | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 2 | 1 | 13 | 目標 | 11,100 | 11,150 | 11,150 | 11,160 | 11,160 | 11,170 | 11,170 | 11,180 | 11,180 | 11,200 | 人 | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 02-市民交流センター管理運営事業 | | 目標値 | 実績 | 14,096 | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 市民交流センターの利用者間の繋がりを深め、地域のコミュニティの場として充実を図る。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン | | 達成率 | 127.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--|---|------------------------------------|---|--|---------|--|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 市民交流センター開館日：月～金 9時～21時（土～17時半） 貸館業務：利用者14,096人 ふれあいだより発行（毎月1回600部） 1. 今後の館の利用方針やあり方を検討するため、おしゃべり会を立ち上げ、館利用者と現状の課題等について話し合いを行った。 2. 貸館・講座などの来館する利用者の安全・安心な利用を図るとともに、市民交流センター内の清掃、設備などの維持管理を行った。 ゴミ収集・電気工作物保安管理・消防設備点検・防火対策物定期点検・夜間管理業務委託料 トイレ改修等修繕料等 | | 令和6年度（令和6年3月） | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | |
| | | 1. 今後の館利用方針の検討 ・館利用者を中心とした検討委員会（仮称）を立ち上げ、新たなコミュニティ活動を実施 ・運営方針等についての検討 2. 施設の維持管理 ・小規模の修繕 | | 1. 今後の館利用方針の検討 ・新たなコミュニティ活動の実施 ・運営方針等についての検討 2. 施設の維持管理 ・小規模の修繕 | | 1. 今後の館利用方針の検討 ・新たなコミュニティ活動の実施 ・運営方針等についての検討 2. 施設の維持管理 ・小規模の修繕 | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 国庫支出金 0千円 府支出金 528千円 市債 0千円 その他 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 府支出金 6,700千円 市債 その他 | 予算額 | 国庫支出金 0千円 府支出金 448千円 市債 0千円 その他 181千円 | | |
| | | 決算書ページ | 176ページ 一般財源 5,287千円 | 予算書ページ | 165ページ 一般財源 755千円 | 予算書ページ | 164ページ 一般財源 5,260千円 | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.39人 | 正職員以外の その他職員 0.30人 | 4,391千円 | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | |
|--------------|--|---|--|---|--|---|--|--|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| 事務事業の改善内容 | | <成果・課題> 来館者数の増加を目指し、地域住民や利用団体との連携により、目標以上の市民等に当館を利用いただくことができた。 ただし、当館にはエレベーターがないため、階段の昇降に不自由を感じる利用者も多く、2階大会議室の利用から、1階の和室に変更する団体もあった。またトイレ設備について、和式便器しかなかった箇所について、洋式便器に改修を行ったことで、快適かつ安全に利用してもらえるようになった。 あわせて、通常のセンター管理業務についても、各業務を滞りなく実施することができた。 引き続き、さまざまな人権啓発・地域コミュニティの活動拠点として利用者数を増やす取組を継続する必要がある。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> エレベーター設備がないため、2階の貸室使用に不便を感じる利用者が多い。可能な限り創意工夫を凝らし、安全・安心に利用していただけるよう取り組んでいく。 また今後の市民交流センターのあり方等について検討していくために、引き続き利用団体の方々や地域住民等との話し合いを通じて、利用者や市民ニーズを把握するなどし、市民の皆様へ安全・安心に利用いただける施設を目指す。 | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 公共施設個別施設計画では、令和7年度末までに他の施設との複合化や、隣保館機能の今後のあり方を検討し、実施計画を策定する予定。 | |
| Check 3 | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| 分野別政策 | 総合 | 『しくみ』をつくる・運営する | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①インナープロモーションの推進 |
|--|-------------------------------------|----------------|---|------|---------|------|------|------|----------|------|--|--|-----------------|
| 施策 | 21 | シティプロモーション |  | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 市民がまちへの愛着や誇りを持ち、魅力にあふれ、持続的に発展していくまち | | | | | | | | | | | | ②アウタープロモーションの推進 |
| 市民のまちへの愛着や誇り(シビックプライド等)を醸成するとともに、市内外の人が定住したいと思える魅力を高め、効果的に発信することで「選ばれるまち」として持続的に発展していくことができるよう、シティプロモーションの充実に取り組みます。 | | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | 備考 | | 主な取組 |
| | 定住意向 | | | | 64% | | | | 67% | | ※第6次泉南市総合計画にかかる市民意識調査より『住み続けたい』と回答した人の割合 | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| | 目標 | 64.4 | 64.4 | 64.4 | 64.4 | 64.4 | 64.4 | 64.4 | 64.4 | 64.4 | 66.9 | | |
| 実績 | — | | | | | | | | | | | 今後、DXの推進等により簡便に市民意識調査が実施できるようになった場合、年次ごとの目標値を設定する。 | |
| 達成率 | — | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | — | | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 総合-21-① 広報紙等作成発行事業【成長戦略室】 総合-21-①、② ウェブサイト等運営管理事業【成長戦略室】 総合-21-② シティプロモーション推進事業【成長戦略室・プロモーション戦略課】 総合-21-② 万博推進事業【成長戦略室】 総合-21-② シティプロモーション推進事業【成長戦略室・ふるさと戦略課】 総合-21-② 誘客連携による地域活性化事業【成長戦略室】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------|------|----------------|---------------|---|--|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|---|
| ○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 21 シティプロモーション | | 新規 | 担当課名 | ふるさと戦略課 | | | 指標名 「広報せんなん」に関するアンケート調査(広報紙など市から提供される情報に満足している市民の割合) | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① インナープロモーションの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | ・令和6年度から指標を把握できるアンケート調査を実施する。 ・数値については2年目以降実績に応じて見直す。 | |
| 事務事業名 広報紙等作成発行事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 3 | 目標 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | | % |
| <事業概要> 広報紙発行規則に基づき、月に1回「広報せんなん」を配布する。 広報紙を通して市政情報を広く市民の方に知ってもらおう。 | | ハード | | 細目 | 01-広報紙等作成発行事業 | | | 実績 | - | | | | | | | | | | | |
| | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | | 泉南市広報紙発行規則、泉南市広報紙発行規程 | | | | | | 達成度 | - | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|----------|---|---------------|--|---------------|-------|------------------------------------|--|---------|---------|----------|--|---|--|----------|--|---------------|--|---------------|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1 広報紙等作成発行事業 ・「広報せんなん」をより分かりやすく、親しみやすいものにするため、最終ページをイベントカレンダーとし、イベント情報が簡潔に伝わるように工夫した。 ・毎月23,200部を発行し、各家庭への配布及び市ウェブサイトでの公開を行った。 ・朗読ボランティアの協力により、CDで「声の広報」を作成し、視覚障害者への配布及び泉南市ウェブサイトでの公開を行った。 ・報道機関に対して、27件の情報提供を行った。 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | |
| | 1 広報紙等作成発行事業 ・「広報せんなん」を通して、市民にまちへの愛着や誇りを持ってもらうため、毎月人やモノに焦点を当てた特集記事を掲載する。 ・内容やレイアウトの工夫を図り、ページ数を削減する。その削減効果をもって、カラーページを現行の2ページから8ページに増やし、他のページを白黒から2色印刷とすることにより、読みやすい広報紙とする。 ・年に一度「広報せんなん」に関するアンケート調査を実施し、広報紙など市から提供される情報に満足している市民の割合を把握することで、市政に対する関心度や愛着度の指標とする。 | | | | 1 広報紙等作成発行事業 ・「広報せんなん」を通して、市民にまちへの愛着や誇りを持ってもらうため、毎月「ひと」「モノ」「コト」に焦点を当てた特集記事を掲載する。 ・年に一度「広報せんなん」に関するアンケート調査を実施し、広報紙など市から提供される情報に満足している市民の割合を把握することで、市政に対する関心度や愛着度の指標とする。 ・前年度のアンケート調査の結果を元に視覚的な魅力を高めるためのレイアウトの工夫や、読みやすさの工夫を行い、市民の意見を広報紙へ反映させていく。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,397千円 | | 15,160千円 | | 一般財源 12,763千円 | | 決算書ページ 153ページ | | 正職員 1.00人 正職員以外の その他職員 0.00人 | | 7,777千円 | | 予算額 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 1,801千円 | | 26,281千円 | | 一般財源 24,480千円 | | 予算書ページ 139ページ | |
| | | | | | | | | | | | | | | 24,469千円 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 13,422千円 | | 24,469千円 | | 一般財源 11,047千円 | | 予算書ページ 137ページ | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--------------------------|---|---|--------------|-------------------|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 広報紙の最終ページにイベントカレンダーを掲載することで、広報紙面で掲載しているイベント情報をすべて把握できるようにした。分かりやすい広報紙作成に向け、さらなる工夫が必要である。 効果測定のため、今後はアンケート調査等を行い、市民の声をどのように広報紙作成に反映させるかが課題である。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 「広報せんなん」を通して、市民にまちへの愛着や誇りを持ってもらうため、毎月人やモノに焦点を当てた特集記事を掲載する。 カラーページを現行の2ページから8ページに増やし、他のページを白黒から2色印刷とすることにより、読みやすい広報紙とする。 年に一度「広報せんなん」に関するアンケート調査を実施し、広報紙など市から提供される情報に満足している市民の割合を把握することで、市政に対する関心度や愛着度の指標とする。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| 1 現状維持 | | 広報紙を通して市民のまちへの愛着やシビックプライド等を醸成するために泉南市にゆかりがある人やものに焦点を当てた特集記事を組み、本市の魅力に気づいてもらえるような内容にしていく。 | | | |
| 2 見直して継続 | | 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 | | | |
| 3 休止・廃止 | | | | | |
| 4 完了 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------|------|----------------|------|------------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|--|
| ○ 分野別政策 <small>※※</small> 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 21 シティプロモーション | | 新規 | 担当課名 | ふるさと戦略課 | | 指標名 泉南市公式LINEアカウントの有効友だち登録者数 | | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ① インナープロモーションの推進 ② アウタープロモーションの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 ウェブサイト等運営管理事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 2 1 3 | 目標 | 16,000 | 16,500 | 17,000 | 17,500 | 18,000 | 18,500 | 19,000 | 19,500 | 20,000 | 20,500 | 人 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 02-ウェブサイト等運営管理事業 | 実績 | 17,000 | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 広報ツールである市ウェブサイトの運営管理や、SNSツールを活用し、市政情報を広く市民の方に知ってもらう。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | 達成率 | 106.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 泉南市公式 SNS 運用方針 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 達成度 A | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|---|----------------------|---------------|---|--|---------|---|---|--|---------|---|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1 ウェブサイト等運用管理事業 ・市政の見える化や市政への信頼・関心を高めるため、トップページの新着情報・募集情報へできる限り掲載するようにした。また、市民が探している情報が見つかりやすいように各ページにショートカットの設定を行うようにした。 | | 2 SNS運営管理事業 ・本市SNSで登録者数が最多のLINEで効果の高い配信時間(昼12時前頃)、頻度(週3回程度)で情報発信を行った。 ・市公式Instagramを開設し、イベント前後に投稿やストーリーズ、リール等の機能を活用し、積極的な情報発信を行った。(登録者数0人→592人) ・広報紙掲載のイベント等は必ず市ウェブサイトへも掲載し、イベントカレンダーにも掲載した。 ・広報紙では関連ウェブサイトへ案内するようQRコードの活用を行った。 | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 1,320千円 | | 2,185千円 | | | | 1 ウェブサイト運営管理事業 ・市政の見える化を推進し、市政への信頼・関心を高め、市政への参画、協働を促進する。 ・市の施策や泉南市の魅力を市内外に発信し、都市イメージの向上、泉南市への愛着の醸成を図り、集客交流の促進、人口誘導を図る。 | | 2 SNS運営管理事業 ・X(旧ツイッター)・フェイスブック、LINE、インスタグラムによる情報発信を行う。 ・機能拡張後の市公式LINEをイベント等でPRし、登録者数の増加に努め、積極的に情報発信を行う。 ・広報紙や市ウェブサイトとの連携を強化し、市の施策や市政に関わる情報をタイムリーにわかりやすく発信していく。 | | 1 ウェブサイト運営管理事業 ・市政の見える化を推進し、市政への信頼・関心を高め、市政への参画、協働を促進する。 ・市の施策や泉南市の魅力を市内外に発信し、都市イメージの向上、泉南市への愛着の醸成を図り、集客交流の促進、人口誘導を図る。 | | 2 SNS運営管理事業 ・X(旧ツイッター)・フェイスブック、LINE、インスタグラムによる情報発信を行う。 ・機能拡張後の市公式LINEをイベント等でPRし、登録者数の増加に努め、積極的に情報発信を行う。 ・広報紙や市ウェブサイトとの連携を強化し、市の施策や市政に関わる情報をタイムリーにわかりやすく発信していく。 | | | |
| 事業の財源 | | 決算書ページ 154ページ 一般財源 865千円 | | 2,185千円 | | 予算額 4,136千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 3,240千円 | | 3,069千円 | | 予算額 3,069千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 1,320千円 | | 1,749千円 | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 1.00人 正職員以外の その他職員 0.00人 7,777千円 | | 139ページ 一般財源 896千円 | | 138ページ | | 138ページ | | 138ページ | | 138ページ | | | | |



令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--------------------------|---|---|--------------|-------------------|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 新着情報や募集情報、イベントカレンダー掲載やショートカット設定など市政情報が市民の目に触れる機会を増やした。 SNSに関してはInstagramを開設し積極的な情報発信を行い、フォロワー数は少しずつではあるが増えている。また、広報紙にもInstagramへ投稿した内容を取り上げるページを作成するなど、フォロワー数増を目標にした情報発信を行った。 今後はInstagramのフォロワー数を増やしていくことや、市ウェブサイトや各SNSの閲覧を促していくことが課題となる。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> SNSのフォロワー数を増やすために各関係機関(学校等)に協力してもらうことや、市主催のイベントでノベルティ配布などを行う。 全戸配布である広報紙においても引き続きQRコードの掲載、必要最小限の記事を掲載し、市ウェブサイト閲覧へ促すようにする。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| 1 現状維持 | | 市公式SNSを通して、市の魅力や取組について積極的に発信し、市政情報に関心をもち続けてもらえる取組を実施する。 | | | |
| 2 見直して継続 | | 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 | | | |
| 3 休止・廃止 | | | | | |
| 4 完了 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|----------------------|-------------------|--|-----|---------|---|---|-----|---------|------------------------------------|--|----|---|---|---------|---|--|----|--|
| ○ 分野別政策 〓 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 21 シティプロモーション | | 新規 | | 担当課名 | プロモーション戦略課 | | | | | | | | 指標名 | | | | ノベルティグッズ配布率 | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② アウタープロモーションの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | | | | R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 | | | | 単位 | 配布数/作成数 | | | | |
| 事務事業名 シティプロモーション推進事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | | 2 1 | | 9 | | 目標値 | | | | 実績 | | | | % | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 16-シティプロモーション推進事業 | | | | | | | | 達成率 | | | | 108.3% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% | | | | | |
| <事業概要> 誘客連携イベント等によってにぎわい(関係人口・交流人口)を生み出し、認知度を向上させ、経済活動の活性化を促します。また、民間企業と連携し、地域課題の解決、地域の活性化を推進します。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | 達成度 | | | | — | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | |
| 1. 市内事業者と連携し「ドリップコーヒー」、本市イメージキャラクターの「オリジナル飴」「泉州タオル」「ホーローマグ」「のし」「紙ファイル」を作成した。 2. 公民連携トライアル事業として、市内小中学校を対象に「無印良品」と連携し、マイボトルと環境啓発チラシを配布した。 | | 1. 誘客連携グッズ作成事業 ・銘品認定を受けた産品等を中心に、トップセールスやイベントでの配布に適したノベルティグッズを製作する。 2. 観光プロモーション事業 ・観光パンフレットの活用効果について、場面毎の配布数を把握し、効果検証を行う。 | | | | 1. 誘客連携グッズ作成事業 ・活用実績を踏まえ、よりシティプロモーションに寄与するええもんせんなんもんプレミアム等のノベルティグッズの新調、補充を行う 2. 観光プロモーション事業 ・観光パンフレットの活用効果について、場面毎の配布数を把握し、効果検証を行う。 | | | | 1. 誘客連携グッズ作成事業 ・活用実績を踏まえ、ノベルティグッズの新調、補充を行う 2. 観光プロモーション事業 ・観光パンフレットの活用効果について、場面毎の配布数を把握し、効果検証を行う。 ・観光パンフレットの更新について検討を行う | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | | | | 予算額 | | | | 予算額 | | | | | | | | | | | | |
| | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | 国庫支出金 | | 0千円 | | | | | | | | | | |
| | | 府支出金 | | 0千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | 府支出金 | | 0千円 | | | | | | | | | | |
| | | 市債 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | | 市債 | | 0千円 | | | | | | | | | | |
| | | 其他 | | 1,929千円 | | 其他 | | 6,980千円 | | 其他 | | 2,057千円 | | | | | | | | | | |
| | | 決算書ページ | | 166ページ | | 予算書ページ | | 154ページ | | 予算書ページ | | 152ページ | | | | | | | | | | |
| 一般財源 | | 1,908千円 | | 一般財源 | | 704千円 | | 一般財源 | | 610千円 | | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 0.30人 | | 正職員以外の 其他職員 0.00人 | | 2,333千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

※令和7年度シティプロモーション推進事業44,154千円のうち、プロモーション戦略課分を記載。

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---------|--|--|--|-------------|--|-------------|--|---|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | Check 3 | | <成果・課題> 1. より効果的なプロモーションを実施するために、今後は配布する場所や目的、ターゲットに応じたノベルティグッズの企画・作成を行う。 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| | | | | <改善内容> プロモーション効果をあげるために、ノベルティグッズの作成に加え、観光パンフレットのリニューアルを実施し、相乗効果を図る。 | | | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | | |
| | | | | | | | | 1 現状維持 | | プロモーションするために、ノベルティグッズだけでなく、観光パンフレットのリニューアルを実施する。 | | | |
| | | | | | | | | 2 見直して継続 | | ノベルティグッズに加え、観光パンフレットをプロモーションツールとして活用し、相乗効果を目指す。また配布数等の分析、検証を行い、より効果的なプロモーションについて検討する。 | | | |
| | | | | | | | | 重点化 | | | | | |
| | | | | | | | | 手段改善 ○ | | | | | |
| | | | | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | |
| | | | | | | | | 規模縮小 | | | | | |
| | | | | | | | | 事業統合 | | | | | |
| | | | | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | |
| | | | | | | | | 4 完了 | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|---|----------------|-----------|-----|-----------------------|-------|------|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--|---|--|----|
| ○ 分野別政策 <small>※※</small> 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 21 シティプロモーション | | 新規 | ○ | 担当課名 | 連携戦略課 | 指標名 | 本市における万博推進事業の取組認知度(%) | | | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② アウタープロモーションの推進 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 今後、DXの推進等により簡便に市民意識調査が実施できるようになった場合、年次ごとの目標値を設定する。 | | | |
| 事務事業名 万博推進事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 1 9 | 目標値 | 目標 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | | | | | | | | | % | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 20-万博推進事業 | 実績 | - | 19 | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 2025年大阪・関西万博(以下、万博)の開催に向けて、市内や近隣市町との連携を図りながら機運の醸成を図る。また、万博の開催を契機として、まちの賑わいを継続的に創出しシビックプライドを醸成するため、プロモーションを推進する。加えて、万博と関連して国際交流を促進するため、姉妹都市提携を結ぶフィリピン共和国と同国ダバオ市との連携事業を実施する。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | - | 61.7% | 0.0% | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 達成度 | - | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--------|-----------------|---------|---|---------|----------|--------|--|---|--|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 地域連携イベントを2回開催(「TEAM EXPO FES in SENNAN」, 「SENNAN PHILIPPINES DAY」) 万博国際交流プログラム(モデル事業)に選定され、本市小中学生を対象に、フィリピン共和国ダバオ市の小中学生とのオンライン国際交流や現地アーティストとの文化交流を実施した。 ダバオ市で開催された天皇誕生日祝賀レセプションに出席し、泉南市のプロモーションを行った。 大阪ウィーク、自治体参加催事について、説明会等での積極的な情報収集やワーキンググループへの参加を行った。 万博協力ボランティアの募集情報について、ホームページに掲載し、周知を行った。 大阪の子どもの万博会場への招待事業(市町村事業)について、大阪府が開催する説明会での情報収集や予算関係事務を行った。 | | <ul style="list-style-type: none"> 地域連携イベントの開催 開催1年前プレ万博等の開催(令和6年度) 万博機運醸成グッズの作成 フィリピン共和国におけるプロモーション 大阪ウィーク、自治体参加催事の企画・調整 万博協力ボランティアの募集 大阪の子どもの万博会場への招待 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 地域連携イベントの開催 企業・団体と連携し、国際交流や健康等をテーマとしたイベントを開催する。 フィリピン共和国との交流 フィリピン/ペリオンでの交流の実施等、フィリピン共和国との交流を推進する。 万博関連グッズの作成・プロモーション 大阪ウィーク、自治体参加催事への参加 大阪府・大阪市万博推進局主催大阪ウィーク及び万博首長連合自治体参加催事主催LOCAL JAPAN展への出展を行い、本市のプロモーションを実施する。 大阪の子どもの万博会場への招待事業 広報紙やSNSを活用し積極的に広報活動を行う | | | | <ul style="list-style-type: none"> 万博レガシーを活用したシティプロモーション事業(会場施設・設備のリユース・リサイクル等) LOCAL JAPAN展においてテーマとした健康・美・長寿推進のための本市オリジナルエクササイズ「WAOボックス」の積極的な普及促進 | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 国庫支出金 | 4,000千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | 予算額 | 国庫支出金 | 0千円 | / | | | |
| | | 8,928千円 | 府支出金 | 495千円 | 8,520千円 | 府支出金 | 0千円 | 22,238千円 | 府支出金 | 500千円 | | | | |
| | | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 | | 市債 | 0千円 | | | | |
| | | | その他 | 4,433千円 | | その他 | 8,520千円 | | その他 | 21,738千円 | | | | |
| | | | 決算書ページ | 167ページ | | 一般財源 | 0千円 | | 予算書ページ | 155ページ | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.70人 | 正職員以外の その他職員 | 0.50人 | 7,070千円 | | | | | | | | |



令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|---|-------------------|---|------|--|-------------|--|------|--|------|--|--|--|--|
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | | | | | | | | | | |
| <p><成果・課題> 内閣官房国際博覧会推進本部事務局による万博国際交流プログラム(モデル事業)への選定を受け、多くの民間団体等と連携し、事業を展開することができた。また、府市推進局による大阪ウィークや万博首長連合による自治体参加催事の企画調整が進捗している。それら万博に向けた数々のプロジェクトを進めるにあたり、庁内の関係各課と連携して、事業を推進することが求められる。</p> <p>Check 3</p> | | <p><改善内容> 令和7年度の開催が近づくにつれ、会場内での催事の調整事項が増加することが予想され、関係各課との連携を密にしておくことで、スムーズな事業の進捗を行う。また、機運醸成についても引き続き行うとともに、子どもたちの万博会場への招待(府事業・市事業)の認知度を向上させ、多くの子どもたちが会場を訪れることで、「いのち輝く未来社会」を体感する機会を確保する。さらに、市民意識を調査するため、万博に関するアンケートを市独自で実施する。その実施にあたっては、簡便な手法で実施するよう検討する。</p> | <p>事業の方向性</p> <p>1 現状維持</p> <p>2 見直しで継続</p> <table border="1"> <tr><td>重点化</td><td>○</td></tr> <tr><td>手段改善</td><td></td></tr> <tr><td>効率化(コストダウン)</td><td></td></tr> <tr><td>規模縮小</td><td></td></tr> <tr><td>事業統合</td><td></td></tr> </table> <p>3 休止・廃止</p> <p>4 完了</p> | 重点化 | ○ | 手段改善 | | 効率化(コストダウン) | | 規模縮小 | | 事業統合 | | <p>事業の方向性と取組の内容</p> <p>2025年大阪・関西万博の開催は令和7年度に終了するが、その後もに残るレガシーの継承について検討する。</p> | | |
| 重点化 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手段改善 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 効率化(コストダウン) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 規模縮小 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業統合 | | | | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------|--|-------|--|----------------------------|---------|------------------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----|
| ○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 21 シティプロモーション | | 新規 | | 担当課名 | ふるさと戦略課 | | 指標名 企業版ふるさと納税寄附額 | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② アウタープロモーションの推進 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | |
| 事務事業名 | シティプロモーション推進事業(ふるさと戦略課) | ソフト | ○ | 項目 | 2 | 1 | 9 | 1,300 | 1,400 | 1,500 | 1,600 | 1,700 | 1,800 | 1,900 | 2,000 | 万円 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 22-シティプロモーション推進事業(ふるさと戦略課) | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 活用可能な情報発信ツールを最大限活用し、泉南市の認知度の向上を図り、関心を得ることで地域経済の活性化を促す。 また、企業に対し事業への寄附を募ることで、自主財源を用いての事業実施が可能とし、企業と連携しての持続可能なまちづくりを行う。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 | | 令和6年度(令和6年3月) | | 令和7年度 | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | |
| | | 市HPやSNSを活用してのPR活動 ・各種メディアを活用した泉南市認知度向上のためのPR活動 ・企業版ふるさと納税マッチング会への参加 ・企業へ寄附についての働きかけ及び関係構築 | | ・市HPやSNSを活用してのPR活動 ・各種メディアを活用した泉南市認知度向上のためのPR活動 ・企業版ふるさと納税マッチング会への参加及び事業者との交流 ・企業へ寄附についての働きかけ及び関係構築 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 | 0千円 | 国庫支出金 | | 予算額※ | 41,137千円 | 国庫支出金 | 0千円 | | | | | | | | |
| | | 府支出金 | | 府支出金 | | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | | | | | | | | |
| | | 市債 | | 市債 | | 市債 | 0千円 | その他 | 41,098千円 | | | | | | | | |
| | | その他 | | その他 | | その他 | 39千円 | | | | | | | | | | |
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | 一般財源 | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 | 0.00人 | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 予算書ページ | 152ページ | | | | | | | | | | |

※令和7年度シティプロモーション推進事業44,154千円のうち、ふるさと戦略課分を記載。

評価

方向性

| | | | | | | | | |
|--------------|--|-------------|--|----------|-------------------|--------------|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| 事務事業の改善内容 | | <改善内容> | | 事業の方向性 | | 事業の方向性と取組の内容 | | |
| | | | | 1 現状維持 | | | | |
| 2 見直して継続 | | | | | | | | |
| 重点化 | | | | | | | | |
| 手段改善 | | | | | | | | |
| 効率化(コストダウン) | | | | | | | | |
| 規模縮小 | | | | | | | | |
| 事業統合 | | | | | | | | |
| 3 休止・廃止 | | | | | | | | |
| 4 完了 | | | | | | | | |

Check 3

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------------------|--------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|
| ○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する | | 再掲 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 21 シティプロモーション | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ② アウタープロモーションの推進 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 誘客連携による地域活性化事業 事業に関連するSDGs | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 地方創生推進交付金を活用し、事業に参画する市町村と情報を共有することのできるプラットフォームを整備し、広域連携による市町村間相互の観光交流促進と観光消費拡大を図る。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 新規 <input type="checkbox"/> 担当課名 プロモーション戦略課 継続 <input type="checkbox"/> 会計名 一般会計 ソフト <input type="checkbox"/> 予算 科目 6 1 5 ハード <input type="checkbox"/> 細目 04-誘客連携による地域活性化事業 市単独 <input type="checkbox"/> (関係法令・市条例・計画等) | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | |
| | | 指標名 | 泉南ロングパークでの民間等(市主催以外)のイベント実施団体数 | | | | | | | | | | 備考 | |
| | | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 今後、DXの推進等により簡便に市民意識調査が実施できるようになった場合、年次ごとの目標値を設定する。 |
| | | 実績 | 23 | 25 | 25 | 35 | 40 | 45 | 50 | 50 | 50 | 50 | 件 | |
| | | 達成率 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|------------------|--------------------------|-------------------|---|-----------------|------------------|-------------|---|-----------------|--|------------------|--|-------------|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | ■観光プロモーション 泉南ロングパークを核としたイベント:13件 その他市内開催イベント:4件 動画制作:1件 コンテンツ機能強化:1件 | | | | ■公民連携 泉南ロングパークを核としたイベント:3件 その他市内開催イベント:1件 実証実験:1件 アンバサダー関係:1件 国際交流:1件 動画作成:1件 | | | | | | | | | | |
| | 令和6年度(令和6年3月) 恋人の聖地や泉南ロングパークをはじめ、本市の魅力あるコンテンツを題材として、様々なイベントを実施する。また、将来的な自走化を視野に入れ積極的なシティプロモーションを展開する。 ・明確なKPIを設定し、事業毎の達成状況を明らかにする。 ・特定の事業に関して、プロモーション効果測定事業による市内経済効果の測定を行い、今後の方向性を検討する。 | | | | 令和7年度 泉南ロングパークをはじめ、本市の魅力あるコンテンツを題材として、様々なイベントを実施する。あらゆる角度から積極的なプロモーションを展開すると同時に、将来的な自走化を視野に、収益性の高い企画内容について実証実験の機会とする。 ・明確なKPIを設定し、事業毎の達成状況を明らかにする。 ・特定の事業に関して、令和6年度プロモーション効果測定事業によって作成した経済効果測定ツールを用いて市内経済効果の測定を行い、今後の方向性を検討する。 | | | | 令和8年度以降 泉南ロングパークをはじめ、本市の魅力あるコンテンツを題材として、様々なイベントを実施する。あらゆる角度から積極的なプロモーションを展開すると同時に、将来的な自走化を視野に、収益性の高い企画内容について実証実験の機会とする。 ・経済効果測定ツールによる市内経済効果やKPIの検証結果を踏まえ、令和9年以降の事業展開について検討する。 | | | | | | |
| 事業の財源 | | 決算額 102,019千円 | 国庫支出金 50,990千円 | 府支出金 0千円 | 市債 0千円 | その他 51,028千円 | 決算書ページ 256ページ | 一般財源 0千円 | | | | | | | |
| 職員数/人件費 | | 正職員 3.20人 | 正職員以外の その他職員 0.20人 | 25,537千円 | | | | | | | | | | | |
| | | 予算額 99,726千円 | | 国庫支出金 49,863千円 | | 府支出金 0千円 | | 市債 0千円 | | その他 49,863千円 | | 予算書ページ 282ページ | | 一般財源 0千円 | |
| | | 予算額 112,161千円 | | 国庫支出金 56,080千円 | | 府支出金 0千円 | | 市債 0千円 | | その他 56,081千円 | | 予算書ページ 287ページ | | 一般財源 0千円 | |

評価

方向性

| | | | | | | | | |
|--------------------------|--|-------------|---|----------|---|--|---|--|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 | |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 各事業においてその効果や実績を検証する必要があるため、KPIを設定し、達成度を明確にする。 ・公民連携 オンライン国際交流により、姉妹都市間の子どものための国際交流を促進した。また、スマートシティの観点から「ドライブレコーダーとAI画像解析技術を活用した道路維持管理に関する実証実験」及び「オンデマンドバス運行に関する実証実験」を実施し、民間サービスを活用しながらデータ収集・分析等を行った。今後、事業実装を見据えた関係各課との調整、庁内外における公民連携に対する知識・機運の醸成が求められる。 | | <改善内容> 観光振興事業にて「プロモーション効果測定事業」を実施し、イベントにおける効果測定を行い、課題の洗い出しと今後の改善策を検討する。 ・公民連携 令和8年度以降は新規事務事業として公民連携推進事業を新設し、当該事業において令和5年度事業の実装に向けた関係各課との調整や、庁内や民間団体等における公民連携への機運醸成を図る。 | | 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 令和6年度に測定した各イベントの実績を元に令和7年度以降のイベント開催を検討する。 | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

| 分野別政策 | 総合 | 『しくみ』をつくる・運営する | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | | ①情報政策の推進 |
|---|--|----------------|---|-------|---------|-------|-------|-------|----------|-------|---|----|---|
| 施策 | 22 | 情報政策(DX) |  | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 誰一人取り残さない、デジタルでつながる便利で安全・安心なまち | | | | | | | | | | | | ②デジタルリテラシーの向上 |
| | 先端技術をまちづくりに取り入れながら、デジタル人材の育成・確保や、デジタルトランスフォーメーション(DX)を進め、誰一人取り残すことなく、暮らしやすく、便利で安全・安心なデジタル社会の実現に取り組みます。 | | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | 備考 | | 主な取組 ◇市民がデジタルを活用できるようにするための環境整備を進め、デジタルバйдの解消を図ります。 ◇市職員のデジタルリテラシーの向上に向けた教育・研修等を行います。 |
| | オンライン手続利用率 | | | | - | | | | 65.05% | | ※地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続(58手続)のオンライン利用率 | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 | |
| | 目標 | 20.00 | 25.00 | 30.00 | 35.00 | 40.00 | 45.00 | 50.00 | 55.00 | 60.00 | 65.05 | | |
| | 実績 | 33.00 | 33.0 | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 165.0% | 132.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 達成度 | A | A | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | | |
| 総合-22-① 住民情報記録システム事業【行政経営部】 総合-22-①、② 行政LAN事業【行政経営部】 | | | | | | | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------|---|----------------|------------|---|----|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|--|--|
| ○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 22 情報政策(DX) | | 新規 | | 担当課名 | オンライン手続利用率 | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| ○ 主な取組 ① 情報政策の推進 ② デジタルリテラシーの向上 | | 継続 | ○ | 会計名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 行政LAN事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 10 | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | ○ | 細目 | 04-行政LAN事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 職員が利用する情報系ネットワーク(SGLAN)の運用及びデジタルトランスフォーメーションを推進し、便利で安全・安心なデジタル社会の実現に取り組む。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 泉南市DX推進計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-----------|-----------------|---------|---|-----|----|-----|---|---------|--------|--------|--|-----------|-----|-----------|-------|-----|------|-------|----|-----|-----|-------|--------|--------|------|-----------|-----|-----------|-------|-----|------|---------|----|-----|-----|-------|--------|--------|------|-----------|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1 デジタル化に関する事業 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・電子申請システムの導入(令和6年1月)(申請フォーム10件) ・電子申請システム操作説明会の開催(2回、述べ53人参加) ・電子申請フォームの作成補助を実施(10課) ・電子決裁機能付き文書管理システムの導入 ・DX推進員の任命(令和5年度:35名) ・デスクトップパソコンからノートパソコンへ段階移行(200台) ・庁内LANの無線化 2 デジタルデバйд対策事業 ・スマホ講座の開催(全73回、述べ131人) 3 情報セキュリティ対策 ・特定個人情報の取扱い状況に関する内部監査の実施(13課) | | | | 1 デジタル化に関する事業 ・電子申請システムの利用拡大 ・電子決裁機能付き文書管理システムの導入 ・チャットツールの利用拡大 ・会議録作成支援ツール共同調達への参加 ・財務会計システムの更改検討 ・Microsoft365の利用検証 ・デスクトップパソコンからノートパソコンへ移行 2 デジタルデバйд対策事業 ・スマホ講座 3 情報セキュリティ対策 ・職員の情報セキュリティ意識の向上 | | | | 1 デジタル化に関する事業 ・電子申請システムのサービス拡充検討 ・チャットツールの利用拡大 ・グループウェアシステムの更改検討 ・財務会計システムの更新 ・DX推進計画の進捗確認 ・デスクトップパソコンからノートパソコンへの移行 2 デジタルデバйд対策事業 ・スマホ講座 3 情報セキュリティ対策 ・職員の情報セキュリティ意識の向上 ・情報セキュリティポリシーの見直し | | | | 1 デジタル化に関する事業 ・電子申請システムの利用拡大 ・チャットツールの利用拡大 ・グループウェアシステムの更改 ・次期DX推進計画の検討 2 デジタルデバйд対策事業 ・スマホ講座 3 情報セキュリティ対策 ・職員の情報セキュリティ意識の向上 4 行政LANシステム(インターネット系)の更改 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 208,705千円 | 国庫支出金 | 4,100千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 4,202千円 | 決算書ページ | 169ページ | 一般財源 | 200,403千円 | 予算額 | 114,363千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 307千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 157千円 | 予算書ページ | 157ページ | 一般財源 | 113,899千円 | 予算額 | 149,806千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 1,586千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 794千円 | 予算書ページ | 157ページ | 一般財源 | 147,426千円 |
| 職員数/人件費 | 正職員 | 4.01人 | 正職員以外の その他職員 | 0.84人 | 33,917千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



令和5年度 事務事業評価

| | | | | | | |
|--------------------------|--|---|----------|---|--|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> (事業の成果) ・庁内及び出先機関を行政ネットワークで結び、行政情報の通信インフラや事務事業を助けるICT基盤システムとして活用し、業務の効率化を図った。庁内LANの無線化により、さらなる業務の効率化が期待できる。 ・電子申請システムを導入し、市民サービスの向上と業務の効率化を図った。 (課題) 新しいシステムの導入や端末機器の調達にあたっては、費用の低減に努めながら、業務の効率化とセキュリティ対策の充実・強化を図っていく必要がある。 | 令和6年度の改善の取組 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| | | <改善内容> 令和5年度に引き続き、適正な価格を見極めながら業務用端末をデスクトップからノートパソコンへ更新を進め、無線LANの活用による業務効率向上と会議でのペーパーレス化を図っていく。 | | 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | |

第6次泉南市総合計画 施策の概要

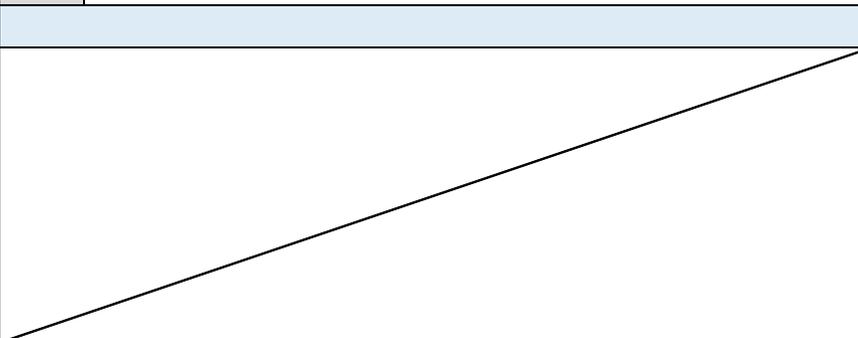
| 分野別政策 | 総合 | 『しくみ』をつくる・運営する | 施策に関連するSDGs | | | | | | | | | |
|---|---|----------------|-------------|------|------|------|----------|------|------|------|--|--|
| 施策 | 23 | 行財政運営 | | | | | | | | | | |
| 目指すまちの姿 | 持続可能で安定した行政サービスを受けられるまち 安定的な財源確保や、効率的・効果的な行財政運営に努めるとともに、近隣市町との連携を検討しながら、行政の広域化に取り組むなど、持続可能で安定した行政サービスを提供します。 | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | | | 備考 | |
| | 経常収支比率(過去3年間の平均値) | | 96% | | | | 95.0%未満 | | | | | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 |
| | 目標 | 95.3 | 95.3 | 95.2 | 95.2 | 95.1 | 95.1 | 95.1 | 95.0 | 95.0 | 94.9 | |
| | 実績 | #### | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 94.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | |
| 施策に関する成果指標 | 指標項目 | | 基準値(R3) | | | | 目標値(R14) | | | | 備考 | |
| | 有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率) | | 69.6% | | | | 大阪府平均以上 | | | | 大阪府内市町村の平均値(前年度)を目標値とする(令和3年度府内市町村平均値:64.1%) | |
| | 進捗状況 | | | | | | | | | | | |
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 備考 |
| | 目標 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 大阪府内市町村の平均値(前年度)を目標値とする(各年度の数値が発表されるまでは、暫定的に令和3年度の数値を目標値とする。)実績値は、直近の令和4年度数値とする。 |
| | 実績 | 70.9 | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 90.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | |
| 掲載事業一覧【所幹部】 | | | | | | | | | | | | |
| 総合-23-① 人事管理・給与支給事業【行政経営部】 総合-23-① 職員研修事業【行政経営部】 総合-23-② 財政運営事務事業【総務部】 総合-23-② ファシリティマネジメント推進事業【公共施設再編室】 総合-23-② ふるさと寄附推進事業【成長戦略室】 総合-23-② 公民連携推進事業【成長戦略室】 | | | | | | | | | | | | |

①組織の適正化と人材の育成

◇施策や事業の見直しを通じて、組織や人員配置のあり方を検討し、効果の高い行政サービスを実現します。
 ◇各種研修の実施等、計画的な人材育成や人事評価制度の運用により、職員が持つ能力発揮と成長を促す組織風土の醸成を図ります。
 ◇民間企業との人材交流・協働等を通じ、ノウハウや技術、柔軟な発想を行財政運営に取り入れます。
 ◇まちづくりのあらゆる分野で地域の実情を捉え、それに対応する広域連携の取組を検討していきます。

②健全な財政運営

◇市税をはじめとする多様な自主財源による歳入確保を図り、一方でファシリティマネジメントの推進等、効果的・効率的な歳出に努めるなど、戦略的な財政運営を図ります。
 ◇財政運営について市民の理解を得るため、わかりやすい財政状況の公表に努めます。



第6次泉南市総合計画 実施計画

| ○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する ○ 施策 23 行財政運営 ○ 主な取組 ① 組織の適正化と人材の育成 | | 事業区分 新規 <input type="checkbox"/> 担当課名 秘書人事課 継続 <input type="checkbox"/> 会計名 一般会計 ソフト <input type="checkbox"/> 予算 款項目 2 1 2 ハード <input type="checkbox"/> 細目 02-人事管理・給与支給事業 市単独 <input type="checkbox"/> (関係法令・市条例・計画等) 地方公務員法、泉南市人材育成基本方針 | | 事務事業に関する活動指標 指標名 人事評価業績目標達成率 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------|--|------|---|------|------|------|---|------|------|----|----|--|--|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|-----|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|-----|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 事務事業名 人事管理・給与支給事業 事業に関連するSDGs  | | | | <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> <th>R13</th> <th>R14</th> <th>単位</th> <th rowspan="4">備考</th> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>60</td> <td>62</td> <td>64</td> <td>66</td> <td>68</td> <td>70</td> <td>72</td> <td>74</td> <td>76</td> <td>78</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>109.8%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 備考 | 実績 | 60 | 62 | 64 | 66 | 68 | 70 | 72 | 74 | 76 | 78 | % | 達成率 | 109.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 達成度 | A | | | | | | | | | | |
| 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実績 | 60 | 62 | 64 | 66 | 68 | 70 | 72 | 74 | 76 | 78 | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 109.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 主な事業内容 (年次計画) (実績) (定年延長及び役職定年制の運用) ・令和5年度に定年を迎える職員の定年年齢を61歳まで延長するとともに、60歳に達した管理監督職の職員を非管理監督職ポストに降任する役職定年制の運用開始(人事評価制度の改正) ・人材育成基本方針と連動した能力評価項目の見直し・評価者ごとのばらつきを解消する調整会議の実施 ・評価結果を次年度に活用する制度設計 などを実施(人事評価システムの導入) ・人材情報をシステムにて一元管理し、評価結果を昇任や人事異動と連動させる等人材育成へ活用(業務量調査の実施) ・全庁の業務量調査及び分析を行い、アウトソーシングの導入効果が高い業務等を洗い出し業務を効率化 | | 実施計画 Plan 1 令和6年度(令和6年3月) ●人事評価制度の定着と適切な運用を進める ●職員の能力に応じたより適切な処遇を実現するため、適切な人事配置を進める ●策定した人材戦略に基づき、制度の運用を進める ●一元管理する職員の情報から分析を行い、具体的な根拠に基づいた人事戦略を提案し、組織全体のパフォーマンスの向上を図る ●新たな人事給与システムの検討 ●給与制度改革プランの策定 ●給与計算等業務の見直し(アウトソーシング等) ●定員管理計画(令和7年度～)の策定 | | 令和7年度 ●人事評価制度の定着と適切な運用を進める ●職員の能力に応じたより適切な処遇を実現するため、適切な人事配置を進める ●人材育成基本方針に基づき、制度の運用を進める ●人材情報のシステムでの一元管理を進めるとともに、組織の最適化や配置転換を行い組織全体のパフォーマンスの向上を図る ●新たな人事給与システムの導入に向けた検討 | | | | 令和8年度以降 ●人事評価制度の定着と適切な運用を進める ●職員の能力に応じたより適切な処遇を実現するため、適切な人事配置を進める ●策定した人材戦略に基づき、制度の運用を進める ●一元管理する職員の情報から分析を行い、具体的な根拠に基づいた人事戦略を提案し、組織全体のパフォーマンスの向上を図る ●給与制度改革プランの実行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 152ページ 一般財源 21,912千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 250千円 予算書ページ 137ページ 一般財源 13,767千円 | | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 予算書ページ 136ページ 一般財源 11,450千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員数/人件費 正職員 0.40人 正職員以外のその他職員 0.00人 3,111千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|--|--|---|--|---|--|---|--|----|--|
| 令和5年度 事務事業評価 事務事業の改善内容 Check 3 | | <成果・課題> 限られた人員で安定した行政サービスを継続して提供することができるよう、業務量調査を実施し、コア業務/ノンコア業務の把握、業務委託の可能性について検討を行った。 また、年功序列で処遇が決まる制度から、頑張る職員が適正に評価される能力・実績に基づく給与制度となるよう、多機能クラウド型人事情報システムを導入するなど、取組に着手した。 | | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 多機能クラウド型人事情報システムを運用し、人事評価及び職員採用に係る人事情報を一元的に管理、分析することで、人事管理業務の効率化を図るとともに、最適な人材配置や人材育成に取り組む。 | | Action 4 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 <input type="checkbox"/> 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | | 事業の方向性と取組の内容 多機能クラウド型人事情報システムを活用し、各職員の適性や評価及び職員採用に係る人事情報を一元的に管理、分析することで、人事管理業務の効率化を図るとともに、最適な人材配置や人材育成に取り組む。 | | 備考 | |
|--------------------------------------|--|--|--|---|--|---|--|---|--|----|--|

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|------------------------------|----------------|-----------|---------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|---|
| ○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 23 行財政運営 | | 新規 | | 担当課名 | 秘書人事課 | | 指標名 研修後のパフォーマンスに対する上司等の評価 | | | | | | | | | | | 備考 | | |
| ○ 主な取組 ① 組織の適正化と人材の育成 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | |
| 事務事業名 職員研修事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 2 | 1 | 2 | 目標値 | | | | | | | | | | | 研修後はアンケートを実施することで、振り返りを行ったが、女性職員のキャリア研修等が不十分であった。 |
| <事業概要> 泉南市人材育成基本方針に基づき、職階や経験年数、行政課題等に応じた研修を実施するほか、職場研修への支援、自主的な学びの機会の確保といった多様な形式・手法を活用しながら、自ら考え、行動できる自律型の職員の育成、高い能力を有した幹部職員の安定的な確保・育成及び組織力向上に取り組む。 | | ハード | | | 細目 | 03-職員研修事業 | | 実績 | 80 | | | | | | | | | % | | |
| | | 市単独 | ○ | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 80.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | 地方公務員法、泉南市人材育成基本方針、泉南市職員研修計画 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---------|--|-------|---------|--|--------|-----|--|---------|--------|---------|-----|---------|---------|--------|--------|-----|-------|---------|--------|--------|------|---------|---------|---------|--------|------|-------|---------|--------|--------|-----|-------|---------|---------|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1. 職員研修事業 ・職員研修計画に基づく研修の実施 (全51回、受講者900名) ・職員人権研修計画に基づく研修の実施 (全17回、受講者280名) | | 令和6年度(令和6年3月) | | | 令和7年度 | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ●職階や経験年数等に応じた事務遂行能力、マネジメント力等の向上を推進するため、研修計画に基づき、市職員の研修の実施とふりかえりを行う。(新規採用職員研修、新任管理監督者研修等) ●自主的な研修受講機会の提供等職員の自律的な能力開発を推進する環境整備 ●女性職員の活躍推進の支援として、育児休業復帰予定者へのエラーニング研修や、キャリア形成に係る研修の実施等 | | | <ul style="list-style-type: none"> ●職階や経験年数等に応じた事務遂行能力、マネジメント力等の向上を推進するため、研修計画に基づき、市職員の研修の実施とふりかえりを行う。(新規採用職員研修、新任管理監督者研修等) ●自主的な研修受講機会の提供等職員の自律的な能力開発を推進する環境整備 ●女性職員の活躍推進の支援として、育児休業復帰予定者へのエラーニング研修や、キャリア形成に係る研修の実施等 | | | <ul style="list-style-type: none"> ●職階や経験年数等に応じた事務遂行能力、マネジメント力等の向上を推進するため、研修計画に基づき、市職員の研修の実施とふりかえりを行う。(新規採用職員研修、新任管理監督者研修等) ●自主的な研修受講機会の提供等職員の自律的な能力開発を推進する環境整備 ●女性職員の活躍推進の支援として、育児休業復帰予定者へのエラーニング研修や、キャリア形成に係る研修の実施等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 | 1,788千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 120千円 | 一般財源 | 1,668千円 | 予算額 | 3,004千円 | 国庫支出金 | 34千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 2,970千円 | 予算額 | 2,954千円 | 国庫支出金 | 29千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 2,925千円 |
| | 決算書ページ | 153ページ | 正職員以外の その他職員 | 0.00人 | 2,877千円 | 予算書ページ | 138ページ | 正職員 | 0.37人 | 2,877千円 | 予算書ページ | 136ページ | 正職員 | 0.37人 | 2,877千円 | 予算書ページ | 136ページ | 正職員 | 0.37人 | 2,877千円 | 予算書ページ | 136ページ | 正職員 | 0.37人 | 2,877千円 | 予算書ページ | 136ページ | 正職員 | 0.37人 | 2,877千円 | 予算書ページ | 136ページ | 正職員 | 0.37人 | 2,877千円 | |

評価

方向性

| | | | | | | | |
|--------------------------|--|-------------|--|----------|-------------------|--|-----------------|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 研修計画に基づき研修を実施し、職員の資質向上・育成に取り組むとともに、実施後はアンケートを実施することで、事業の振り返りを行っている。アンケートでは、職員の気づきや行動の変革につながる機会となったかについて確認しているが、実際に職場で活用できているか、行動変容につながったかは確認できていない。 | | <改善内容> 行動変容につながっているかを確認するため、研修受講後のフォローアップアンケートの導入について検討を行い、実施につなげる。 | | 事業の方向性 | | |
| | | | | | 1 現状維持 | | 3 休止・廃止 4 完了 |
| | | | | 2 見直して継続 | | 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------------------|---|----------------|------|--------------|--------|-----|-------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|---|--|----|
| ○ 分野別政策 ^{※※} 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 23 行財政運営 | | 新規 | | 担当課名 | 財政課 | 指標名 | 経常収支比率 | | | | | | | | | | | | | | 備考 |
| ○ 主な取組 ② 健全な財政運営 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | | | | |
| 事務事業名 財政運営事務事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 2 | 1 | 5 | 目標 | 95.3 | 95.3 | 95.2 | 95.2 | 95.1 | 95.1 | 95.0 | 95.0 | 94.9 | % | | |
| 事業に関連するSDGs  | | ハード | | | 細目 | 02-財政運営事務事業 | | | | 実績 | 101.2 | | | | | | | | % | | |
| <事業概要> 毎年度、中期財政計画を更新し、施策や事務事業の選択や集中を進め、規律ある健全な財政運営を行います。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | 達成率 | 94.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | | 泉南市健全な財政運営に関する条例 | | | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|-----------------|------------------|--|--------------|--|---------------|--|--------------|--|---------------|------------------|-----|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1. 財政運営事務事業 ・予算編成の時期や手法を見直した。 ・財政状況の将来推計を行い、中期財政計画を策定(12月公表)。 2. 公債費管理事業(元金)(利子) ・市債の発行額を償還額以下に抑制し、残高が減少。 発行額 945,904千円 元金償還額 2,334,997千円 差引 △1,389,093千円 ※発行額、元金償還額ともに借換債分(1,408,600千円)は除く 3. 基金管理事業 ・財政調整基金は標準財政規模の10%を確保。 | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | 令和7年度 | | | | 令和8年度以降 | | | |
| | 1. 財政運営事務事業 財政状況の把握のもと中期財政計画を策定し、将来推計を踏まえた事業の選択と集中により、持続可能な財政運営を実施する。 2. 公債費管理事業(元金)(利子) 将来推計のもと起債(借入)と償還(返済)を実施し、将来負担を踏まえた市債の管理を行う。 3. 基金管理事業 財政調整基金は標準財政規模の10%の確保を図る。公共施設整備基金、公債費管理基金については、将来推計のもと適切に管理を行う。 | | | | 1. 財政運営事務事業 財政状況の把握のもと中期財政計画を策定し、将来推計を踏まえた事業の選択と集中により、持続可能な財政運営を実施する。 2. 公債費管理事業(元金)(利子) 将来推計のもと起債(借入)と償還(返済)を実施し、将来負担を踏まえた市債の管理を行う。 3. 基金管理事業 財政調整基金は標準財政規模の10%の確保を図る。公共施設整備基金、公債費管理基金については、将来推計のもと適切に管理を行う。 | | | | 1. 財政運営事務事業 財政状況の把握のもと中期財政計画を策定し、将来推計を踏まえた事業の選択と集中により、持続可能な財政運営を実施する。 2. 公債費管理事業(元金)(利子) 将来推計のもと起債(借入)と償還(返済)を実施し、将来負担を踏まえた市債の管理を行う。 3. 基金管理事業 財政調整基金は標準財政規模の10%の確保を図る。公共施設整備基金、公債費管理基金については、将来推計のもと適切に管理を行う。 | | | | | | | |
| 事業の財源 | 決算額 1,267千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | 一般財源 1,267千円 | 決算書ページ 156ページ | 職員数/人件費 正職員 5.00人 正職員以外の その他職員 0.00人 38,885千円 | 予算額 662千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | 一般財源 662千円 | 予算書ページ 141ページ | 予算額 621千円 | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 | 一般財源 621千円 | 予算書ページ 140ページ | 方向性 | | |

評価

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|-------------------|----|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> 事務負担の平準化や内容の精査を目的とし、予算編成の時期や手法を見直した。 しかし、今後の財政運営については、人件費や物価の高騰、施設の老朽化に対応するための建設事業費の増加等により、引き続き厳しい状況が予想される。 特に、建設事業費の増加は市債の増加につながり、将来的な負担の増大につながる。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> 令和5年度に実施した予算編成方法の見直しについて検証を行い、次年度の予算編成に活用する。 また、建設事業費の増加に伴う市債の増加が予想される中、市債に係る金利負担を軽減するため、金利見直し方式の導入を検討する。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | 備考 |
| | | | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | |
| | | 1 現状維持 | 建設事業費を含め、予算編成にあたっては、より必要性や効率性を吟味し、中長期的な将来推計のもと、持続可能な財政運営を目指す。 | | |
| | | 2 見直して継続 | 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 | | |
| | | 3 休止・廃止 | | | |
| | | 4 完了 | | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|------|---|------|---------------------|----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|---|
| ○ 分野別政策 <small>※※</small> 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 23 行財政運営 | | 新規 | 担当課名 | 公共施設再編課 | | 指標名 | 有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率) | | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 健全な財政運営 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | 目録値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | 大阪府内市町村の平均値を目標値とする(各年度の数値が発表されるまでは、暫定的に令和3年度の数値を目標値とする)。実績値は、直近の令和4年度数値とする。 | |
| 事務事業名 ファシリティマネジメント推進事業 | | ソフト | ○ | 予算 | 款項目 | 2 | 1 | 8 | 目標 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | 64.1 | | % |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | | 細目 | 04-ファシリティマネジメント推進事業 | | 実績 | 70.9 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 泉南市公共施設等最適化推進基本計画(平成27年度)、同推進実施計画(平成28年度)、個別施設計画(令和2年度)に基づき、老朽化や耐震化に問題のある公共施設等の建替・改修の必要性を判断しながら、施設の複合化、集約化等を民間活力も視野に入れて中長期の視点に立った公共施設等の最適化の推進を図る。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | 90.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | | | | 公共施設等最適化推進基本計画、公共施設等最適化推進実施計画、公共施設等個別施設計画 | | 達成度 | A | | | | | | | | | | | | |

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

| | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------------------------|---|--|----------------------------|--|---|--|--|---|--|--|
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | 1. 西信達小学校跡地活用事業 ○関係機関(大阪府など)協議 12回 ○庁内協議 2. 旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校跡地活用事業 ○民間活用調査 1回 ○庁内協議 3. 公共施設再編(複合化・集約化)検討 ○民間事業者ヒアリング 3回 ○庁内会議 4. 旧浜保育所廃止 ○関係機関(近畿財務局など)協議 5回 ○庁内協議 | | | 令和6年度(令和6年3月) 「泉南市公共施設等最適化推進基本計画」等を踏まえて策定した「泉南市公共施設等個別施設計画」に基づく取組を推進するため、庁内横断的に各施設所管課と連携しながら、課題整理を行うとともに、第2期個別施設計画の策定に向け、所要の検討を行う。 西信達義務教育学校建設に伴う現西信達小学校の跡地活用について、周辺環境(駅、道路等)の整備検討と連携しながら、地域住民のニーズを踏まえた活用内容・方策を大阪府等関係機関や庁内関係部署と協議・検討を進め、当該地区の基本構想を策定する。 旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校を含めた用途廃止に伴う施設の除却に向け、庁内関係部署や地域住民と協議・調整を行う。なお、施設跡地については、今後の活用内容・方策について庁内外関係者と検討を行う。 また、庁舎等主要施設の劣化判定を行い、財政シミュレーションや再編の方向性に反映する。 | | | 令和7年度 「泉南市公共施設等最適化推進基本計画」等を踏まえて策定した「泉南市公共施設等個別施設計画」に基づく取組を推進するため、庁内横断的に各施設所管課と連携しながら、引き続き課題整理を行うとともに、第1期計画の詳確を行ったうえで、第2期個別施設計画の策定に着手するとともに、最適化推進基本計画等の所要の策定にも併せて着手する。 現西信達小学校の跡地活用について、引き続き周辺環境(駅、道路等)の整備検討と連携しながら、庁内外関係者や地域住民と継続協議・検討を行い、令和6年度策定の基本構想をもとに、整備内容等を具体化した基本計画策定・民間活力導入可能性調査に着手する。 旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校の用途廃止に伴い、施設の除却に着手する。なお、施設跡地については、今後の活用内容・方策について、地域住民を含めた庁内外関係者と引き続き協議・検討を行う。 また、市域全体の再編(複合化・集約化)及び施設跡地の活用については、庁内関係部署と連携しながら引き続き検討を行う。なお、施設跡地の活用については、新たな活用制度の導入・運用するとともに、庁内統一ルールに基づき一層の推進を図る。 | | | 令和8年度以降 令和7年度より引き続き庁内横断的に各施設所管課と連携しながら、課題整理を行うとともに、再編の検討内容と整合を図りながら、第2期個別施設計画の策定及び最適化推進基本計画等の策定を行う。 現西信達小学校の跡地活用について、引き続き周辺環境(駅、道路等)の基本構想と連携しながら、庁内外関係者や地域住民と継続協議・検討を行い、整備事業化に向けた必要な検討・準備を行う。 旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校等の跡地活用について、今後の活用内容・方策を地域住民を含めた庁内外関係者と引き続き協議・検討を行い、有効活用を目的とした事業化を目指す。 また、市域全体の再編(複合化・集約化)及び施設跡地の活用については、庁内関係部署と連携しながら引き続き検討を行う。施設跡地の活用については、活用推進のための取組を継続する。 | | |
| | 事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 42千円 決算書ページ 161ページ | 21,777千円 26,818千円 359千円 | 予算額 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 26,818千円 一般財源 359千円 予算書ページ 147ページ | 13,559千円 0千円 13,200千円 359千円 146ページ | 0千円 0千円 0千円 359千円 | | | | | | | |
| 職員数/人件費 正職員 350人 正職員以外のその他職員 0.00人 27,220千円 | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

| | | | | | |
|--------------------------|---|---|----------|--|--|
| 事務事業の改善内容 Check 3 | <成果・課題> ・西信達小学校跡地活用については、令和6年度に基本構想を策定する予定であるが、周辺環境(道路・踏切)に課題があり、跡地の有効活用には、大阪府など関係機関とその改善策を優先的に検討する必要がある。 ・旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校跡地活用については、民間活用における市場性及び道路環境に課題があることから、地域住民の活用意向を確認するとともに、地域特性に沿った活用策を検討する必要がある。 ・公共施設再編検討については、市役所及び周辺施設との複合化にあたり、建設用地と財源に課題はあるが、候補地を特定し複合化施設の検討や概算事業費の算出に着手した。今後は、庁内関係課と連携しつつ、事業化実現性を検証しなければならない。 ・旧浜保育所廃止については、当該跡地について有効な活用策を検討中であり、引き続き国など関係機関と協議を継続する必要がある。 | 令和6年度の改善の取組 <改善内容> ・西信達小学校跡地活用については、岡田浦駅等V/Aフリー化の検討内容を加味し、地域住民の意向を踏まえ、より最適な環境改善策を関係機関と協議検討する。 ・旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校については、地域住民と協議しながら、地域特性を踏まえた最適な活用について、施設の除却検討に着手するとともに、その活用策を協議検討する。 ・公共施設再編については、市役所など主要施設について詳細調査を実施し、再編(複合化など)検討に必要な資料を作成する。市役所及び周辺施設の複合化検討については、候補地や概算事業費を検証しつつ、複合化施設の特定や財源の検討を行い、より実現性の高い事業化を目指す。 ・浜保育所跡地については、既存施設の除却工事を実施するとともに、各種協議を継続実施することで、より有効な活用策を決定する。なお、跡地を含めた資産の有効活用については、庁内統一ルールを定め、庁内横断的に推進する。 | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直しで継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | 備考 ・西信達小学校跡地活用については、基本計画策定や民間事業者意向調査に着手し、跡地活用を推進するとともに、道路など周辺環境の改善を推進する。 ・旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校については、除却後の活用策を検討し、必要に応じて基本構想・計画策定に着手する。 ・公共施設再編に係る市役所など複合化については、その取組の進捗に応じて、基本構想・計画策定を検討し、必要に応じて着手する。 ・浜保育所跡地活用については、引き続き除却工事を実施するとともに、その活用策に応じて必要な諸手続きを進め、より有効な跡地活用を推進する。 なお、公共施設再編をより推進するため、公共施設最適化関連計画の策定に着手し、その策定内容に即して、再編を推進する。また、資産の有効活用も庁内ルールに即して推進する。 |
|--------------------------|---|---|----------|--|--|

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|------|----------------|--|---|---|--|--|--|--|--|-----|---|--------|------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 23 行財政運営 | | 新規 | 担当課名 | ふるさと戦略課 | | | | | | | | | 指標名 | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 主な取組 ② 健全な財政運営 | | 継続 | ○ | 会計名 | 一般会計 | | | | | | | | | ふるさと泉南応援寄附金 | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務事業名 ふるさと寄附推進事業 | | ソフト | ○ | 款項目 | 2 | 1 | 9 | 目標値 | | | | | | 単位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 04-ふるさと寄附推進事業 | | | | | | | | | 億 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 本市へのふるさと納税の推進を図り、よりよいまちづくりを目指すとともに、市内産業等の活性化に寄与することを目的とし、寄附者に対して地元特産品等を返礼品として贈呈する。 また、企業に対しては本市事業への寄附を募ることで、自主財源を用いての事業実施を可能とする。 | | 市単独 | ○ | (関係法令・市条例・計画等) | | | | | | | | | 実績 | 11.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 地方税法、泉南市ふるさと泉南応援寄附条例 | | | | | | | | | | | | 達成率 | 112.0% | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | 1. ふるさと寄附推進事業 ・新規事業者の開拓(12事業者) ・返礼品の拡充(新規返礼品178品) ・ポータルサイトの追加(1件) ・ふるさと納税自販機の設置 ・ポータルサイト上での特集記事の作成及び改修(9件) ・泉南市ふるさと納税PR動画の作成及びポータルサイトへの設置 ・寄附件数(98,350件) ・企業版ふるさと納税の寄附件数(0件) ・企業版ふるさと納税マッチング会への参加 ・企業版ふるさと納税基金の設置 | | | 令和6年度(令和6年3月) 1. ふるさと寄附推進事業 ・新規事業者の開拓 ・返礼品の拡充 ・市HPやSNSを活用してのPR活動 ・ふるさと納税特集記事の充実 ・泉南市ふるさと納税の特設サイトの開設 ・寄附者が見やすいポータルサイト作り ・企業版ふるさと納税マッチング会への参加 ・企業へ寄附についての働きかけ及び関係構築 | | | 令和7年度 1. ふるさと寄附推進事業 ・新規事業者の開拓 ・返礼品の種類充実と寄附額の検討 ・ふるさと納税特集記事の充実 ・泉南市ふるさと納税の特設サイトの運営 ・寄附者が見やすいポータルサイト作り (以下、別事業へ移管) ・市HPやSNSを活用してのPR活動 ・企業版ふるさと納税マッチング会への参加 ・企業へ寄附についての働きかけ及び関係構築 | | | | | | 令和8年度以降 1. ふるさと寄附推進事業 ・新規事業者の開拓 ・返礼品の拡充 ・ふるさと納税特集記事の充実 ・泉南市ふるさと納税の特設サイトの運営 ・寄附者が見やすいポータルサイト作り (以下、別事業へ移管) ・市HPやSNSを活用してのPR活動 ・企業版ふるさと納税マッチング会への参加 ・企業へ寄附についての働きかけ及び関係構築 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業の財源 決算額 610,524千円 決算書ページ 163ページ 職員数/人件費 正職員 0.90人 正職員以外の その他職員 1.60人 12,203千円 | | 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 610,524千円 一般財源 0千円 | | | 予算額 556,700千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 556,700千円 一般財源 0千円 | | | 746,882千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 746,882千円 一般財源 0千円 | | | | | | 154ページ 一般財源 0千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

評価

方向性

| | | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|---|---|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | 令和6年度の改善の取組 | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | 備考 |
| 事務事業の改善内容 Check 3 | | <改善内容> 返礼品を提供する泉南市ふるさと納税サポート事業者制度へ未参画の13事業者へ、アプローチ方法を変えながら、引き続き働きかけを行う。 また、本市の魅力ある返礼品創出を目指し、さらなる事業者開拓及び返礼品の拡充を行う。 企業版ふるさと納税について、マッチング会等へ参加し、泉南市の魅力ある事業を企業へPRすることで、寄附につながるよう働きかける。 | | 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了 | さらなる寄附獲得を目指し、中間事業者との密なやり取りを行い、寄附傾向に合わせた取組を行う。また、事業者との関わりを通して、本市の魅力の一つとなる返礼品を創出する。 企業版ふるさと納税について、マッチング会等へ参加し、本市の魅力ある事業を企業へPRすることで、寄附につながるよう働きかける。 | | |

第6次泉南市総合計画 実施計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|------|---|----------------|-------------|--------------|-----------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|
| ○ 分野別政策 ■ 『しくみ』をつくる・運営する | | 事業区分 | | | | 事務事業に関する活動指標 | | | | | | | | | | | | |
| ○ 施策 23 行政運営 | | 新規 | ○ | 担当課名 | 連携戦略課 | 指標名 | 企業との連携事業数 | | | | | | | | | | 備考 | |
| ○ 主な取組 ② 健全な財政運営 | | 継続 | | 会計名 | 一般会計 | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 単位 | |
| 事務事業名 | 公民連携推進事業 | ソフト | ○ | 款項目 | 2 1 9 | 目標 | | 6 | 8 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 件 | |
| 事業に関連するSDGs | | ハード | | 細目 | 22-公民連携推進事業 | 実績 | | 9 | | | | | | | | | | |
| <事業概要> 効果的かつ効率的な行政運営やさらなる市民サービスの向上を実現し、持続可能なまちづくりを推進するためのベースとなる仕組みを作る。また、本市が抱える行政課題を民間事業者とともに解決するため、実証実験で成果を得た事業について実装する。さらに、トップセールスやマッチングイベント出展により、民間企業へのアプローチを図り、積極的な民間投資の獲得に努める。 | | 市単独 | | (関係法令・市条例・計画等) | | 達成率 | | 150.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|--|---------|-------|-----|------|---|----|-----|-----|---------|---|-------|--------|--------|---------|-----|-------|-----------------|-------|---------|
| 令和5年度 事務事業実績 Do 2 | | | | | 実施計画 Plan 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な事業内容 (年次計画) (実績) | | | | | 令和6年度(令和6年3月) | | | | | 令和7年度 | | | | | 令和8年度以降 | | | | | | | | | |
| | | | | | ・R6実証実験 多言語通訳サービス ・トップセールス ・マッチングイベントへの出展 | | | | | ・公民連携デスクの運用 ・公民連携プラットフォームの運用 ・民間提案制度の運用 令和7年3月制定の公民連携推進によるまちづくり基本方針に基づき、民間事業者との対話を促進し、行政課題、地域課題等の解決に向けた取組を進める ・トップセールスの継続 ・マッチングイベントへの出展 OSPF主催Meet-up等 | | | | | ・公民連携デスクの運用 ・公民連携プラットフォームの運用 ・民間提案制度の運用 令和7年3月制定の公民連携推進によるまちづくり基本方針に基づき、民間事業者との対話を促進し、行政課題、地域課題等の解決に向けた取組を進める ・トップセールスの継続 ・マッチングイベントへの出展 OSPF主催Meet-up等 | | | | | | | | | |
| 事業の財源 | | | | | 決算額 | 0千円 | 国庫支出金 | | 府支出金 | | 市債 | | その他 | | 一般財源 | | 決算書ページ | | 職員数/人件費 | 正職員 | 0.70人 | 正職員以外の その他職員 | 0.50人 | 7,070千円 |
| 事業の財源 | | | | | 予算額 | 1,681千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 1,331千円 | 一般財源 | 350千円 | 予算書ページ | 155ページ | 職員数/人件費 | 正職員 | 0.70人 | 正職員以外の その他職員 | 0.50人 | 7,070千円 |
| 事業の財源 | | | | | 予算額 | 185千円 | 国庫支出金 | 0千円 | 府支出金 | 0千円 | 市債 | 0千円 | その他 | 185千円 | 一般財源 | 0千円 | 予算書ページ | 154ページ | 職員数/人件費 | 正職員 | 0.70人 | 正職員以外の その他職員 | 0.50人 | 7,070千円 |

評価

方向性

| | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-------------|--|--|-------------|-------------------|--|--|--|----|
| 令和5年度 事務事業評価 | | | | | | | | | | |
| 事務事業の改善内容 | | 令和6年度の改善の取組 | | | Action 4 | 令和7年度以降の事業の方向性と取組 | | | | 備考 |
| <成果・課題> Check 3 | | <改善内容> | | | 事業の方向性 | 事業の方向性と取組の内容 | | | | |
| | | | | | 1 現状維持 | | | | | |
| | | | | | 2 見直して継続 | | | | | |
| | | | | | 重点化 | | | | | |
| | | | | | 手段改善 | | | | | |
| | | | | | 効率化(コストダウン) | | | | | |
| | | | | | 規模縮小 | | | | | |
| | | | | | 事業統合 | | | | | |
| | | | | | 3 休止・廃止 | | | | | |
| | | | | | 4 完了 | | | | | |

(2) 分野別事業数

| 政策番号 | 令和5年度 | | 令和6年度 | | 令和7年度 | | 令和8年度 | |
|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 事業数 | うち再掲 | 事業数 | うち再掲 | 事業数 | うち再掲 | 事業数 | うち再掲 |
| 1 | 47 | 4 | 50 | 4 | 54 | 6 | | |
| 2 | 12 | 4 | 12 | 4 | 14 | 4 | | |
| 3 | 21 | 0 | 24 | 0 | 26 | 1 | | |
| 4 | 18 | 0 | 19 | 0 | 19 | 0 | | |
| 総合 | 14 | 2 | 16 | 2 | 19 | 3 | | |
| 合計 | 112 | 10 | 121 | 10 | 132 | 14 | | |